

Smart Netcommunity

α ZX II

type
S

type
M

取扱説明書



技術基準適合認証品

このたびは、SmartNetcommunity αZX II typeS/typeMをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。







- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお願いします。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご利用にあたってのお願い

- 本書は、SmartNetcommunity αZXⅡ標準スター電話機24回線ボタンタイプを例として記載しており、本文中では、特に断りがない限り「内線電話機」という表現を用いております。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品付属のSDカードは、SmartNetcommunity αZXⅡ専用のSDカードになります。SDカードの書き換えは行わないでください。お客様による書き換えにより生じた損害など純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（P9）にしたがって消去願います。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 電話機操作についてご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。


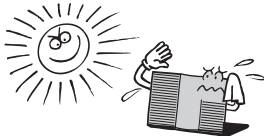
蓄電池について

⚠ 危険

- 蓄電池は密閉空間には設置しないでください。爆発や火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 蓄電池は火気の近くには設置しないでください。爆発や火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 蓄電池を使用する場合は、次のことを必ず守ってください。蓄電池の損傷により、火災・感電の原因となることがあります。
 - ・電池のプラス端子とマイナス端子間を針金などの金属類で接続しない。
 - ・火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・金属工具を使用する場合は、ビニールテープなどで絶縁したものを使用する。
- 蓄電池を改造または分解しないでください。蓄電池の液もれ、発熱、破裂等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。蓄電池の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 蓄電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 蓄電池は定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電槽の破損により漏電の原因となることがあります。蓄電池の交換については、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 蓄電池を単体では充電しないでください。蓄電池の液もれ、発熱、破裂等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

設置について

⚠ 警告

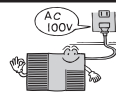
- 主装置、電話機、モジュージャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主装置、電話機、モジュージャックや電話配線に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置、電話機やモジュージャックは次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
 - ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
 - ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
 - ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- 主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。
 - ・主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・主装置を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
 - ・主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
 - ・主装置にテーブルクロスなどをかける。
 - ・主装置の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

お取り扱いについて

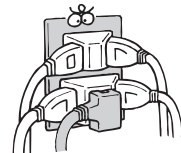
警告

●電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、主装置の誤動作の原因となることもあります。



●お客様による主装置の設置工事、配線作業、修理、移動、蓄電池の交換などは危険ですから絶対におやめください。主装置の設置工事、配線作業、修理、移動、蓄電池の交換などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●万一、主装置内部のヒューズ切れなどにより使用不可となった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、主装置を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電話機から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●お客様による主装置の電源コードおよび電話機までの配線の移動、取り外し、また、電話機を取り外しなどは、火災・感電の原因となることがあります。必ず当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●主装置、電話機、モジュラージャックや電話配線に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●万一、主装置内部、電話機、モジュラージャックや電話配線に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

警告

●主装置や電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置や電話機は修理に応じられない場合があります）。



●主装置のキャビネットは開けたり、外したりしないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。



●主装置の電源コードおよび電話機までの配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●主装置の電源コードおよび電話機までの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●近くに雷が発生したときは、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、主装置の電源スイッチを切って、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



●雷による直接被雷があった場合、以下のことに注意してください。

- ・落雷により通信回線が使用不可になった場合は、該当カード／パッケージを継続使用せず、代品への交換を行ってください。
- ・落雷で故障したカード／パッケージ類は修理できません。落雷を受けたカード／パッケージ類は、製品としての品質保証対象外です。
- ・落雷や雷サージによる製品の損傷は広範囲に及ぶ恐れがあり、複数のカード／パッケージ類の交換が必要になります。

●主装置や電話機、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



●コードレス電話機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

●お客様が用意された機器を主装置および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

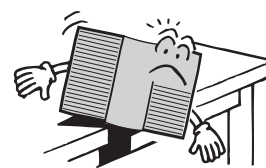
安全にお使いいただくために 必ずお読みください

設置について

⚠ 注意

●主装置や電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- ・振動、衝撃の多い場所。



●主装置や電話機を床面設置する場合や壁掛け設置する場合は、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

●必ずアース接続を行ってください。アース接続は必ず、電源プラグを電源コンセントにつなぐ前に行ってください。又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから切り離してから行ってください。

お取り扱いについて

⚠ 注意

●主装置や電話機の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●主装置や電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●主装置は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けになることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

●電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

●温度・湿度条件は、主装置および周辺機器の動作条件内でご使用ください。また、薬品や化学物質などを扱う場所では、使用しないでください。故障・火災の原因になります。

●「ユーザ ID」「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。パスワードの安全性を高めるため、定期的に変更してください。

●主装置および周辺機器の故障、誤動作、電池パックの消耗、または、停電等の外部要因で電話機が使えなかったことで生じた損害等の補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

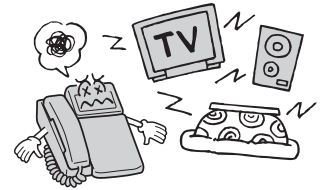
●本商品に含まれる蓄電池、メモリバックアップ用電池などの交換部品は、定期的に交換してください。交換せずに使用しますと、当該部品の突発事故、システム全体の故障や損傷にもつながることがあります。

設置について

STOP お願い

●主装置や電話機を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。



●電話機や主装置は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

●主装置や電話機などをぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



●停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。

●停電のときは、停電用電話機を使用してください。

- ・他の内線電話機は使えません。
- ・ドアホンは使えません。
- ・発信電話番号表示機能は使えません。

●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

●受話器は逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。

●電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●電話機や主装置を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



■ソフトウェアライセンスについて

本商品にはオープンソースソフトウェア（以下「OSS」といいます）が含まれております。
これらOSSの使用条件の詳細、およびお問い合わせにつきましては、下記URLをご参照ください。

■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

SmartNetcommunity α ZXII typeS/typeM :
<https://business.ntt-east.co.jp/support/zx2sm/>

■ NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

SmartNetcommunity α ZXII typeS/typeM :
https://www.ntt-west.co.jp/smb/kiki_info/manual/

■海外でのご利用について

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

■VCCI規定について

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

■商標登録について

Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における商標または登録商標です。

■音楽の著作権について

お客様によって導入した着信音、保留音の音源（音楽ファイル、BGM等）に関しては、著作権侵害にあたらぬことを十分確認した上で、ご使用願います。また、使用した音源によって生じたいかなる障害やトラブルについても、当社は責任を一切負いかねます。

■ ライセンスについて

本商品の以下の追加オプション機能を利用するには、別途ライセンスが必要になります。ライセンスについて詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

ライセンスの種類	追加オプション機能
システム容量の拡張 (typeMのみ)	内線収容台数を最大40台に拡張するために必要なライセンス
IP内線ライセンス	SIP/IP端末を3～40台まで拡張するために必要なライセンス
ひかり電話ライセンス	ひかり電話 (4ch) を使用するために必要なライセンス ※TypeM (12ch) は最大3ライセンス、TypeS (8ch) は最大2ライセンス登録可能
スマートフォンクライアント (5)	専用アプリケーションにてスマートフォンを内線として5台使用するために必要なライセンス
スマートフォンクライアント (10)	専用アプリケーションにてスマートフォンを内線として10台使用するために必要なライセンス
CTIライセンス (1)	主装置へCTIミドルウェアを1台分利用登録するために必要なライセンス
CTIライセンス (5)	主装置へCTIミドルウェアを5台分利用登録するために必要なライセンス
迷惑電話ブロックライセンス (1)	迷惑電話リストを1年間使用するためのライセンス
迷惑電話ブロックライセンス (4)	迷惑電話リストを4年間使用するためのライセンス
迷惑電話ブロックライセンス (5)	迷惑電話リストを5年間使用するためのライセンス
迷惑電話ブロックライセンス (6)	迷惑電話リストを6年間使用するためのライセンス
迷惑電話ブロックライセンス (7)	迷惑電話リストを7年間使用するためのライセンス
国番号識別着信拒否ライセンス	設定した番号 (国番号など) からの着信を拒否するために必要なライセンス
IVRライセンス	IVR機能を使用するために必要なライセンス
音声合成ライセンス	音声ガイダンスに使用するガイダンスを作成するために必要なライセンス
VOCライセンス	音声メール機能 (音声データのテキスト変換) を拡張するために必要なライセンス ※「音声テキスト化ライセンス」と併せて使用
音声テキスト化ライセンス	音声テキスト化アプリケーションを使用するために必要なライセンス

■ 廃棄 (または譲渡、返却) される場合のご注意

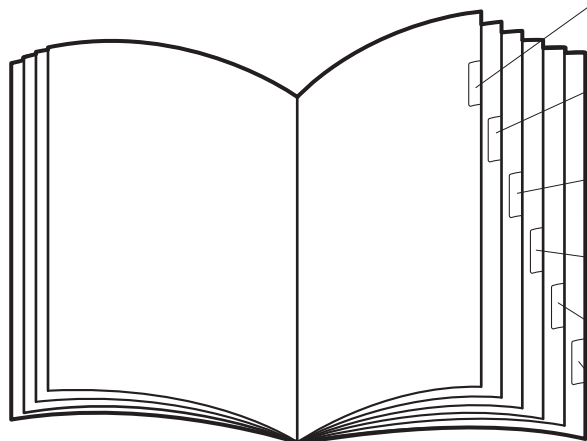
本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表にしたがって消去または当社のサービス取扱所にご相談ください。

ただし、システムデータに保持されているお客様固有情報は下表の処置では消去されませんので、消去されたい場合には当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置 (取扱説明書参照ページ)
発信履歴	P2-13を参照し、発信履歴をすべて消去してください。
着信履歴	P2-13を参照し、着信履歴をすべて消去してください。
個別電話帳登録	P4-4を参照し、個別電話帳登録をすべて消去してください。
共通電話帳登録	P4-20を参照し、共通電話帳登録をすべて消去してください。
ワンタッチボタン登録	P4-11を参照し、ワンタッチボタン登録をすべて消去してください。
転送先登録	P3-18を参照し、転送先登録をすべて消去してください。
Web通話履歴	当社のサービス取扱所にご相談ください。
音声ファイル	P6-13を参照し、録音した内容をすべて消去してください。
SDカード情報	当社のサービス取扱所にご相談ください。
ライセンス情報	当社のサービス取扱所にご相談ください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



- 1 お使いになる前に**
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。
- 2 電話をかける／受ける／保留する**
電話をかけたり、受けたり、保留したりする基本機能について説明しています。
- 3 その他の機能**
1～2章までの内容の他に、多様な機能について説明しています。
- 4 いろいろな機能を登録・設定する**
内線電話機の操作で行う登録や設定について説明しています。
- 5 オプションを使う**
ドアホンなどのオプションをお使いのときの操作などを説明しています。
- 6 ご参考に**
付属品などの説明、「故障かな？」と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明のページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。見出しの枠を次のように区別しています。

■ : お買い求めいただきすぐにご利用になれる機能

□ : 「システム設定」によりご利用になれる機能

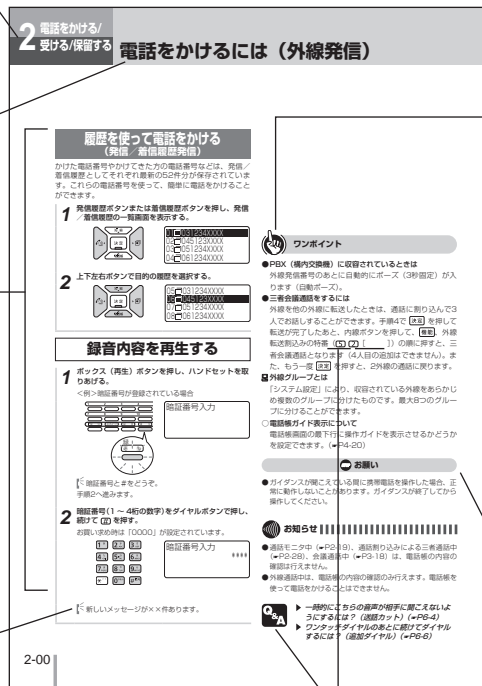
ガイダンス

<例>

ダイヤリングサービスを行います。…

音声で流れるガイダンス内容を示しています。

<サンプル>



ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

次の3種類のマークで項目を区別しています。

● : お買い求めいただきすぐにご利用いただける機能の補足説明

□ : 「システム設定」することによりご利用いただける機能の補足説明

○ : その他の補足説明

お願いまたはお知らせ

<お願い>

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

<お知らせ>

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。



「6 ご参考に」にQ&A形式で詳しく説明している事項を示しています。

特番 (～用の特番)

機能、**決定** などのあとに押して、各種機能を利用できるようにする番号です。

特番は、「システム設定」で変更することもできます。

この取扱説明書では、特番について次のように表しています。

<例>

外線転送割込みの特番 (5) (2) [] の順に押す

お買い求め時の
番号

「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

目次

はじめに

安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	2
各種規制について.....	8
この取扱説明書の見かた.....	10
目次.....	12

1 お使いになる前に

バックアップについて.....	1-2
バックアップデータを復元する.....	1-3
特長.....	1-4
構成図.....	1-6
各部の名前.....	1-8
音量を調節するには.....	1-15
着信音量を調節する.....	1-15
スピーカ音量を調節する.....	1-15
ハンドセット受話音量を調節する.....	1-16

2 電話をかける／受ける／保留する

電話をかけるには（外線発信）.....	2-2
ハンドセットを取りあげてかける.....	2-2
ハンドセットを置いたままかける （オンフックダイヤル）.....	2-4
電話番号を確認してからかける （プリセットダイヤル）.....	2-5
電話帳を使って電話をかける（電話帳ダイヤル）.....	2-6
ワンタッチボタンで電話をかける.....	2-11
履歴を使って電話をかける （発信／着信履歴発信）.....	2-12
自動発信可能な外線の中から選んでかける （空き外線自動発信）.....	2-14
外線グループの中から選んで電話をかける （外線群指定発信）.....	2-14
電話を受けるには（外線着信）.....	2-15
電話を受ける.....	2-15
内線でお話しするには（内線通話）.....	2-17
内線でお話しする（内線通話）.....	2-17
ハンズフリーで電話をかける・受けるには.....	2-19
ハンズフリーで電話をかける.....	2-19
ハンズフリーで電話を受ける.....	2-20
ハンドセットを置いたまま内線でお話しする.....	2-21
電話を保留するには.....	2-23

保留する（共通保留）.....	2-23
他の電話機で取れないように保留する （個別保留）.....	2-23
お話しを他の内線電話機に転送する.....	2-25
お話しを他の外線に転送する.....	2-27

3 その他の機能

電話帳を登録するには.....	3-2
電話帳を登録する.....	3-2
文字を入力する.....	3-6
ワンタッチボタンによく電話をかける番号を 登録するには.....	3-8
ワンタッチボタンに登録する.....	3-8
よく使う機能をワンタッチ機能ボタンに登録するには （サービスボタン）.....	3-10
サービスボタンの機能を変更する.....	3-10
着信を拒否するには.....	3-12
特定の電話番号からの着信を拒否する.....	3-12
通話中に相手の方の電話番号を登録する.....	3-12
お話しが終わってから着信履歴で登録する.....	3-12
非通知着信を拒否する ＜システム一括設定＞.....	3-14
迷惑電話の着信を拒否する ＜システム一括設定＞.....	3-15
迷惑電話のライセンス期限を確認する ＜システム一括設定＞.....	3-16
特定の国からの着信を拒否する ＜システム一括設定＞.....	3-17
電話を転送するには（外線へ転送）.....	3-18
転送電話の転送先リストを登録する.....	3-18
転送電話の対象とする回線を設定する.....	3-19
転送電話をセットする.....	3-19
その他の転送電話の活用.....	3-21
電話を転送するには（内線へ転送）.....	3-22
不在着信転送を登録する.....	3-22
不在着信転送を解除する.....	3-23
3人でお話しするには（会議通話）.....	3-24
外線通話中に口頭で会議通話を伝える.....	3-24
外線通話中に内線で会議通話を伝える.....	3-25
通話中の電話機を呼び出して3人でお話しする.....	3-27
留守番電話を利用するには.....	3-28
留守番電話の対象となる回線を設定する.....	3-28
留守番電話をセットする.....	3-28
録音内容を再生する.....	3-30
ボックス番号を指定して録音内容を再生する.....	3-32
留守番電話を解除する.....	3-34
相手の方を確認して応答する（居留守応答）.....	3-34
その他の留守番電話の活用.....	3-35
音声ガイドランスを作成するには.....	3-36

テキスト入力で作成する	3-36
音声を録音して作成する	3-37
自動応答 (IVR) を利用するには	3-38
自動応答を設定する<システム一括設定>	3-39
お話しを録音するには	3-40
自動で通話を録音する	3-40
手動で通話を録音する	3-41
他の人にメッセージを残すには	3-42
メッセージが録音されたことを通知するには	
(音声メール着信通知)	3-43
音声メール着信通知先を設定する	3-43
音声メール着信通知を起動する	3-43
電話に出られないときは (お待たせメッセージ)	3-44
外出先から電話をかけるには (コールバック)	3-45
外出先からコールバックを利用して	
内線電話機と通話する (システム内線着信)	3-45
外出先からコールバックを利用して	
電話をかける (中継発信)	3-46
外出先から機能の設定を操作するには	
(ダイヤリングサービス)	3-47
ダイヤリングサービスを利用する	3-47
時間帯や曜日で設定を変えるには	
(システムモード)	3-48
システムモードを利用する	3-48
着信音を鳴らす時間帯をシステムモードごとに	
設定する	3-49
特定日を設定する	3-50
特定日システムモードを設定する	3-51
システムモードの切替時刻を設定する	
<システム一括設定>	3-52
ecoモードを利用するには	3-53
ecoモードを手動で起動する	3-54
ecoモードを自動で起動する	3-54
使用できる機能を制限するには (サービスロック)	3-55
サービスロック対象を設定する	3-55
サービスロックを起動する	3-56
サービスロックを解除する	3-56
ご利用になれる各種ネットワークサービス	3-57
アナログ回線の対応状況	3-57
INSネット64の対応状況	3-58
ひかり電話サービスの対応状況	3-60
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を	
利用する	3-62
キャッチホンサービスを利用する	3-65
プッシュホンサービスを利用する	
(DP→PB切替)	3-65
外から特定の電話機を呼び出す (ダイヤルイン	
サービス/i・ナンバーサービス)	3-66
ボイスワープを利用する	3-67
高音質での通話を利用する	3-68

4 いろいろな機能を登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定をするには	
(メニュー設定)	4-2
電話機毎設定	4-4
システム一括設定	4-19
パソコンを使って登録・設定をするには	
(Web設定)	4-36
主装置と接続する	4-37
電話機毎ユーザデータ設定項目一覧	4-39
システム一括ユーザデータ設定項目一覧	4-42
よく利用される機能の設定	4-46
システム設定によりご利用になれる機能	4-50
発信	4-50
着信・応答	4-50
保留・転送	4-51
その他	4-51
主装置/電話機ソフトウェアを更新するには	4-52
最新ソフトウェアがあるかどうかを	
手動でチェックする	4-52
最新ソフトウェアを手動でダウンロードする	4-53

5 オプションを使う

ご利用になれるオプション装置/	
オプションユニット	5-2
ドアホンを利用するには	5-8
ドアホンからの呼び出しに応答する	5-8
ドアホンの周囲の音を聞く (ドアホン呼び出す)	5-9
ドアの電気錠を操作するには (施錠コントロール)	5-10
通話中のドアホンの電気錠を解除/施錠する	5-10
外部スピーカで一斉放送するには	5-11
外部スピーカで一斉放送する	5-11
拠点連携をご利用になるには	5-12
別拠点に内線通話する	5-12
別拠点の特定の方に内線通話する	5-13

6 ご参考に

Q&A	6-2
登録・設定	6-2
電話帳	6-2
回線	6-3
保留/内線通話/保留転送	6-4
通話	6-4
表示	6-5

目次

音声メール機能.....	6-5
その他.....	6-6
特番を使って操作するには.....	6-8
特番一覧.....	6-8
付属品などをご利用になるには.....	6-16
主装置の電源を入れる／切るには.....	6-18
停電になったときは.....	6-19
SDカードのエラー／電池交換が	
表示されたときは.....	6-20
SDカードのエラー表示について.....	6-20
メモリ保持電池の交換について.....	6-20
バックアップ電池の交換について.....	6-20
こんな音がしたら.....	6-21
故障かな？と思ったら.....	6-22
パソコンを使って電話帳を編集するには.....	6-23
用語の説明.....	6-26
索引.....	6-29
仕様.....	6-35
保守サービスのご案内.....	6-36

お使いになる前に

1

バックアップについて	1-2
特 長	1-4
構成図	1-6
各部の名前	1-8
音量を調節するには	1-15

■商品の自動更新およびデータバックアップ機能について

本商品は、プログラムの自動更新およびデータバックアップの機能を有しております。

本商品が NTT 東日本、NTT 西日本の「音声利用 IP 通信網サービス契約約款」で定める「音声利用 IP 通信網サービス」を利用している場合、お客様は、商品の提供機能の維持・追加および NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供に必要な設備の管理・改善のために、NTT 東日本、NTT 西日本から提供される更新プログラムが定期的に確認され自動的にダウンロードおよびインストールされること、本商品に保存されたデータが NTT 東日本、NTT 西日本のサーバーへバックアップされることに同意するものとします。

また、NTT 東日本、NTT 西日本のサーバーにバックアップされたデータのうち、本商品の設定内容に関する情報や商品に登録されている回線に関する情報については、NTT 東日本、NTT 西日本は、個人を特定しない統計情報として、電気通信サービス等の企画・開発等の業務の実施に必要な範囲内で利用します。

バックアップデータを復元する

主装置・ブロードバンドルーターユニット（以降「BRU」と表記）は、お客様固有の設定データ等を定期的に自動バックアップしております。必要に応じてバックアップデータを主装置・BRUに復元することができます。復元について詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

■ 主装置

バックアップデータを復元するには、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☎P4-51）で次のように操作します。

1 **機能** を押す。



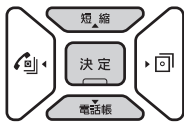
11月14日(木) 午後 3:05
10
機能

2 バックアップデータ復元の特番 (0) (2) [] を押す。



復元
最新バックアップデータ
オンライン設定データ

3 上下ボタンで「最新バックアップデータ」を選択し、**決定**を押す。



復元開始
いいえ
はい

4 上下ボタンで「はい」を選択し、**決定**を押す。

11月14日(木) 午後 3:05
10
復元データダウンロード中
電源オフしないで下さい

11月 4日(水) 午後 3:05
10
復元データダウンロード完了
電源オン/オフして下さい

5 主装置の電源を一度切ってから入れ直す。
（☎P6-18）

バックアップデータの復元が完了します。



お知らせ

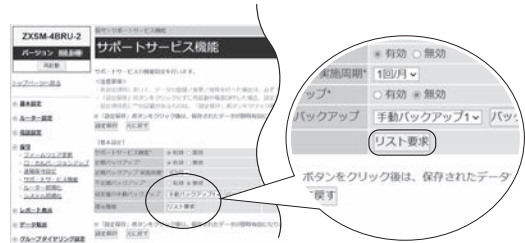
- 復元すると、復元前のデータに戻すことはできません。

■ BRU

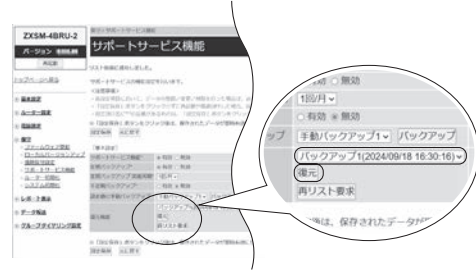
BRUの復元を行う場合には、BRUのWeb設定画面にログインして操作します。詳細は、αZXブロードバンドルーターユニット取扱説明書を参照してください。

1 「保守」→「サポートサービス機能」から、サポートサービス機能の画面を表示し、**リスト要求** ボタンをクリックする。

接続中になります。



2 リスト取得ができれば、最新のバックアップデータを選択して**復元** ボタンをクリックする。

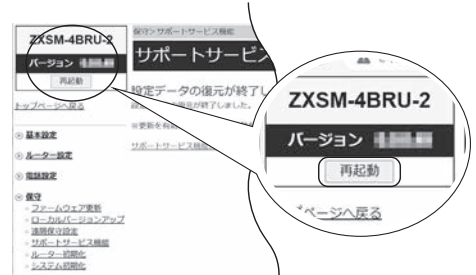


3 以下の画面が表示されたら、**[OK]** ボタンをクリックする。

復元中から終了の画面になります。

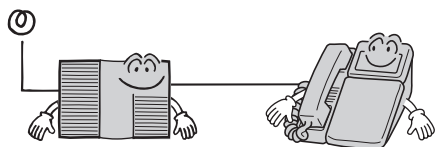


4 **[再起動]** ボタンをクリックする。
バックアップデータの復元が完了します。

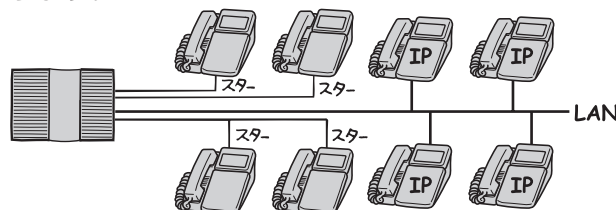


特長

最大 12ch で 40 台までの電話機を接続可能
SmartNetcommunity αZXII typeS/typeM は、ビジネスの効率アップをサポートするSOHO～中規模事業所向けのビジネスシステムです。typeSの主装置には最大10台、typeMなら最大40台の電話機を接続できます。



電話機の主装置への接続方法を 2 通りをご用意
主装置とそれぞれの電話機を直接接続するスター型、主装置と LAN 接続されたネットワーク上に IP 電話機を接続する LAN 型の 2 通りの方法があります。



便利に使える電話帳

内線電話機ごとに登録する個別電話帳と、複数の電話機で共有できる共通電話帳があります。電話帳を登録しておくことで、発信時に電話番号を入力する手間を省けるだけでなく、電話帳グループごとに着信先を変えたり異なる着信音を鳴らすなど、いろいろな機能と組み合わせて便利にご利用いただけます。個別電話帳は最大 200 件、共通電話帳は最大 9800 件まで登録が可能です。

必要に応じて接続できる多彩なオプション

補聴器をご利用される方向けのハンドセットなど、さまざまなご利用形態に合わせて、ご希望のシステム構成ができるように多彩なオプションをご用意しています。(P5-2)

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した多彩な機能

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用になると、着信履歴の記録や、相手の方によって着信先や着信音を変えたり、共通電話帳の設定による着信拒否など、発信電話番号を利用したさまざまな機能を活用できます。サービスのご利用には、別途当社との利用契約が必要です。

簡単に行えるメニュー設定

電話機のディスプレイに表示されるメニューを操作して、さまざまな登録や設定が行えます。メニュー項目は、使い勝手に合わせて個々の電話機で登録・設定できる項目 (P4-2) と、特定の電話機からのみ操作できるシステム共通の項目 (P4-3) に分かれています。

パソコンを使って行える Web 設定

LAN で主装置にネットワーク接続したパソコンを使って、個々の電話機やシステム共通の登録・設定が行えます。

迷惑電話・特定の国からの着信拒否設定

迷惑電話や特定の国からの着信を拒否することができます。ご利用には、ナンバー・ディスプレイの利用契約と迷惑電話ブロックライセンス (オプション) (P9)、国番号識別着信拒否ライセンス (オプション) (P9) が必要です。



データバックアップ・復元

主装置やBRU (オプション) の必要なデータをバックアップしてのご利用になります。主装置やBRU (オプション) の故障時や交換時にスムーズにお客様のデータを復元することができます。ご利用には、ひかり電話回線の利用契約が必要です。

音声メールの利用

音声メールをご利用になると、お話し中の通話内容を録音したり、不在のときに留守番電話で応答することができます。お買い上げ時の音声メールの録音時間は約2時間（モノラル音声の場合）です。音声メール拡張カード（オプション）に交換することで、最大約100時間（モノラル音声の場合）の録音が可能です。

音声メール機能の拡張

通話録音された音声データを音声テキスト化アプリケーションを利用してテキストに変換することができます。ご利用には、音声テキスト化アプリケーションと音声テキスト化ライセンス（オプション）（P9）が必要です。加えてお客様の環境によって、VOCライセンス（オプション）（P9）もしくは、VOCアプリケーションとAPPUユニット（オプション）が必要です。



音声ガイドンス作成

留守番電話などの応答メッセージをテキスト入力で作成することができます。ご利用には、音声合成ライセンス（オプション）（P9）が必要です。



音声ガイドンスによる自動応答 (IVR 機能)

かかってきた電話に自動応答し、録音した音声ガイドンスで、そのあとの操作（内線呼出、留守番電話など）を案内することができます。ご利用には、IVRライセンス（オプション）（P9）が必要です。

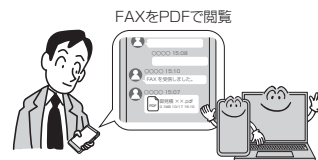
ワークストレージ／おまかせクラウドストレージ対応

ワークストレージ／おまかせクラウドストレージと連携してご利用になれます。必要な音声メールをサーバーに自動アップロードすることができます。ワークストレージ／おまかせクラウドストレージのご利用には、別途当社との利用契約が必要です。



elgana（ビジネスチャットツール）連携

不在着信をelganaに通知することができます。また、受信したFAXの内容をelganaでPDFファイルとして閲覧することができます。ご利用には、APPユニット（オプション）とelgana連携アプリケーション（オプション）が必要です。



モバイル内線アダプタ収容

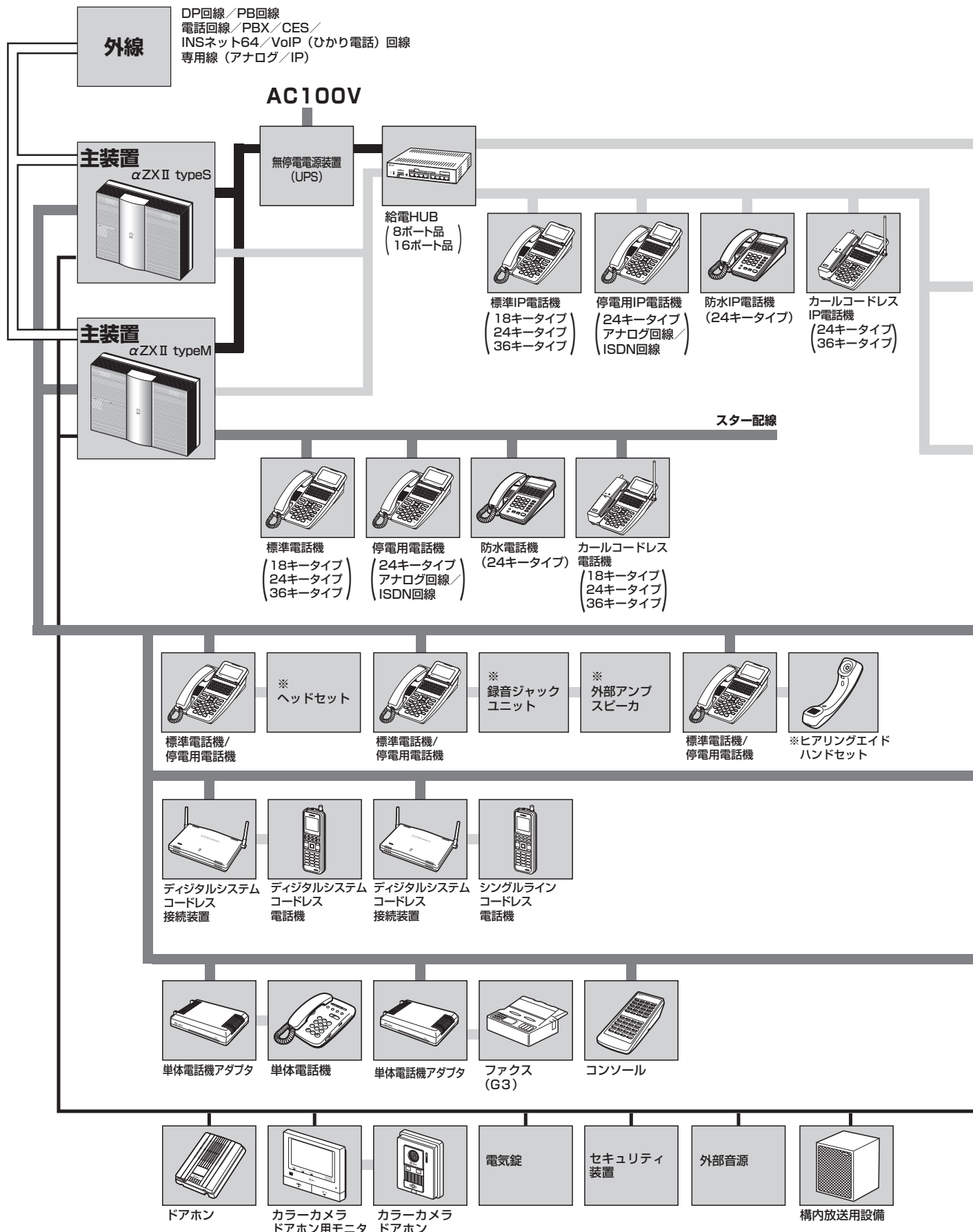
モバイル内線アダプタ（オプション）を収容することにより、社内でも社外でもスマートフォンを内線電話機として使用することができます。詳細は、モバイル内線アダプタの取扱説明書などを参照してください。



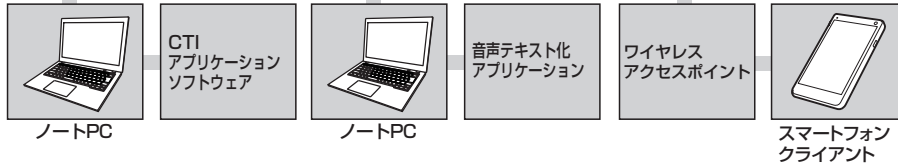
拠点連携

複数拠点の主装置を接続すると、拠点番号と内線番号をダイヤルすることで、内線通話をご利用になれます。ご利用には、BRU（オプション）と別途当社との利用契約が必要です。

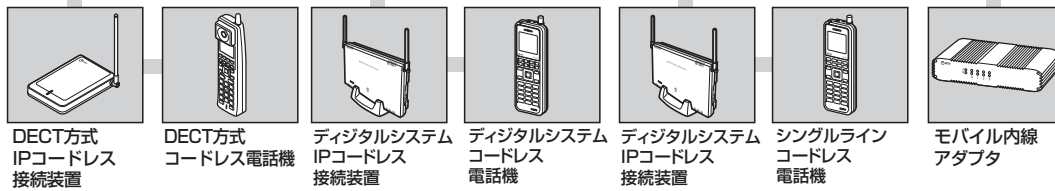
構成図



LAN (給電)



LAN (給電)



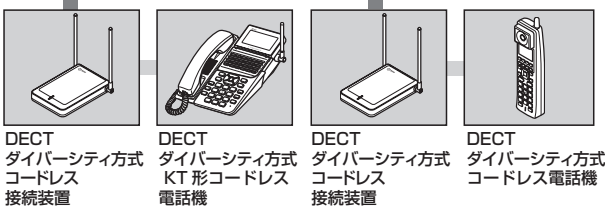
LAN (給電)



スター配線



スター配線



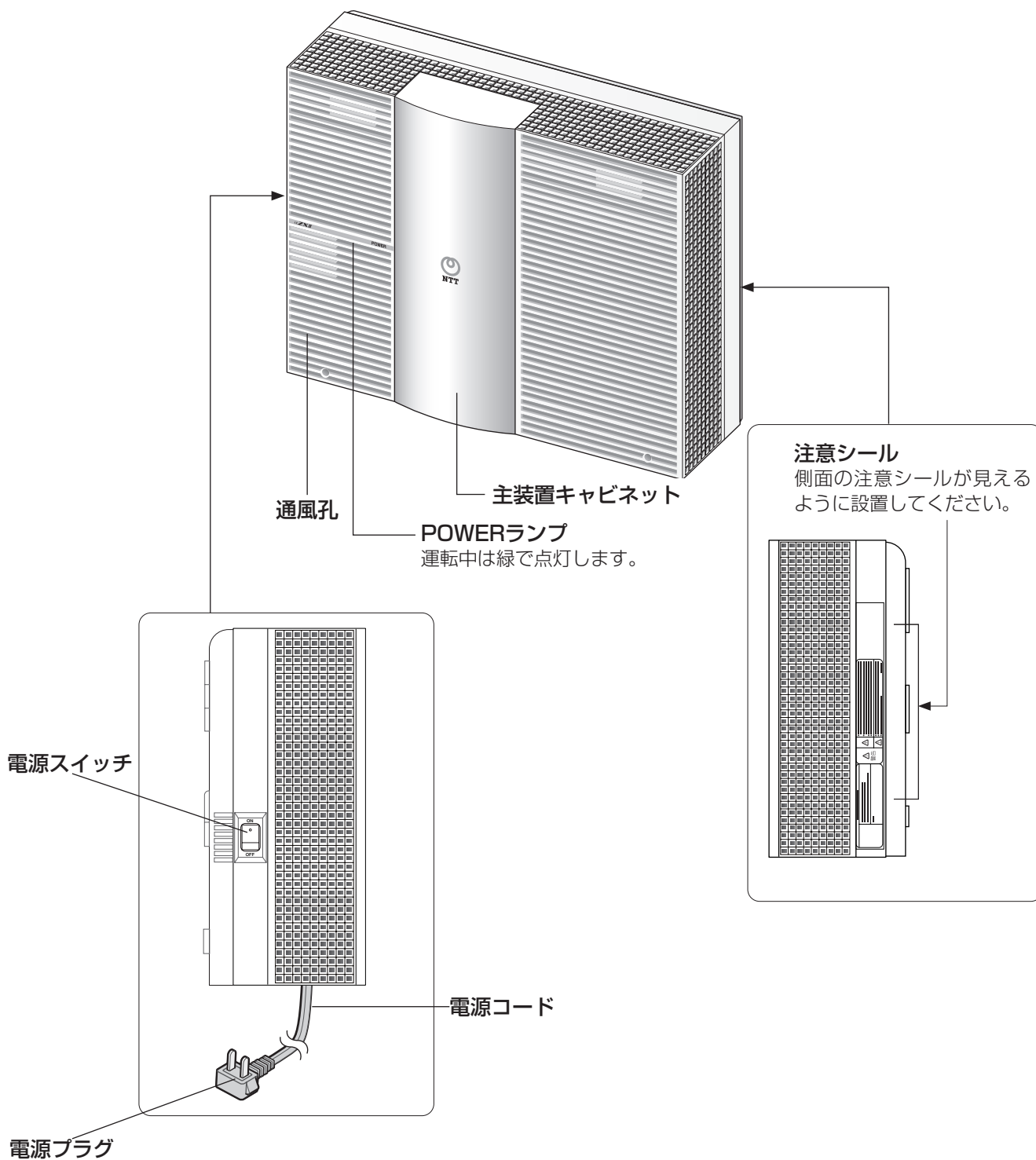
スター配線



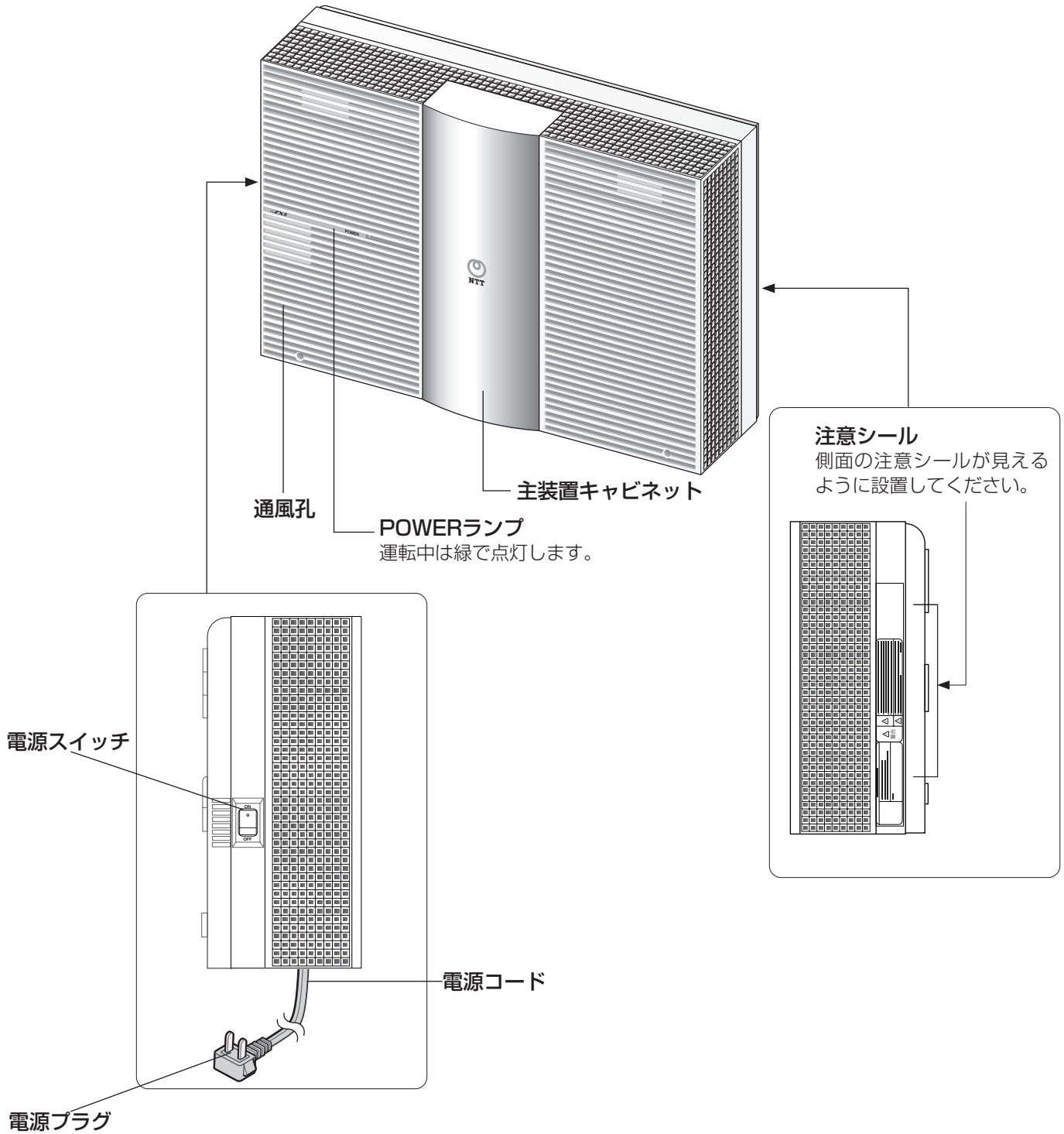
※：標準IP電話機・停電用IP電話機も可

各部の名前

主装置 (typeS)



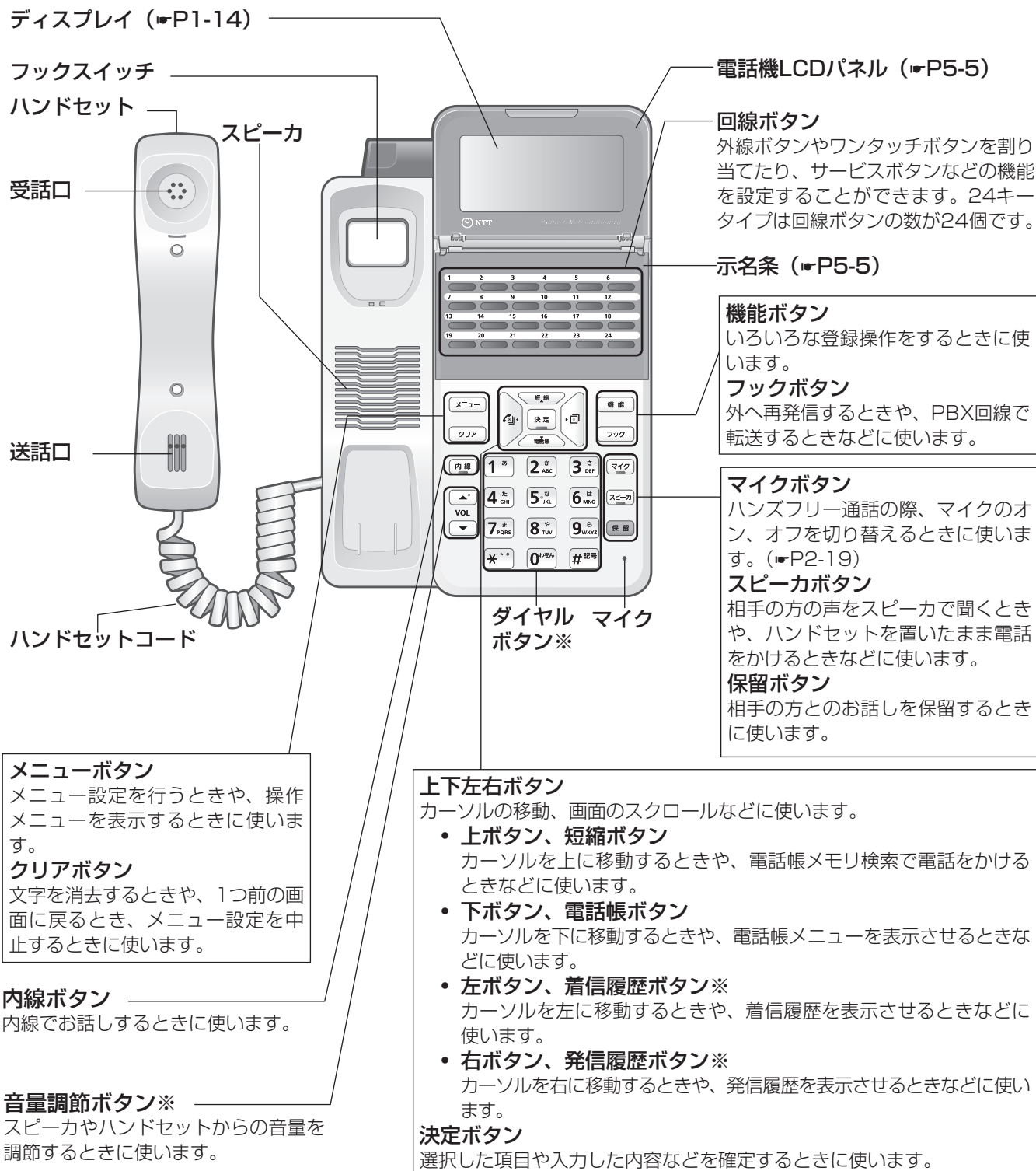
主装置 (typeM)



各部の名前

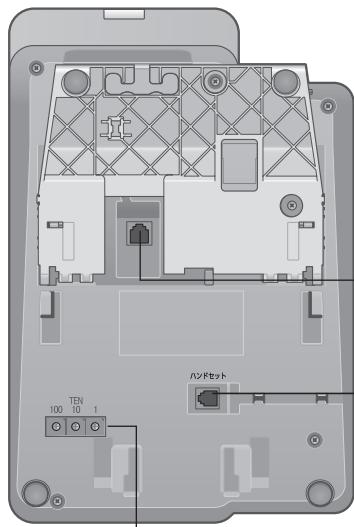
標準電話機（24キータイプ）

【前面】



※：ダイヤルボタン 、音量調節ボタンの の部分、左ボタン、右ボタンに突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

【底面】



電話機コード差込口

電話機コードを差し込みます。

ハンドセットコード差込口

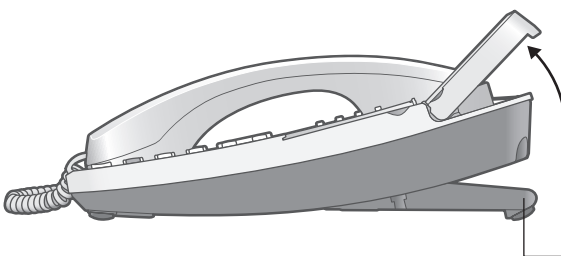
ハンドセットコードを差し込みます。

工事者設定用スイッチ

STOP お願い

- 工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります。

【右側面】



約45°までディスプレイ部分を
起こすことができます。

STOP お願い

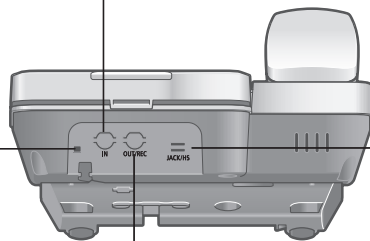
- ディスプレイを無理に起こしたり、動かしたりしないでください。

【背面】

入力端子差込口
音声会議装置等の出力端子を差し込みます。

外部アンプ接続用コード通し口
外部アンプスピーカなどを接続するときに、ここから接続用コードを出します。

出力端子差込口
通話録音装置やテープデッキなどの録音装置を接続するときに使います。



入力切替スイッチ

音声ハンドセットから入力する場合と、外付けの入力装置を使う場合で切り替えます。

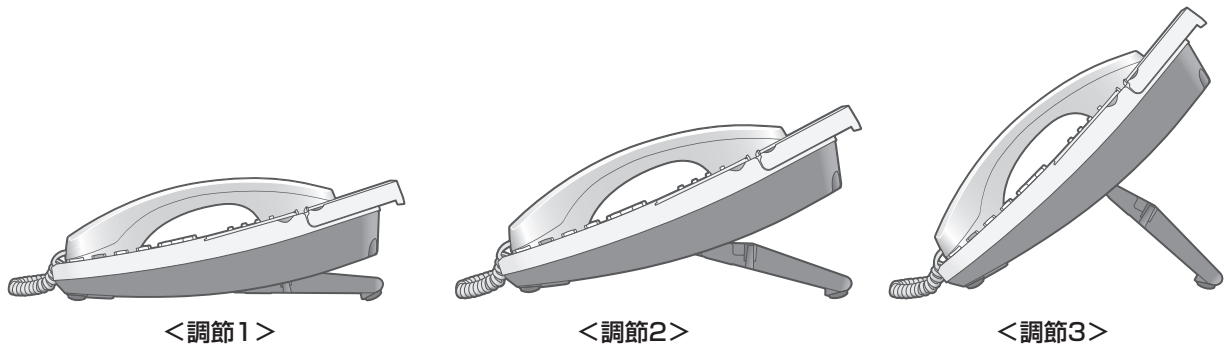


お知らせ

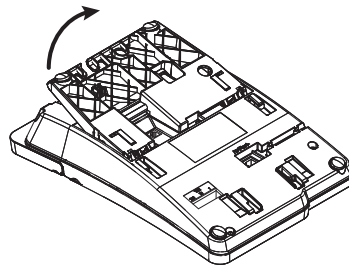
- 音声会議装置、通話録音装置、外部アンプスピーカなどを接続する場合は、録音ジャックユニット（オプション）が必要です。
- 音声会議装置を接続する場合は、入力切替スイッチを「JACK」に切り替えてください。

【角度調節足の設置方法】

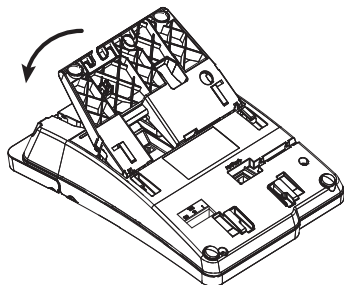
電話機の底面にある角度調節足で、3段階の角度で電話機を調節することができます。



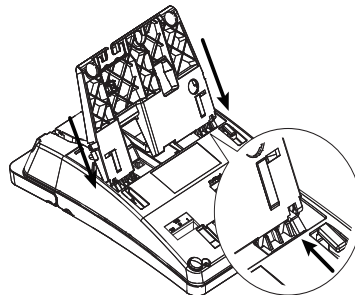
底面の角度調節足を持ち上げる。



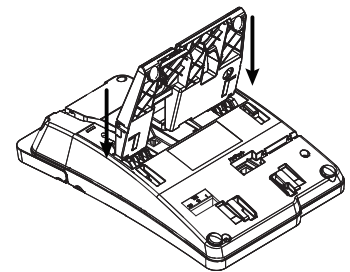
<調節1>
角度調節足を矢印の方に倒す。



<調節2>
角度調節足を矢印の方に差し込み、固定させる。



<調節3>
角度調節足を矢印の方に差し込み、固定させる。



STOP お願い

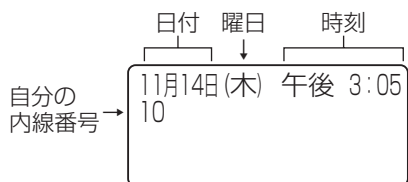
- 角度調節足が、固定されるまで電話機側に、しっかり差し込んでください。

各部の名前

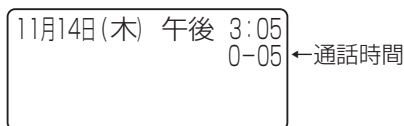
【ディスプレイの見かた】

ディスプレイ表示は、ダイヤル回線（DP回線）をご利用の場合、プッシュ回線（PB回線）をご利用の場合、ISDN回線をご利用の場合、VoIP回線をご利用の場合で異なります。この取扱説明書では、DP回線をご利用の場合を例として説明しています。

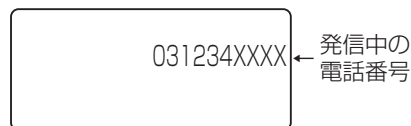
<時計・カレンダー表示例>



<通話時間表示例>



<ダイヤル発信中表示例>



■ディスプレイの表示例

待機中	11月14日(木) 午後 3:05 10	待機中のときに表示されます。	(DP回線) 外線通話	11月14日(木) 午後 3:05 0-05	DP回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
(DP回線) 外線発信	11月14日(木) 午後 3:05 外線	DP回線で外に電話をかけるときに表示されます。	(PB回線) 外線通話	11月14日(木) 午後 3:05 0-05 PB	PB回線で外の相手の方とお話し中のとき、またはPB信号が送出可能なときに表示されます。
(PB回線) 外線発信	11月14日(木) 午後 3:05 外線 PB	PB回線で外に電話をかけるときに表示されます。	(ISDN回線) 外線通話	11月14日(木) 午後 3:05 0-05 ISDN PB	ISDN回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
(ISDN回線) 外線発信	11月14日(木) 午後 3:05 外線 ISDN	ISDN回線で外に電話をかけるときに表示されます。	(VoIP回線) 外線通話	11月14日(木) 午後 3:05 0-05 VoIP PB	VoIP回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
(VoIP回線) 外線発信	11月14日(木) 午後 3:05 外線 VoIP	VoIP回線で外に電話をかけるときに表示されます。	(ISDN回線) キーパッド送出	11月14日(木) 午後 3:05 0-05 ISDN PB キーパッド	キーパッド送出 (ISDN回線) が可能なときに表示されます。



ワンポイント

○日付・時刻を設定するには

NTPサーバーに定期的に時刻の問合せを行い、NTPサーバーからの時刻情報をもとに日付・時刻を自動設定することができます。お買い求め時は、自動設定するように設定されています。メニュー設定で手動設定することもできます。(P4-25)

○ディスプレイのバックライトを点灯させるには

ディスプレイの照明を点灯させて、より見やすくすることができます。常時点灯させておくほか、ボタン操作をしたときに点灯するように設定することもできます。(P4-17)



お知らせ

- 表示内容は、「システム設定」によって異なることがあります。
- 通話時間は、保留や転送を行うといったんクリアされ、応答した内線電話機に保留した時間も含めて、継続して表示されます。
- 会議通話中にキーパッド送出はできません。
- (*)** を押した場合、ディスプレイには「*」と表示されます。

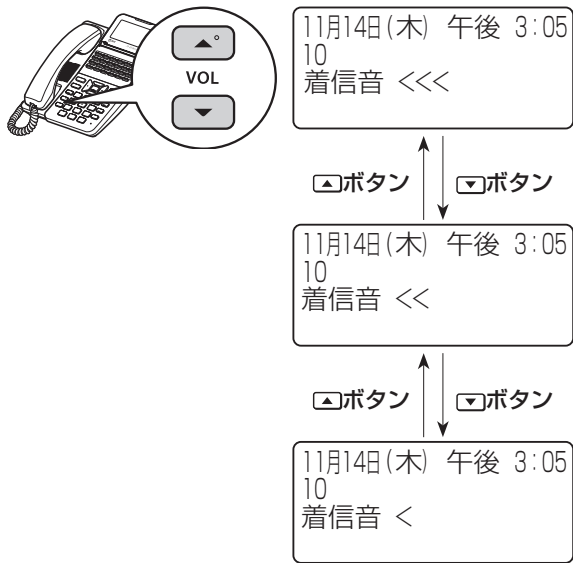
音量を調節するには

着信音量を調節する

内線電話機ごとに、外線や内線の着信音量を3段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

- 1 音量を大きくするときは▲ボタン、小さくするときは▼ボタンを押す。

着信音量の設定状態が表示されます。

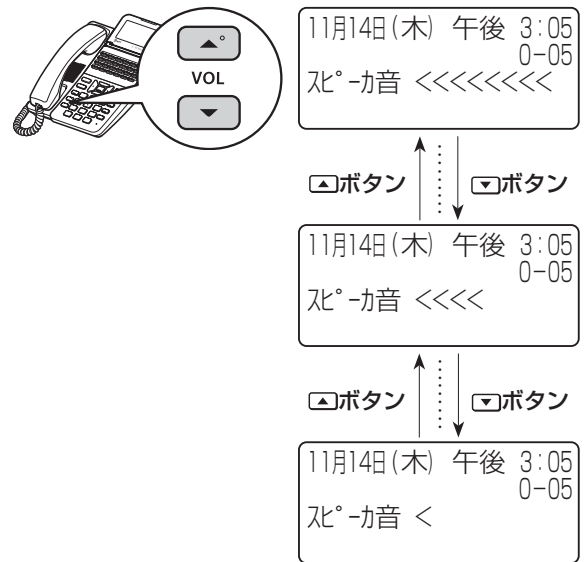


スピーカ音量を調節する

内線電話機ごとに、スピーカ受話中にスピーカ音量を8段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

- 1 スピーカ受話中に、音量を大きくするときは▲ボタン、小さくするときは▼ボタンを押す。

スピーカ音量の設定状態が表示されます。



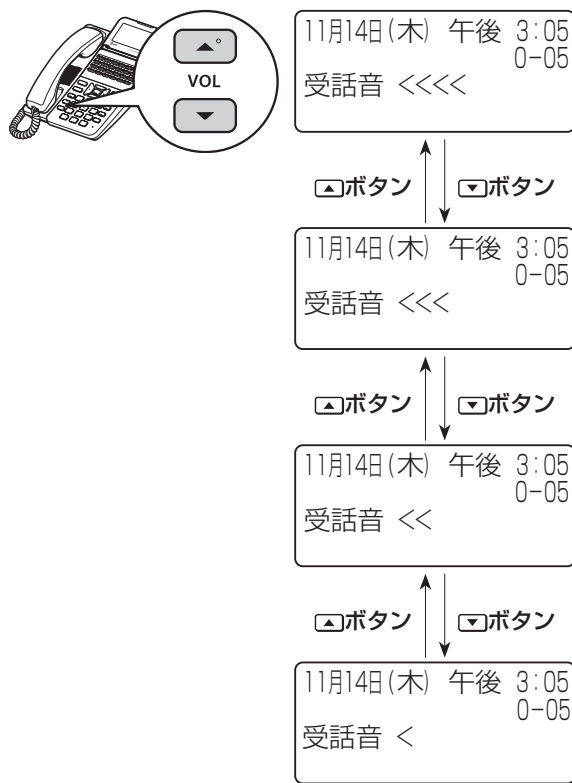
音量を調節するには

ハンドセット受話音量を調節する

内線電話機ごとに、ハンドセットでお話し中に、相手の方の声を4段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 お話し中に、音量を大きくするときは▲ボタン、小さくするときは▼ボタンを押す。

受話音量の設定状態が表示されます。



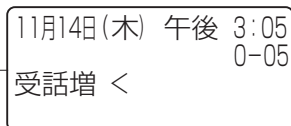
ワンポイント

●ハンドセット受話音量をさらに上げるには

ハンドセットの受話音量をさらに大きくできる「明瞭モード」があります。明瞭モードは、相手の方の声を7段階に調節できます。

ハンドセットでお話し中に、▲ボタンを長く押すと明瞭モード、▼ボタンを長く押すと通常モードになります。

明瞭モードの「<」（通常モードの「<<<<」に相当）に切り替わる



メニュー設定で受話増保持（☞P4-14）でも設定できます。

☑サービスボタンに「受話音量増大」の機能を割り当てると「システム設定」によって、回線ボタンにサービスボタン（受話音量増大）を割り当てると、サービスボタン（受話音量増大）を押すだけで、ハンドセット受話音量の明瞭モードと通常モードの切り替えができます。

サービスボタン（受話音量増大）を押して明瞭モードに切り替えると、サービスボタン（受話音量増大）ランプが赤く点灯し、再度サービスボタン（受話音量増大）を押して通常モードに切り替えるとランプが消えます。

（☞P3-10）

●音量が最大の時または最小のときは

最大のときに音量調節ボタンの▲を、最小のときに音量調節ボタンの▼を押しても音量は変わりません。



お知らせ

- 明瞭モードに切り替えても、ハンドセットを置くか、スピーカ受話にすると通常モードに戻ります。
- 明瞭モードに切り替えると、通話中に「サー」という音が聞こえることがありますが、周囲の雑音も大きく聞こえるためです。故障ではありません。



注意

音量レベルを大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。音量調節ボタンを使うときは、ハンドセットを耳から少し離し、必ずディスプレイで音量のレベルを確認してからご利用ください。

電話をかける／ 受ける／保留する

2

電話をかけるには（外線発信）.....	2-2
電話を受けるには（外線着信）.....	2-15
内線でお話しするには（内線通話）.....	2-17
ハンズフリーで電話をかける・受けるには	2-19
電話を保留するには	2-23

電話をかけるには（外線発信）

外線へ電話をかけるには次の方法があります。用途に合わせて電話のかけかたを選べます。

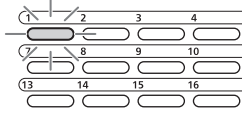
- ハンドセットを取りあげてかける（☎P2-2）
- ハンドセットを置いたままかける（オンフックダイヤル）（☎P2-4）
- 電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）（☎P2-5）
- 電話帳を使って電話をかける（電話帳ダイヤル）（☎P2-6）

ハンドセットを取りあげて かける

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

緑・2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05
外線

2 ハンドセットを取りあげる。



11月14日(木) 午後 3:05
外線

3 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。



031234XXXX

4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。



11月14日(木) 午後 3:05
0-05

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

- ワンタッチボタンで電話をかける（☞P2-11）
- 履歴を使って電話をかける（発信／着信履歴発信）（☞P2-12）
- 自動発信可能な外線の中から選んでかける（空き外線自動発信）（☞P2-14）
- 外線グループの中から選んで電話をかける（外線群指定発信）（☞P2-14）
- ハンズフリーで電話をかける（☞P2-19）



ワンポイント

- **外線ランプが赤く点灯しているときは**
他の内線電話機が外の相手の方とお話中のため、その外線ボタンを押して電話をかけることはできません。
- ☒ **外線ボタンの回線名称を確認するには**
外線ボタンの回線名称は「システム設定」で20桁まで設定することができます。ハンドセットを置いたまま、**機能**、外線ボタンの順に押すと、その外線ボタンの回線名称が表示されます。外線ランプが点灯しているときでも操作できます。
- **ハンドセットを取りあげてから電話をかけるには**
ハンドセットを取りあげてから、外線ボタンを押しても電話をかけられます。
- **お話しをスピーカで聞くには（スピーカ受話）**
ハンドセットでお話中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いて電話は切れません。ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話しに戻ります。
- **長時間通話を続けたときに警報音が鳴るようにするには**
通話時間が一定時間を超えたときに警報音でお知らせするように設定することができます。（☞P4-28）
- **INSネット64で料金表示させるには（☞P4-27）**



お知らせ

- 通話時間は最大9時間59分59秒「9-59-59」まで表示されます。10時間以上になっても表示は変わりません。
 - 通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合もありますので、目安としてご利用ください。
 - 外線への発信を規制することができます。（☞P4-21）
 - 手順3でディスプレイ2段目に表示される電話番号は20桁までです。21桁目を押すと1桁目が1段目に移動し、さらに1桁押すごとに2桁目以降が1段目に移動します。
 - ハンドセットを取りあげたとき、スピーカボタンを押したときには、オフック外線発信設定（☞P4-6）によって次のどちらかの状態になります。
 - 「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフック内線捕捉）
 - 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフック外線自動捕捉）
 - オフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線ボタンを押す必要はありません。
 - 外線ボタンまたは内線ボタンを押した場合の動作は、ワンタッチ／プリセクション設定により異なります。
 - 外線ボタンまたは内線ボタンを押すだけで発信できる（ワンタッチ捕捉）
 - 外線ボタンまたは内線ボタンに続きスピーカボタンを押して発信できる（プリセクション）
- この取扱説明書では、オフック内線捕捉および、ワンタッチ捕捉の状態の説明をしています。



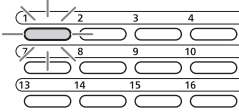
- ▶ **INSネット64をご利用になるには？**（☞P6-3）
- ▶ **VoIP回線をご利用になるには？**（☞P6-3）
- ▶ **一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）**（☞P6-4）

ハンドセットを置いたままかける （オンフックダイヤル）

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツーン」という発信音を確認してください。

緑・2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05
外線

2 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



031234XXXX

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

通話時間が表示されます。



11月14日(木) 午後 3:05
0-05

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

● 外線ボタンを押したときの設定を変更するには
（ワンタッチ／プリセクション）

空いている外線ボタンを押したあと、スピーカボタンを押して外線を捕捉するプリセクションサービスを利用するように設定を変更することができます。（☞P4-6）

● ハンドセットを置いたまま電話を切るには

時報（117）や天気予報（177）、プッシュホンサービスなどは、オンフックダイヤルで電話をかけたあと、ハンドセットを取りあげずにそのままお聞きになれます。電話を切るときはスピーカボタンを押します。



お知らせ

- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- オンフックダイヤルの場合、外の相手の方が出たあと、ハンドセットを取りあげてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。



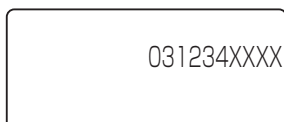
▶ INSネット64をご利用になるには？
（☞P6-3）

▶ VoIP回線をご利用になるには？（☞P6-3）

▶ 一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☞P6-4）

電話番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)

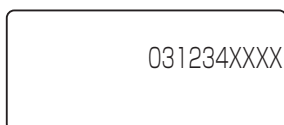
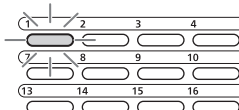
- 1** 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



- 2** 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

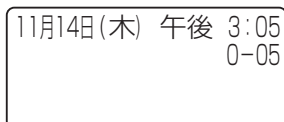
表示されている電話番号がダイヤルされます。

緑・2回消灯



- 3** 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

通話時間が表示されます。



- 4** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

- 番号を間違えて入力したときや、発信を中止するときは
電話番号を入力したあとで **クリア** を押すと、最後に入力したダイヤルが1文字ずつ削除されます。また、**クリア** を長く押すと、全桁削除されます。または、入力した文字がない状態では、発信が中止されます。
- 電話番号を押したままのときは
手順1のあと手順2を行わず、「プリセット読出タイマ」(P4-28)で設定されている時間が経過すると、時計・カレンダー表示に戻り、プリセットダイヤルが解除されます。
- ☑ **プリセットダイヤル利用の可否を設定するには**
お買い求め時は、プリセットダイヤルで電話をかけることができるように設定されています。プリセットダイヤル利用の可否は、「システム設定」により電話機ごとに設定を変えられます。
- **電話番号が表示されている秒数を変更するには**
お買い求め時は、6秒間に設定されています。1～30秒の間で設定を変えることができます。(P4-28)



お知らせ

- 手順2で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 手順1の電話番号は32桁まで入力できます。それ以上の入力は無視されます。
- プリセットダイヤルを利用されている場合でも、プリセクションサービスをご利用いただけます。



- ▶ **INSネット64をご利用になるには?** (P6-3)
- ▶ **VoIP回線をご利用になるには?** (P6-3)
- ▶ **一時的にこちらの音声相手が相手に聞こえないようにするには?** (送話カット) (P6-4)

電話帳を使って電話をかける（電話帳ダイヤル）

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておくと、簡単にダイヤルすることができます。電話帳の登録は「電話帳に登録するには」（P3-2）を参照して行ってください。検索は、フリガナ、メモリ番号、グループ、行のいずれかを使って行います。

■ 検索画面を表示する

1 電話帳ボタンを押す。
前回検索したときの検索画面が表示されます。

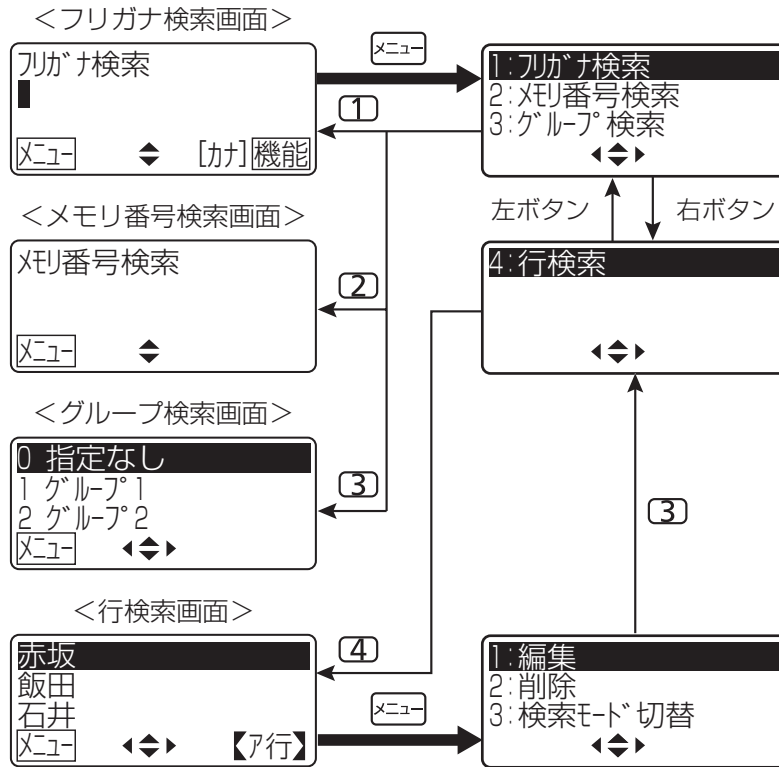
2 必要に応じて検索画面を切り替える。

【フリガナ検索、メモリ番号検索、グループ検索の各画面から】

- ① **メニュー** を押す
- ② 検索方法をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して **決定** を押す

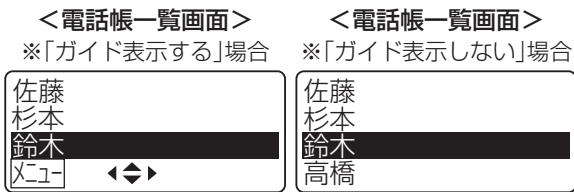
【行検索画面から】

- ① **メニュー** を押す
- ② 上下ボタンで「3：検索モード切替」を選択するか、**3** を押す
- ③ 検索方法をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して **決定** を押す



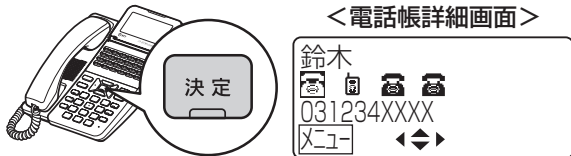
■フリガナで検索する

- フリガナ検索画面を表示する。（☞P2-6）
- 電話帳に登録したフリガナを入力し、上下ボタンを押す。
- 上下左右ボタンで目的の電話帳を選択する。



電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第1番号に発信する場合は、手順6に進みます。

- 決定を押す。



- 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



- 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。

手順3で電話帳を選択したあと、すぐに手順6を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第1番号で発信されます。

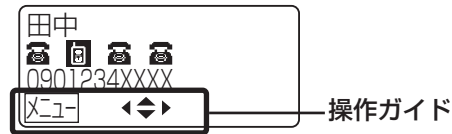


- 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。



ワンポイント

- 電話帳ガイド表示について
電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。（☞P4-20）

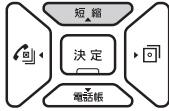


- フリガナ検索するときには
フリガナすべてを入力せずに、先頭の何文字かを入力するだけで検索できます。
- 電話帳の詳細を確認するには
電話帳一覧画面で [決定] を押すと、選択されている電話帳の詳細が表示されます。[クリア] を長く押すか、電話帳詳細読出タイム（☞P4-28）で設定されている秒数（お買い求め時：30秒）が経過すると、元の画面に戻ります。
- 外線通話中に電話帳の内容を確認するには
フリガナ検索またはグループ検索するには、「フリガナで検索する」または「グループで検索する」（☞P2-10）の手順1～5の操作を行うか、メニュー設定で電話帳検索（☞P4-4）を行います。
- 「184」や「186」を付加してダイヤルするには
電話帳に登録されている電話番号の前に、「184（電話番号を通知しない）」または「186（電話番号を通知する）」を付加してダイヤルするには、次のように操作します。
 - ① 電話帳を検索し、電話帳詳細画面を表示する
 - ② [メニュー] を押す
 - ③ 上下ボタンで「1：184付与」または「2：186付与」を選択し、[決定] または [1] か [2] を押す
 - ④ 外線ボタンを押す
- PBX（構内交換機）に収容されているときは
外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

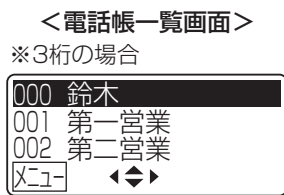
電話をかけるには（外線発信）

■メモリ番号で検索する

1 短縮ボタンを押す。

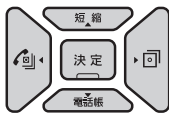


2 メモリ番号をダイヤルボタンで押す。

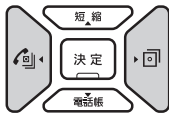


3 上下左右ボタンでかけたい電話帳を選択し、**決定** を押す。

電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第1番号に発信する場合は、**決定** を押さずに手順5に進みます。



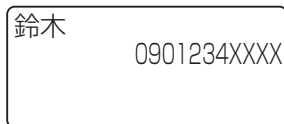
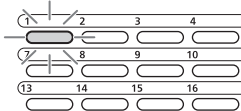
4 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。
手順3で電話帳を選択したあと、**決定** を押さずに手順5を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第1番号で発信されます。

緑:2回消灯



6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

お知らせ

- 通話モニタ中、通話割り込みによる三者通話中（P2-27）、会議通話中（P3-24）は、電話帳の内容の確認は行えません。
- 外線通話中は、電話帳の内容の確認のみ行えます。電話帳を使って電話をかけることはできません。
- 通話料無料（フリーダイヤル、116、113等）の相手との通話中には、電話帳の内容を確認できない場合があります。
- 電話帳一覧画面では、名称を登録していない場合はフリガナが、名称とフリガナを登録していない場合は電話番号が表示されます。
- サービスロックにより電話帳が規制されているときは、電話帳の画面が表示されません。

Q&A

- ▶ 一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（P6-4）
- ▶ 電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）（P6-6）



ワンポイント

電話帳のメモリ番号は

桁数※	共通電話帳		個別電話帳	
	件数	メモリ番号	件数	メモリ番号
2桁	80	00～79	20	80～99
3桁	800	000～799	200	800～999
4桁	9800	0000～ 9799	200	9800～ 9999



※桁数はシステム設定により変更でき、お買い求め時は3桁になっています。

●メモリ番号を全桁入力しないで検索すると

メモリ番号「999」まで使用できる場合（お買い求め時）、1桁（例：「1」）だけ入力すると、その数字を百の位とするメモリ番号（例：「100」）の電話帳が検索できます。2桁（例：「12」）だけ入力すると、その数字を百および十の位とするメモリ番号（例：「120」）の電話帳が検索できます。

「システム設定」により、2桁のメモリ番号「99」までしか使用しないように設定している場合は、1桁（例：「1」）だけ入力すると、その数字を十の位とするメモリ番号（例：「10」）の電話帳が検索できます。

●検索方式の記憶機能を利用するには

電話帳検索には、電話帳ボタンを押して開始する方法や、短縮ボタンから開始するメモリ番号検索のほか、から開始する方法（P4-4）があります。このうち、電話帳ボタンまたは から開始した検索で使用した検索方式は、個々の電話機に記憶されます。前回と同じ方式を使用するには、電話帳ボタンを押して検索を開始します。前回と同じ検索画面が表示され、検索方式を選択し直す手間が省けます。

●電話帳ボタンを使ってメモリ番号検索をするには

- ①電話帳ボタンを押して検索画面を表示する（P2-6）
- ②手順2以降の操作を行う

●外線ボタンを押してから電話帳をメモリ番号で検索するには

- ①外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す
- ②短縮ボタンを押す
- ③メモリ番号をダイヤルボタンで押す

○電話帳ガイド表示について

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。（P4-20）

●電話帳の詳細を確認するには（P2-7）

●外線通話中に電話帳の内容を確認するには（P2-7）

●「184」や「186」を付加してダイヤルするには（P2-7）

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

電話をかけるには (外線発信)

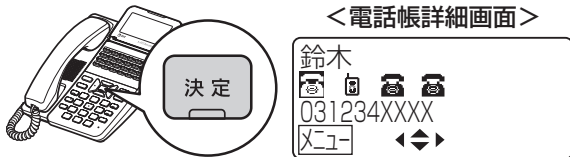
■グループで検索する

- 1 グループ検索画面を表示する。(P2-6)
- 2 検索するグループの番号をダイヤルボタンで押す。
- 3 上下左右ボタンで目的の電話帳を選択する。



電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第1番号に発信する場合は、手順6に進みます。

- 4 **決定** を押す。



- 5 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



- 6 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。

手順3で電話帳を選択したあと、すぐに手順6を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第1番号で発信されます。



- 7 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

■行で検索する

名称の先頭文字の行 (ア行～) から、目的の電話帳を検索します。

- 1 行検索画面を表示する。(P2-6)
- 2 左右ボタンで行を切り替える。



- 3 上下左右ボタンでかけたい電話帳を選択し、**決定** を押す。

電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第1番号に発信する場合は、**決定** を押さずに手順5に進みます。



- 4 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



- 5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。

手順3で電話帳を選択したあと、**決定** を押さずに手順5を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第1番号で発信されます。



- 6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

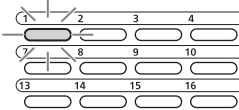
ワンタッチボタンで電話をかける

ワンタッチボタンが割り当てられているボタンに、よくかける相手の電話番号を登録しておくことで、簡単に電話をかけられます。ワンタッチボタンへの電話番号の登録は「ワンタッチボタンに登録する」(P3-8)を参照して行ってください。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

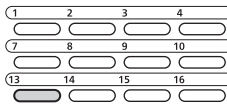
緑・2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05
外線

2 ワンタッチボタンを押す。

登録されている電話番号が表示されます。



031234XXXX

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

通話時間が表示されます。



11月14日(木) 午後 3:05
0-05



ワンポイント

- PBX（構内交換機）に収容されているときは
外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。
- PBX/CES回線に接続されているときは
相手先の電話番号の前に、外線発信番号を付けて登録してください。外線発信番号を登録していない場合は、一般の電話番号に発信できなくなります。

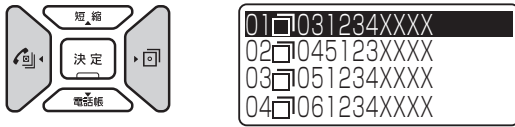


- ▶ 一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）(P6-4)
- ▶ ワンタッチダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）(P6-6)

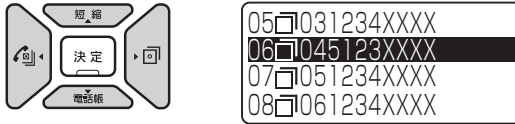
履歴を使って電話をかける （発信／着信履歴発信）

かけた電話番号やかけてきた方の電話番号などは、発信／着信履歴としてそれぞれ最新の52件分が保存されています。これらの電話番号を使って、簡単に電話をかけることができます。

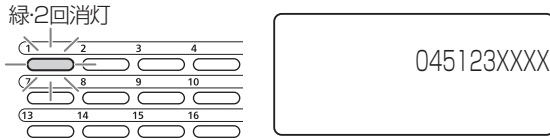
- 1** 発信履歴ボタンまたは着信履歴ボタンを押し、発信／着信履歴の一覧画面を表示する。



- 2** 上下左右ボタンで目的の履歴を選択する。

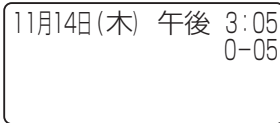


- 3** 外線ボタンが消えていることを確認し、外線ボタンを押し。



- 4** 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

通話時間が表示されます。



ワンポイント

- 着信履歴ランプを点滅させるには
電話がかかってきたことをランプの点滅（周期的に2回点灯）でお知らせすることができます。（P4-17）

- 着信履歴ランプが点灯しているときは
着信履歴を表示している間は点灯します。

- 一覧画面に表示される情報は

<発信履歴一覧画面>

発信履歴番号:最新の履歴から順に「01」～「52」

発信先の情報:電話番号(最大16桁)、名称(名称が登録されている電話帳を使って電話をかけた場合)



<着信履歴一覧画面>

着信履歴番号:最新の履歴から順に「01」～「52」

着信状態:「応(応答した)」、「不(応答しなかった)」、「他(他の内線電話機で応答した)」

発信者の情報:発信者の電話番号(最大16桁) / 内線番号、名称(電話帳に登録されている名称)





ワンポイント

☑ 相手の方の電話番号が通知されない理由を表示するには「システム設定」により、着信履歴に相手の方の電話番号が通知されない理由を次のように表示することができます。

ディスプレイ	理由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」や「発信者番号表示」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため、電話番号を通知できない場合に表示します。
受信エラー	一時的な回線の雑音などにより、データが正常に受信できなかったときに表示します。

● 発信／着信履歴の詳細を確認するには

一覧画面で **決定** を押すと、選択されている履歴の詳細が表示されます。一覧画面に戻るときは、**クリア** を押します。

<発信履歴詳細画面>

発信日時

11月14日 11:30AM
 第一営業
 045123XXXX

名称：名称が登録されている電話帳を使って電話をかけた場合にのみ表示
 電話番号（最大20桁を表示）

<着信履歴詳細画面>

着信日時

11月14日 11:30AM
 鈴木
 031357XXXX

名称：電話帳に登録されている場合、または発信者によって通知された場合にのみ表示
 電話番号（最大20桁を表示）または内線番号

● 履歴メニューを利用するには

発信／着信履歴の電話番号を電話帳に登録したり履歴を消去するには、履歴メニューを利用します。また着信拒否のグループに登録するにも履歴メニューを利用します。発信／着信履歴の一覧画面または詳細画面で **メニュー** を押すと、次のような履歴メニューが表示されます。

<発信履歴の履歴メニュー>

1: 電話帳登録
 2: 1件削除
 3: 全件削除

<着信履歴の履歴メニュー>

1: 電話帳登録
 2: 1件削除
 3: 全件削除
 4: 着信拒否グループ登録

目的の項目をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して **決定** を押します。

履歴メニューから一覧／詳細画面に戻るときは、**クリア** を押します。

時計・カレンダー表示に戻るときは、**クリア** を長く押します。

☑ 最後にかけた相手の方に自動的に再発信するには（簡易自動再発信）

相手の方がお話し中だったときや応答しなかったときに、自動的に再発信するようにセットすることができます。あらかじめ「システム設定」している必要があります。簡易自動再発信をセットすると、一定時間が経過したあと自動再発信し、設定された回数の再発信を一定時間ごとに繰り返します。ただし、PBX（構内交換機）に收容されているときは、PBXの種類によっては1度しか再発信しません。

<簡易自動再発信をセットする>

- ① 相手の方がお話し中か、応答しないときに発信履歴ボタンを押す
- ② ハンドセットを置くか、スピーカボタンを押す

<簡易自動再発信を解除する>

- ① 時計・カレンダー表示で内線ボタンを押す
 - ② 発信履歴ボタンを押す
 - ③ ハンドセットを置くか、スピーカボタンを押す
- または
- ① 自動再発信中にハンドセットを取り上げる



お知らせ

- 他の内線電話の発信／着信履歴を使って電話をかけることはできません。
- すでに発信／着信履歴が52件記憶されているときに新たに発信／着信があると、最も古い発信／着信履歴から自動的に消去されます。
- 着信履歴を表示中にかかってきた電話は、着信履歴に記憶されません。
- 他の内線電話機で保留または保留転送された電話に回答した場合は、相手先の情報が着信履歴に記録されます。
- 着信履歴の番号を表示するには、ナンバー・ディスプレイ（▶P3-57、P3-59、P3-60）や発信者番号通知（▶P3-58）の契約が必要です。

電話をかけるには（外線発信）

自動発信可能な外線の中から 選んでかける（空き外線自動発信）

「システム設定」した自動発信可能な外線の中から選んで、電話をかけることができます。

- 1 内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2 外線発信番号 (0 []) をダイヤルボタンで押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



11月14日(木) 午後 3:05
外線

- 3 ハンドセットを取りあげる。



11月14日(木) 午後 3:05
外線

- 4 電話番号をダイヤルボタンで押す。

031234XXXX

- 5 相手の方が出たら、お話しする。

外線グループの中から選んで 電話をかける（外線群指定発信）

外線グループに属する自動発信可能な外線の中から選んで、電話をかけることができます。

- 1 内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2 外線群指定発信番号 (8 ① ~8 ⑧ []) を押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



11月14日(木) 午後 3:05
外線

- 3 ハンドセットを取りあげる。



11月14日(木) 午後 3:05
外線

- 4 電話番号をダイヤルボタンで押す。

031234XXXX

- 5 相手の方が出たら、お話しする。

ワンポイント

外線グループとは

「システム設定」により、収容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。最大8つのグループに分けることができます。

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号または外線群指定発信番号を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

お知らせ

- オフフックダイヤル、プリセットダイヤルで電話をかけることもできます。
- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 手順2で「ブービー」と話中音が聞こえるときには、空いている外線がありません。

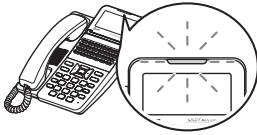
電話を受けるには（外線着信）

外線から電話を受けるには次の方法があります。外から電話がかかってくると、着信音が鳴るように指定した電話機から着信音が聞こえ、着信ランプと外線ランプが点滅します。

- 電話を受ける（☞P2-15）
- ハンズフリーで電話を受ける（☞P2-20）

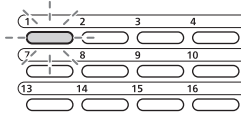
電話を受ける

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。



11月14日(木) 午後 3:05

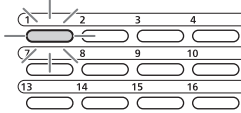
赤



電話帳グループごとに着信ランプの点滅色を変えるには（☞P4-5）

2 ランプが点滅している外線ボタンを押す。

緑・2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05

3 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。
通話時間が表示されます。



11月14日(木) 午後 3:05
0-05

4 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



お知らせ

- 着信メロディをお使いのときでも信号音で鳴る場合があります。
- 外の相手の方とお話中に、保留・転送する場合は、他の外線ボタンを押す前に、**保留**を押し、お話し中の電話が切れないようにご注意ください。
- 電話機ごとの設定により、着信音が鳴らず、着信ランプも点滅しないようにすることができます。（☞P4-8）
- 他の人が先に応答したときは、「ブーブー…」という話中音が聞こえ、外線ランプが赤く点灯したままになります。
- 着信音は、外線着信、PBX/CES内線着信、メンバーズネットなどの種別ごとに異なる周期で鳴ります。



- ▶ INSネット64をご利用になるには？（☞P6-3）
- ▶ VoIP回線をご利用になるには？（☞P6-3）
- ▶ 一時的にこちらの音声相手が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☞P6-4）
- ▶ 迷惑電話を着信拒否するには（☞P6-7）



ワンポイント

- **着信ランプとは**
着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。
- **一定時間内に応答しなかったときは（着信未応答警報）**
一定時間内に応答しなかったときは、着信音が警報音に切り替わるように設定できます。（P4-22）
- **外線または内線でお話中に電話がかかってきたときは（通話中着信）**
スピーカから通常より小さな音で着信音が聞こえます。
- **電話機ごとに着信音の音色を切り替えるには**
電話機ごとに外線の着信音、内線の着信音の音色を切り替えることができます。（P4-7）
- **電話帳グループごとに着信音を変えるには**
電話帳グループによって異なる着信音が鳴るように設定することができます。（P4-5）
- ☑ **外からの電話を特定の電話機に着信させるには**
ダイヤルインサービスやi・ナンバーサービスをご利用になると、外からかける方のダイヤル操作によって呼び出す電話機を特定できます。（P3-66）サービスのご利用にはご契約および「システム設定」が必要です。
- **ハンドセットを取りあげてから応答するには**
ハンドセットを取りあげてから、外線ボタンを押しても応答できます。
- **続けてかかってきた電話に応答するには**
ハンドセットを取りあげたまま、ランプが点滅している外線ボタンを押すと応答できます。
- **他の電話機に通話モニタを許可するには**
お話中に他の電話機に通話モニタを許可することができます。
 - ① お話中に **機能** を押す
 - ② 通話モニタの特番 (**☎ ☎** []) を押す（お話しを聞く内線電話機の外線ランプが点滅する）
 - ③ お話しを聞く内線電話機で、点滅している外線ボタンを押す
 通話モニタの許可を中止するときは、**✖** を押します。
- **着信音が鳴る状態になっているかどうかを確認するには**
外線着信音は、システムモード（P3-48）や外線着信鳴動設定（P4-7）、曜日毎鳴動モード設定（P4-8）などにより、時間帯によっては鳴らないように設定されていることがあります。
現在、外線着信音が鳴る状態になっているかどうかは、内線電話機ごとに確認できます。ハンドセットを置いたまま、**機能**、外線ボタンの順に押し、「ピッピッ」という確認音が聞こえたときは、外線着信音が鳴ります。ただし、着信中および通話中のときは、確認音が聞こえない場合があります。

内線でお話するには（内線通話）

他の内線電話機を内線番号で呼び出してお話することができます。内線通話には次の方法があります。

- ・内線でお話する（内線通話）（☞P2-17）
- ・ハンドセットを置いたまま内線でお話する（☞P2-21）

内線でお話する（内線通話）

呼び出す方

- 1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

- 3 呼び出された方が応答したら、ハンドセットを取りあげてお話しする。



11月14日(木) 午後 3:05
10

- 4 お話が終わったら、ハンドセットを置く。

呼び出される方



- 1 呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅する。



- 2 ハンドセットを取りあげて、お話しする。



11月14日(木) 午後 3:05
11

- 3 お話が終わったら、ハンドセットを置く。

2 電話をかける/
受ける/保留する

内線でお話するには（内線通話）
電話を受けるには（外線着信）



お知らせ

- 「ブーブー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 「呼び出す方」の手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。



ワンポイント

● 着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

● 内線の呼び出し方法を変えるには

内線で呼び出し中に **[0]** を押すと、呼び出し方法をトーン（信号音）から音声、または音声からトーン（信号音）に切り替えることができます。

● 音声呼び出しのときは

呼び出される方の手順1で、着信ランプは点滅しません。

● お話し中の方を呼び出すには

相手の方がお話し中のときに、**[*]** を押します。
相手の方には通常より小さな音で着信音が聞こえます。

● ハンドセットを取りあげずに応答するには （内線ハンズフリー応答）（P2-21）

● 他の電話機のお話しに自分の電話機から割り込むには

他の電話機が外線または内線でお話し中に自分の電話機の操作でお話しに割り込み、三者通話ができます。

- ① 内線ボタンを押す
- ② 他の電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す
- ③ 「ブーブー…」という話中音が聞こえている間に **[*]** を押す
相手の方には通常より小さな音で着信音が聞こえます。

- ④ **[*]** を押す
- ⑤ 3人でお話する

☒ 自グループ内の他の電話機を呼び出すには（ステップコール）

内線呼び出しをしたとき、相手の方がお話し中または応答しないときは、呼び出し中に **[#]** を押すと、「システム設定」した自グループ内の他の電話機を呼び出すことができます。

☒ 別の電話機で応答するには（代理応答）

内線ボタンに続けて、以下グループ番号の順に押し、ハンドセットを取りあげると指定したグループに属する電話機にかかってきた電話に応答できます。

- [#000]** : 自グループ
- [#001] ~ [#112]** : 他グループ (typeM)
- [#001] ~ [#006]** : 他グループ (typeS)
- [##]** : 全グループ

☒ すべての電話機（またはグループの電話機すべて）を一斉に呼び出すには（一斉・グループ呼出）

「システム設定」されたグループの電話機を同時に音声で呼び出すことができます。

<呼び出す方>

- ① 内線ボタンを押す
- ② 一斉呼出の特番 (**[*] 0 []**) またはグループ呼出の特番 (**[*] 1 ~ [*] 9 []**) を押す
- ③ 相手の方が応答したらお話しする

<呼び出される方>

- ① ハンドセットを取りあげる
「ツーツー」という音を確認してください。
- ② 一斉呼出応答の特番 (**[#] 8 0 []**) またはグループ呼出応答の特番 (**[#] 8 1 ~ [#] 8 9 []**) を押す
- ③ 相手の方とお話しする

☒ 内線の代表番号で呼び出すには

「システム設定」で内線代表呼び出し方式を順次呼出または、一斉呼出のどちらかを選択できます。

内線代表順次呼出：

呼び出す方の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」で設定された代表番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機1台を呼び出すことができます。

内線代表一斉呼出：

呼び出す方の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」で設定された代表番号を押すと、そのグループ内のすべての電話機を呼び出すことができます。

ハンドセットを置いたまま（ハンズフリー）電話をかけたり、受けたり、内線通話することができます。

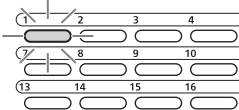
ハンズフリーで電話をかける

ハンドセットを置いたまま電話をかけることができます。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

緑2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05
外線

2 マイクボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
外線

3 電話番号をダイヤルボタンで押す。



031234XXXX

4 相手の方の声が聞こえたら、電話機のマイクに向かってお話しする。



5 お話が終わったら、スピーカボタンを押す。 マイクランプ、スピーカランプ、外線ランプが消えます。



11月14日(木) 午後 3:05
10

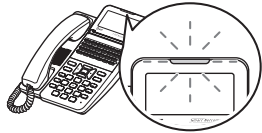


お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声が一時途切れることがありますが、故障ではありません。
- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

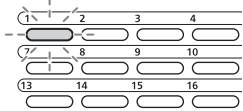
ハンズフリーで電話を受ける

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。



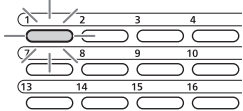
11月14日(木) 午後 3:05

赤



2 ランプが点滅している外線ボタンを押す。

緑・2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05

3 マイクボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
0-05

4 電話機のマイクに向かってお話しする。



5 お話しが終わったら、スピーカボタンを押す。
マイクランプ、スピーカランプ、外線ランプが消えます。



11月14日(木) 午後 3:05
11



ワンポイント

- 着信ランプとは
着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。
- ハンズフリーで内線通話するには (P2-21)
- ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しするには
ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話しできます。
- ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話するには
お話し中にスピーカボタン、マイクボタンの順に押しします。ハンドセットを置くと、ハンズフリー通話ができます。



お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声が一時途切れることがありますが、故障ではありません。
- ハンズフリーで電話を受ける場合は、手順どおり、外線ボタンの後にマイクボタンを押してからお話しください。ハンズフリーは、自動応答ではありません。

ハンドセットを置いたまま 内線でお話する

呼び出す方

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2** マイクボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 3** 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押し、内線呼び出しになったら **0** を押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

- 4** 相手の方が応答したら、電話機のマイクに向かってお話しする。

呼び出される方 (内線ハンズフリー応答)



- 1** 音声呼び出しされると、確認音が鳴り、内線ランプが赤く点滅する。



- 2** マイクボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
11

- 3** 電話機のマイクに向かってお話しする。
ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話できます。



2 電話をかける
受ける／保留する

ハンズフリーで電話をかける・受けるには



ワンポイント

●自動的に内線ハンズフリー応答するには

あらかじめマイクボタンを押して（マイクランプ点灯）おくと、音声呼び出されたらスピーカから相手の方の声が聞こえます。そのまま電話機のマイクに向かってお話しください。

☑内線ハンズフリー応答中の確認音を消すには

内線ハンズフリー応答中には、（3秒周期で定期的に）「ピッピッ」という確認音が聞こえます。「システム設定」によって、この確認音を消すことができます。



お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声が一時的に途切れることがありますが、故障ではありません。
- ハンズフリーで電話を受ける場合は、手順どおり、マイクボタンを押してからお話しください。ハンズフリーは、自動応答ではありません。

電話を保留するには

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。保留には、他の内線電話機でも電話に出ることができる共通保留と、他の電話機では出られない個別保留があります。また、保留した電話を、他の内線電話機や他の外線に取りつぐことができます。

保留する (共通保留)

- 1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝える。

お待ちください。



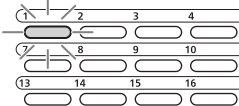
- 2 **保留** を押して、ハンドセットを置く。
相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。



11月14日(木) 午後 3:05
10

- 3 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押す。

緑:2回消灯



- 4 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。



11月14日(木) 午後 3:05
1-00

他の電話機で取れないように 保留する(個別保留)

- 1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝える。

お待ちください。



- 2 **機能** を押す。



11月14日(木) 午後 3:05
0-05
機能

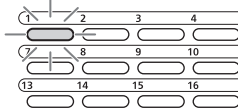
- 3 **保留** を押して、ハンドセットを置く。
相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
他の電話機では、外線ランプが赤く点灯します。



11月14日(木) 午後 3:05
10

- 4 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押す。

緑:2回消灯



- 5 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。



11月14日(木) 午後 3:05
1-00



ワンポイント

○保留忘れを防止するために

保留状態が一定時間続いたときに、電話機のスピーカから保留警報音が鳴るように設定することができます。
(☞P4-24)

☒保留警報音が鳴っても電話に出ないときは

「システム設定」により保留警報音が鳴ってから一定時間が経過したときは、自動的に電話が切れるように設定することができます。

☒保留メロディを電話機のスピーカから鳴らすには

「システム設定」により、スピーカからも保留メロディが流れるようにすることができます。(☞P4-51)

●個別保留の操作

機能、**保留** を順に押す代わりに、内線ボタンまたはダイレクトボタン (☞P4-50) を押して個別保留にすることもできます。

○保留メロディを変えるには

保留メロディを選択することができます。(☞P4-24)

☒内線／外線の通話をパーク保留するには

お話し中に「システム設定」した「パーク保留ボタン」を押すと、パーク保留となります。同一パーク保留ボタンを設定した電話機であれば、保留中の内線／外線に応答できます。

お話しを他の内線電話機に 転送する

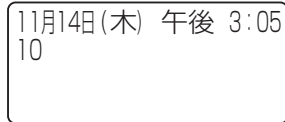
外の相手の方とお話しや内線通話を、他の内線電話機に取りつぎます。

呼び出す方

- 1 お話中に、相手の方に待っていただくように伝え、**保留**を押す。
相手の方には保留メロディが流れます。
「ツツツ…」という音を確認してください。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



- 2 取りつぐ内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。



- 3 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く。
または **決定** を押して転送することもできます。

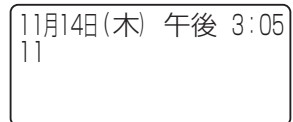
呼び出される方



- 1 呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅する。



- 2 ハンドセットを取りあげて、お話しする。



- 3 呼び出した方がハンドセットを置くと、外からの電話がつながるので、相手の方とお話しする。

お知らせ

- 「ブーブー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 転送先が保留転送制限されているときは、呼び出す方の手順3で決定ランプが点灯し、転送できないことがあります。



ワンポイント

- **着信ランプとは**
着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。
- **呼び出される方が近くにいるときは（口頭転送）**
共通保留（P2-23）の操作のあと、口頭で連絡してください。同じ外線ボタンを設定した電話機なら、ハンドセットを取りあげて外線ボタンを押すと、電話に出ることができます。
- **自グループ内の他の電話機を呼び出すには（ステップコール）**
内線個別呼び出しをしたとき、相手の方がお話し中または応答しないときは、**（#）**を押すと、自グループ内の他の電話機を呼び出すことができます。
- **別の電話機で応答するには（代理応答）**
内線ボタンに続けて、以下グループ番号の順に押し、ハンドセットを取りあげると指定したグループに属する電話機にかかってきた電話に応答できます。

（#）000	：自グループ
（#）001 ～ （#）102	：他グループ（typeM）
（#）001 ～ （#）006	：他グループ（typeS）
（#）（#）	：全グループ
- **呼び出された方が応答する前に転送するには（呼出状態転送）**
呼び出す方の手順3で、呼び出された方が応答する前にハンドセットを置くか、**（決定）**を押して、転送することもできます。呼び出された方は外線ランプが緑色で点滅して着信音が変わりますので、外線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげてお話しください。
- **呼び出される方が話し中か、または応答しないときは**
外線ボタンを押すと、再び元の相手の方とお話しすることができます。
- **内線の呼び出し方法を変えるには**
内線で呼び出し中に **（0）**を押すと、呼び出し方法をトーン（信号音）から音声、または音声からトーン（信号音）に切り替えることができます。
- **音声呼び出しのときは**
呼び出される方の手順1で、着信ランプは点滅しません。
- **PBX/CES回線 で、SmartNetcommunity αZX II typeS/typeM以外に接続された内線電話機に転送するには**
次の方法で、PBX/CES回線の転送機能を使うことができます。
 - ・ 外線に瞬断信号（フッキングパルス）を送出して転送する方法
 - ①お話し中にフックボタンを押す
 - ②内線番号をダイヤルボタンで押す
 - ③取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く

お話しを他の外線に転送する

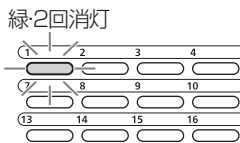
外の相手の方とのお話しや内線電話を、他の外線に転送することができます。

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、**保留**を押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
「ツツツ…」という音を確認してください。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 空いている外線ボタンを押す。 「ツ」 という発信音を確認してください。



3 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押す。 電話番号が表示されます。



031234XXXX

4 相手の方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、**決定**を押す。

転送が完了します。
手順2で押した外線ボタンのランプが周期的に緑で2回点灯します。



5 ハンドセットを置く。



ワンポイント

☒ 外の相手の方を他の外線に転送するには「システム設定」が必要です。

☒ ハンドセットを置くと転送されるようにするには「システム設定」により、手順4で**決定**を押す操作を省略できます。電話を取りつぐことを伝えたら、ハンドセットを置くだけで転送できます。

○ 相手の方が応答しないまたはお話し中の場合は保留中の外線ボタンを押すと、元の相手の方とのお話しに戻ります。別の転送先に転送するには、手順1から操作をやり直してください。

● 三者会議通話をするには

外線を他の外線に転送したときは、通話に割り込んで3人でお話しすることができます。手順4で**決定**を押して転送が完了したあと、内線ボタンを押して、**機能**、外線転送割込みの特番 (**5**) (**2**) [] の順に押すと、三者会議通話となります (4人目の追加はできません)。また、もう一度**決定**を押すと、2外線の通話に戻ります。



お知らせ

● 転送先へ保留転送規制されているときは、決定ランプが点灯し、転送できないときがあります。また、最初にお話ししていた通話を保留したあとで外線の着信に回答したときなどには、決定ランプが点灯し、転送が行えません。

MEMO

その他の機能

電話帳を登録するには	3-2
ワンタッチボタンによく電話をかける 番号を登録するには	3-8
よく使う機能をワンタッチ機能ボタンに 登録するには (サービスボタン)	3-10
着信を拒否するには	3-12
電話を転送するには (外線へ転送)	3-18
電話を転送するには (内線へ転送)	3-22
3人でお話しするには (会議通話)	3-24
留守番電話を利用するには	3-28
音声ガイダンスを作成するには	3-36
自動応答 (IVR) を利用するには	3-38
お話しを録音するには	3-40
他の人にメッセージを残すには	3-42
メッセージが録音されたことを 通知するには (音声メール着信通知)	3-43
電話に出られないときは (お待たせメッセージ)	3-44
外出先から電話をかけるには (コールバック)	3-45
外出先から機能の設定を操作するには (ダイヤリングサービス)	3-47
時間帯や曜日で設定を変えるには (システムモード)	3-48
使用できる機能を制限するには (サービスロック)	3-55
ご利用になれる各種ネットワークサービス	3-57



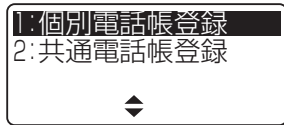
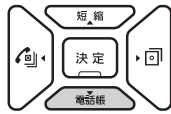
電話帳を登録するには

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておく、簡単にダイヤルすることができます。個々の内線電話機ごとに登録できる個別電話帳の他に、すべての内線電話機で利用できる共通電話帳があります。また、電話帳1件につき、最大4つの電話番号を登録できます。登録は、外線通話中にも行えます。

電話帳を登録する

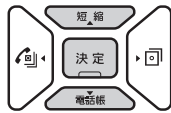
個別電話帳の登録は内線電話機ごと、共通電話帳の登録は「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☞P4-51）で行います。

1 電話帳ボタンを長く（2～3秒）押す。



2 上下ボタンで「1：個別電話帳登録」または「2：共通電話帳登録」を選択し、「決定」を押す。

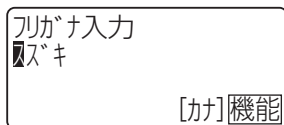
または ① か ② を押します。



3 名称を入力する。
「文字を入力する」(☞P3-6)を参照して名称を入力してください。



4 「決定」を押す。
漢字・かなモードで名称を入力した場合は、入力した文字が、そのままフリガナとして表示されます。

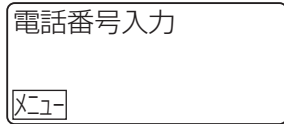


フリガナを変更する場合は、「文字を入力する」(☞P3-6)を参照して修正してください。

5 「決定」を押す。



6 「決定」を押す。



ワンポイント

電話帳の登録件数

電話帳は、typeSとtypeMで以下の登録件数になります。

桁数*	共通電話帳	個別電話帳	
		typeS	typeM
2桁	80	20 (×10台)	20 (×40台)
3桁	800	200 (×10台)	200 (×40台)
4桁	9800	200 (×10台)	200 (×40台)

*桁数はシステム設定により変更でき、お買い求め時は3桁になっています。

電話帳に登録できる内容は

項目	登録内容
名称	全角最大10文字。漢字／ひらがな（全角）、カナ／英字／数字（半角）が使用できる
フリガナ	半角最大12文字。カナ／英字／数字（半角）が使用できる
電話番号	最大32桁。ダイヤル（0～9、*、#）およびポーズを登録できる。最大4番号を登録できる
グループ	10のグループに分類できる
アイコン	8種類のアイコンから選択できる
メモリ番号	共通電話帳 2桁：00～79 3桁：000～799 4桁：0000～9799
	個別電話帳 2桁：80～99 3桁：800～999 4桁：9800～9999
発信番号属性	「一般外線番号」または「PBX内線番号」のいずれかを選択できる。お買い求め時は「一般外線番号」に設定されている

電話帳ガイド表示について

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。(☞P4-20)

登録中に前の画面に戻るには

フリガナ、電話番号、グループ、アイコンの各登録画面から前の画面に戻るには、「クリア」を押します。ただし、文字や数字の入力中は、入力文字を全て削除してから、「クリア」を押します。

登録を中止するには

「クリア」を長く押しすと、時計・カレンダー表示に戻ります。ただし、文字や数字の入力中は、入力文字を全て削除し、前の画面(手順5、9)に戻してから、「クリア」を長く押しします。



お知らせ

●手順4のフリガナ入力は、履歴からの電話帳登録時に自動入力されません。

7 電話番号をダイヤルボタンで押す。



電話番号入力

045○○○XXXX

Xニュー

8 決定を押す。

1: ☎

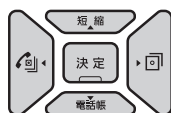
2: 直

3: ☎

◀▶

9 上下左右ボタンで登録したいアイコンを選択し、決定を押す。

または ① ~ ⑧ を押します。



名 鈴木
かすき

☎ 045○○○XXXX

◀▶ 登録保留

※「選択できるアイコンは」(ワンポイント)

10 複数の電話番号を登録する場合は、上下左右ボタンで「(未登録)」を選択し、決定を押す。

電話番号の登録を終了する場合は、手順12に進みます。

電話番号入力

Xニュー

11 手順7～9を行う。

12 上下左右ボタンで「GR 指定なし」を選択し、決定を押す。

0 指定なし

1 グループ1

2 グループ2

◀▶

13 上下左右ボタンで登録先のグループを選択し、決定を押す。

または ⑩ ~ ⑨ を押します。

☎ (未登録)

GR グループ2

◀▶ 登録保留

(次ページへつづく)



ワンポイント

● 選択できるアイコンは

番号	アイコン	番号	アイコン
1	☎	5	代
2	直	6	直
3	☎	7	Fax
4	🏠	8	☎

○ 発信番号属性を設定するには

電話番号入力画面で、次のように操作します。

- ① Xニューを押す
- ② 上下ボタンで発信番号属性を選択し、決定を押す

○ グループ名を登録するには

「指定なし」、「グループ1」～「グループ9」を、わかりやすい名称に変更できます。(P4-19)



- ▶ 電話番号にポーズ(待ち時間)を入れて登録するには? (P6-2)
- ▶ 電話帳が登録できないときは? (P6-3)

電話帳を登録するには

14 [保留] を押す。

空いている一番若いメモリ番号が3行目に表示されます。
メモリ番号を指定する場合は、メモリ番号をダイヤルボタンで押します。



※3桁・共通電話帳の場合

XFJ番号入力
000～799で指定 000

15 [決定] を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、手順14で指定したメモリ番号に登録されます。続けて登録するときは、手順16へ進みます。

※3桁・共通電話帳の場合

XFJ番号 000
に登録されました
決定ボタンで
連続登録できます

16 [決定] を押す。

手順2の画面に戻ります。手順3～15を繰り返すと、電話帳を続けて登録できます。

名称入力
[漢] [機能]

6秒以内に操作を行わなかったときは、待機状態に戻ります。



ワンポイント

○既存のメモリ番号に上書き登録するには

- ①手順14で上書きしたいメモリ番号をダイヤルボタンで押し、**決定** を押す
- ②上下ボタンで「1：はい」を選択し、**決定** を押す

○個別電話帳を全件削除するには (P4-4)

○共通電話帳を全件削除するには (P4-20)

共通電話帳の全件削除は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。

●登録されている電話帳を確認するには

- ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する (P2-6～)
- ②上下ボタンで確認したい電話帳を選択し、**決定** を押す
- ③電話帳の詳細画面で内容を確認する

●登録されている電話帳を編集／削除するには

電話帳の一覧画面または詳細画面から操作します。ただし、共通電話帳の編集／削除は、特定の内線電話機でのみ行えます。

<電話帳の一覧画面から編集／削除する>

- ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する (P2-6～)
- ②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択する
- ③**メニュー** を押す
- ④上下ボタンで「1：編集」または「2：削除」を選択し、**決定** を押す
または ① か ② を押します。
- ⑤編集する場合は、「電話帳を登録する」(P3-2)と同様の操作で内容を登録し直します。
- ⑥削除する場合は、上下ボタンで「1：はい」を選択し、**決定** を押します。

<電話帳の詳細画面から編集／削除する>

- ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する (P2-6～)
- ②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択し、**決定** を押す
- ③**メニュー** を押す
- ④上下ボタンで「3：編集」または「4：削除」を選択し、**決定** を押す
または ③ か ④ を押します。
- ⑤編集する場合は、「電話帳を登録する」(P3-2)と同様の操作で内容を登録し直します。
- ⑥削除する場合は、上下ボタンで「1：はい」を選択し、**決定** を押します。

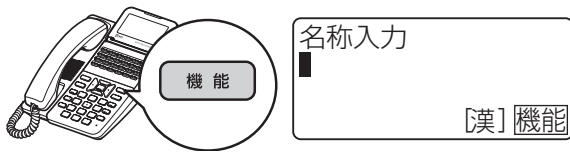
電話帳を登録するには

文字を入力する

<例>電話帳の名称登録画面で「鈴木」と入力する場合

1 文字が入力できる画面で、**[機能]** を押して入力モードを切り替える。

ここでは「漢」と表示される漢字・かなモードで入力を行います。



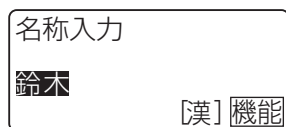
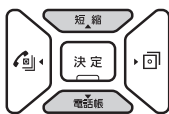
2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押す。「文字と機能の割り当て一覧表」を参照してください。(P3-7)

ここでは次のように押します。

- ①「す」：**[3]** を3回押す
- ②カーソルを右に移動：右ボタンを1回押す
- ③「す」：**[3]** を3回押す
- ④「」：**[X]** を1回押す
- ⑤「き」：**[2]** を2回押す



3 上下ボタンを押す。変換候補が表示されます。



変換候補が複数あるときは、上下ボタンを押すごとに次の候補が表示されます。また、「す」や「すす」だけの変換候補を表示させたいときは、左右ボタンで変換候補を指定し、再度上下ボタンを押します。

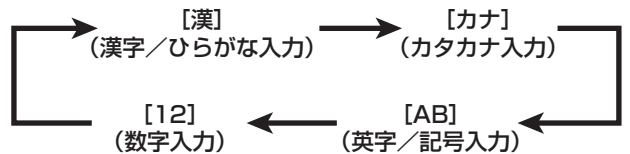
4 **[決定]** を押す。漢字が確定されます。



ワンポイント

●入力モードを切り替えるには

文字入力中に **[機能]** を押すと、入力モードが切り替わります。ただし、フリガナ入力の場合は漢字・かなモードには切り替えられません。



●続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するには
右ボタンを押してカーソルを右に移動します。

●入力した文字を消去するには

左右ボタンで消去する文字にカーソルを移動し、**[クリア]** を押します。カーソル位置に文字がないときは、カーソルの左側の文字が消去されます。

●全角カタカナを入力するには

漢字・かなモードでひらがなを入力して上下ボタンを押し、全角カタカナに変換します。



ワンポイント

●文字と機能の割り当て一覧表

1つのボタンに複数の文字や機能が割り当てられています。ボタンを繰り返し押すと文字が切り替わります。

ボタン	入力モード			
	漢字・かな（全角）	カナ	英字	数字
1 ^h	あいうえおあいうえお	アウエアイウエオ	操作無効	1
2 ^h	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3 ^h	さしすせそ	サシセソ	DEFdef	3
4 ^h	たちつてとっ	タチツテトツ	GHIghi	4
5 ^h	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6 ^h	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7 ^h	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8 ^h	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	8
9 ^h	らりるれろ	ラリルロ	WXYZwxyz	9
0 ^h	わをんー	ワン-	操作無効	0
* ^h	入力行※1	°°	操作無効	*
# ^h	-、。・！？@&#／：¥	@-#*	.@_()-#*	#
上下ボタン	入力中の文字に対する漢字変換候補を表示	操作無効		
左ボタン	入力行※1	変換範囲指定（左移動）	操作無効	
	決定行※2	カーソルを左に移動		
右ボタン	入力行※1	・変換範囲指定（右移動） ・未決定文字の確定	カーソルを右に移動 入力中は確定となる	
	決定行※2	カーソルを右に移動		
決定	選択された漢字変換候補を決定	決定		
クリア	1文字消去または漢字変換キャンセル	1文字消去		
	文字が1つもいないときは、前の画面に戻る			

※1：ディスプレイの3行目。漢字・かなモードで入力中の文字や変換中の文字が表示されます。

※2：ディスプレイの2行目。確定された文字が表示されます。

ワンタッチボタンによく電話をかける番号を登録するには

ワンタッチボタンが割り当てられているボタンによくかける相手の電話番号を登録しておく、簡単に電話をかけられます。1つのワンタッチボタンには32個までのボタン操作を、内線電話機ごとに登録できます。

ワンタッチボタンに登録する

1 **メニュー**を押す。



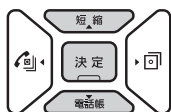
1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 **決定**を押す。
または **1** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

3 上下ボタンで「5: ワンタッチ」を選択し、**決定** を押す。
または **5** を押します。

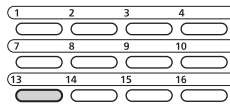


1: ワンタッチダイヤル登録
2: ワンタッチ機能ボタ登録
3: ワンタッチメモリ全削除

4 **決定** を押す。
または **1** を押します。

ワンタッチダイヤル登録
ワンタッチボタを押下してください

5 登録するワンタッチボタンを押す。



登録するボタン?
SpLK98765XXXX
ワンタッチ押下で決定

すでにワンタッチボタンが登録されているときは、その内容が表示されます。

6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。



登録するボタン?
031234XXXX
ワンタッチ押下で決定

7 手順5で押したワンタッチボタンを押す。

ワンタッチダイヤル登録
ワンタッチボタを押下してください

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、ワンタッチボタンが登録されます。
続けて登録するときは、手順5から繰り返します。

8 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10



- スピーカボタンや回線ボタンを押すと、ボタンに対応した記号がディスプレイに表示されます。



ワンポイント

●メニュー項目を選択するには

メニュー設定を行うときは、手順上段（太字）のように、上下ボタンと **決定** でメニュー項目を選択する方法と、手順下段（細字）のように、ダイヤルボタンでメニュー番号を押す方法（例：**11** **5** **11**）があります。

■ワンタッチボタンが割り当てられているボタンは

どの回線ボタンにワンタッチボタンが割り当てられているかは、電話機のタイプやオプションのご利用状況によって異なります。また、ワンタッチボタンを割り当てる回線ボタンは、「システム設定」によって変更できます。お買い求め時には、24キータイプの場合ワンタッチボタンは次のボタンに割り当てられています。

typeS：5～22の回線ボタン

typeM：13～22の回線ボタン

※お使いの電話機によって異なります。

●登録できるボタン操作は

ワンタッチボタンには、音量調節ボタン、ワンタッチボタンを除くすべてのボタン操作を登録することができます。1つのボタン操作を1個と数え、32個まで登録できます。よくお使いになるサービスを登録しておくとう便利です。

●登録しているワンタッチボタンを確認するには

機能、ワンタッチボタンの順に押すと、お買い求め時は、登録内容が約6秒間表示されます。

●ワンタッチボタンに内線番号を登録するには

- ①手順1～5の操作を行う
- ②内線ボタンを押す
- ③登録する内線番号をダイヤルボタンで押す
- ④手順7～8の操作を行う

●ワンタッチボタンに電話帳ダイヤルを登録するには

- ①手順1～5の操作を行う
- ②短縮ボタンを押す
- ③登録するメモリ番号をダイヤルボタンで押す
- ④手順7～8の操作を行う

●ワンタッチボタンの登録中の内容を1個消去するには

手順6で **クリア** を2回押します。

○ワンタッチボタンの登録内容をすべて消去するには

ワンタッチボタンに登録した電話番号やボタン操作をまとめて消去することができます。（P4-11）



▶ 電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには？（P6-2）

よく使う機能をワンタッチ機能ボタンに登録するには（サービスボタン）

「システム設定」によって特定の機能が登録されている回線ボタンを「サービスボタン」と呼びます。サービスボタンに登録されている機能は、使い勝手に合わせて内線電話機ごとに変更できます。

サービスボタンの機能を変更する

1 **メニュー** を押す。



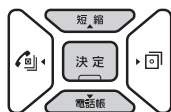
1: 電話機能設定
2: システム一括設定

2 **決定** を押す。
または **1** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

3 上下ボタンで「5:ワンタッチ」を選択し、**決定** を押す。
または **5** を押します。

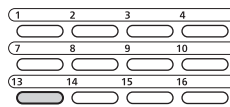


1: ワンタッチ登録
2: ワンタッチ機能ボタン登録
3: ワンタッチメモリ全削除

4 上下ボタンで「2:ワンタッチ機能ボタン登録」を選択し、**決定** を押す。
または **2** を押します。

ワンタッチ機能ボタン登録
サービスボタンを押下してください

5 変更するサービスボタンを押す。



ワンタッチ機能ボタン登録
システムモード切替
転送電話
留守番電話

6 上下ボタンで登録する機能を選択する。

ワンタッチ機能ボタン登録
システムモード切替
転送電話
留守番電話

選択できる機能は (P3-11)

7 **決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、ワンタッチ機能が登録されます。

ワンタッチ機能ボタン登録
サービスボタンを押下してください

続けて登録するときは、手順5から繰り返します。

8 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10



ワンポイント

○ 選択できるサービスボタン

サービスボタンは、23種類の中から選択してください。

選択できるサービスボタン	本書でのサービスボタンの表記	機能説明
システムモード切替	システムモード切替	システムモード(昼/夜/休憩/休日)を切り替える(☞P3-48)
転送電話	転送	☞P3-18
留守番電話	留守	☞P3-28
お待たせ	お待たせ	☞P3-44
音声メール(VM)通話録音モード切替	録音モード	通話録音モード(自動通話録音/手動通話録音)を切り替える
音声メール(VM)手動録音	録音	☞P3-41
音声メール(VM)終了	終了	☞P3-41
音声メール(VM)ポーズ	ポーズ	☞P3-41
音声メール(VM)コメント	コメント	☞P3-41
音声メール(VM)録音取消	録音取消	☞P3-41
音声メール(VM)呼出取消	呼出取消	☞P3-41
INS3者通話	INS3者通話	三者通話機能(☞P3-59)
INS通信中転送	INS通信中転送	通信中転送機能(サービス終了)
INS着信転送モード	INS着信転送モード	着信転送機能(☞P3-59)
INS着信転送	INS着信転送	着信転送機能(☞P3-59)
INS発信専用	INS発信専用	発信専用制御(サービス終了)
INS通信中着信停止	INS通信中着信停止	通信中着信通知(☞P3-59)
受話音量増大	受話音量増大	☞P1-16
セキュリティ	セキュリティ	☞P4-35
送話カット	送話カット	☞P6-4
サービスロック	サービスロック	☞P3-55
着信拒否	着信拒否	☞P3-12
高音質通話	高音質通話	☞P3-68

● サービスボタンの登録内容を確認するには

機能と確認したいサービスボタンを押すと、登録されている機能を確認できます。



お知らせ

- サービスボタンの機能を変更するには、あらかじめ「システム設定」によりサービスボタンが設定されている必要があります。
- メニュー設定で選択できる転送電話用と留守番電話用のサービスボタンは、一般着信用です。

着信を拒否するには

着信拒否は、以下の4種類があり、それぞれ用途に合わせて着信拒否の設定を選べます。

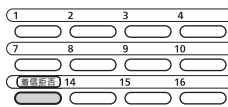
- 特定の電話番号からの着信を拒否する (▼下記)
電話番号が通知されている場合は、電話番号を共通電話帳の着信拒否が設定されているグループに登録して着信を拒否することができます。
- 非通知着信を拒否する (▼P3-14)
- 迷惑電話の着信を拒否する (オプション) (▼P3-15)
- 特定の国からの着信を拒否する (オプション) (▼P3-17)

特定の電話番号からの着信を拒否する

通話中に相手の方の電話番号を登録する

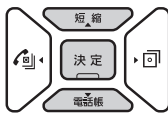
着信拒否を設定するには、あらかじめ「システム設定」でサービスボタン（着信拒否）を設定しておく必要があります。

- 1 外の方とお話中にサービスボタン（着信拒否）を押す。



着信拒否に登録しますか？
0:いいえ
1:はい

- 2 上下ボタンで「1:はい」を選択し、**決定** を押す。または **1** を押します。



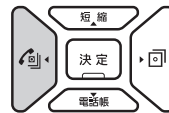
※3桁の場合

グループ9
メモリ番号799
に登録しました

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、空いている一番古いメモリ番号に、相手の方の電話番号が着信拒否登録されます。

お話しが終わってから着信履歴で登録する

- 1 着信履歴ボタンを押し、着信履歴の一覧画面を表示する。



01 通機営業
02 031234XXXX
03 他11
04 NTT太郎

- 2 上下左右ボタンで目的の履歴を選択する。



01 通機営業
02 031234XXXX
03 他11
04 NTT太郎

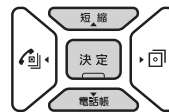
- 3 **メニュー** を押す。



1: 電話帳登録
2: 1件削除
3: 全件削除
4: 着信拒否グループ登録

- 4 上下ボタンで「4:着信拒否グループ登録」を選択し、**決定** を押す。

または **4** を押します。



着信拒否に登録しますか？
0:いいえ
1:はい

- 5 上下ボタンで「1:はい」を選択し、**決定** を押す。または **1** を押します。

※3桁の場合

グループ9
メモリ番号799
に登録しました

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、空いている一番古いメモリ番号に、相手の方の電話番号が着信拒否登録されます。



ワンポイント

●着信拒否登録を削除するには

電話帳の一覧画面または詳細画面から操作します。着信拒否は共通電話帳に登録されていますので着信拒否の登録削除は、特定の内線電話機でのみ行えます。

<電話帳の一覧画面から削除する>

- ① 電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する
(▶P2-6～)
- ② 上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択する
- ③ **メニュー** を押す
- ④ 上下ボタンで「2：削除」を選択し、**決定** を押す
または **2** を押します。

<電話帳の詳細画面から削除する>

- ① 電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する
(▶P2-6～)
- ② 上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択し、**決定** を押す
- ③ **メニュー** を押す
- ④ 上下ボタンで「4：削除」を選択し、**決定** を押す
または **4** を押します。

●通話中に相手の方の電話番号を表示させるには (▶P3-63)



お知らせ

- 「お話しが終わってから、着信履歴で登録する」手順3でサービスボタン（着信拒否）を押しても登録できません。
- 着信拒否グループに登録した電話番号がすでに共通電話帳の他グループに登録されていた場合、着信拒否が動作しない場合がありますので、すでに登録済みの電話番号を削除してください。
- 以下の場合は、通話中にサービスボタン（着信拒否）を押しても登録できません。
 - ・ 電話をかけた場合
 - ・ 保留中や会議通話中
 - ・ 電話帳アクセス
 - ・ 留守番電話や通話録音の利用中
- 使用できる電話帳のメモリ番号は、システム設定によって異なります。(▶P2-9)

着信を拒否するには

非通知着信を拒否する ＜システム一括設定＞

電話番号が通知されない場合、公衆電話からかかってきた場合、番号通知ができないエリアからかかってきた場合、それぞれの非通知理由ごとに着信拒否の設定ができます。

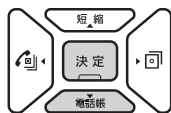
1 **メニュー**を押す。



1:電話機毎設定
2:システム一括設定

2 下ボタンで「2:システム一括設定」を選択し、**決定**を押す。

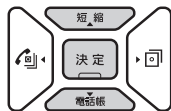
または **2**を押します。



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:保留

3 上下ボタンで「3:外線着信」を選択し、**決定**を押す。

または **3**を押します。



1:ガブアダ設定
2:着信未応答警報タイマ
3:システム着信ADAI設定
4:非通知着信拒否

4 上下ボタンで「4:非通知着信拒否」を選択し、**決定**を押す。

または **4**を押します。

非通知着信拒否
0:非通知
1:公衆電話
2:表示圏外

非通知 : かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっている場合

公衆電話 : 公衆電話からかかってきた場合

表示圏外 : 番号通知ができないエリアからかかってきた場合

5 上下ボタンで着信拒否する種別を選択し、**決定**を押す。

または **0** ~ **2**を押します。

＜例＞「非通知」の場合

非通知
0:拒否しない
1:拒否する

6 上下ボタンで「1:拒否する」を選択し、**決定**を押す。

または **1**を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、着信拒否が登録されます。

非通知着信拒否
0:非通知
1:公衆電話
2:表示圏外

着信拒否をしない場合は、「0:拒否しない」を選択して**決定**を押すか、**0**を押します。

続けて登録するときは、手順5から繰り返します。

7 **クリア**を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10



ワンポイント

○着信拒否時にガイダンスを流すには

着信を拒否する相手に対して以下のガイダンスを流すことができます。(P4-22)

非通知理由	ガイダンス
非通知	電話番号の前に「186」を付けてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。
公衆電話、表示圏外	電話番号を通知できる電話機からおかけ直してください。

■特定の電話番号に非通知でかかってきた電話を受けるには「システム設定」により、非通知着信拒否の利用中でも、特定の電話番号にかかってきた電話を受けることができます。



お知らせ

●非通知着信拒否を利用するには、「システム設定」とナンバー・ディスプレイの契約が必要です。

●ご利用のサービスや着信拒否ガイダンスの設定によって、着信を拒否する相手に流す音が異なります。

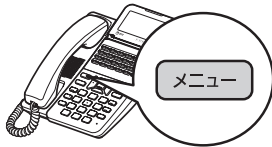
サービス	設定	流す音
INSネット64 VoIP回線／アナログ回線 (ダイヤルイン契約あり)	送出しない	話中音
	送出する	ガイダンス
アナログ回線 (ダイヤルイン契約なし)	送出しない	呼出音
	送出する	ガイダンス

●ガイダンス送出中の通話料は、着信を拒否する相手（電話をかけてきた方）に課金されます。

迷惑電話の着信を拒否する 〈システム一括設定〉

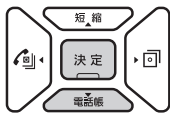
迷惑電話データベースの迷惑電話番号リストを取得し、リスト内にある電話番号からかかってきた場合、着信を拒否することができます。

1 **メニュー** を押す。



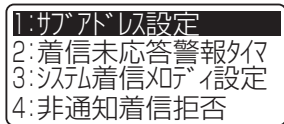
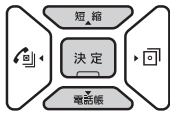
2 下ボタンで「2:システム一括設定」を選択し、**決定** を押す。

または **2** を押します。



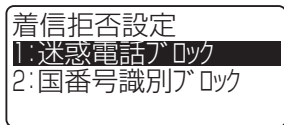
3 上下ボタンで「3:外線着信」を選択し、**決定** を押す。

または **3** を押します。



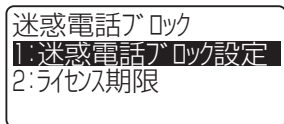
4 上下ボタンで「8:着信拒否設定」を選択し、**決定** を押す。

または **8** を押します。



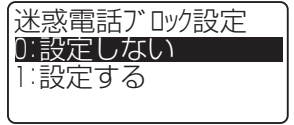
5 上下ボタンで「1:迷惑電話ブロック」を選択し、**決定** を押す。

または **1** を押します。



6 上下ボタンで「1:迷惑電話ブロック設定」を選択し、**決定** を押す。

または **1** を押します。

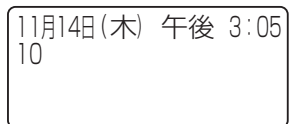


迷惑電話ブロックライセンスが登録されている場合は、「1:設定する」になっています。

7 上下ボタンで「1:設定する」を選択し、**決定** を押す。または **1** を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、迷惑電話の着信拒否が設定されます。

8 **クリア** を長く押す。



ワンポイント

- 迷惑電話番号リストにある電話番号からかかってきた電話を受けるには
迷惑電話番号リストに含まれる電話番号でも、共通電話帳に登録されている電話番号は、着信拒否の対象外です。
- 迷惑電話サービスを一時的に止めるには
手順7で、「0:設定しない」を選択してください。



お知らせ

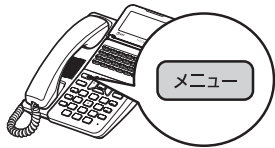
- 迷惑電話番号リストのダウンロード中(ディスプレイ表示「迷惑電話番号リストDL中」)は、主装置の電源を切らないでください。
- 迷惑電話の着信拒否を利用するには、ライセンスとインターネットの接続が必要です。

着信を拒否するには

迷惑電話のライセンス期限を確認する<システム一括設定>

迷惑電話の着信拒否は、迷惑電話ブロックライセンス (P9) で利用期間が設定されており、期間内かどうかを確認することができます。

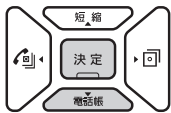
1 **メニュー** を押す。



1:電話機毎設定
2:システム一括設定

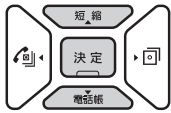
2 下ボタンで「2:システム一括設定」を選択し、**決定** を押す。

または **2** を押します。



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:保留

3 上下ボタンで「3:外線着信」を選択し、**決定** を押す。
または **3** を押します。



1:サブディスプレイ設定
2:着信未応答警報タイマ
3:システム着信通知設定
4:非通知着信拒否

4 上下ボタンで「8:着信拒否設定」を選択し、**決定** を押す。

または **8** を押します。

着信拒否設定
1:迷惑電話ブロック
2:国番号識別ブロック

5 上下ボタンで「1:迷惑電話ブロック」を選択し、**決定** を押す。

または **1** を押します。

迷惑電話ブロック
1:迷惑電話ブロック設定
2:ライセンス期限

6 上下ボタンで「2:ライセンス期限」を選択し、**決定** を押す。

または **2** を押します。

迷惑電話ブロックライセンスの期限を確認します。

ライセンス期限
2025/11/14

7 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10



お知らせ

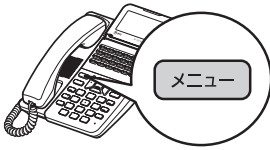
- 迷惑電話ブロックライセンスの更新を行わない場合、ライセンス期限を過ぎると、迷惑電話の着信拒否サービスを利用できなくなります。迷惑電話ブロックライセンスの更新については、当社のサービス取扱所にお問い合わせ下さい。

特定の国からの着信を拒否する<システム一括設定>

国番号など特定の番号を設定しておくことで、着信を拒否することができます。

あらかじめ着信履歴(☞P2-13)で着信拒否する特定の番号を確認してください。

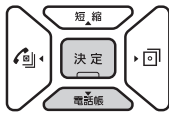
1 **メニュー** を押す。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 下ボタンで「2: システム一括設定」を選択し、**決定** を押す。

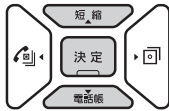
または **2** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 保留

3 上下ボタンで「3: 外線着信」を選択し、**決定** を押す。

または **3** を押します。



1: サブディスプレイ設定
2: 着信未応答警報タイマ
3: システム着信Xディスプレイ設定
4: 非通知着信拒否

4 上下ボタンで「8: 着信拒否設定」を選択し、**決定** を押す。

または **8** を押します。

着信拒否設定
1: 迷惑電話ブロック
2: 国番号識別ブロック

5 上下ボタンで「2: 国番号識別ブロック」を選択し、**決定** を押す。

または **2** を押します。

国番号識別ブロック
テーブル番号(01-40)?

6 登録するテーブル番号「1」を選択し、**決定** を押す。

国番号入力: 1

7 国際プレフィックスと拒否する国番号をダイヤルボタンで押す。

例: 「010」(国際プレフィックス) + 「111」(拒否する国番号)



国番号入力: 1
010111

8 **決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、国番号識別ブロックの着信拒否が設定されます。

9 **クリア** を押して、手順4の画面に戻し、**クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

ワンポイント

●登録できる番号は

登録できる番号は、最大40番号、最大20桁(0~9、*、#)までです。

●国番号を登録するには

国番号は、「010(国際プレフィックス番号)+国番号」で登録してください。着信履歴を確認して登録する場合も、先頭から国際プレフィックス番号を含めて登録してください。

●国番号の着信拒否を解除するには

解除するには、手順7で**クリア**を長く押ししてください。国番号が全桁削除されていることを確認して、手順どおり設定してください。

お知らせ

●新規登録するテーブル番号は、使用されていないテーブル番号を確認して入力してください。登録済みのテーブル番号を入力すると、上書きされます。

電話を転送するには（外線へ転送）

内線電話機ごとに転送先電話番号を登録しておき、かかってきた電話を自動的に転送させることができます（電話機起動転送）。電話機起動転送をセット／解除するには、あらかじめ「システム設定」でサービスボタン（転送電話）を設定しておく必要があります。

転送電話の転送先リストを登録する

転送先電話番号を3か所まで登録できます。登録は、内線電話機ごとにメニュー設定で行えます。

1 **メニュー** を押す。



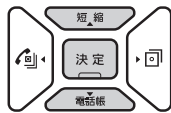
1:電話機毎設定
2:システム一括設定

2 **決定** を押す。
または **1** を押します。



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

3 上下ボタンで「4:留守/転送」を選択し、**決定** を押す。
または **4** を押します。



1:転送先リスト登録
2:留守メッセージ設定
3:留守番電話応答動作
4:圏外時サービス設定

4 **決定** を押す。
または **1** を押します。

転送先電話番号登録
1:電話番号1
2:電話番号2
3:電話番号3

5 上下ボタンで登録先を選択し、**決定** を押す。
または **1** ~ **3** を押します。

電話番号入力:1

6 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押す。



電話番号入力:1
031234XXXX

電話番号を押し間違えたときは、**クリア** を押します。

7 **決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、転送先電話番号が登録されます。続けて登録が行えます。

8 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

ワンポイント

- 転送先リストの登録内容を消去するには
手順5で内容を消去する転送先を表示させ、**クリア** を押し
て電話番号を消去して **決定** を押します。
- PBX/CES回線に接続されているときは
相手先の電話番号の前に、外線発信番号を付けて登録し
てください。
- 転送電話機能の設定を変更するには（P3-20）

お知らせ

- 転送先で電話に出たときに、音楽などの連続した音が聞こえ
たり、一定時間無音の状態が続く場合は、電話が切れること
があります。

転送電話の対象とする回線を設定する

電話がかかってきたときに転送電話を起動させる回線を設定します。

1 内線ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。



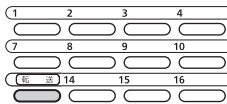
11月14日(木) 午後 3:05
内線

2 決定を押す。

「ツツツ…」という音を確認してください。



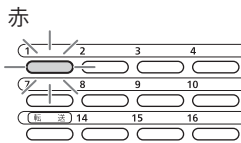
3 サービスボタン（転送）を押す。



転送電話回線設定

4 転送電話の対象とする外線ボタンを押す。

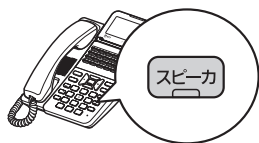
外線ランプが点灯します。設定を解除するときは、もう一度外線ボタンを押して外線ランプを消灯させます。複数の回線を設定するときは、続けて外線ボタンを押します。



5 決定を押す。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、転送電話対象回線が設定されます。

6 スピーカボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

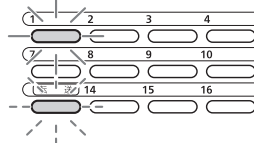
転送電話をセットする

外出時や退社時に内線電話機で転送をセットします。

1 サービスボタン（転送）を押す。

転送電話がセットされます。

赤・2回消灯
(転送電話対象回線の外線ランプ)



赤(例：サービスボタン(転送))



ワンポイント

● 転送を解除するには

セット時と同様に、サービスボタン（転送）を押します。転送が解除され、サービスボタン（転送）ランプと転送電話対象回線ランプが消灯します。

○ 転送電話機能の設定を変更するには（P3-20）

☑ 転送発信時に特定の回線を利用するには

「システム設定」により、転送発信時に特定の回線を利用することができます。



お知らせ

● 手順4で、すでに留守番電話の対象回線に設定されている外線ボタンを押しても、転送電話対象回線になりません。

● 「システム設定」により、ダイヤルイン着信などの電話機ごとの個別着信だけを転送することもできます。



▶ 転送電話ができないときは？（P6-6）

電話を転送するには（外線へ転送）

■ 転送電話機能の設定を変更する

必要に応じて、転送電話に関するさまざまな設定を変更することができます。設定は、メニュー設定の「システム一括設定」やWeb設定、または「システム設定」で行います。

概要	ご利用のヒント	参照ページ
転送開始のタイミングの設定 着信から転送開始するまでの秒数を設定します。	0～255秒の間で設定できます。 お買い求め時は、「5秒」（約5秒間着信音を鳴らし、その間に応答しなかった場合にのみ転送電話を開始する「未応答転送」）に設定されています。「0秒」に設定すると、着信音を鳴らさず、着信と同時に転送を開始します（無条件転送）。	留守／転送開始タイマ (P4-31)
転送先へ転送方式の設定 転送先リストに登録されている電話番号（最大3か所）への発信を同時に行うか、リストの登録順に順次行うかを設定します。	お買い求め時は、「順次転送」に設定されています。 「同時転送」が行われると、一度に複数の回線を使用することになります。たとえば、転送先リストに3か所登録されている場合には、3chを同時に使用します。回線数をご確認の上ご使用ください。	外線転送方式設定 (P4-31)
順次転送の時間設定 応答しなかった場合、次の転送先に転送開始するまでの秒数を設定します。	6～100秒で設定できます。 お買い求め時は、30秒で次の転送先を呼び出すように設定されています。	外線転送先呼出タイマ (P4-31)
転送元の呼び出しの設定 転送後の、転送元の呼び出しについて設定します。	お買い求め時は、「設定しない」に設定されています。転送電話の起動と同時に転送元の呼び出しを停止します。 「設定する」に変更すると、転送先で応答するか、電話をかけてきた方が呼び出しをやめるまで転送元への呼び出しが継続します。	転送元呼出継続設定 (P4-32)

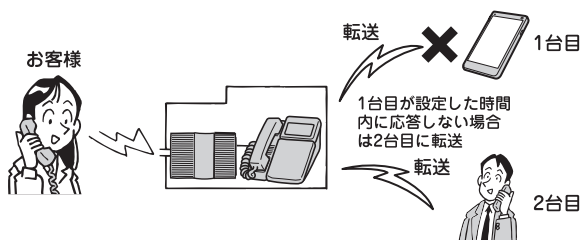


ワンポイント

● 順次転送と同時転送の違いは

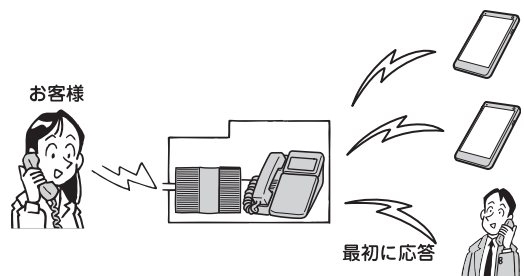
< 順次転送 >

かかってきた電話を、携帯電話などの電話に順次転送します。1台目の電話が設定した時間内に応答しなかった場合は、2台目の電話に自動的に転送します。



< 同時転送 >

かかってきた電話を、携帯電話などの電話に同時に最大3台まで転送します。最初に応答した電話につながります。



その他の転送電話の活用

P3-18～P3-20で説明した転送電話の他に、「電話帳グループ転送」、「システムモード転送」の2種類の転送機能が用意されています。どの転送機能を利用する場合も、使い勝手に合わせた詳細設定の変更が行えます。

■特定の相手先からの電話を転送する（電話帳グループ転送）

あらかじめ「システム設定」により発番号ダイヤルインを設定しておけば、特定の電話帳グループに登録されている相手からの電話だけを転送することができます。次のような準備が必要です。

- ① 転送する電話番号を転送先リストに登録する
「転送先リスト登録」(P4-31)
- ② 転送用のグループを登録し、①で設定した電話番号に転送用のグループを設定する
「グループ着信先設定」(P4-19)
- ③ 必要に応じて転送電話の設定を変更する
「転送電話機能の設定を変更する」(P3-20)

■システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じた転送を行う（システムモード転送）

システムモードが切り替わると、自動的に転送するように設定することができます。システムモード転送を行うには、「システム設定」が必要です。



ワンポイント

● 転送先リストに登録できる件数は

電話機ごとの転送先リスト (P4-9) は最大3件、共通の電話帳グループ転送やシステムモード転送の転送先リスト (P4-31) は20個のリストにそれぞれ最大3件登録できます。



お知らせ

- 回線の空き状況により転送できない場合があります。
- かかってきた電話が携帯電話に転送された場合、圏外やドライブモード中だった場合でも、かけてきた方にその旨をお知らせするガイダンスは流れないことがあります。

電話を転送するには（内線へ転送）

離席中など不在にしているとき、自分にかかってきた電話を、一時的に他の内線電話機に転送できます。不在着信転送を取りやめるときは、解除の操作を行います。

不在着信転送を登録する

1 **メニュー** を押す。



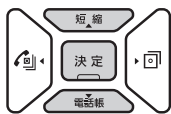
1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 **決定** を押す。
または **1** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

3 上下ボタンで「7: ドアホン/内線」を選択し、**決定** を押す。
または **7** を押します。



1: 内線呼び出し設定
2: 内線呼出音設定
3: 不在着信転送設定
4: ドアホン鳴動設定

4 上下ボタンで「3: 不在着信転送設定」を選択し、**決定** を押す。
または **3** を押します。

不在着信転送設定
転送先内線番号?

5 転送先の内線番号をダイヤルボタンで押す。



不在着信転送設定
転送先内線番号? 11

内線番号を押し間違えたときは、**クリア** を押します。

6 **決定** を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、不在着信転送が登録されます。

7 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10
不在着信転送

お知らせ

- 外線着信はダイヤルイン（個別着信）のみ転送することができます。
- ダイヤルイングループボタン（NK/NKG）へかかってきた電話を、不在着信転送することはできません。

不在着信転送を解除する

1 **メニュー** を押す。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

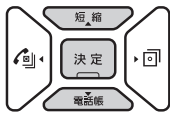
2 **決定** を押す。
または **1** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

3 上下ボタンで「7: ドアホン/内線」を選択し、**決定** を押す。

または **7** を押します。



1: 内線リダイヤル設定
2: 内線呼出音設定
3: 不在着信転送設定
4: ドアホン鳴動設定

4 上下ボタンで「3: 不在着信転送設定」を選択し、**決定** を押す。

または **3** を押します。

不在着信転送設定
転送先内線番号? 11

5 **クリア** を押す。



不在着信転送設定
転送先内線番号?

6 **決定** を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、不在着信転送が解除されます。

7 **クリア** を長く押す。

11月14日(木) 午後 3:05
10



ワンポイント

●不在時の表示について

不在着信転送で着信したときは、呼び出した方と、転送元の内線番号が同時に表示されます。

例：内線12 → 内線10 → 内線11
 || ||

(呼び出し) (不在着信転送)

<内線12での表示>

(呼び出した方)

11月14日(木) 午後 3:05
11
転送元
10

<内線11での表示>

(転送先)

11月14日(木) 午後 3:05
12
転送元
10



お知らせ

●留守番電話または転送電話が設定されている場合は、不在着信転送は行われません。

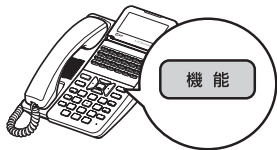
3人でお話するには（会議通話）

外線でお話し中、または内線でお話し中に、他の人を入れて3人または4人でお話することができます。外線との会議通話、内線での会議通話は、そばにいる人に声をかける方法、内線で他の人を呼び出す方法があります。また、2外線と会議通話することもできます。

外線通話中に口頭で会議通話を伝える

呼び出す方

1 外の方とお話し中に **機能** を押す。



11月14日(木) 午後 3:05
0-05
機能

2 口頭招集会議の特番 (2 []) を押す。



3 そばにいる人に声をかける。



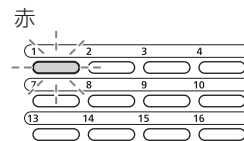
4 3人でお話する。

口頭招集会議中



会議に参加する方

1 ランプがゆっくり点滅している外線ボタンを押す。
「呼び出す方」の内線番号が表示されます。



11月14日(木) 午後 3:05
10

2 ハンドセットを取りあげる。



11月14日(木) 午後 3:05
10

3 3人でお話する。



ワンポイント

- 4人でお話するには
4人目の方は、会議に参加する方の手順で、他の電話機から会議通話に参加することができます。
- 他の人の割り込みを禁止するには
呼び出す方の手順2のあと (✕) を押すと、他の人が会議通話に参加できなくなります。

お知らせ

- 会議通話（口頭招集）が可能な人数は、最大4人までです。4人での会議通話は、2外線と2内線・1外線と3内線・4内線の3パターンの組み合わせが可能です。
- 会議は最大4組まで可能です。それを超える場合は会議を始められません。
- 通話録音、通話モニタ、フレックスホンは、会議通話ではご利用できません。

外線通話中に内線で 会議通話を伝える

呼び出す方

1 外の方とお話し中に **機能** を押す。



11月14日(木) 午後 3:05
0-05
機能

2 会議(内/外線ダイヤルの招集)の特番(11[])を押す。

「ツツツ…」という音が聞こえます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

11月14日(木) 午後 3:05
10

4 相手の方が応答したら、**決定** を押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10 -L

5 3人でお話する。



会議に参加する方



1 呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅する。



2 ハンドセットを取りあげてお話しする。



11月14日(木) 午後 3:05
11

3 呼び出した方が **決定** を押すと、外との電話がつながり、3人でお話できる。





ワンポイント

●着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

●4人でお話しするには

呼び出す方の手順で4人目の方を呼び出すと、4人でお話しできます。

●内線で呼び、内線3人でお話しするには

<呼び出す方>

- ①内線でお話し中に **機能** を押す
- ②会議（内／外線ダイヤル招集）の特番（**11** []）を押す
「ツツツ…」という音を確認してください。
- ③呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す
- ④相手の方が応答したら、**決定** を押す
- ⑤3人でお話しする

●2外線と3人でお話しするには

- ①外の方とお話し中に **機能** を押す
 - ②会議（内／外線ダイヤル招集）の特番（**11** []）を押す
「ツツツ…」という音を確認してください。
 - ③ランプの消えている外線ボタンを押す
「ツー」という発信音を確認してください。
 - ④相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押す
 - ⑤相手の方が出たら **決定** を押す
- ※手順③で外線発信番号（**00** []）または外線群指定発信の特番（**8 11** ~ **8 88** []）を押しても同じことが行えます。



お知らせ

- 2人が2外線で、1人が内線でお話ししているときに内線の方がハンドセットを置くと、外線の方どうしでお話しすることはできなくなります。
- 通話録音、通話モニタ、フレックスホンは、会議通話をご利用できません。

通話中の電話機を呼び出して 3人でお話する

割り込む方

1 割り込んでお話しする電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。



11月14日(木) 午後 3:05
話し中

2 **(*)** を押す。

11月14日(木) 午後 3:05
11

3 もう一度 **(*)** を押す。
3人での通話になります。

11月14日(木) 午後 3:05
11

割り込まれる方



1 スピーカから着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅する。



11月14日(木) 午後 3:05
12

2 3人でお話しする。

11月14日(木) 午後 3:05
10

留守番電話を利用するには

外出しているときや席を外しているときにかかってきた電話に対して自動的に応答メッセージを流し、用件（メッセージ）を録音できます。留守番電話をご利用になるには、あらかじめ「システム設定」でサービスボタン（留守番電話）を設定しておく必要があります。

留守番電話の対象となる回線を設定する

電話がかかってきたときに留守番電話を起動させる回線を設定します。

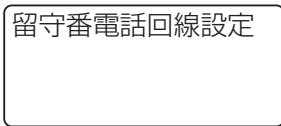
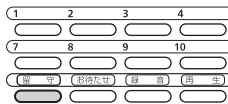
- 1 内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



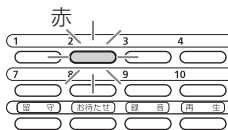
- 2 [決定] を押す。
「ツツツ…」という音を確認してください。



- 3 サービスボタン（留守）を押す。

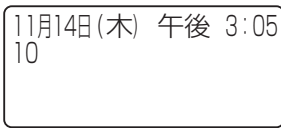


- 4 留守番電話の対象とする外線ボタンを押す。
外線ランプが点灯します。設定を解除するときは、もう一度外線ボタンを押して外線ランプを消灯させます。
複数の回線を設定するときは、続けて外線ボタンを押します。



- 5 [決定] を押す。
「ピーピー」という確認音が聞こえ、留守番電話対象回線が設定されます。

- 6 スピーカボタンを押す。

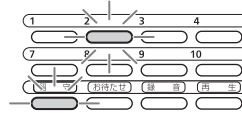


留守番電話をセットする

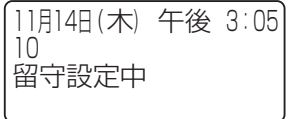
外出時や退社時に留守番電話をセットします。

- 1 サービスボタン（留守）を押す。
留守番電話がセットされます。

赤2回消灯(例：留守番電話対象回線の外線ランプ)



赤2回消灯
(例：サービスボタン(留守))



ワンポイント



- メッセージが録音されると
留守番電話などでメッセージが録音されると、ボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅します。
- 留守番電話を解除するには (P3-34)

お知らせ

- 手順4で、すでに転送電話の対象回線に設定されている外線ボタンを押しても、留守番電話対象回線に設定できません。
- 留守番電話の対象となる回線に着信しているときにサービスボタン（留守）を押すと、留守番電話が応答します。

■留守番電話機能の設定を変更する

必要に応じて、留守番電話に関するさまざまな設定を変更することができます。設定は、メニュー設定やWeb設定で行います。

概要	ご利用のヒント	参照ページ
留守番電話開始のタイミングの設定 着信から留守番電話開始までの秒数を設定します。	0～255秒の間で設定できます。 お買い求め時は、「5秒」（約5秒間着信音を鳴らし、その間に応答しなかった場合にのみ留守番電話を開始する）に設定されています。「0秒」に設定すると、着信音を鳴らさず、着信と同時に留守番電話で応答します。	留守／転送開始タイム (P4-31)
留守メッセージの設定 留守番電話の応答メッセージを設定します。	<p>応答専用／録音用メッセージは、「出荷時設定」または「録音メッセージ」を選択できます。 応答専用／録音用の「出荷時設定」の内容は以下のとおりです。</p> <p><録音用>  ただいま留守しております。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。 応答メッセージを流したあと、相手の方のメッセージを録音します。</p> <p><応答専用>  ただいま留守しております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。 応答メッセージを流したあと、電話を切ります。</p> <p>「録音メッセージ」を選択すると、自分の声で録音した応答メッセージをガイダンスとして流すことができます。</p>	留守メッセージ設定 (P4-9、P6-15)
留守番電話応答動作の設定	留守番電話で応答したときの動作を、録音用または応答専用のどちらかに設定することができます。お買い求め時は、応答メッセージを流したあとに相手の方のメッセージを録音する「録音用」に設定されています。	留守番電話応答動作 (P4-9、P6-15)



▶ 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？ (P6-6)

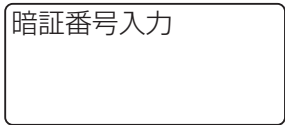
留守番電話を利用するには

録音内容を再生する

留守番電話で録音されたメッセージを再生します。ボックスにメッセージが録音されると、内線電話機のボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅します。

1 ボックス（再生）ボタンを押し、ハンドセットを取りあげる。

<例>暗証番号が登録されている場合



<暗証番号が登録されているときは>

暗証番号と#をどうぞ。

手順2へ進みます。

<暗証番号が省略されているときは>

新しいメッセージが××件あります。

手順3へ進みます。

2 暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、続けて(＃)を押す。

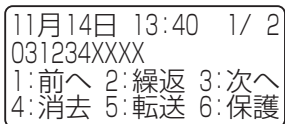
お買い求め時は「0000」が設定されています。



新しいメッセージが××件あります。

3 メッセージの内容を確認する。

メッセージが順番に再生されます。



メッセージ再生中にできる操作は (P3-31)

すべてのメッセージの再生が終了すると、

メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。

4 ハンドセットを置く。

お知らせ

- 暗証番号は内線電話機ごとに設定することができます。(P4-16)
- 録音件数は2桁で表示されます。録音件数が100件を超える場合でも「99」と表示されます。
- メッセージ再生時、ディスプレイに相手先が表示されない場合があります。



ワンポイント

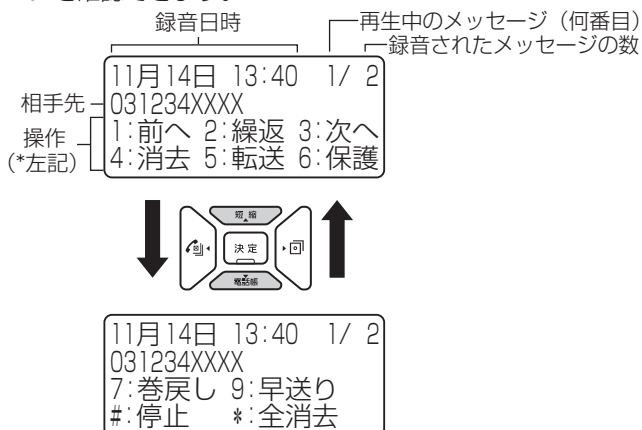
●メッセージ再生中にできる操作

次のボタン操作が行えます。

操 作	押すボタン	操作後の動作
前へ	①	1つ前のメッセージを再生する
繰返	②	再生中のメッセージを最初から再生する
次へ	③	次のメッセージを再生する
消去	④	再生中のメッセージを消去する
転送	⑤	再生中のメッセージを他のボックスに転送する
保護	⑥	再生中のメッセージを保護（自動消去禁止・全消去禁止）に設定する
巻戻し	⑦	メッセージを巻き戻しする
早送り	⑧	メッセージを早送りする
停止	⑨	再生を停止し、下記のガイダンスが聞こえる <ul style="list-style-type: none"> 新しいメッセージがある場合 再生中のメッセージの再生を終了しました。新しいメッセージの再生は1を押してください。 新しいメッセージがない場合 再生中のメッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。
全消去	⑩	ボックス内のメッセージをすべて消去する

●操作用のボタンを確認するには

上下ボタンを押すと、メッセージ再生中に使用するボタンを確認できます。



●保存メッセージを再生するには

お買い求め時は、新しいメッセージの再生終了後、再度操作をすることにより保存メッセージ（再生済み）を再生するように設定されています。新しいメッセージと保存メッセージを合わせて再生するには、新規メッセージ優先設定を「優先しない」に設定します。（P4-10）このとき、メッセージの件数をお知らせするガイダンスは、次のようになります。

再生中のメッセージ (何番目)
録音されたメッセージの数

新しいメッセージが××件、保存メッセージが××件あります。

また、メッセージの再生終了後のガイダンスは、次のようになります。

メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。

●メッセージの再生順序を変更するには

お買い求め時は、古い順に再生するように設定されています。メッセージを新しい順に再生することもできます。（P4-10）

留守番電話を利用するには

ボックス番号を指定して 録音内容を再生する

ボックスに録音されたメッセージを、ボックス番号（内線番号）を指定して再生することができます。

- 1** 内線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげる。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2** 音声メール用のアクセス番号 (☎ ☎ ☎ []) を押す。



11月14日(木) 午後 3:05
701 音声メール

録音は1、再生は2を押してください。

- 3** ☎ を押す。

BOX番号入力

ボックス番号と#をどうぞ。

- 4** 確認したい相手のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて (#) を押す。

<例>相手のボックス番号が11の場合

BOX番号入力 11



暗証番号入力

<暗証番号が登録されているときは>

暗証番号と#をどうぞ。

手順5へ進みます。

<暗証番号が省略されているときは>

新しいメッセージがある場合：

新しいメッセージが××件あります。

新しいメッセージがない場合：

保存メッセージが××件あります。

手順6へ進みます。

新しいメッセージも保存メッセージもない場合：

メッセージはございません。

ご利用ありがとうございました。

- 5** 暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、続けて (#) を押す。

お買い求め時は「0000」が設定されています。

暗証番号入力 ****

新しいメッセージがある場合：

新しいメッセージが××件あります。

新しいメッセージがない場合：

保存メッセージが××件あります。

新しいメッセージも保存メッセージもない場合：

メッセージはございません。

ご利用ありがとうございました。

- 6** メッセージの内容が聞こえる。
メッセージが順番に再生されます。



11月14日 13:40 1 / 2
031234XXXX
1:前へ 2:繰返 3:次へ
4:消去 5:転送 6:保護

メッセージ再生中にできる操作は (P3-31)

すべてのメッセージの再生が終了すると、

⏪ メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。

- 7** ハンドセットを置く。



ワンポイント

- 新しいメッセージと保存メッセージの両方を再生するには (P4-10)
- メッセージの再生順序を変更するには (P4-10)



お知らせ

- 他人のボックスに録音されたメッセージを再生する場合は、そのボックスに設定されている暗証番号の入力が必要になります。

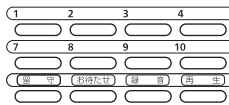
留守番電話を利用するには

留守番電話を解除する

留守番電話を解除します。

- 留守番電話が設定されている電話機で、サービスボタン（留守）を押す。

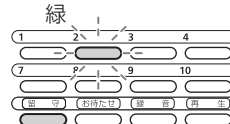
留守番電話が解除されます。



11月14日(木) 午後 3:05
10

相手の方を確認して応答する (居留守応答)

- 留守番電話で応答中に、ランプが周期的に緑で2回点灯している外線ボタンを押す。



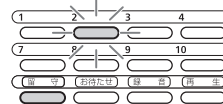
留守番電話応答中
留守設定中

- ハンドセットを取りあげる。
相手の方がお話ししている内容を聞くことができます。



- 電話に出る場合は、もう一度同じ外線ボタンを押す。

緑2回消灯(例：留守番電話
対象回線の外線ランプ)



11月14日(木) 午後 3:05
0-05
留守設定中



ワンポイント

- 留守番電話をセットするには (P3-28)
- システム設定により、相手の方の声が、自動的にスピーカーで聞こえるように設定することもできます。

その他の留守番電話の活用

■システムモードに応じて自動的にシステム留守番電話を利用する

システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じて、システム留守番電話を利用することができます。サービスのご利用には「システム設定」が必要です。（☛P4-32、P4-43、P6-15）

システム留守対応動作の設定により、「録音用」と「応答専用」が選択できます。

<録音用を選択した場合>

録音用の応答メッセージを流したあと、相手の方のメッセージを録音します。

システムモードの種類	録音用の応答メッセージ (お買い求め時)
昼／休憩モード	ただいま席を外しております。 ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。
夜モード	本日の業務は終了しました。 ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。
休日モード	本日は定休日です。 ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。

<応答専用を選択した場合>

応答専用の応答メッセージを流したあと、電話を切ります。

システムモードの種類	応答専用の応答メッセージ (お買い求め時)
昼／休憩モード	ただいま席を外しております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
夜モード	本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直してください。
休日モード	本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかけ直してください。



お知らせ

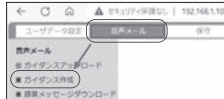
- 応答メッセージは自分の声で録音することもできます。（☛P6-5）
- システム留守対応動作の設定は、メニュー設定やWeb設定、特番を使って設定することができます。（☛P4-32、P4-43、P6-15）

音声ガイドを作成するには

音声ガイドは、あらかじめ用意されたガイド（出荷時設定）、またはお客様にて作成したガイドを設定することができます。
お客様にて作成するガイドは、テキスト入力で作成する（☞下記）、または音声を録音して作成する（☞P3-37）の2つがあります。

テキスト入力で作成する

- 1 Web設定（☞P4-37）でログイン後に、「音声メール」タブとメニューツリーから「ガイド作成」をクリックする。



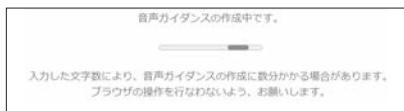
- 2 作成するガイド種別を設定し【選択】ボタンをクリックする。



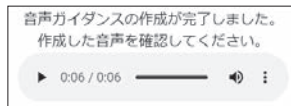
- 3 声や速度など全ての項目を設定し、音声ガイドで流す内容を「変換テキスト」に入力して【作成開始】ボタンをクリックする。
ガイドの作成が始まります。



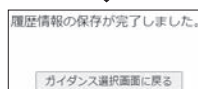
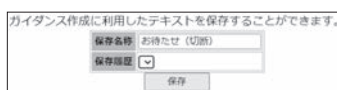
- 4 音声ガイドの作成が完了するまで待つ。



- 5 完成した音声ガイドを▶で再生し、音声を確認する。
再生中は再生関連の操作以外のブラウザ操作を行わないでください。



- 6 完成した音声ガイドに「保存名称」を入力し、【保存】ボタンをクリックする。



ワンポイント

- ガイド種別と設定可能なログインID

ガイド種別	設定可能なログインID
留守メッセージ	ユーザID（内線電話）
スマートフォンの着信ガイド	
FAX/TEL切替メッセージ	システム管理者ID
システム留守メッセージ	
お待たせメッセージ	
通話録音ガイド	
IVRガイド	

- 音声ガイドの項目

項目	選択内容
声	男性/女性
速度	遅い/やや遅い/普通/やや早い/早い
太さ	太い/やや太い/普通/やや細い/細い
高さ	低い/やや低い/普通/やや高い/高い
音量	小さい/やや小さい/普通/やや大きい/大きい

- 音声ガイドの仕様

項目	登録内容
入力文字数	最大全角1500文字
入力可能文字	Shift_JIS
保存音声ガイド数	最大1件※
保存テキスト数	最大3件※
ポーズ（無音）	約800mm/秒 「?（疑問符の半角/全角）」 「.（ピリオドの半角/全角）」
	約300mm/秒 「,（コンマの半角/全角）」 「:（コロン半角/全角）」

※留守メッセージの場合は電話機ごと

- 音声ガイドの入力と読み方

漢字は意図しない読み方になることがあります。その場合はひらがなで入力してください。数字は「100：ひやく」となります。電話番号のように数字を1文字ずつ読む場合は、数字の間に空白または、斜線を入力してください。作成後にガイドの再生を行って確認してください。音声ガイドが作成できず、エラーメッセージが表示された場合は入力文字をご確認ください。



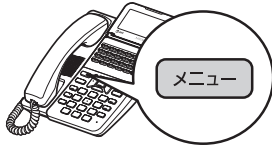
お知らせ

- 手順3でボタンクリック後に、別の画面表示やブラウザの終了を行った場合、音声ガイド作成はされませんが、音声ガイド完了画面は表示されません。
- 音声ガイドをテキストで作成するには、ライセンスが必要です。

音声を録音して作成する

音声を録音して音声ガイドを作成できます。
 <例>「留守メッセージ設定」で録音用の留守メッセージを録音する場合

1 **メニュー** を押す。



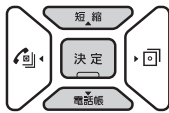
1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 **決定** を押す。
 または **1** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

3 上下ボタンで「4: 留守/転送」を選択し、**決定** を押す。
 または **4** を押します。



1: 転送先リスト登録
2: 留守メッセージ設定
3: 留守番電話応答動作
4: 圏外時サービス設定

4 上下ボタンで「2: 留守メッセージ設定」を選択し、**決定** を押す。
 または **2** を押します。

留守メッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認

5 上下ボタンで「1: 録音」を選択し、**決定** を押す。
 または **1** を押します。

留守メッセージ録音
0: 応答専用
1: 録音用

6 上下ボタンで「1: 録音用」を選択し、**決定** を押す。
 または **1** を押します。

留守メッセージ録音
おかけしてダイヤル#で録音を開始します

7 ハンドセットを取りあげて、**録** を押す。
 「ピーッ」という音が鳴ったらメッセージをお話します。

録音中
ダイヤル#で録音を終了
します

8 メッセージを話し終えたら、**録** を押す。
 「ピッピッ」という確認音が聞こえ、留守メッセージが録音されます。

録音終了
おかけしてください

9 ハンドセットを置き、**クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

ワンポイント

- 作成した音声ガイドを確認するには
留守メッセージ選択が「録音メッセージ」に設定されている状態で、手順5を「2: 確認」選択していくと音声ガイドを確認できます。
- 作成した音声ガイドを利用するには
手順5で「0: 選択」を選択し、「1: 録音用」で「1: 録音メッセージ」を設定すると、作成した音声ガイドを利用することができます。

お知らせ

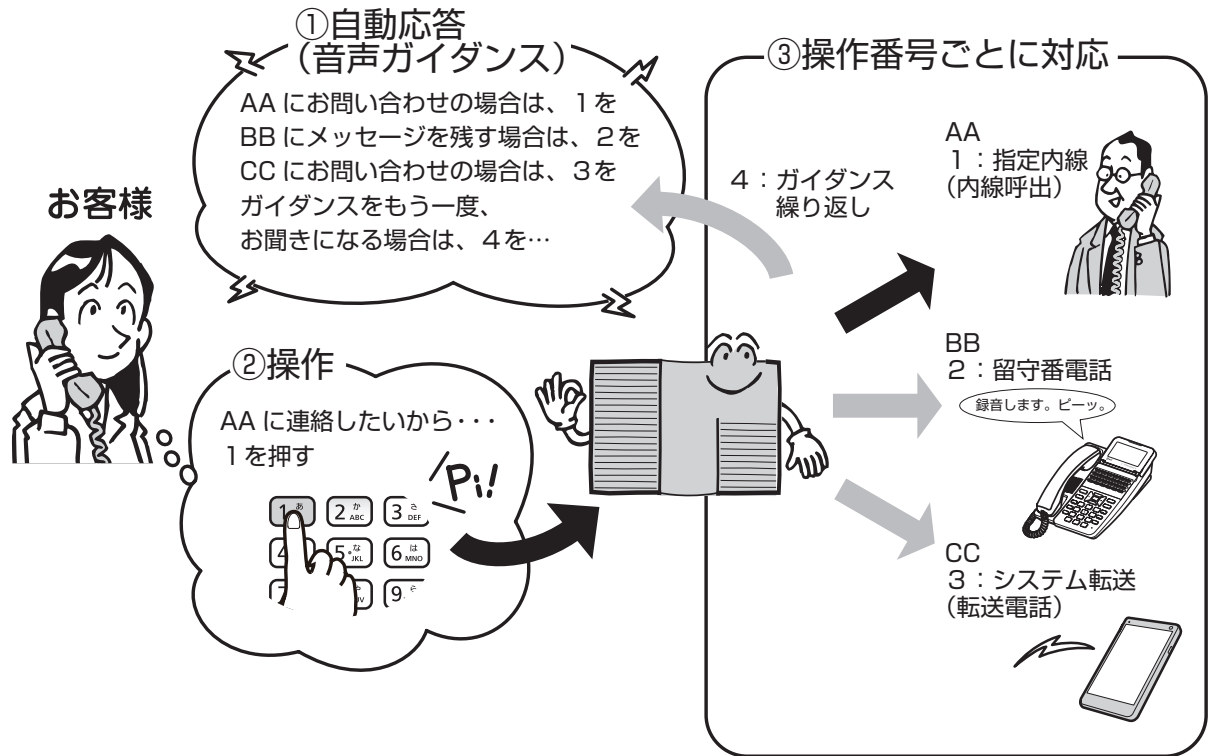
- 新たに応答メッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。
- 応答メッセージの最大録音時間は以下の通りです。最大録音時間を超えると自動的に終了し、前のメッセージは新しいメッセージに上書きされます。

録音項目	最大録音時間
留守メッセージ FAX/TEL切替メッセージ システム留守メッセージ お待たせメッセージ 通話録音ガイド	約3分
IVRガイド	約5分

自動応答 (IVR) を利用するには

自動応答する電話番号にIVRシナリオ設定 (P4-23) すると、その電話番号にかかってきた電話に自動応答し、録音した音声ガイダンスによって、その後の操作を案内することができます。

音声ガイダンスによる自動応答のご利用には、「システム設定」が必要です。



音声ガイダンスを録音／設定するには

IVRガイダンス設定 (P4-23) で特定の内線電話機から録音するか、Web設定で、録音ファイルをアップロード (P4-45) します。

自動応答を設定するには

IVRシナリオ設定 (P4-23) で設定します。
自動応答後に動作する機能として、以下の設定ができます。

機能	設定内容	説明
指定内線	内線番号	指定した内線を呼び出します。
留守番電話	ボックス番号	留守番電話になり、設定したボックス番号にメッセージを録音します。
システム転送	転送先リスト (P4-31)	設定した転送先リストの電話番号に転送します。
ガイダンス繰り返し	—	音声ガイダンスをもう一度繰り返します。



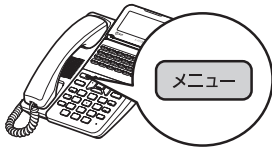
お知らせ

- IVRシナリオ設定の前に、IVRガイダンス設定で音声ガイダンスを録音、またはWeb設定で録音ファイルをアップロードしてください。
- IVR機能は、1階層のみ (自動応答後のユーザによる操作は1回のみ) の設定となります。

自動応答を設定する ＜システム一括設定＞

＜例＞ダイヤル1で内線呼出をするとき

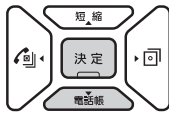
1 **メニュー** を押す。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 下ボタンで「2: システム一括設定」を選択し、**決定** を押す。

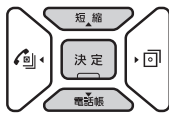
または **2** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 保留

3 上下ボタンで「3: 外線着信」を選択し、**決定** を押す。

または **3** を押します。



1: サブディスプレイ設定
2: 着信未応答警報タイマ
3: システム着信Xロゲイ設定
4: 非通知着信拒否

4 上下ボタンで「6: IVRシナリオ設定」を選択し、**決定** を押す。

または **6** を押します。

IVRシナリオ設定
ダイヤル(1-9)?

5 自動応答後に操作する番号をダイヤルボタンで押す。



IVRシナリオ設定
ダイヤル(1-9)? 1

6 **決定** を押す。



IVRシナリオ設定: 1
1: 指定内線
2: 留守番電話
3: システム転送

7 上下ボタンで「1: 指定内線」を選択し、**決定** を押す。
または **1** を押します。

指定内線
内線番号?

8 自動応答時に呼び出す内線番号をダイヤルボタンで押す。

内線番号が表示されます。内線番号を押し間違えたときは、**クリア** を押します。



指定内線
内線番号? 10

9 **決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、自動応答が設定されます。

10 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10



ワンポイント

●留守番電話を設定するときは

ダイヤル2に留守番電話を設定する場合は、手順5で「2」（ダイヤル2）を、手順7で「2: 留守番電話」を、手順8でボックス番号を設定します。

●転送を設定するときは

ダイヤル3に転送を設定する場合は、手順5で「3」（ダイヤル3）を、手順7で「3: システム転送」を、手順8で転送先リスト番号を設定します。

お話しを録音するには

自動または手動でお話しを録音することができます。
必ず相手の方の了解を得てから録音を開始してください。

自動で通話を録音する

かかってきた電話に出ると同時に自動的に録音できるようにすることができます。

1 **メニュー** を押す。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

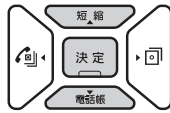
2 **決定** を押す。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

3 上下ボタンで「9: その他」を選択し、**決定** を押す。

または **9** を押します。



1: システム設定表示
2: セキュリティ設定
3: 表示/ラン/音設定
4: 機能登録/設定

4 上下ボタンで「4: 機能登録/設定」を選択し、**決定** を押す。

または **4** を押します。

1: 通話録音モード設定
2: 通話録音が「オン」
3: 着信履歴保存設定
4: システムモード別ECO設定

5 **決定** を押す。

または **1** を押します。

通話録音モード設定
0: 手動録音
1: 自動録音

6 上下ボタンで「1: 自動録音」を選択し、**決定** を押す。

または **1** を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、自動録音が設定されます。

7 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

STOP お願い

- 相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に、着信自動録音に設定されている電話機は、相手の方の了解を得られない場合、通話中に録音取消ボタンを押して通話録音を中止してください。



ワンポイント

- ☒ 録音開始時に録音することを伝えるメッセージを自動で流すようにすることもできます。なお、お買い求め時は、次のメッセージが設定されています。

◀ この通話は、電話対応品質向上のため、録音しております。

- ☒ 自分の声でメッセージを録音することもできます。(P4-35、P6-15) (通話録音ガイド)
- ☒ 保存操作をしないで自動通話録音を終了した後から、録音内容を保存できるようにすることもできます。(遡り通話録音)
- ☒ 外線発信した相手の方とのお話し内容を自動的に録音するようにすることもできます。
- ☒ 音声メールの録音時間は
お買い求め時は、音声メールの録音時間がモノラル音声で最大約2時間です。オプションによりステレオ音声は最大約50時間、モノラル音声は最大約100時間録音することができます。

☒ 音声テキスト化をご利用になるには

通話録音した音声データをテキストに変換するには、音声データをステレオ音声に変換します。ステレオ音声は、上記の通りの録音時間となります。また、VOCライセンスなどのオプションが必要です。



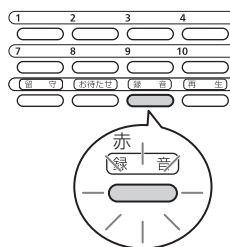
▶ メッセージを録音するには? (P6-5)

手動で通話を録音する

相手の方とお話し中に録音開始の操作をすると、お話しを録音することができます。内線どうしのお話しも録音することができます。通話録音をご利用になるには、「システム設定」でサービスボタン（録音）の設定が必要です。

1 相手の方とお話し中に、サービスボタン（録音）を押す。

お話しの内容が録音されます。



11月14日(木) 午後 3:05
0-20

2 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

録音が終了し、サービスボタン（録音）ランプが消えます。ボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅し、ディスプレイに「メッセージ有り」と表示して、メッセージが録音されたことをお知らせします。

11月14日(木) 午後 3:05
10
メッセージ有り



ワンポイント

●通話録音中に使用できるボタン

ボタン	機能
サービスボタン（ポーズ） または (※)	通話録音を一時停止／再開します。
サービスボタン（呼出取消）	録音を保存し、終了します。着信通知を行いません。
サービスボタン（録音取消）	録音内容を取り消します。
サービスボタン（コメント）	通話内容を保存し、通話と通話録音を終了して、コメントを録音します。
サービスボタン（終了） または (㊦)	通話内容を保存し、通話録音を終了します。



お知らせ

- 通話録音中は、会議通話、通話モニタ、メニュー設定、料金表示、キーパッド送付、PB信号の送付はできません。
- 通話録音時間が最大録音時間を超えると、「プププププ」という音が聞こえ、録音ランプが速く点滅します。不要な録音内容を削除して、録音時間を確保してください。
- 通話録音中に相手の方が先に電話を切ると、自動的にコメントの録音が始まります。コメントの録音が不要な場合は、そのまま電話をお切りください。
また、自動的にコメントの録音が始まらないようにすることもできます。
あらかじめ「システム設定」で設定しておく必要があります。

他の人にメッセージを残すには

他の方の個人ボックスへメッセージを残すことができます。

- 1** 内線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげる。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2** 音声メール用のアクセス番号 (7) (0) (1) [] を押す。



11月14日(木) 午後 3:05
701 音声メール

録音は1、再生は2を押してください。

- 3** [] を押す。

BOX番号入力

送信先ボックス番号と#をどうぞ。

- 4** 相手のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて#を押す。

<例>送信先のボックス番号が11の場合

BOX番号入力 11



11月14日(木) 午後 3:05
701 音声メール

ボックス番号11にメッセージを録音します。メッセージをどうぞ。ピーツ。

- 5** メッセージをお話する。



- 6** メッセージを話し終わったら、#を押す。

11月14日(木) 午後 3:05
701 音声メール

メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました。

- 7** ハンドセットを置く。

メッセージが録音されたことを通知するには（音声メール着信通知）

音声メールをご利用になると、個人ボックスにメッセージが録音されたときにお知らせを受け取ることができます。通知先を内線電話機のほかに、携帯電話にも設定することができます。

音声メール着信通知先を設定する

「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（P4-51）で行います。

1 内線ボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

2 **決定** を押す。

3 音声メール着信通知先設定特番（9）3 [] を押す。

4 メッセージが録音される電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。



着信通知先設定
内線番号 10

5 **決定** を押す。

6 通知先の電話番号をダイヤルボタンで押す。

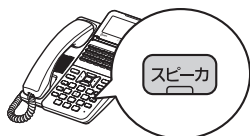


着信通知先設定:10
031234XXXX

7 **決定** を押す。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、音声メール着信通知先が設定されます。

8 スピーカボタンを押す。



音声メール着信通知を起動する

1 内線ボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

2 **決定** を押す。

3 音声メール着信通知起動設定特番（9）4 [] を押す。



着信通知設定
0:設定しない
1:設定する

4 上下ボタンで「1：設定する」を選択し、**決定** を押す。または **□** を押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、音声メール着信通知が設定されます。

5 スピーカボタンを押す。

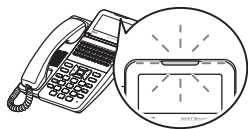


メッセージが録音されたことを通知するには（音声メール着信通知）他の人にメッセージを残すには

電話に出られないときは (お待たせメッセージ)

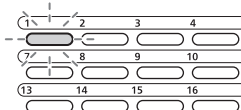
外からの電話にすぐに出られないときなどに、お待たせメッセージを流して出られるようになるまで待ってもらうことができます。

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。



11月14日(木) 午後 3:05

赤



2 サービスボタン (お待たせ) を押す。



3 6秒以内にランプが点滅している外線ボタンを押す。
相手の方にお待たせメッセージが流れます。

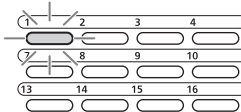
赤



着信音が変わり、相手の方をお待たせしていることがわかります。

4 電話に出られるようになったら、外線ボタンを押す。

緑・2回消灯



5 ハンドセットを取り上げて、相手の方とお話する。



6 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

●お待たせメッセージの内容

お買い求め時は、次のメッセージが流れます。

<お待たせメッセージ>

「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、しばらく時間をおいてからおかけ直しになるか、そのままお待ちください。

自分の声でメッセージを録音することもできます。

(P4-33)

●お待たせメッセージを流している間の着信音を変えるには
お待たせメッセージを流している間は、着信音が変わります。通常とは異なる着信音を流すことで、相手の方をお待たせしていることを忘れないようにすることができます。

お待たせメッセージを流している間の着信音は、「システム設定」により変更できます。



お知らせ

●「システム設定」により、電話がかかってきたときに、自動的にお待たせメッセージを流すことができます (自動お待たせメッセージ)。

●「システム設定」により、お待たせメッセージが流れる時間を設定し、設定した時間が経つと自動的に切断メッセージを流して電話を切ることもできます。

●「システム設定」により、着信からお待たせメッセージを流すまでの時間を設定できます。

●回線の使用状況によっては、お待たせメッセージを流す操作 (手順2、3) をしてもお待たせメッセージは動作しない場合があります。その場合は、着信音を変更していても着信音は変わりません。

●構内放送用のスピーカから流れる着信音は、着信音を変更している場合でも変わりません。

●通常の着信音を、お待たせメッセージが流れている間の着信音と同じにした場合、お待たせメッセージが起動していることがわからなくなりますのでご注意ください。

外出先から電話をかけるには (コールバック)

あらかじめ登録している電話番号に対し、システムが自動的に折り返し電話をかける機能(コールバック)を利用できます。外出先からでも、事業所(システム設置所)の料金負担で通話することができます。

コールバックを利用するには、「システム設定」が必要です。

外出先からコールバックを利用して 内線電話機と通話する(システム内線着信)

外出先の方

1 コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼び出し音が聞こえたら、すぐ(6秒[]以内)に切る。



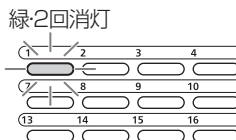
2 電話がかかってきたら応答操作をし、お話しする。



社内の方

着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅したら…

1 点滅している外線ボタンを押す。
「システム設定」により、着信音の音色を変えることができます。



鈴木NTT男
0901234XXXX

2 ハンドセットを取りあげる。
着信に応答すると、コールバックが開始され、呼び出し状態になります。「プッププップ」から「ブルル…」という音になります。

外出先の方が電話に出るまでお待ちください。

コールバック発信中
0901234XXXX
ISDN

3 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

☑ コールバック(システム内線着信)を利用するには

「システム設定」でコールバック用の回線を設定します。

- ① 共通電話帳にコールバックの対象とする電話番号を「システム内線着信」のグループで登録する
- ② 「グループ毎コールバック」(P4-20)で①のグループに「システム内線着信」を設定する

☑ コールバックの各動作のタイミングを変更するには

「システム設定」によって、次のタイミングを変更できます。

- ・対象とする電話番号からの着信を「コールバック着信」と判定する着信秒数(お買い求め時:6秒)
- ・「外出先の方」が電話を切ったあと「社内の方」を呼び出す秒数(お買い求め時:30秒)
- ・コールバックで「外出先の方」を呼び出す秒数(お買い求め時:120秒)



お知らせ

- コールバック着信と判定するまでの間(お買い求め時:6秒)、内線電話機の着信音は鳴りません。このとき、内線電話機の外線ボタンを押して応答すると、コールバックは起動しません。
- コールバック着信に応答した場合の着信履歴は、「不(応答しなかった)」となります。



▶ コールバックができないときは? (P6-7)

外出先から電話をかけるには(コールバック)電話に出られないときは(お待たせメッセージ)

外出先からコールバックを利用して電話をかける (中継発信)

外出先から外線発信する

コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼び出し音が聞こえたら…

- 1 すぐ (6秒[]以内) に切る。
- 2 コールバックの電話がかかってきたら応答操作をする。
ガイダンスまたは「ブブ」 という音が聞こえます。
- 3 外線発信番号 (0 [])、電話番号の順に押す。
- 4 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

☑ コールバック (中継発信) を利用するには

「システム設定」でコールバック用の回線を設定します。

- ① 共通電話帳にコールバックの対象とする電話番号を「中継発信」のグループで登録する
- ② 「グループ毎コールバック」 (P4-20) で①のグループに「中継発信」を設定する

☑ 外出先から内線番号を指定して内線電話機を呼び出すには (コールバックからの自動応答サービス)

自動応答サービスで特定の内線電話機を呼び出すなどのリモコン操作 (P3-47) が行えます。

この機能を利用するには、「グループ毎コールバック」 (P4-20) で電話帳グループの「自動応答サービス」を設定します。この機能を利用する電話番号を、共通電話帳の「自動応答サービス」のグループに登録します。内線電話を呼び出すには、次のように操作します。

- ① コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼び出し音が聞こえたら、すぐに切る
- ② コールバックの電話がかかってきたら応答操作をする
- ③ ガイダンスに従って **[D]** を押す
- ④ 内線番号を押す

☑ コールバックの各動作のタイミングを変更するには (P3-45)

☑ 中継発信できる相手先を限定するには

コールバック (中継発信) で外出先から外線発信できる相手先を、「システム設定」やメニュー設定により制限することができます。(P4-20、P4-50)

外出先から内線発信する

コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼び出し音が聞こえたら…

- 1 すぐ (6秒[]以内) に切る。
- 2 コールバックの電話がかかってきたら応答操作をする。
ガイダンスまたは「ブブ」 という音が聞こえます。
- 3 内線着信の特番 (* # []) を押す。
- 4 社内の方が出たら、お話しする。



お知らせ

- 「外出先から外線発信する」の手順3で、空いている外線がなかったときは、発信できません。
- コールバック (中継発信) で使用中の外線の外線ランプは、赤く点灯します。
- コールバック着信と判定するまでの間 (お買い求め時:6秒)、内線電話機の着信音は鳴りません。このとき、内線電話機の外線ボタンを押して応答すると、コールバックは起動しません。

STOP お願い

- ガイダンスが聞こえている間に携帯電話を操作した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してから操作してください。



▶ コールバックができないときは? (P6-7)

外出先から機能の設定を操作するには (ダイヤリングサービス)

外出先から電話をかけて、内線電話機を直接呼び出したり、録音内容を聞いたり、外線へ電話をかけたり、さまざまなリモコン操作を行うことができます。

ダイヤリングサービスを利用する

1 外出先の電話機から音声メール用電話番号へ電話をかける。

☞ ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。…

2 サービス番号（下表）をダイヤルボタンで押し、音声ガイダンスに従って操作する。

サービス番号	操 作	押すボタン	
①	内線電話機の呼び出し	内線番号	
②	外線への発信（※1）	外線発信番号+電話番号	
③	転送電話、留守番電話の操作	留守番電話のセット（※1）	6 7 0 []
		転送電話のセット（※1）	6 7 1 []
		転送電話、留守番電話の解除（※1）（※4）	6 7 2 []
		電話機起動転送先リストの登録（※1）	6 7 3 [] + ① ~ ③ # + 転送先電話番号 #
		電話機起動転送先リストの削除（※1）	6 7 4 [] + ① ~ ③ #
		留守番電話の応答メッセージの選択（※1）	6 7 5 [] + 0 または ① #
		システム共通の転送先リストの登録（※2）	6 7 6 [] + 0 ① ~ ② 0 # + ① ~ ③ # + 転送先電話番号 #
		システム共通の転送先リストの削除（※2）	6 7 7 [] + 0 ① ~ ② 0 # + ① ~ ③ #
	圏外時サービス設定（※1）	6 7 8 [] + 0 #（解除） / ① #（転送電話） / ② #（留守番電話）	
	システムモードの切り替え（※2）	システムモードの解除 （自動モードへの切り替え）	9 4 0 []
		昼モードへの切り替え	9 4 ① []
		夜モードへの切り替え	9 4 ② []
		休憩モードへの切り替え	9 4 ③ []
	セキュリティサービス（※1）	起動	6 7 9 [] + ① #
解除		6 7 9 [] + 0 # + セキュリティ暗証番号 + #	
④	メールの録音	① + ボックス番号 #	
	メールの再生（※3）	② + ボックス番号 #	

※1 内線番号と暗証番号が必要です。

※2 「システム管理者」に設定された内線電話機の内線番号と暗証番号をダイヤルしたときのみ操作を行えます。

※3 暗証番号が必要です。

※4 転送電話と留守番電話の両方をセットしている場合は、どちらも解除されます。



ワンポイント

● 音声メールに電話をかけるときは

携帯電話またはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。

STOP お願い

- 操作するときは、ダイヤルボタンをゆっくりと確実に押してください。また、ガイダンスなどが聞こえている間に操作した場合は正常に動作しないことがありますので、ガイダンスやメッセージが終了してから操作してください。

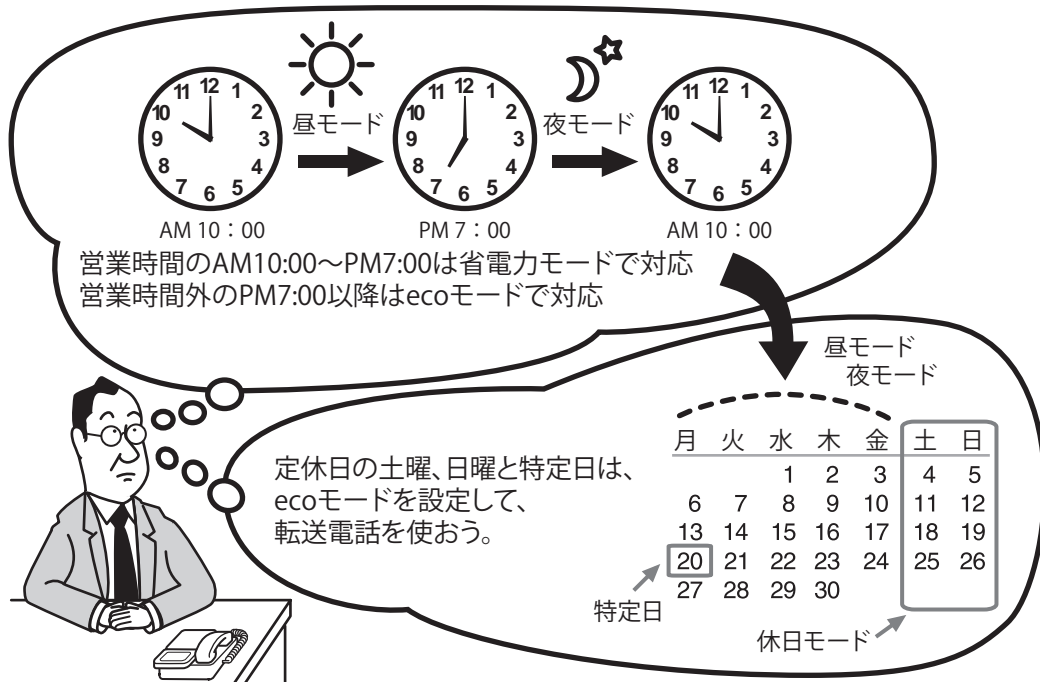
外出先から機能の設定を操作するには（ダイヤリングサービス）
（コールバック）

時間帯や曜日で設定を変えるには (システムモード)

システムモードを利用すると、時間帯や曜日、特定日ごとに動作を変えることができます。

システムモードを利用する

営業時間や定休日、特定日などに合わせて、システムモード（昼／夜／休憩／休日）を設定することができます。転送や留守番電話など、各種の機能をシステムモードごとに設定しておけば、システムモードが切り替わると同時に各種機能の動作も切り替わります。



- システムモードの切替時刻を設定するには
システムモード時刻設定 (P3-52、P4-25) で設定します。
- 自動的にシステムモードを切り替えるには
システムモード設定 (P4-27) を「自動」に設定します。
- 手動でシステムモードを切り替えるには
システムモード設定 (P4-27) で切り替えます。サービスボタン (システムモード切替) を設定しておく、より簡単に切り替えられます (P3-10)。
- 外出先からの操作でシステムモードを切り替えるには
留守番電話、転送電話を設定している場合は、外出先からのリモコン操作でシステムモードを切り替えることができます。(P3-47、P6-10)
- システムモードに連動する各種機能
 - 転送電話を利用する (P3-21)
 - 留守番電話を利用する (P3-35)
 - ecoモードを利用する (P3-53)
 - 省電力を利用する (P3-53)
 - 発番号ダイヤルインを利用する (P3-62)

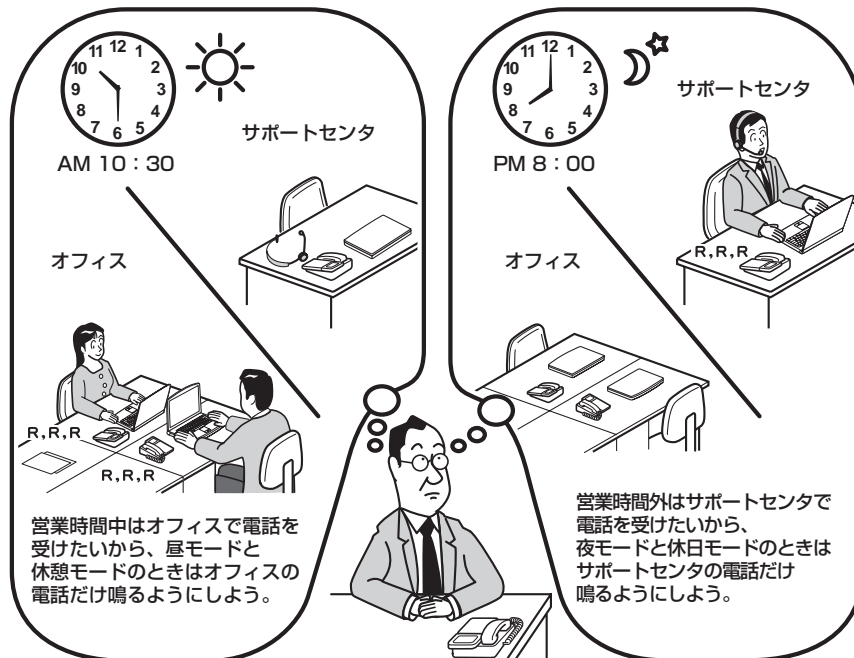


ワンポイント

システムモードの名称を変更するには「システム設定」により、システムモードの表示名を変更することができます。

着信音を鳴らす時間帯をシステムモードごとに設定する

外からの電話を受ける内線電話機を、システムモードによって分けることができます。



□ システムモード別に外線着信音を鳴らす／鳴らさないを設定するには

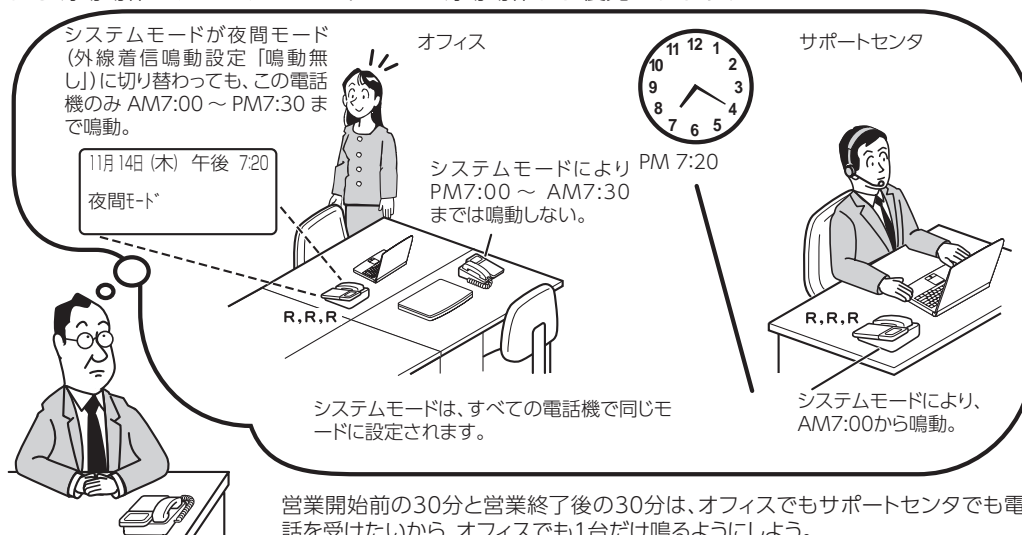
システムモード「昼」「夜」「休憩」「休日」に分けて、外線着信音を鳴らすかどうかを設定できます。内線電話機ごとに、外線着信鳴動設定 (P4-7) で設定します。



ワンポイント

● システムモードより優先する鳴動動作を電話機ごとに設定するには

曜日毎鳴動モード設定 (P4-8) を利用することにより、外からの電話を受ける時間帯を電話機ごとに設定できます。この設定による鳴動動作は、システムモードごとの鳴動動作より優先されます。



時間帯や曜日で設定を変えるには (システムモード)

特定日を設定する

<例>「特定日」としたい月日に、休日の設定を行います。

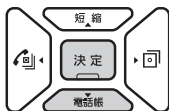
1 **メニュー** を押す。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 下ボタンで「2: システム一括設定」を選択し、**決定** を押す。

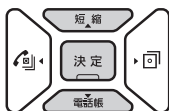
または **2** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 保留

3 上下ボタンで「5: 時計/アラーム」を選択し、**決定** を押す。

または **5** を押します。



1: 日付設定
2: 時刻設定
3: システムモード時刻設定
4: NTPサーバ時計設定

4 上下ボタンで「6: 特定日設定」を選択し、**決定** を押す。

または **6** を押します。

特定日設定
テーブル番号(01-50)?

5 設定するテーブル番号をダイヤルボタンで押し、**決定** を押す。



特定日設定: 1
/

6 設定する特定日をダイヤルボタンで押し、**決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、特定日が設定されます。

7 **クリア** を押して、手順3の画面に戻し、**クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10



ワンポイント

● 特定日を休日に設定するときは

お買い求め時は、特定日に月日を設定するだけで、休日の設定になります。特定日を休日(終日)以外で利用する場合は、「システムモード切替時刻設定」、「特定日システムモード設定」を設定します。

特定日システムモードを設定する

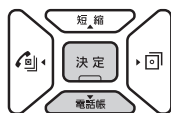
1 **メニュー** を押す。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 下ボタンで「2: システム一括設定」を選択し、**決定** を押す。

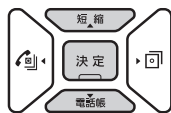
または **2** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 保留

3 上下ボタンで「5: 時計/アラーム」を選択し、**決定** を押す。

または **5** を押します。



1: 日付設定
2: 時刻設定
3: システム時刻設定
4: NTPサーバ時刻設定

4 上下ボタンで「7: 特定日システムモード設定」を選択し、**決定** を押す。

または **7** を押します。

特定日システムモード設定
テーブル番号(01-50)?

5 設定するテーブル番号をダイヤルボタンで押し、**決定** を押す。



特定日システムモード: 1
切替パターン(0-8)?
0: 切替なし 8

6 特定日に設定する切替パターンをダイヤルボタンで押し、**決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、特定日システムモードが設定されます。

7 **クリア** を押して、手順3の画面に戻し、**クリア** を長く押し、



11月14日(木) 午後 3:05
10

3 その他の機能

時間帯や曜日で設定を変えるには (システムモード)



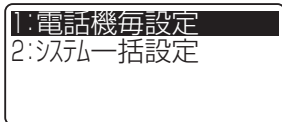
お知らせ

- お買い求め時は、全てのテーブル番号に「切替パターン8」の終日「休日」モードが設定されています。

時間帯や曜日で設定を変えるには (システムモード)

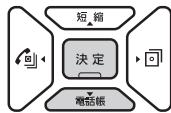
システムモードの切替時刻を設定する<システム一括設定>

1 **メニュー** を押す。



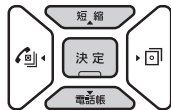
2 下ボタンで「2:システム一括設定」を選択し、**決定** を押す。

または **2** を押します。



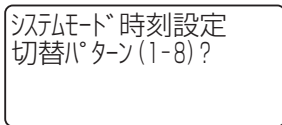
3 上下ボタンで「5:時計/アラーム」を選択し、**決定** を押す。

または **5** を押します。

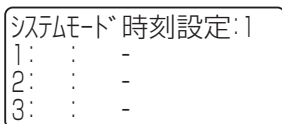


4 上下ボタンで「3:システムモード時刻設定」を選択し、**決定** を押す。

または **3** を押します。



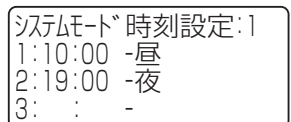
5 設定するテーブル番号をダイヤルボタンで押し、**決定** を押す。



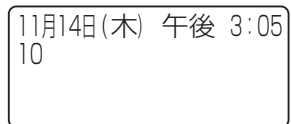
6 時間帯の登録を選択して時刻を入力し、モードを選択し、**決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、システムモード時刻が設定されます。

〈例〉 昼モード10:00
夜モード19:00
を設定した場合



7 **クリア** を長く押す。



お知らせ

- 切替パターンを新規登録する場合は、使用されていない切替パターンを確認して入力してください。使用中の切替パターンを入力すると、上書きされます。お買い求め時は「切替パターン8」に終日「休日」モードが設定されています。

ecoモードを利用するには

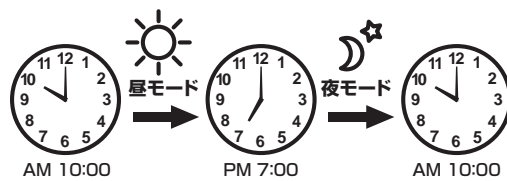
ecoモードでは、電話機のディスプレイやランプの表示を消し、電力消費を制限します。なお、ディスプレイに「eco」と表示してecoモード起動中であることをお知らせします。

営業時間や定休日などにあわせて自動的にecoモードを起動／解除することができます。また、利用者が不在となるときなど、内線電話機ごとに手動で一時的に起動することもできます。

<ecoモードと省電力モード>

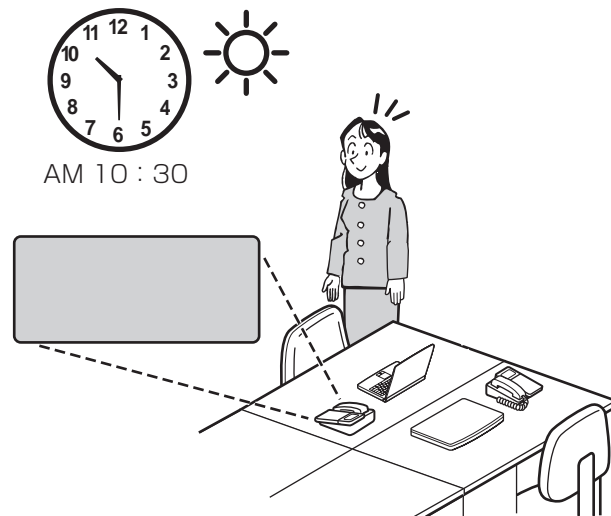
「システム設定」により、一定時間操作されないときにディスプレイやランプを消灯して節電をはかる省電力モードが利用できます。

ecoモードと省電力モードが同時に設定されている場合は、ecoモードが有効となります。



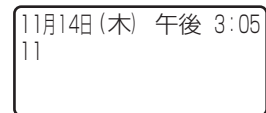
営業時間のAM10:00~PM7:00は省電力モードで運用
営業時間外のPM7:00以降はecoモードで運用

省電力モード



電話がかかると…

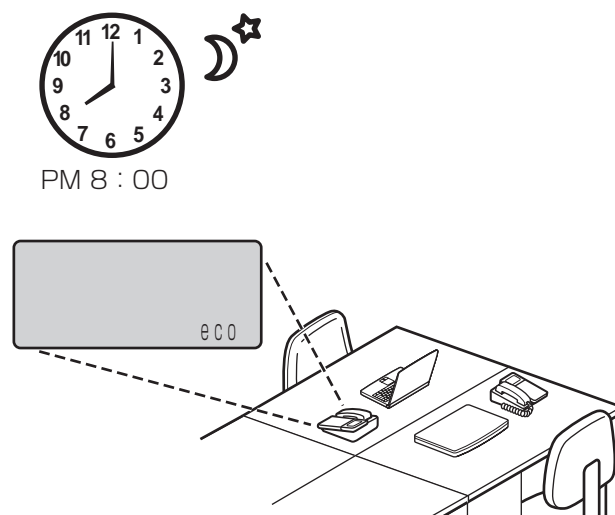
着信します。



R,R,R



ecoモード



電話がかかると…

ecoモードのまま、ディスプレイやランプ表示がされません。

<留守番電話が設定されている場合>
自動的に応答メッセージが流れます。

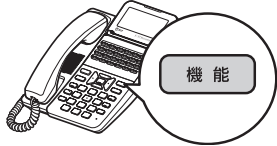
<転送電話が設定されている場合>
自動転送します。



時間帯や曜日で設定を変えるには (システムモード)

ecoモードを手動で起動する

- 1 待機中に、**機能** を長く (2秒以上) 押します。



ecoモードが起動します。

ecoモードを自動で起動する

システムモード (昼/夜/休憩/休日) に応じて、内線電話機ごとにecoモードを自動起動することができます。(システムモード別ECOモード設定 (P4-18)) ecoモード起動中 (自動起動) にecoモードを手動で解除した場合、待機状態となってから自動でecoモードに切り替えることができます。(ECOモード自動起動タイマ (P4-28))

ただし、ecoモード解除中にecoモード起動 (手動起動) を行った場合、手動で解除するまでecoモードが継続します。

例) システムモードの夜モードで eco モード起動、
昼モードで解除される場合



ワンポイント

- ecoモードを手動で解除するには
ecoモード動作中に、**機能** を長く (2秒以上) 押します。
またはハンドセットを取りあげます。



お知らせ

- 転送電話または留守番電話が設定されている内線電話機が ecoモードとなった場合は、外線着信に対し転送電話または留守番電話が動作します。
- 不在着信が設定されている内線電話機が ecoモードとなった場合は、不在着信転送設定は動作せず、話中となります。

お願い

- ecoモード動作中には、内線自動発報、威嚇音、遠隔音響モニタが動作しませんので、セキュリティサービスを利用する場合は、ecoモードの設定を解除してください。

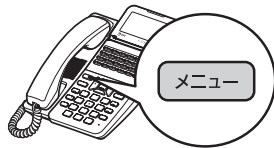
使用できる機能を制限するには (サービスロック)

内線電話機ごとに外線発信、電話帳アクセス、発着信履歴の読み出し、メニュー設定の各機能を規制することができます。サービスロックを利用するには、暗証番号の設定(▶P4-27)、サービスロック対象の設定が必要です。「システム設定」でサービスボタン(サービスロック)を設定しておくと、サービスボタンを使ってサービスロックの起動/解除ができます。

サービスロック対象を設定する

内線電話機ごとにサービスロックの対象となる機能を設定します。

1 **メニュー** を押す。



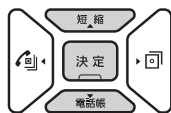
1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 **決定** を押す。
または **1** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

3 上下ボタンで「9: その他」を選択し、**決定** を押す。
または **9** を押します。



1: システム設定表示
2: セキュリティ設定
3: 表示/ランプ/音設定
4: 機能登録/設定

4 上下ボタンで「2: セキュリティ設定」を選択し、**決定** を押す。
または **2** を押します。

1: 暗証番号設定
2: サービスロック対象設定

5 上下ボタンで「2: サービスロック対象設定」を選択し、**決定** を押す。
または **2** を押します。

サービスロック対象設定
暗証番号?

6 暗証番号をダイヤルボタンで押す。
お買い求め時は「0000」に設定されています。



サービスロック対象設定
暗証番号? ****

7 **決定** を押す。

サービスロック対象設定
1: 外線発信
2: 電話帳アクセス
3: 発着信履歴読出

8 上下ボタンでサービスロックの対象にする機能を選択する。

または、次のいずれかのボタンを押します。

- ①: 外線発信
- ②: 電話帳アクセス
- ③: 発着信履歴読出
- ④: メニュー設定

9 **決定** を押す。

外線発信
0: 対象にしない
1: 対象にする

10 上下ボタンで「1: 対象にする」を選択し、**決定** を押す。

または **1** を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、サービスロック対象の設定が登録されます。

サービスロック対象設定
1: 外線発信
2: 電話帳アクセス
3: 発着信履歴読出

サービスロックの設定を解除するときは、「0: 対象にしない」を選択します。
続けて登録するときは、手順8から繰り返します。

11 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

ワンポイント

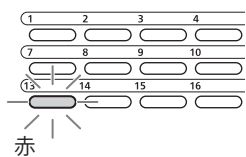
- サービスロックの設定状態を確認するには
手順1～8の操作を行い、手順9の画面で「対象にする」、「対象にしない」のどちらが反転しているかを確認します。サービスロックが設定されている場合は、「対象にする」が反転しています。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は
Web設定や特番を使って暗証番号をお買い求め時の状態(0000)に戻すことができます。(▶P4-44、P6-11)

使用できる機能を制限するには(サービスロック) 時間帯や曜日で設定を変えるには(システムモード)

使用できる機能を制限するには (サービスロック)

サービスロックを起動する

- 1 サービスボタン (サービスロック) を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえます。
サービスロック中は、サービスボタン (サービスロック) ランプが赤く点灯します。



お知らせ

- サービスロックが起動しているときは、サービスロック対象の設定はできません。
- サービスロックを起動すると

外線発信：

緊急番号を除き、外線への発信ができません。電話をかけようとすると、話中音が聞こえます。ただし、自動応答サービスからの外線発信、転送電話、コールバック発信 (システム内線発信 / 中継発信) は可能です。

電話帳アクセス：

電話帳の読み出し、登録、編集ができません。

発着信履歴の読み出し：

発着信履歴の読み出し、発着信履歴からの発信ができません。

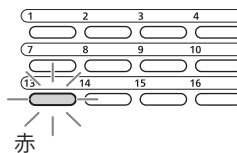
メニュー設定：

メニュー操作、設定特番と、以下のダイヤル中特番、機能特番の操作ができません。特番操作を行おうとすると、話中音が聞こえます。

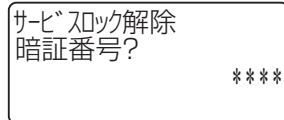
- ・ モード切替 (自動、昼、夜、休憩、休日)
- ・ TEN対応転送先リスト登録
- ・ TEN対応転送先リスト削除
- ・ 留守番電話応答メッセージ選択
- ・ システム一括転送先リスト登録
- ・ システム一括転送先リスト削除
- ・ 圏外時サービス設定
- ・ 暗証番号初期化
- ・ ブロードバンドルーターユニット暗証番号初期化
- ・ 着信転送起動 / 解除

サービスロックを解除する

- 1 サービスボタン (サービスロック) を押す。



- 2 暗証番号をダイヤルボタンで押す。



- 3 **決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、サービスボタン (サービスロック) ランプが消え、サービスロックが解除されます。



ワンポイント

- 特番操作でサービスロックを起動するには

- ① 内線ボタンを押す
- ② サービスロック起動 / 解除の特番 (6 9 0 []) を押す
- ③ 1 を押す

- 特番操作でサービスロックを解除するには

- ① 内線ボタンを押す
- ② サービスロック起動 / 解除の特番 (6 9 0 []) を押す
- ③ 0 を押す
- ④ 暗証番号を押し、**決定** を押す

アナログ回線の対応状況

アナログ回線をお使いの場合は、SmartNetcommunity αZX II typeS/typeMに接続された内線電話機で当社のネットワークサービスを活用したさまざまな機能をご利用になることができます。各サービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要です。

■ アナログのネットワークサービスを利用した機能（2024年10月現在）

サービス名	機能	利用の可／否	参照先
ナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	■P3-62
ナンバー・リクエスト	ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直して下さるよう、音声で伝えます。	○	—
キャッチホン（通話中着信）	外の相手の方とお話中に外から電話がかかってきたとき、フッキング操作で切り替えることができます。	○	■P3-65
ダイヤルイン	契約者回線番号の他に番号（ダイヤルイン追加番号）を追加して、外から特定の電話機を直接呼び出せるようにします。	○	■P3-66
ボイスワープ	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、いったん応答した電話を簡単な操作で別の番号へ転送したり、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	—
迷惑電話おことわり	迷惑電話がかかってきた直後に、電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—

INSネット64の対応状況

ISDN回線をお使いの場合、SmartNetcommunity αZXII typeS/typeMに接続された内線電話機では、INSネット64の基本サービスや付加サービス※を活用したさまざまな機能をご利用いただくことができます。なお、付加サービスをご利用になるには、別途当社との利用契約が必要です。

※INSネット64の詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

■ INSネット64の基本サービスを利用した機能（2024年10月現在）

サービス名	機能	利用の可／否	参照先
発信者番号通知	INSネット64を利用して電話をかけるとき、自分の電話番号を相手の方に通知する、または通知しないようにすることができます。	○	☛P3-64
料金情報通知	INSネット64で電話をかけたとき、お話を終えて電話を切ると、INSネット64の通信料を表示することができます。	○	☛P4-27
ユーザ間情報通知	通信の開始時などに信号チャンネル（D）を通じて情報の送受信が行えます。送信された情報はそのまま相手へ送られます。	×	—
通信中機器移動	通信を一時中断して通信機器をコネクタから取り外し、同一のINSネット64上の他のコネクタに接続して、通信を再開することができます。同一種類の通信機器が複数あるときは、他の機器から通信を再開することができます。	×	—

■ INSネット64の付加サービスを利用した機能（2024年10月現在）

サービス名	機能	利用の可/否	参照先	
フレックスホン	通信中着信通知	外の相手の方とお話中に外から電話がかかってきたとき、簡単な操作で切り替えることができます。	○※1、2	—
	三者通話機能（ミキシングモード）	外の相手の方とお話中に別の方を呼び出して、三者間で同時にお話することができます。	○※1	—
	三者通話機能（切替モード）	外の相手の方とお話中に別の方を呼び出して、三者間で通話相手を切り替えてお話することができます。	×	—
	着信転送機能	外からかかってきた電話を、主装置にあらかじめ登録してある他の電話番号に自動的に転送することができます。	○	—
通信中着信通知	お話中にさらにINSネット64からの着信があると、「ピッピッ・ピッピッ…」という通知音が聞こえます。	○	—	
INSダイヤルイン	契約者回線番号の他に番号（ダイヤルイン追加番号）を追加して、外から電話機を直接呼び出せるようにします。	○	■P3-66	
INSナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	■P3-62	
INSナンバー・リクエスト	INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直して下さるよう、音声で伝えます。	○	—	
INSボイスワープ	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、外から転送の開始/停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	■P3-67	
転送元電話番号受信	ボイスワープなどにより、転送されてきた転送元の電話番号を着信者が受信できるようにするサービスです。どこの電話から転送されてきたのか、電話を受ける前に知ることができます。	○	—	
INS迷惑電話おことわり	迷惑電話がかかってきた直後に電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—	
i・ナンバー	契約している電話番号の他に番号（i・ナンバー追加番号）を追加して、特定の電話機を呼び出せるサービスです。	○	■P3-66	

※1 単体電話機ではご利用できません。

※2 回線の使用状況によっては、通信中着信通知サービスが利用できないことがあります。

ひかり電話サービスの対応状況

フレッツ光ネクストをお使いの場合、SmartNetcommunityαZX II typeS/typeMに接続された内線電話機では、ひかり電話／ひかり電話A（エース）／ひかり電話オフィスタイプ／ひかり電話オフィスA（エース）を活用したさまざまな機能をご利用いただくことができます。ひかり電話サービスのご利用には、BRU（オプション）が必要です。また、付加サービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要な場合があります。

■ ひかり電話／ひかり電話A（エース）／ひかり電話オフィスタイプ／ひかり電話オフィスA（エース）のサービスを利用した機能（2024年10月現在）

サービス名	機能	利用の可／否	参照先
複数チャネル	ひかり電話／ひかり電話A（エース）1契約で同時に2chの通話ができるサービスです。 ひかり電話オフィスタイプは、同時に最大8ch（基本契約3ch+追加5ch）、ひかり電話オフィスA（エース）は、同時に最大300ch（基本契約1ch+追加299ch）の通話が可能です。	○※1	—
追加番号	ひかり電話／ひかり電話A（エース）1契約で最大5電話番号（契約者番号1番号+追加番号4番号）の利用が可能となるサービスです。 ひかり電話オフィスタイプは、最大32電話番号（契約番号1番号+追加番号31番号）、ひかり電話オフィスA（エース）は、最大7000番号までの電話番号（契約番号1番号+追加番号6999番号）の利用が可能です。	○	—
ナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	■P3-62
ナンバー・リクエスト	電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直して下さるよう、音声で伝えます。	○	—
ボイスワープ	かかってきた電話を別の電話に転送するだけでなく、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	■P3-67
迷惑電話おことわりサービス	迷惑電話がかかってきた直後に、電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—
FAXお知らせメール	ファクスがあったことを、あらかじめ指定したパソコンや携帯電話のメールへお知らせし、パソコンからファクス内容を確認することができるサービスです。	○※2	—
着信お知らせメール	電話があったことを、あらかじめ指定したパソコンや携帯電話のメールで確認することができるサービスです。	○	—
フリーアクセス・ひかりワイド	「0120」または「0800」で始まる電話番号にかかってきた通話料を、着信側でご負担いただけるサービスです。	○	—
特定番号通知サービス	ナンバー・ディスプレイをご利用の方に対して、ひかり電話オフィスタイプ／ひかり電話オフィスA（エース）の電話番号ではなく、ご契約のフリーアクセス・ひかりワイド番号を通知するサービスです。	○	—
テレビ電話	ひかり電話ご契約者間でテレビ電話ができる機能です。	○	—
一括転送	利用中の電話番号を一括で登録済みの転送先へ着信させることができるサービスです。	○※3	—

サービス名	機能	利用の可／否	参照先
故障回復通知機能	一括転送機能のオプションとして、災害や故障等による異常の発生および回復を自動的に検知し、メールにて通知および自動的に一括転送機能を起動することができるサービスです。	○※3	—
グループダイヤリング	事業所番号と内線番号をダイヤルすることで、立地の異なる事業所間での内線通話をご利用になれます。	○※3	—

- ※1 ひかり電話オフィスA（エース）をご契約された場合でも、ご利用いただける回線数は、typeSでは8ch、typeMでは12chまでです
- ※2 ひかり電話／ひかり電話A（エース）／ひかり電話オフィスタイプのみ対応
- ※3 ひかり電話オフィスA（エース）のみ対応

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用する

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、かけてきた相手の方の電話番号を、応答する前に電話機等のディスプレイに表示するサービスです。アナログ回線、ISDN回線、ひかり電話で、ご利用になります。

■ ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用すると、さまざまな機能を活用できます。

かけてきた方にこちらからかけ直す （着信履歴発信）

電話をかけてきた相手の方の電話番号（最大 32 桁）が、着信した内線電話機ごとに最新の 52 件分が保存されます（着信履歴）。応答しなかったときでも着信履歴は記憶され、この電話番号を使って簡単な操作で電話をかけ直すことができます。（P2-12）

かけてきた方の電話番号や名称を電話帳に登録する （着信履歴）

着信履歴として記憶されている電話番号や発信者名（会社名や個人名など）を、電話帳に登録することができます。（P2-13）

かけてきた方の電話番号によって着信を拒否する （着信拒否）

「システム設定」により、かけてきた方の電話番号により着信を拒否する発番号着信拒否機能が利用できます。発番号着信拒否は、かけてきた電話番号が共通電話帳と一致したときに有効となるので、メニュー設定または Web 設定により、次の設定を行ってください。

- ①「グループ着信先設定」（P4-19）を行って、グループごとの着信方法を「着信拒否」に設定する
- ②相手の方の電話番号を共通電話帳の着信拒否グループに登録する（P3-2、P4-19）
登録は、通話中に相手の方の電話番号を登録する、またはお話しが終わってから、その着信履歴を登録することができます。（P3-12）

- 非通知の方の着信を拒否する
（非通知着信拒否）（P3-14）
- 迷惑電話の着信を拒否する（P3-15）
- 特定の国からの着信を拒否する
（P3-17）

かけてきた方の電話番号によって着信先や着信方法を変える （発番号ダイヤルイン）

「システム設定」により、かけてきた方の電話番号により特定の内線電話機に着信したり、他の電話機に転送するなどの発番号ダイヤルイン機能が利用できます。発番号ダイヤルインは、かけてきた方の電話番号が共通電話帳と一致したときに有効となるので、メニュー設定または Web 設定により、次の設定を行ってください。

- ①「グループ着信先設定」（P4-19）を行ってグループごとの着信先や着信方法を設定する
- ②相手の方の電話番号を共通電話帳に登録する際に、目的のグループに登録する（P3-2、P4-19）

かけてきた方の電話番号によって着信音を変える （電話帳鳴り分け）

着信音を聞くだけで、どの電話帳グループに登録されている方からかかってきたのかを識別できます。着信音で識別できるようにするには、あらかじめ相手の方の電話番号を「グループ毎鳴動設定」（P4-5）した電話帳グループに登録しておく必要があります。

かけてきた方の電話番号によって着信ランプの点滅色を変える

着信ランプの点滅色で、どの電話帳グループに登録されている方からかかってきたのかを識別できます。着信ランプで識別できるようにするには、あらかじめ相手の方の電話番号を「グループ着信ランプ設定」（P4-5）した電話帳グループに登録しておく必要があります。



お知らせ

- 停電時は、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した機能はすべてご利用になれません。

■ 相手の方の電話番号を確認する

着信中に相手の方の電話番号を表示させる

着信中の外線ボタンを押すと、相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。電話帳に登録されている電話番号からの着信時には、電話帳に登録されている名称も表示されます。

電話帳に登録されている名称

11月14日(木) 午後 3:05 031234XXXX	通機営業 031234XXXX
---------------------------------	--------------------

通話中に相手の方の電話番号を表示させる

通話中に **クリア** を押すと、相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録されている電話番号からの着信時には、電話帳に登録されている名称も表示されます。通話中表示に戻るときは、再度 **クリア** を押します。



ワンポイント

● 相手の方の電話番号が表示される条件と契約について

送信側と受信側が利用している回線の種類や契約内容によって、相手の方の電話番号が表示されるかどうかが決まります。アナログ回線およびひかり電話オフィスタイプをお使いの場合は、当社とのナンバー・ディスプレイの利用契約が必要です。ISDN回線をお使いの場合、ISDN回線およびひかり電話からの着信については、INSネット64の基本サービスの1つである「発信者番号通知サービス」により相手の方の電話番号の表示が可能です。ただし、アナログ回線からの相手の方の電話番号または電話番号が表示されない理由を表示するには、当社とのINSナンバー・ディスプレイの利用契約が必要です。ひかり電話オフィスA（エース）をお使いの場合は、基本サービスにより相手の方の電話番号の表示が可能です。

		着信側 (SmartNetcommunity αZXII typeS/typeM)			
		アナログ回線	ISDN回線	ひかり電話オフィスA（エース）	ひかり電話オフィスタイプ
発信側	アナログ回線	△	△	○	△
	ISDN回線、携帯電話	△	○※	○	△
	ひかり電話オフィスA（エース）	△	○※	○	△
	ひかり電話オフィスタイプ	△	○※	○	△

○：基本サービスで表示可能

△：表示するにはナンバー・ディスプレイの利用契約が必要

※：非通知理由を表示するには、ナンバー・ディスプレイの利用契約が必要



ワンポイント

- **相手の方の電話番号が表示されないときは**
相手の方の操作や契約などによって電話番号が表示されない場合には、その理由ごとに次のように表示します。

ディスプレイ	理由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」や「発信者番号表示」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため、電話番号を通知できない場合に表示します。
受信エラー	一時的な回線の雑音などにより、データが正常に受信できなかったときに表示します。

- **発信者番号通知サービスを利用すると**
自分の電話番号を相手の方に通知することができます。発信者番号通知サービスの契約種別には、「通常通知」、「通常非通知」があります。
本サービス契約に加え「システム設定」により、内線電話機ごと、またはダイヤルイングループボタン（NK）ごとに、通知する／通知しない／省略（契約内容に従う）を設定することができます。
- **自分の電話番号の通知する／通知しないを指定するには**
電話番号の前に「184（通知しない）」または「186（通知する）」を付加してダイヤルすると、自分の電話番号を通知する／通知しないを指定することができます。発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

		自分の電話番号を通知するとき	自分の電話番号を通知しないとき
契約内容	通常通知 (通話ごと非通知)	相手の方の電話番号	① ⑧ ④ + 相手の方の電話番号
	通常非通知 (回線ごと非通知)	① ⑧ ⑥ + 相手の方の電話番号	相手の方の電話番号



お知らせ

- 同時に複数の着信があると、ディスプレイで確認した電話番号と異なる相手に応答することがあります。
- PBX（構内交換機）や他の通信機器などに収容されているときは、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用にならないことがあります。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用中は、着信音が聞こえるまでに時間がかかることがあります。
- 停電時は、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した機能はご利用になれません。
- 「184（通知しない）」または「186（通知する）」による指定は、「システム設定」よりも優先されます。

キャッチホンサービスを利用する

アナログ回線をお使いの場合にキャッチホンサービスを利用すると、外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、簡単な操作で切り替えることができます。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

- 1** 「キャッチホン」の着信音が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、フックボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
0-30

- 2** 2番目にかけてきた相手の方とお話する。
もう一度フックボタンを押すと、前の方とお話することができます。

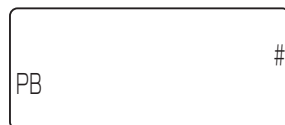


11月14日(木) 午後 3:05
1-05

プッシュホンサービスを利用する (DP→PB切替)

DP回線をお使いの場合でも、電話で利用できる各種プッシュホンサービスをご利用になれます。

- 1** DP回線をご使用の場合は、電話がつながったら **#** を押す。



PB回線、およびINSネット64をご利用の場合は、**#** を押す必要はありません。

- 2** 必要なダイヤルボタンを押す。



ワンポイント

フックボタンの操作方法には

「システム設定」により、フックボタンを押す操作を、**機能**、フックボタンの順に押す操作にすることができます。

プッシュホンサービスの種類

- ・フリーダイヤル/ナビダイヤルのガイダンス操作
- ・留守番電話へのリモコン操作 など



お知らせ

- キャッチホンサービスをご利用になるときに以外で、お話し中にフックボタンを押すと、電話が切れてしまいますのでご注意ください。
- PB信号が送出できるときは、ディスプレイに「PB」と表示されます。
- フリーダイヤル/ナビダイヤル操作などの一部システムでは、サービスを利用できない場合があります。
- DP回線をご使用の場合、電話を切るとダイヤル信号に戻ります。
- DP→PB切替後に保留操作を行う場合は、ディスプレイに「PB」が表示されてから行ってください。

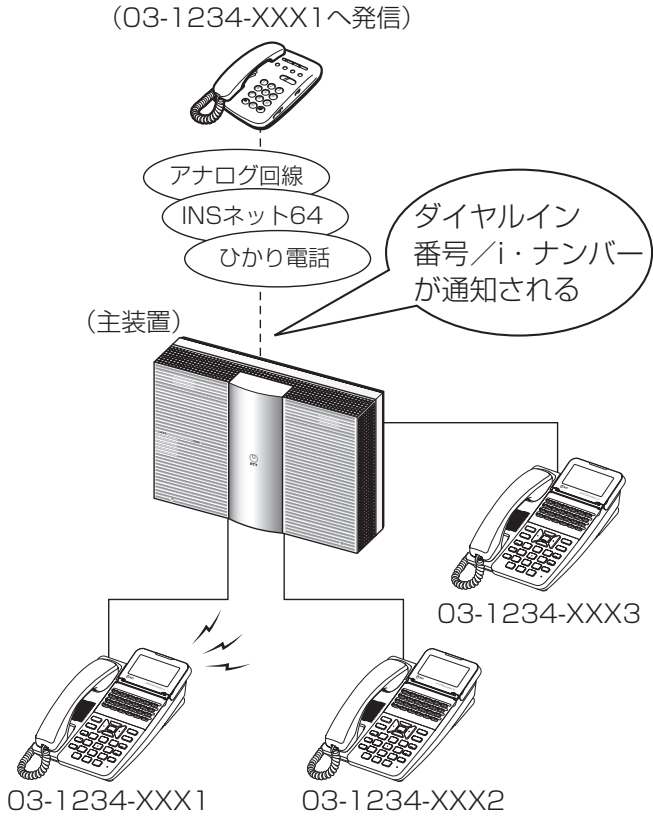
外から特定の電話機を呼び出す（ダイヤルインサービス／i・ナンバーサービス）

ダイヤルインサービス／i・ナンバーサービス（有料）を契約してダイヤルイン番号を指定すると、特定の電話機を呼び出すことができます。

■ダイヤルインサービス／i・ナンバーサービスを利用する

ダイヤルインサービス／i・ナンバーサービスをご契約になると、契約者回線番号とは別に複数の番号を持つことができます。ダイヤルイン番号／i・ナンバーを電話機ごとに割り当てることにより、外から特定の電話機を呼び出すことができます。また、ダイヤルイン番号／i・ナンバーを特定の外線ボタンに割り当てることもできます（ダイヤルイングループボタン（NK/NKG））。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

- 1つの回線に03-1234-XXX1、03-1234-XXX2、03-1234-XXX3のダイヤルイン番号／i・ナンバーを契約したとき



お知らせ

- ダイヤルイングループボタン（NK/NKG）では、不在着信転送（P3-22）の機能を利用することはできません。

ボイスワープを利用する

ボイスワープは、かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号に転送するサービスです。設定により、次のような転送が行えます。

- 転送元の電話を呼び出さずに即時に転送する（無条件転送）
- 転送元を呼び出し、応答しないときにだけ転送する（無応答時転送）
- お話し中のときにだけ転送する（話中時転送）

ボイスワープサービスは、アナログ回線、ISDN回線、ひかり電話でご利用になれます。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。ボイスワープの詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ここでは、ひかり電話の転送先電話番号の登録操作と、転送の開始／停止操作について説明します。

■ 転送先電話番号を登録する

転送先電話番号を1つだけ登録するときは、次のように操作します。（ボイスワープをご契約いただいている電話番号を通知番号に設定している場合）

- 1 外線ランプが消えていることを確認して外線ボタンを押し、**①** **④** **②** をダイヤルする。
以降は、ガイダンスに従って操作してください。
- 2 **②** をダイヤルする。
- 3 転送先電話番号に続けて **#** をダイヤルする。
- 4 入力した電話番号を確認して **①** をダイヤルする。
- 5 スピーカボタンを押す。
スピーカランプ、外線ランプが消えます。



■ ボイスワープの転送を開始／停止する

サービス番号をダイヤルボタンで押して、転送を開始／停止します。開始のサービス番号は、設定したい転送方法によって異なります。（ボイスワープをご契約いただいている電話番号を通知番号に設定している場合）

- 1 外線ランプが消えていることを確認して外線ボタンを押し、**①** **④** **②** をダイヤルする。
以降は、ガイダンスに従って操作してください。
- 2 次の番号をダイヤルする。
転送を開始する：**①**（続けて手順3の操作を行います）
転送を解除する：**①**（手順4に進みます）
- 3 転送条件を、次のうちから選んでダイヤルする。
無条件転送を設定する：**①**
無応答時転送を設定する：**②**
話中時転送を設定する：**③**
無応答時と話中時転送を設定する：**④**
- 4 スピーカボタンを押す。
スピーカランプ、外線ランプが消えます。



お知らせ

- お客様のご利用状況により、ガイダンス・操作が異なる場合があります。詳しくは、当社の営業所等にお問い合わせください。
- ボイスワープの設定は、設定完了したことをガイダンス内でお知らせします。必ず設定が完了したことを確認の上、通話をお切りください。ガイダンス聴取前に切断すると、設定が完了しない場合があります。
- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 転送先電話番号の最後のボタンを押してから約6秒経過するか、32桁まで入力すると、入力したデータが送信されます。
※ただし、32桁以下の入力でも、約6秒の時間経過を待たずデータ送信する場合があります。
- 転送先電話番号は、交換センタに登録されるので、転送サービスをセット中に停電になっても、電話は転送されます。

高音質での通話を利用する

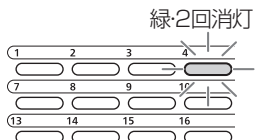
IP

高音質に対応した電話機同士で内線通話時、または、ひかり電話で外線通話時、高音質通話をご利用いただけます。ご利用になる場合は、オプションとシステム設定が必要です。また、サービスボタン（高音質通話）を設定しておく、通話が高音質かどうかをランプ表示で確認できて便利です。

■ 高音質モードで外線発信する

1 外線ランプが消えていることを確認し、高音質通話が可能な外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
外線
VoIP

2 電話番号をダイヤルボタンで押す。



VoIP 060000XXXX

3 ハンドセットを取りあげる。



VoIP 060000XXXX

4 相手の方が出たら、お話しする。



11月14日(木) 午後 3:05
VoIP PB 0-05

■ 高音質モードで内線発信する

高音質通話に対応した内線電話機には、通常の内線発信操作（P2-17）で自動的に高音質発信されます。

■ 高音質での着信を受ける

高音質通話に対応した電話機であれば、高音質でかかってきた電話にも通常音質の着信と同様の操作で受けることができます。高音質での通話中は、サービスボタン（高音質通話）のランプが緑で点灯します。

● お知らせ

- 高音質対象端末は標準IP電話機／停電用IP電話機／防水IP電話機です。
- 外線通話で高音質通話をご利用になるには、フレッツ 光ネクスト等のブロードバンド回線の利用契約が必要です。
- ひかり電話利用時は、回線状況により通話途切れや通話遅延等が発生する場合があります。
- 高音質モードでハンズフリー通話することもできますが、マイクやスピーカの性能により、音質が劣化する場合があります。
- 以下の応答の場合は、高音質でかかってきても、通常音質での応答となります。
 - ・ コールバック
 - ・ 転送電話
 - ・ 自動応答サービス
 - ・ お待たせメッセージでの応答
 - ・ 音声メールでの応答
- 会議通話中は通常の音質での通話となります。
 - ・ 内線の高音質通話中に会議を招集した場合は、会議を終了しても高音質通話には戻りません。
 - ・ 外線の高音質通話中に会議を招集した場合は、会議を終了すると、外線との通話は高音質通話に戻ります。
- 高音質通話中に通話割り込み、通話録音を行うと、モニタする音声は通常の音質での通話となります。なお、通常音質の通話になる際に、一瞬音声がかき消えることがあります。
- 高音質通話中に通話モニタを行うと、高品質通話は継続しますが、モニタする音声は通常の音質となります。
- 「ツー」という外線発信音が聞こえなくなったら、ハンドセットを置いて、再度、手順1以降の操作を行ってください。



ワンポイント

- 高音質での通話中は、サービスボタン（高音質通話）のランプが緑で点灯します。
- 高音質で発信しても高音質通話ができないときは
高音質で発信しても、相手により高音質通話にならない場合があります。また、高音質通話の設定された回線が使用中の場合は、通常音質で発信するか、回線が使用可能になってから発信してください。高音質が使用できない場合は、サービスボタン（高音質通話）ランプは消灯のままとなります。



▶ 高音質発信ができないときは？（P6-7）

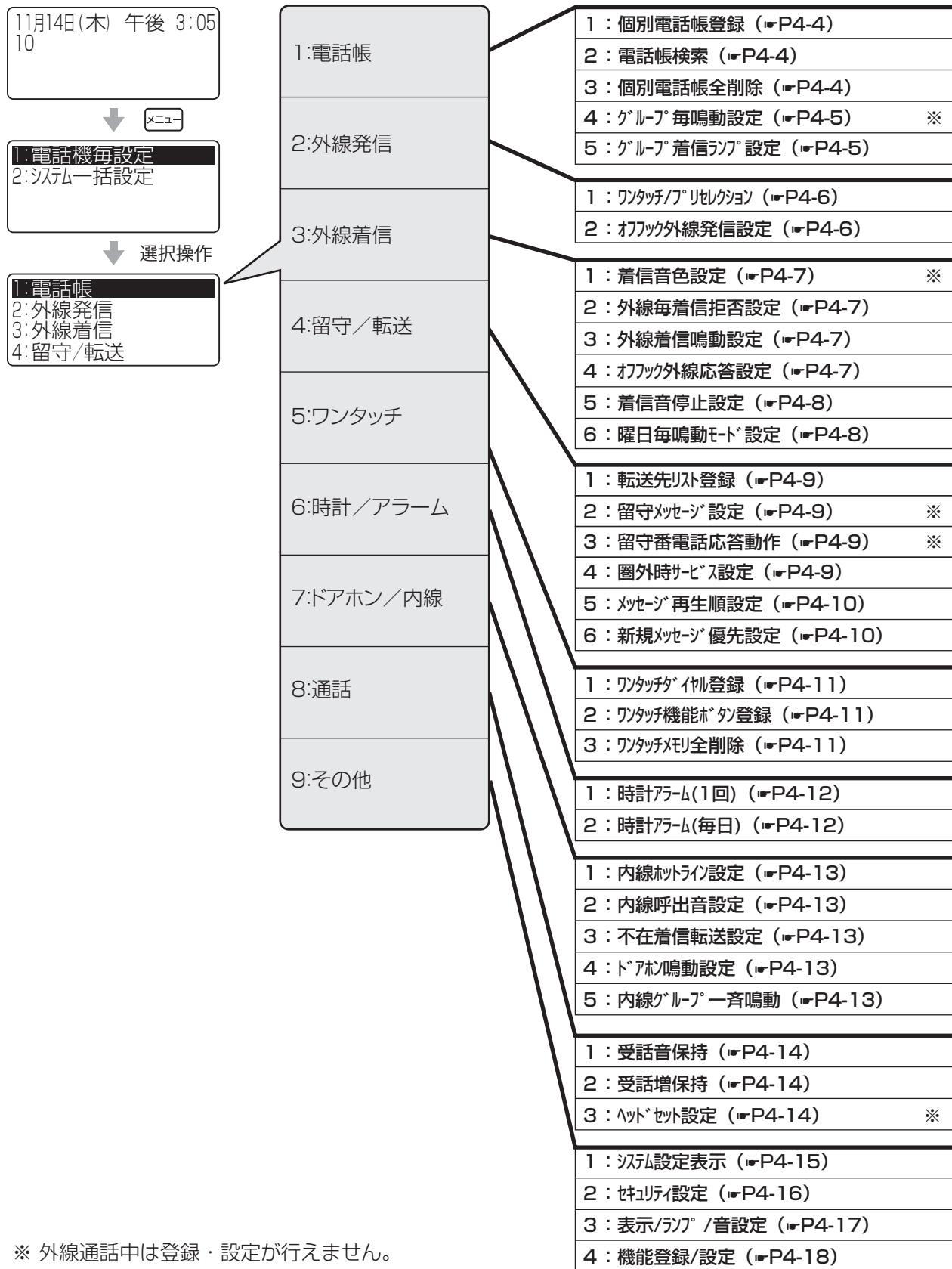
いろいろな機能を 登録・設定する

4

内線電話機を使って登録・設定を するには（メニュー設定）.....	4-2
パソコンを使って登録・設定をするには （Web設定）.....	4-36
システム設定によりご利用になれる機能	4-50
主装置／電話機ソフトウェアを 更新するには	4-52

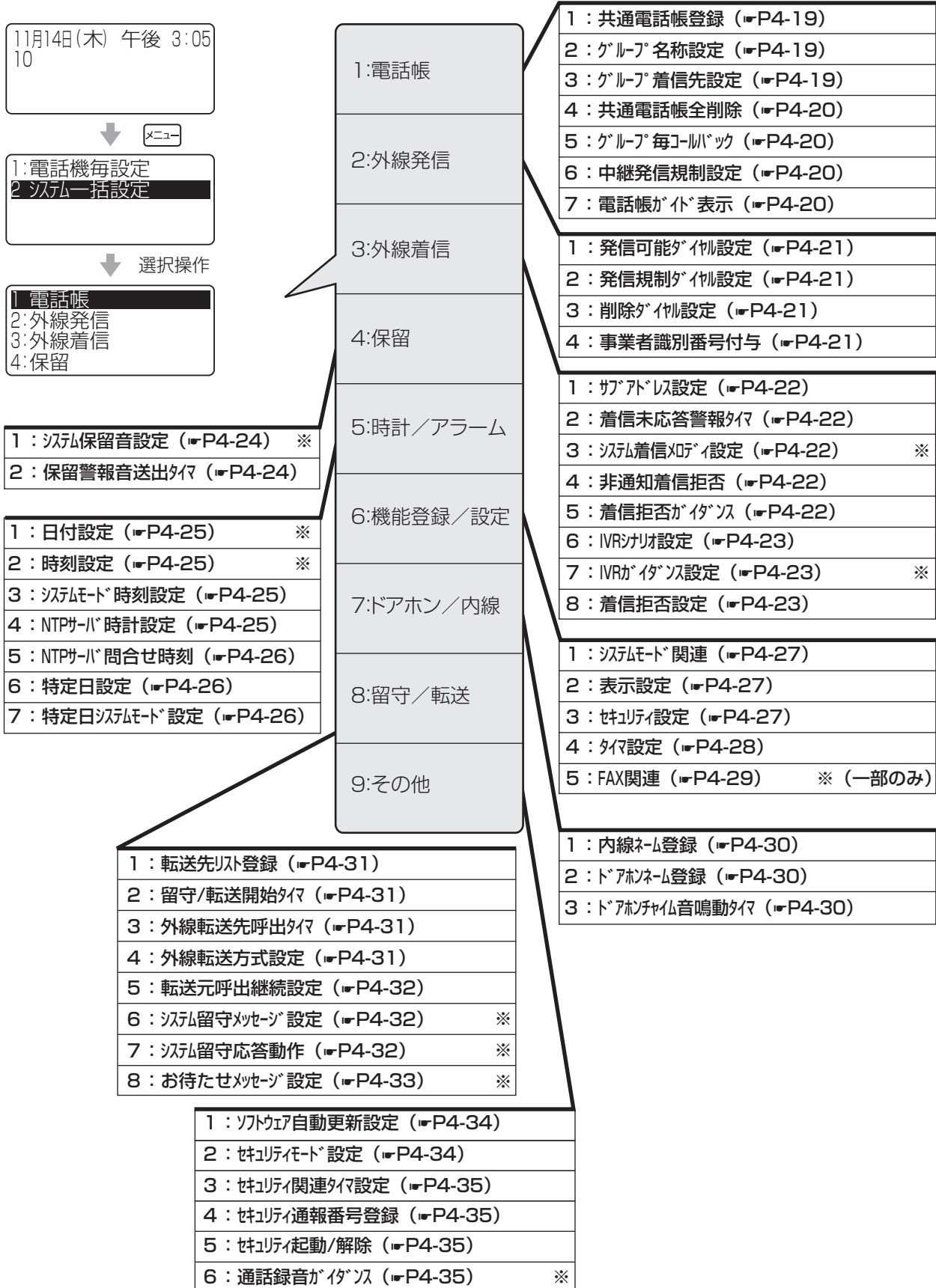
内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

メニュー設定は、待機中・外線通話中に設定することができます。
「1：電話機毎設定」から分岐するメニューは、内線電話機ごとの項目です。



※ 外線通話中は登録・設定が行えません。

「2：システム一括設定」から分岐するメニューは、システム全体に関する項目です。
 「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えるメニュー設定です。



4
登録・設定する
いろいろな機能を

内線電話機を使って登録・設定するには(メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

電話機毎設定

内線電話機ごとに行うメニュー設定です。項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。メニューの流れについては、内線電話機メニュー（P4-2）を参照してください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
個別電話帳登録 (① ① ①) 名称入力 [漢] [機能]	内線電話機ごとに使用する電話帳を登録する。	①名称を入力し、 決定 を押す ②必要に応じてフリガナを変更し、 決定 を押す ③「(未登録)」を選択し、 決定 を押す ④電話番号を入力し、 決定 を押す ⑤アイコンを選択し、 決定 を押す ⑥複数の電話番号を登録する場合は「(未登録)」を選択し、 決定 を押す（登録しない場合は手順⑩に進む） ⑦手順④～⑤を行う ⑧「GR 指定なし」を選択し、 決定 を押す ⑨グループを選択し、 決定 を押す ⑩ 保留 を押す ⑪必要に応じてメモリ番号を入力し、 決定 を押す ※電話番号登録の詳細（P3-2）
電話帳検索 (① ① ②) 電話帳検索 1: フリガナ検索 2: MEM番号検索 3: グループ検索	検索方法を選択して、電話帳を検索する。	<フリガナ検索する場合> ①検索方法（「1: フリガナ検索」）を選択し、 決定 を押す ②フリガナを入力し、上下ボタンを押す ③上下左右ボタンで目的の電話帳を選択し、 決定 を押す ④左右ボタンで電話番号を選択する ※電話帳検索の詳細（P2-6～）
個別電話帳全削除 (① ① ③) 個別電話帳全削除 削除しない 削除する	操作中の内線電話機の個別電話帳をすべて削除する。	①「削除する」を選択する ② 決定 を押す

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
グループ毎鳴動設定 (①①④) グループ 毎鳴動設定 0 指定なし 1 グループ 1 2 グループ 2	トーンは、8種類から選択できる。メロディを設定する場合は、スター電話機では、システム着信メロディ設定 (P4-22) で設定されている内部音源メロディまたは2種類の外部音源から選択できる。	<特定の音色を設定しない場合> ①グループ (または「0 指定なし」) を選択する ②「0:設定しない」を選択する <トーンを設定する場合> ①グループ (または「0 指定なし」) を選択する ②「1:トーン」を選択する ③音色 (1~8) を選択する <メロディを設定する場合> ①グループ (または「0 指定なし」) を選択する ②「2:メロディ」を選択する ③メロディを選択する スター電話機: 「1:内部音源」 / 「2:外部音源1」 / 「3:外部音源2」
グループ着信ランプ設定 (①①⑤) グループ 着信ランプ 設定 0 指定なし 1 グループ 1 2 グループ 2	電話帳グループ (およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳) ごとに着信ランプの点滅色を設定する。7種類の色、または7色に点滅する「レインボー」から選択できる。	①グループ (または「0 指定なし」) を選択する ②点滅色 (赤) を選択する

4
いろいろな機能を
登録・設定する

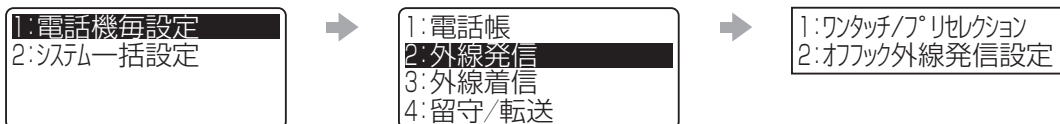
内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)



ワンポイント

- メロディの選択操作時には
上下ボタンで曲を選択するごとにメロディがスピーカから流れます。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
ワンタッチ/プリセクション (① ② ①) ワンタッチ/プリセクション選択 0: プリセクション捕捉 1: ワンタッチ捕捉	外線/内線ボタンを押すだけで回線を捕捉するワンタッチ捕捉、または外線/内線ボタンのあとオフックが必要なプリセクション捕捉のどちらにするかを設定する。	①番号を選択する ② …プリセクション捕捉 ① …ワンタッチ捕捉
オフック外線発信設定 (① ② ②) オフック外線発信設定 0: 設定しない 1: 設定する	オフックにより、「システム設定」で設定された外線/外線を捕捉する機能を設定する。	①番号を選択する ② …設定しない ① …設定する

1:電話機毎設定
2:システム一括設定

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

1:着信音色設定
2:外線毎着信拒否設定
3:外線着信鳴動設定
4:オフック外線応答設定
5:着信音停止設定
6:曜日毎鳴動モード設定

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
着信音色設定 (① ③ ①) 着信音色設定 内/外線ボタンを押下してください	外線/内線の着信音を設定する。トーンは、8種類から選択できる。メロディを設定する場合は、スター電話機では、システム着信メロディ設定 (P4-22) で設定されている内部音源メロディまたは2種類の外部音源から選択できる。	<トーンを設定する場合> ①外線/内線ボタンを押す ②「1:トーン」を選択する ③音色 (外線: トーン1、内線: トーン2) を選択する <メロディを設定する場合> ①外線/内線ボタンを押す ②「2:メロディ」を選択する ③メロディを選択する スター電話機: 「1:内部音源」 / 「2:外部音源1」 / 「3:外部音源2」
外線毎着信拒否設定 (① ③ ②) 外線毎着信拒否設定 外線ボタンを押下してください	ダイヤルイングループボタン (NK/NKG) を、一時的に着信拒否する。	①外線ボタンを押す ②番号を選択する <input type="radio"/> …設定しない <input type="checkbox"/> …設定する
外線着信鳴動設定 (① ③ ③) 外線着信鳴動設定 0:昼モード 1:夜モード 2:休憩モード	システムモード「昼」/「夜」/「休憩」/「休日」別に、外線着信音を鳴らすかどうかを設定する。	①設定するモードを選択する ②外線ボタンを押す ③番号を選択する <input type="radio"/> …鳴動しない <input type="checkbox"/> …鳴動する
オフック外線応答設定 (① ③ ④) オフック外線応答設定 0:設定しない 1:設定する	ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すだけで外線に応答する機能の利用を設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> …設定しない <input type="checkbox"/> …設定する

(次ページへつづく)

4
いろいろな機能を
登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定をするには (メニュー設定)



ワンポイント

●メロディの選択操作時には (P4-5)



お知らせ

●外線毎着信拒否設定をする場合は、「システム設定」で外線ボタンにダイヤルイングループボタン (NK/NKG) を割り当てておく必要があります。

内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
着信音停止設定 (①③⑤) 着信音停止設定 0:内線着信音停止 1:外線着信音停止	外線／内線の着信音を鳴らさないようにする。 ※外線個別着信は対象外です。	①設定する項目を選択する ②番号を選択する ① …設定しない ① …設定する
曜日毎鳴動モード設定 (①③⑥) 曜日毎鳴動モード設定 0:毎日 1:月曜 2:火曜	曜日別に鳴動動作のタイムテーブル（最大8つ）を設定する。 ※鳴動動作は外線着信鳴動設定に従います。たとえば「昼モード」が「鳴動無し」の場合、本設定で「昼」を設定した時間帯は外線着信音が鳴りません。	①設定する曜日を選択する （「0：毎日」を選択した場合は、このあと 決定 を押す） ②時間帯の登録先（1～8）を入力する ③時刻（24時間制）を入力する ④鳴動モードを選択する ① …昼 ① …夜 ② …休憩 ③ …休日 ⑤ 決定 を押す



ワンポイント

- **着信音停止設定を「設定する」にすると**
着信ランプも点滅しなくなります。ただし、外線／内線ランプの点滅によって着信を確認して電話に応答することができます。
- **曜日毎鳴動モード設定の利用方法について**
通常、内線電話機の鳴動動作は、システムモードに従って切り替わります。曜日毎鳴動モード設定を利用すると、システムモードより優先される鳴動動作を、電話機ごとに設定できます。登録は、曜日単位で行います。たとえば、システムモード時刻設定（P4-25）と外線着信鳴動設定（P4-7）により、次のように設定されています。
 - ・ 毎日10：00→すべての内線電話機が昼モード（鳴動する）に切り替わる
 - ・ 毎日19：00→すべての内線電話機が夜モード（鳴動しない）に切り替わる
 このとき、1台の内線電話機のみ、月曜日の12：00～13：00に着信音が鳴らないように設定したい場合は、曜日毎鳴動モード設定で「1：月曜」にタイムテーブルを以下のとおりに登録します。
 - ①12：00→「夜（鳴動しない）」
 - ②13：00→「昼（鳴動する）」
 - ③19：00→「夜（鳴動しない）」
 この場合に③の登録を行わないと、13：00からの「鳴動する」の状態が0：00（曜日が火曜日になる時刻）まで継続してしまいます。設定を行うときは、必ず翌日0：00までを含むタイムテーブルを登録するようご注意ください。

- **曜日毎鳴動モード設定の設定操作について**
「毎日」のタイムテーブルは、指定外のすべての曜日に適用されます。たとえば土日以外（平日）に同じタイムテーブルを適用したいときは、「毎日」にタイムテーブル（平日用）を登録してから、「土曜」と「日曜」のタイムテーブルを変更してください。誤って「土曜」と「日曜」の登録のあと「毎日」の登録を行うと、「土曜」と「日曜」の登録内容が消去され、すべての曜日に「毎日」のタイムテーブルが適用されてしまいますのでご注意ください。また、手順①で「0：毎日」を選択して **決定** を押すと、それ以前に特定の曜日に登録していたタイムテーブルがあった場合、登録内容はすべて消去されます。



お知らせ

- 曜日毎鳴動モード設定は、ご利用のしかたによってはどの内線電話機も外線着信音が鳴らない時間帯が生じてしまう可能性がありますのでご注意ください。

1:電話機毎設定
2:システム一括設定

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

1:転送先リスト登録
2:留守メッセージ設定
3:留守番電話応答動作
4:圏外時サービス設定
5:メッセージ再生順設定
6:新規メッセージ優先設定

：お買い求め時の設定

メニュー項目(メニュー番号)	概要	登録・設定操作
転送先リスト登録 (① ④ ①) 転送先電話番号登録 1:電話番号1 2:電話番号2 3:電話番号3	転送電話を利用したときの、転送先電話番号を登録する。(P3-18)	①登録先を選択する ②転送先の電話番号を入力する ③ 決定 を押す
留守メッセージ設定 (① ④ ②) 留守メッセージ設定 0:選択 1:録音 2:確認	留守番電話で使用する応答メッセージ(応答専用/録音用)を選択/録音/確認する。(P3-29)	<使用するメッセージを選択する場合> ①「0:選択」を選択する ②メッセージの種類を選択する <input type="radio"/> …応答専用 <input type="checkbox"/> …録音用 ③番号を選択する <input type="radio"/> …出荷時設定 <input type="checkbox"/> …録音メッセージ <メッセージを録音する場合> ①「1:録音」を選択する ②メッセージの種類を選択する <input type="radio"/> …応答専用 <input type="checkbox"/> …録音用 ③メッセージを録音する(P6-5) <現在のメッセージを確認する場合> ①「2:確認」を選択する ②メッセージの種類を選択する <input type="radio"/> …応答専用 <input type="checkbox"/> …録音用 ③再生されるメッセージを確認する
留守番電話応答動作 (① ④ ③) 留守番電話応答動作 0:応答専用 1:録音用	留守番電話で応答したときの動作を設定する。(P3-29)	①番号を選択する <input type="radio"/> …応答専用 <input type="checkbox"/> …録音用
圏外時サービス設定 (① ④ ④) 圏外時サービス設定 0:設定しない 1:転送電話 2:留守番電話	内線電話機が圏外になったときの動作を設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> …設定しない <input type="checkbox"/> …転送電話 <input type="checkbox"/> …留守番電話

(次ページへつづく)



お知らせ

- 新たに留守番電話の応答メッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。
- 留守番電話の応答メッセージの最大録音時間は約3分です。最大録音時間を超えると自動的に終了し、前のメッセージは新しいメッセージに上書きされます。



ワンポイント

- 転送先リストの登録内容を消去するには (P3-18)



- ▶ メッセージを録音するには? (P6-5)
- ▶ 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは? (P6-6)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
メッセージ再生順設定 (① ④ ⑤) メッセージ再生順設定 0:古いメッセージ順 1:新しいメッセージ順	メッセージの再生順序を新しい順／古い順のどちらにするか設定する。	①番号を選択する ① …古いメッセージ順 ② …新しいメッセージ順
新規メッセージ優先設定 (① ④ ⑥) 新規メッセージ優先設定 0:優先しない 1:優先する	新しいメッセージと保存メッセージの両方があるときに、新しいメッセージの再生を優先させるか、すべてのメッセージをまとめて再生するかを設定する。	①番号を選択する ① …優先しない（保存メッセージも同時に再生） ② …優先する（新しいメッセージのみ先に再生）

1:電話機毎設定
2:システム一括設定

5:ワンタッチ
6:時計/アラーム
7:ドックホン/内線
8:通話

1:ワンタッチダイヤル登録
2:ワンタッチ機能ボタン登録
3:ワンタッチメモリ全削除

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
ワンタッチダイヤル登録 (1 5 1) ワンタッチダイヤル登録 ワンタッチダイヤルボタンを押下して ください	ワンタッチボタンにワンタッチダイヤルを登録する。(P3-8)	①登録するワンタッチボタンを押す ②登録する電話番号を入力する ③手順①で押したワンタッチボタンを押す
ワンタッチ機能ボタン登録 (1 5 2) ワンタッチ機能ボタン登録 サービスボタンを押下して ください	サービスボタンに登録する機能を選択する。(P3-10)	①登録するサービスボタンを押す ②登録する機能を選択する
ワンタッチメモリ全削除 (1 5 3) ワンタッチメモリ全削除 削除しない 削除する	ワンタッチボタンに登録されている機能をすべて削除する。	①「削除する」を選択する ② 決定 を押す

4
いろいろな機能を
登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
時計アラーム（1回） （①⑥①） 	電話機のアラーム（1回のみ）をセットする。	①時刻（24時間制）を入力する ② 決定 を押す
時計アラーム（毎日） （①⑥②） 	電話機のアラーム（毎日同時刻に繰り返す）をセットする。	①時刻（24時間制）を入力する ② 決定 を押す



ワンポイント

- アラームを止めるには
アラームが鳴っているときに **クリア** またはスピーカボタンを押します。ハンドセットを取りあげても止めることができます。通話中にアラームが鳴ったときは、**クリア** を押してください。
- アラームを解除するには
メニュー項目を選択してアラームの設定内容を表示させ、**クリア** を長く押し、続けて **決定** を押します。

1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

5: ワンタッチ
6: 時計/アラーム
7: ドアホン/内線
8: 通話

1: 内線ホットライン設定
2: 内線呼出音設定
3: 不在着信転送設定
4: ドアホン鳴動設定
5: 内線グループ一斉鳴動

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
内線ホットライン設定 (① ⑦ ①) 内線ホットライン設定 内線番号?	ハンドセットを取りあげるだけで呼び出せる内線電話機を設定する。	<設定する場合> ① 内線番号を入力する ② 決定 を押す <設定を解除する場合> ① クリア を押して内線番号を消去する ② 決定 を押す
内線呼出音設定 (① ⑦ ②) 内線呼出音設定 0: トーン 1: 音声	トーン (信号音) / 音声のどちらで内線着信するかを設定する。	① 番号を選択する ① トーン ① 音声
不在着信転送設定 (① ⑦ ③) 不在着信転送設定 転送先内線番号?	不在着信のときの転送先内線番号を設定する。	<設定する場合> ① 転送先の内線番号を入力する ② 決定 を押す <設定を解除する場合> ① クリア を押して内線番号を消去する ② 決定 を押す
ドアホン鳴動設定 (① ⑦ ④) ドアホン鳴動設定 ドアホン番号(1-4)?	ドアホンからのチャイム音を鳴らすかどうかを、ドアホン (最大4台) ごとに設定する。	① ドアホン番号を入力する ② 決定 を押す ③ 番号を選択する ① 鳴動しない ① 鳴動する
内線グループ一斉鳴動 (① ⑦ ⑤) 内線グループ一斉鳴動 0: 昼モード 1: 夜モード 2: 休憩モード	システムモード「昼」/「夜」/「休憩」/「休日」別に、内線代表一斉呼出時、着信音を鳴らすかどうかを設定する。	① 設定するモードを選択する ② 番号を選択する ① 鳴動しない ① 鳴動する

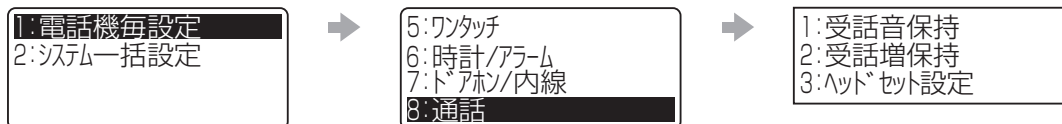
4
登録・設定する
いろいろな機能を

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)

 **お知らせ** ||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

● オフフック外線発信設定 (P4-6) を「設定する」にしていると、内線ホットラインはご利用できません。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
受話音保持 (① ⑧ ①) 受話音保持 0: 設定しない 1: 設定する	受話音量調節後の音量設定状態を、通話終了後も保持するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> … 設定しない（保持しない） <input checked="" type="radio"/> … 設定する（保持する）
受話増保持 (① ⑧ ②) 受話増保持 0: 設定しない 1: 設定する	明瞭モード中の音量設定状態を、通話終了後も保持するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> … 設定しない（保持しない） <input checked="" type="radio"/> … 設定する（保持する）
ヘッドセット設定 (① ⑧ ③) ヘッドセット設定 0: 設定しない 1: 設定する	ハンドセットの代わりにヘッドセットを使用するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> … 設定しない（使用しない） <input checked="" type="radio"/> … 設定する（使用する）

お知らせ

- デジタルシステムコードレス電話機は、ヘッドセット設定を「設定する」にすると、正しく動作しないことがあります。

1: 電話機毎設定
2: システム一括設定



9: その他



1: システム設定表示
2: セキュリティ設定
3: 表示/ランプ/音設定
4: 機能登録/設定

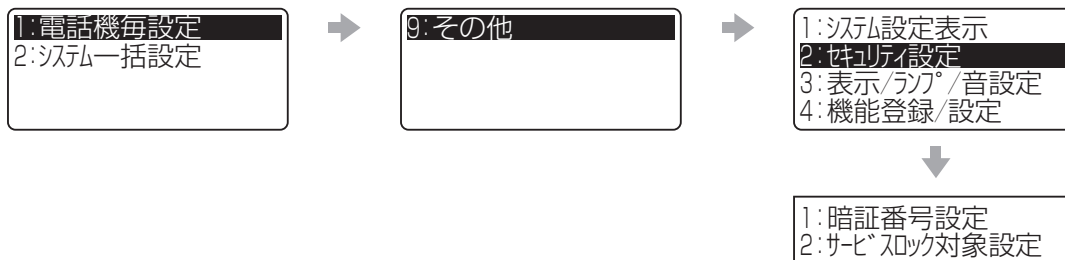


1: 主装置IPアドレス表示

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
主装置IPアドレス表示 (1)(9)(1)(1) 主装置IPアドレス表示 192.168.1.10 ポート:80	主装置のIPアドレスを確認する。	—

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
暗証番号設定 (① ⑨ ② ①) 暗証番号設定 旧暗証番号?	自動応答サービス、Web 設定、サービスロックを利用 するときなどの、電話機 ごとの暗証番号を登録す る。(4桁以内の数字)	①現在の暗証番号（「0000」）を入力する ② 決定 を押す ③新しい暗証番号を入力する ④ 決定 を押す ⑤再度新しい暗証番号を入力する ⑥ 決定 を押す
サービスロック対象設定 (① ⑨ ② ②) サービスロック対象設定 暗証番号?	サービスロックの対象とな る機能を設定する。	①電話機ごとの暗証番号を入力する ② 決定 を押す ③機能を選択する ④番号を選択する ① …対象にしない ② …対象にする



●暗証番号は「なし」に設定できません。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



■ : お買い求め時の設定

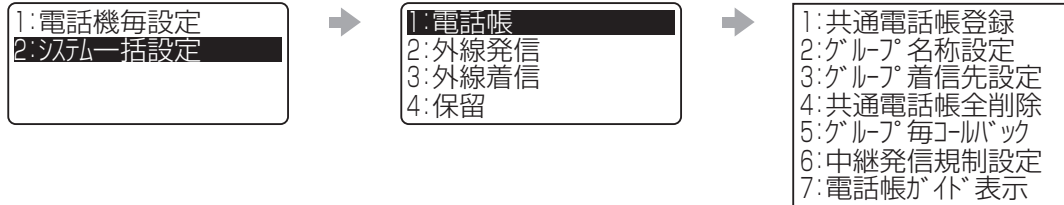
メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
通話録音モード設定 (① ⑨ ④ ①) 通話録音モード設定 ①: 自動録音 ②: 自動録音	通話録音の開始を自動/手動のどちらにするかを設定する。	①番号を選択する ① … 自動録音 ② … 自動録音
自動通話録音ガイダンス (① ⑨ ④ ②) 自動通話録音がタツシ ①: ガイダンス送出不しい ②: ガイダンス送出的る	通話録音モード設定で「自動」を選択している場合に、通話録音の開始時に通話先に録音することを知らせるメッセージを自動で流す。	①番号を選択する ① … ガイダンス送出不しい ② … ガイダンス送出的る
着信履歴保存設定 (① ⑨ ④ ③) 着信履歴保存設定 内/外線ボタンを押下してください	かけてきた方の電話番号や着信日時などの情報を保存するかどうかを設定する。	①外線/内線ボタンを押す ②番号を選択する ① … 保存しない ② … 保存する
システムモード別ECO設定 (① ⑨ ④ ④) システムモード別ECOモード ①: 昼 ②: 夜 ③: 休憩	システムモード（昼/夜/休憩/休日）別に、ecoモードを設定する。	①システムモードを選択する ②番号を選択する ① … 解除 ② … 起動

お知らせ

- 自動通話録音開始前ガイダンスのメッセージを流すタイミングを遅らせることもできます。
「システム設定」で設定しておく必要があります。

システム一括設定

「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えるメニュー設定です。項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。メニューの流れについては、システム一括設定メニュー（P4-3）を参照してください。



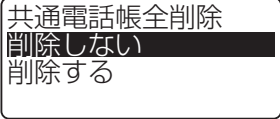


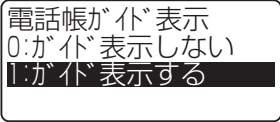
：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
共通電話帳登録 (② ① ①) 名称入力 [漢]機能	すべての内線電話機で使用 する電話帳を登録する。 (P3-2)	※操作手順は個別電話帳登録（P4-4）と同様です。また、 詳細は「電話帳を登録する」（P3-2）を参照してくださ い。
グループ名称設定 (② ① ②) グループ名称設定 ① 指定なし ② グループ① ③ グループ②	電話帳グループに名称を設 定する。	①名称設定するグループ（または「① 指定なし」）を選択する ②名称を入力し、[決定] を押す
グループ着信先設定 (② ① ③) グループ着信先設定 ① 指定なし ② グループ① ③ グループ②	電話帳グループ（およびグ ループ分けしない「指定な し」の電話帳）ごとに、着 信先や応答方法を設定す る。	<特に設定をしない場合> ①着信先を設定するグループ（または「① 指定なし」）を選択する ②「①：設定しない」を選択する <特定の内線電話を呼び出す場合> ①着信先を設定するグループ（または「① 指定なし」）を選択する ②「②：指定内線」を選択する ③内線番号を入力し、[決定] を押す <モード指定着信を設定する場合> ①着信先を設定するグループ（または「① 指定なし」）を選択する ②「③：モード指定着信」を選択する ③モードを選択する <自動応答サービスを設定する場合> ①着信先を設定するグループ（または「① 指定なし」）を選択する ②「④：自動応答サービス」を選択する ③内線番号を入力し、[決定] を押す <他の電話番号へ転送を設定する場合> ①着信先を設定するグループ（または「① 指定なし」）を選択する ②「⑤：転送電話」を選択する ③転送先リストのリスト番号を入力し、[決定] を押す <着信拒否を設定する場合> ①着信先を設定するグループ（または「① 指定なし」）を選択する ②「⑥：着信拒否」を選択する <外部トーキでの応答を設定する場合> ①着信先を設定するグループ（または「① 指定なし」）を選択する ②「⑦：外部トーキ」を選択する ③指定する外部トーキを選択する

(次ページへつづく)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
共通電話帳全削除 (② ① ④) 	登録されている共通電話帳をすべて削除する。	①「削除する」を選択する ② [決定] を押す
グループ毎コールバック (② ① ⑤) 	電話帳グループ（およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳）ごとに、コールバック着信時の動作を設定する。（▶P3-45、P3-46）	①コールバックを設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②番号を選択する ① …設定しない ① …システム内線着信（発信元に自動コールバックして通話する） ② …中継発信（事業所（システム設置所）を使用して発信元から外線発信できるようにする） ③ …自動応答サービス（リモコン操作により、内線電話機の呼び出しや外線発信などを行う）
中継発信規制設定 (② ① ⑥) 	中継発信（▶P3-46）の相手先として発信を許可するかどうかを、電話帳グループ（およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳）ごとに設定する。	①設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②番号を選択する ① …規制しない ① …規制する
電話帳ガイド表示 (② ① ⑦) 	内線電話機で電話帳を利用するときに、画面にガイドを表示するかどうかを設定する。	①番号を選択する ① …ガイド表示しない ① …ガイド表示する

お知らせ

- グループ着信先設定で、外部トキでの応答を設定するには、オプションが必要です。オプションなしで設定した場合は、トキのメッセージが聞こえず、無音状態になります。
- 中継発信規制設定を有効にするには、中継発信できる相手先を限定するための「システム設定」が必要です。（▶P4-50）

1:電話機毎設定
2:システム一括設定

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:保留

1:発信可能ダイヤル設定
2:発信規制ダイヤル設定
3:削除ダイヤル設定
4:事業者識別番号付与

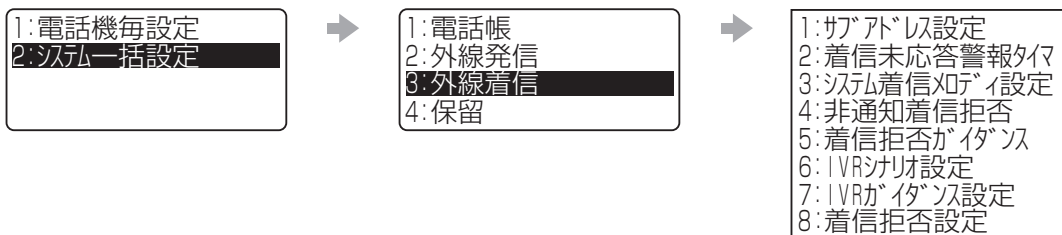
：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
発信可能ダイヤル設定 (② ② ①) 発信可能ダイヤル設定 電話番号 (01-40)?	発信を許可する電話番号 (最大10桁)を設定する。 ダイヤルした電話番号に、 登録されている番号と一致 する部分がないと発信でき ない。	①登録番号 (01 ~ 40) を入力する ② <input type="button" value="決定"/> を押す ③電話番号を入力する ④ <input type="button" value="決定"/> を押す
発信規制ダイヤル設定 (② ② ②) 発信規制ダイヤル設定 電話番号 (01-40)?	発信を禁止する電話番号 (最大10桁)を設定する。 ダイヤルした電話番号に、 登録されている番号と一致 する部分があると発信でき ない。	①登録番号 (01 ~ 40) を入力する ② <input type="button" value="決定"/> を押す ③電話番号を入力する ④ <input type="button" value="決定"/> を押す
削除ダイヤル設定 (② ② ③) 削除ダイヤル設定 電話番号 (01-20)?	発信規制のチェック対象か ら除外する番号 (最大6桁) を登録する。	①登録番号 (01 ~ 20) を入力する ② <input type="button" value="決定"/> を押す ③電話番号を入力する ④ <input type="button" value="決定"/> を押す
事業者識別番号付与 (② ② ④) 事業者識別番号付与 0:自動付与しない 1:自動付与する	携帯電話に電話をかけると き、あらかじめ設定された 事業者識別番号の自動付与 をするかどうかを設定す る。	①番号を選択する <input type="radio"/> …自動付与しない <input type="radio"/> …自動付与する

4
いろいろな機能を
登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
サブアドレス設定 (② ③ ①) サブアドレス設定 内線 10 - 内線 11 - 内線 12 -	内線電話機にサブアドレスを設定する。	①設定する内線を選択する ② 決定 を押す ③サブアドレスを入力する ④ 決定 を押す
着信未応答警報タイマ (② ③ ②) 着信未応答警報タイマ (0-255) × 10秒? 0: 警報なし	外線着信に対して一定の時間内に応答しなかったときに、着信音が警報音に切り替わるように設定する。	①時間 (0 (警報なし) ~ 255 [単位: × 10秒]) を入力する ② 決定 を押す
システム着信メロディ設定 (② ③ ③) システム着信メロディ設定 0: グリーンスリーブス 1: 味の我が家 2: カノン	着信音に使用したいメロディを設定する。 着信メロディを有効にするには、グループ毎鳴動設定 (P4-5) または、着信音色設定 (P4-7) で内部音源を選択する。	①着信メロディを選択する ① … 「グリーンスリーブス」 ① … 「味の我が家」 ② … 「カノン」 ③ … 「春の歌」 ④ … 「主よ人の望みの喜びよ」 ⑤ … 「メヌエット」 ⑥ … 「JUPITER」 ⑦ … 「アメイジング・グレイス」 ⑧ … 「ユーザ着信メロディ」 (初期: チャイム音) ※ユーザ着信メロディは、「システム管理者」によって「ユーザ着信メロディアップロード」(P4-42) で変更できません。 ② 決定 を押す
非通知着信拒否 (② ③ ④) 非通知着信拒否 0: 非通知 1: 公衆電話 2: 表示圏外	電話番号非通知の着信、公衆電話からの着信、表示圏外からの着信を拒否するかどうかを設定する。 (P3-14)	①非通知着信拒否する項目を選択する ②番号を選択する ① … 拒否しない ① … 拒否する
着信拒否ガイドンス (② ③ ⑤) 着信拒否ガイドンス 1: 非通知着信拒否 2: 発番号着信拒否	着信を拒否する相手に対して、音声ガイドンスを送出するかどうかを設定する。 (P3-14)	①ガイドンスを設定する項目を選択する ②番号を選択する ① … ガイドンス送出不しい ① … ガイドンス送出的る

お知らせ

- システム着信メロディ設定の操作でメロディ試聴しているときに着信中の内線電話機があると、その着信メロディも試聴中のメロディに切り替わりますのでご注意ください。

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
<p>IVRシナリオ設定 (② ③ ⑥)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> IVRシナリオ設定 ダイヤル(1-9)? </div>	<p>自動応答後に操作する番号ごとに、内線呼出先や留守番電話の録音用ボックス番号などを設定する。</p>	<p><特定の内線電話を呼び出す場合> ①自動応答後に操作する番号（1～9）を入力する ② 決定 を押す ③「1：指定内線」を選択する ④内線番号を入力し、決定 を押す</p> <p><留守番電話にする場合> ①自動応答後に操作する番号（1～9）を入力する ② 決定 を押す ③「2：留守番電話」を選択する ④ボックス番号を入力し、決定 を押す</p> <p><着信を転送する場合> ①自動応答後に操作する番号（1～9）を入力する ② 決定 を押す ③「3：システム転送」を選択する ④転送先リスト番号（☛P4-31）を入力し、決定 を押す</p> <p><音声ガイダンスをもう一度再生する場合> ①自動応答後に操作する番号（1～9）を入力する ② 決定 を押す ③「4：ガイダンス繰り返し」を選択する ④ 決定 を押す</p>
<p>IVRガイダンス設定 (② ③ ⑦)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> IVRガイダンス設定 0:録音 1:確認 </div>	<p>IVRガイダンスを録音／確認する。</p>	<p><メッセージを録音する場合> ①「0：録音」を選択する ②メッセージを録音する（☛P6-5）</p> <p><現在のメッセージを確認する場合> ①「1：確認」を選択する ②再生されるメッセージを確認する</p>
<p>着信拒否設定 (② ③ ⑧)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 着信拒否設定 1:迷惑電話ブロック 2:国番号識別ブロック </div>	<p>迷惑電話からの着信、設定した着信拒否番号（国番号識別ブロック）からの着信を拒否するかどうかを設定する。</p>	<p><迷惑電話を設定する場合> ①「1：迷惑電話ブロック」を選択し、決定 を押す ②「1：迷惑電話ブロック設定」を選択し、決定 を押す ③「1：設定する」を選択し、決定 を押す</p> <p><迷惑電話ブロックライセンスの期限を確認する場合> ①「1：迷惑電話ブロック」を選択し、決定 を押す ②「2：ライセンス期限」を選択し、決定 を押す</p> <p><国番号識別ブロックを設定する場合> ①「2：国番号識別ブロック」を選択し、決定 を押す ②テーブル番号（1～40）を入力し、決定 を押す</p>

 **お知らせ** |||

- 新たにIVRガイダンスのメッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。
- IVRガイダンスの最大録音時間は約5分です。最大録音時間を超えると自動的に終了し、前のメッセージは新しいメッセージに上書きされます。



▶ **メッセージを録音するには？**（☛P6-5）

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
システム保留音設定 (② ④ ①) 	保留メロディを選択する。	①保留メロディを選択する ① … 「峠の我が家」 ② … 「カノン」 ③ … 「春の歌」 ④ … 「主よ人の望みの喜びよ」 ⑤ … 「メヌエット」 ⑥ … 「JUPITER」 ⑦ … 「アメイジング・グレイス」 ⑧ … 「外部音源1」 ⑨ … 「外部音源2」
保留警報音送出タイマ (② ④ ②) 	保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する。	①時間 (0 (警報なし) ~ 255 [単位: ×10秒]) を入力する ② 決定 を押す



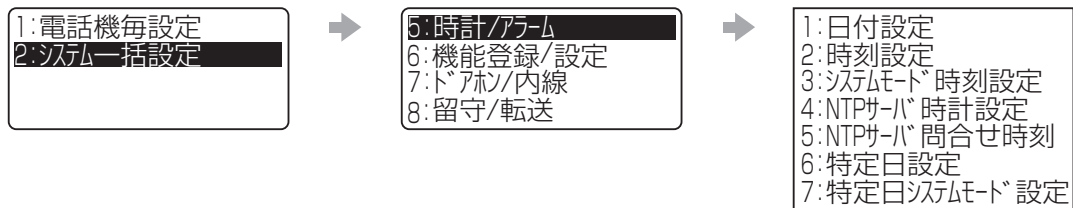
ワンポイント

- メロディの選択操作時には (P4-5)



お知らせ

- システム保留音設定の操作で、保留メロディを試聴しているときに保留中の内線電話機があると、その保留メロディも試聴中のメロディに切り替わりますのでご注意ください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
日付設定 (② ⑤ ①) 	時計機能の日付を設定する。	①西暦の下2桁、月、日を入力する ② 決定 を押す
時刻設定 (② ⑤ ②) 	時計機能の時刻を設定する。	①時刻 (24時間制) を入力する ② 決定 を押す
システムモード時刻設定 (② ⑤ ③) 	システムモード切替時刻とモードをセットにしたタイムテーブル (最大8つ) を登録する。	①切替パターン (1 ~ 8) を入力する ② 決定 を押す ③時間帯の登録先 (1 ~ 8) を選択する ④時刻 (24時間制) を入力する ⑤モードを選択する <input type="radio"/> …昼 <input type="radio"/> …夜 <input type="radio"/> …休憩 <input type="radio"/> …休日 ⑥ 決定 を押す ※切替パターン8の初期値は「00:00 休日」
NTPサーバ時計設定 (② ⑤ ④) 	NTPサーバーを使って日付・時刻を自動設定する。 (P1-14)	①番号を選択する <input type="radio"/> …自動設定しない <input checked="" type="radio"/> …自動設定する

4
いろいろな機能を登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)



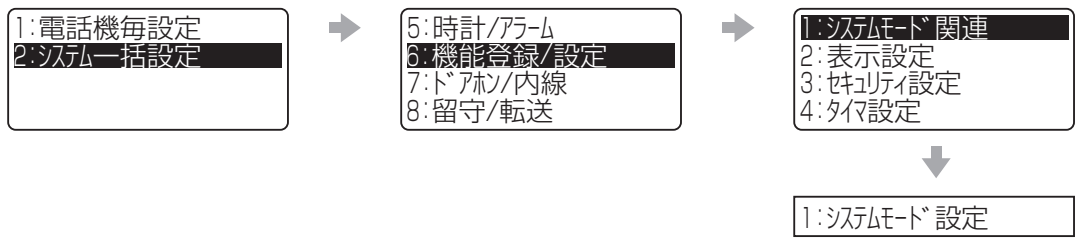
お知らせ

- 日付設定と時刻設定は、他の人が外線を使用しているときは、設定できません。
- NTPサーバー問合せ時刻は、本商品の設置工事時に設定した日付・時刻の設定により00:00 ~ 03:59の間に自動設定されます。
- NTPサーバーの問合せ時刻に他の人が外線を使用しているときは、自動設定できません。翌日NTPサーバーの問合せ時刻に改めて問合せが行われます。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

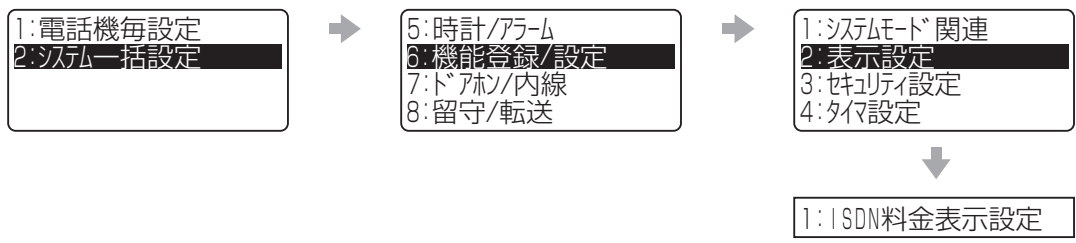
：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
NTPサーバ問合せ時刻 (② ⑤ ⑤) NTPサーバ問合せ時刻 ■ :	NTPサーバーへの問合せ時刻を設定する。	①時刻（24時間制）を入力する ② 決定 を押す
特定日設定 (② ⑤ ⑥) 特定日設定 テーブル番号 (01-50) ?	特定日（最大50）を設定する。	①テーブル番号（1～50）を入力する ② 決定 を押す ③特定日の月、日を入力する ④ 決定 を押す
特定日システムモード設定 (② ⑤ ⑦) 特定日システムモード設定 テーブル番号 (01-50) ?	特定日のテーブル番号（最大50）に切替パターンを設定する。	①テーブル番号（1～50）を入力する ② 決定 を押す ③切替パターン（0（切替なし）～8）を入力する ④ 決定 を押す



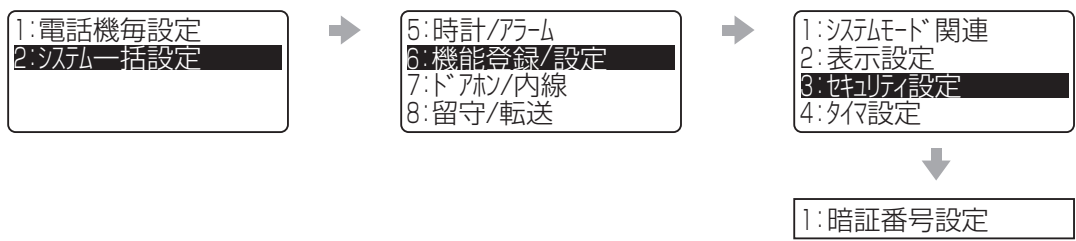
：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
システムモード設定 (② ⑥ ① ①) システムモード設定 ①: 自動 1: 昼モード 2: 夜モード	システムモード (昼/夜/休憩/休日)を切り替える。	①システムモードを選択する ① …自動 ① …昼モード ② …夜モード ③ …休憩モード ④ …休日モード



：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
ISDN料金表示設定 (② ⑥ ② ①) ISDN料金表示設定 0: 設定しない 1: 設定する	INSネット64で電話をかけたときの料金表示の設定を行う。	①番号を選択する ① …設定しない ① …設定する

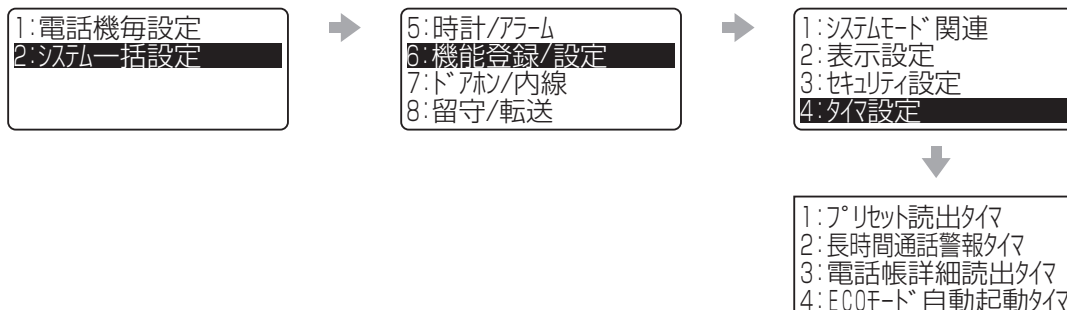


：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
暗証番号設定 (② ⑥ ③ ①) 暗証番号設定 旧暗証番号?	外線転送時の暗証番号を設定する。	①現在の暗証番号 (「0000」) を入力する ② 決定 を押す ③新しい暗証番号を入力する ④ 決定 を押す ⑤再度新しい暗証番号を入力する ⑥ 決定 を押す

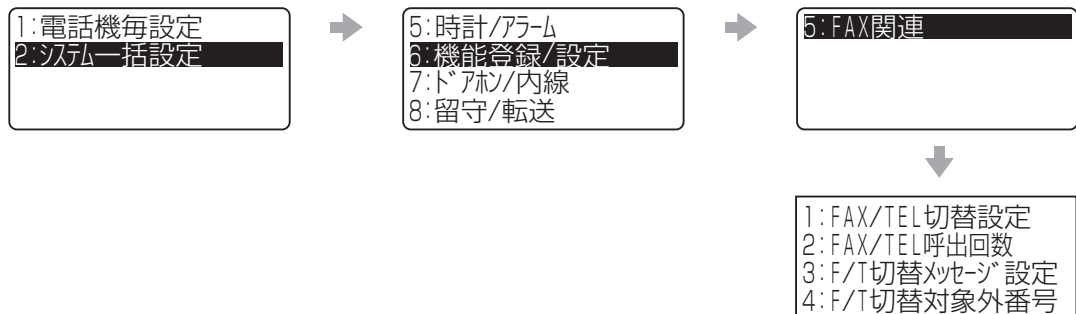
4
いろいろな機能を登録・設定する
内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



■ : お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
プリセット読出タイマ (2) (6) (4) (1) プリセット読出タイマ タイマ (1-30) 秒? 6	プリセットダイヤルの表示を継続する秒数を設定する。	①秒数 (1 ~ 30) (6秒) を入力する ② 決定 を押す
長時間通話警報タイマ (2) (6) (4) (2) 長時間通話警報タイマ タイマ (0-255) × 10秒? 0: 警報なし 0	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する。最初の警報音が鳴ったあとは、3分ごとに警報音が鳴る。	①時間 (0 (警報なし) ~ 255 [単位: × 10秒]) を入力する ② 決定 を押す
電話帳詳細読出タイマ (2) (6) (4) (3) 電話帳詳細読出タイマ タイマ (1-30) 秒? 30	電話帳詳細画面の表示を継続する秒数を設定する。	①秒数 (1 ~ 30) を入力する ② 決定 を押す
ECOモード自動起動タイマ (2) (6) (4) (4) ECOモード自動起動タイマ タイマ (1-60) × 10秒? 1	自動起動でecoモード起動中に手動でeco解除した場合、再度ecoモードを起動するまでの時間を設定する。	①時間 (1 ~ 60 [単位: × 10秒]) (1 (10秒)) を入力する ② 決定 を押す



：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
FAX/TEL切替設定 (② ⑥ ⑤ ①) FAX/TEL切替設定 ①:設定しない ②:FAX/TEL切替 ③:FAX自動転送	ファクスが送られてきたときに、ファクスへの転送を自動的に行う機能を設定する。	①番号を選択する ① ① …設定しない ② ② …FAX/TEL切替 ③ ③ …FAX自動転送 ④ ④ …両サービス設定
FAX/TEL呼出回数 (② ⑥ ⑤ ②) FAX/TEL呼出回数 回数 (3-30)? 20	ファクスが応答しなかった場合に自動的に外線を切断するまでの呼び出し回数を設定する。	①呼び出し回数 (3 ~ 30) (20回) を入力する ② 決定 を押す
F/T切替メッセージ設定 (② ⑥ ⑤ ③) F/T切替メッセージ設定 ①:選択 ②:録音 ③:確認 ※外線通話中は設定が行えません。	FAX/TEL切替のときに使用するメッセージを選択/録音/確認する。	<使用するメッセージを選択する場合> ①「0：選択」を選択する ②番号を選択する ① ① …出荷時設定 ② ② …録音メッセージ <メッセージを録音する場合> ①「1：録音」を選択する ②メッセージを録音する (P6-5) <現在のメッセージを確認する場合> ①「2：確認」を選択する ②再生されるメッセージを確認する
F/T切替対象外番号 (② ⑥ ⑤ ④) F/T切替対象外番号 電話番号 (01-20)?	FAX/TEL切替をしない電話機を設定する。	①登録番号 (01 ~ 20) を入力する ② 決定 を押す ③電話番号を入力する ④ 決定 を押す

4
いろいろな機能を登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)

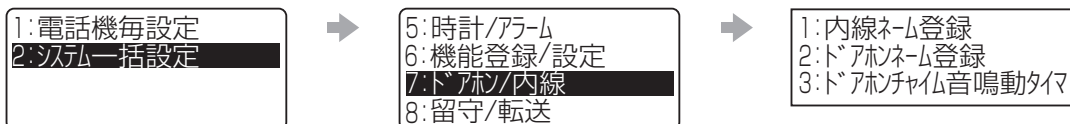
お知らせ

- 新たに切替メッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。
- 切替メッセージの最大録音時間は約3分です。最大録音時間を超えると自動的に終了し、前のメッセージは新しいメッセージに上書きされます。



▶ **メッセージを録音するには? (P6-5)**

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
内線ネーム登録 (② ⑦ ①) 内線ネーム登録 内線番号?	着信履歴などに表示させる内線電話機ごとの名称を登録する。	①内線番号を入力する ② 決定 を押す ③名称を入力する ④ 決定 を押す
ドアホンネーム登録 (② ⑦ ②) ドアホンネーム登録 ドアホン番号 (1-4)?	着信履歴や通話中のドアホン着信のときなどに表示させるドアホン名称を登録する。	①ドアホン番号 (1 ~ 4) を入力する ② 決定 を押す ③名称 (ドアホン1 ~ 4) を入力する ④ 決定 を押す
ドアホンチャイム音鳴動タイマ (② ⑦ ③) ドアホンチャイム音鳴動タイマ タイマ (1-255) 秒? <div style="text-align: right;">10</div>	ドアホンのチャイム音が鳴動する時間を設定する。	①秒数 (1 ~ 255) (10 秒) を入力する ② 決定 を押す

お知らせ

- ドアホンチャイム音鳴動タイマの設定は、カラーカメラドアホンをご利用の場合は変更しないでください。
- ドアホンネーム登録やドアホンチャイム音鳴動タイマの設定は、オプションのドアホンを接続していない場合は無効です。

1:電話機毎設定
2:システム一括設定



5:時計/アラーム
6:機能登録/設定
7:ドアホン/内線
8:留守/転送



1:転送先リスト登録
2:留守/転送開始タイ
3:外線転送先呼出タイ
4:外線転送方式設定
5:転送元呼出継続設定
6:システム留守メッセージ設定
7:システム留守応答動作
8:お待たせメッセージ設定

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
転送先リスト登録 (② ⑧ ①) 転送先リスト登録 リスト番号 (01-20)?	「電話帳グループ転送」や「システムモード転送」の転送先電話番号を登録する。	①リスト番号 (01 ~ 20) を入力する ② 決定 を押す ③登録先を選択する ④転送先の電話番号を入力する ⑤ 決定 を押す
留守/転送開始タイ (② ⑧ ②) 留守/転送開始タイ 外線ボタンを押下してください	着信から転送、または留守番電話を開始するまでの秒数を設定する。	①外線ボタンを押す ②秒数 (0 (即時転送/即時応答) ~ 255) (5秒) を入力する ③ 決定 を押す
外線転送先呼出タイ (② ⑧ ③) 外線転送先呼出タイ 外線ボタンを押下してください	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定する。	①外線ボタンを押す ②秒数 (6 ~ 100) (30秒) を入力する ③ 決定 を押す
外線転送方式設定 (② ⑧ ④) 外線転送方式設定 0:同時転送 1:順次転送	転送先リストの電話番号への発信を、同時/順次のどちらの方法で行うかを設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> …同時転送 <input checked="" type="radio"/> …順次転送

(次ページへつづく)

4
いろいろな機能を
登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定をするには (メニュー設定)



ワンポイント

- 転送先リストの登録内容を消去するには
 転送先リスト登録の手順③で内容を消去する転送先リストを選択し、**クリア** を押して電話番号を消去して **決定** を押します。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
転送元呼出継続設定 (② ⑧ ⑤) 転送元呼出継続設定 0: 設定しない 1: 設定する	転送元の呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定する。	①番号を選択する ① 〇 …設定しない（継続しない） ① ① …設定する（継続する）
システム留守メッセージ設定 (② ⑧ ⑥) システム留守メッセージ設定 0: 選択 1: 録音 2: 確認	システム留守メッセージをシステムモード（昼／夜／休憩／休日）ごとに選択／録音／確認する。	<使用するメッセージを選択する場合> ①「0：選択」を選択する ②システムモード（昼／夜／休憩／休日）を選択する ③メッセージの種類を選択する ① 〇 …応答専用 ① ① …録音用 ④番号を選択する ① 〇 …出荷時設定 ① ① …録音メッセージ <メッセージを録音する場合> ①「1：録音」を選択する ②システムモード（昼／夜／休憩／休日）を選択する ③メッセージの種類を選択する ① 〇 …応答専用 ① ① …録音用 ④メッセージを録音する（☞P6-5） <現在のメッセージを確認する場合> ①「2：確認」を選択する ②システムモード（昼／夜／休憩／休日）を選択する ③メッセージの種類を選択する ① 〇 …応答専用 ① ① …録音用 ④再生されるメッセージを確認する
システム留守応答動作 (② ⑧ ⑦) システム留守応答動作 0: 応答専用 1: 録音用	システム留守番電話で応答したときの動作を設定する。（☞P3-35）	①番号を選択する ① 〇 …応答専用 ① ① …録音用

お知らせ

- 新たにシステム留守番電話の応答メッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。
- システム留守番電話の応答メッセージの最大録音時間は約3分です。最大録音時間を超えると自動的に終了し、前のメッセージは新しいメッセージに上書きされます。



- ▶ **メッセージを録音するには？**（☞P6-5）
- ▶ **設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？**（☞P6-6）

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
<p>お待たせメッセージ設定 (2) (8) (8)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>お待たせメッセージ設定</p> <p>0: 選択</p> <p>1: 録音</p> <p>2: 確認</p> </div>	<p>お待たせメッセージ、切断メッセージを選択／録音／確認する。</p>	<p><使用するメッセージを選択する場合></p> <p>①「0：選択」を選択する</p> <p>②メッセージの種類を選択する</p> <p> ① …お待たせメッセージ ② …切断メッセージ</p> <p>③番号を選択する</p> <p> ① …出荷時設定 ① …録音メッセージ</p> <p><メッセージを録音する場合></p> <p>①「1：録音」を選択する</p> <p>②メッセージの種類を選択する</p> <p> ① …お待たせメッセージ ② …切断メッセージ</p> <p>③メッセージを録音する (P6-5)</p> <p><現在のメッセージを確認する場合></p> <p>①「2：確認」を選択する</p> <p>②メッセージの種類を選択する</p> <p> ① …お待たせメッセージ ② …切断メッセージ</p> <p>③再生されるメッセージを確認する</p>

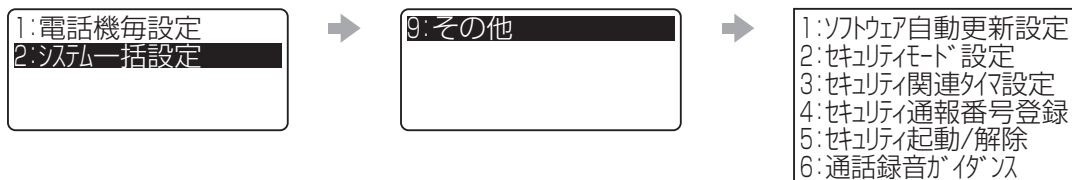
 **お知らせ** |||

- 新たにお待たせメッセージの応答メッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。
- お待たせメッセージの応答メッセージの最大録音時間は約3分です。最大録音時間を超えると自動的に終了し、前のメッセージは新しいメッセージに上書きされます。



▶ **メッセージを録音するには? (P6-5)**

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
ソフトウェア自動更新設定 (②) (⑨) (①) ソフトウェア自動更新設定 1: 主装置ソフトウェア 2: 端末ソフトウェア	主装置／端末の最新ソフトウェアの更新方法を設定する。 ※対象の端末は、以下2つ ・標準IP電話機 ・コールコードレスIP電話機	<主装置ソフトウェアを設定する場合> ①「1：主装置ソフトウェア」を選択する ②番号を選択する ① …自動更新 ② …手動更新（最新ファーム通知のみ） ③ …無効（自動では行わない） <端末ソフトウェアを設定する場合> ①「2：端末ソフトウェア」を選択する ②番号を選択する ① …自動更新 ② …手動更新（最新ファーム通知のみ） ③ …無効（自動では行わない）
セキュリティモード設定 (②) (⑨) (②) セキュリティモード設定 1: セキュリティ内線発報 2: セキュリティ外線発報 3: セキュリティ内外発報	セキュリティサービスの検知信号を受信したときの動作を設定する。	<検知信号受信時の内線発報を設定する場合> ①「1：セキュリティ内線発報」を選択する ②番号を選択する ① …しない ② …する <検知信号受信時の外線発報を設定する場合> ①「2：セキュリティ外線発報」を選択する ②番号を選択する ① …しない ② …する <検知信号受信時の内外発報を設定する場合> ①「3：セキュリティ内外発報」を選択する ②番号を選択する ① …しない ② …する



●最新ソフトウェアの更新を行わないと、本来の機能・性能を發揮できない場合があります。

メニュー項目(メニュー番号)	概要	登録・設定操作
セキュリティ関連タイマ設定 (2 9 3) セキュリティ関連タイマ設定 1: センサ監視開始タイマ 2: セキュリティ通報開始タイマ 3: 自動威嚇音開始タイマ	セキュリティサービスの各種動作を起動するタイミングを設定する。	<起動から監視開始までの秒数を設定する場合> ①「1: センサ監視開始タイマ」を選択する ②秒数(1~255)(180 秒)を入力する ③ 決定 を押す <検知信号受信から通報開始までの秒数を設定する場合> ①「2: セキュリティ通報開始タイマ」を選択する ②秒数(1~255)(30 秒)を入力する ③ 決定 を押す <検知信号受信から自動威嚇音の送出開始までの秒数を設定する場合> ①「3: 自動威嚇音開始タイマ」を選択する ②秒数(1~255)(30 秒)を入力する ③ 決定 を押す
セキュリティ通報番号登録 (2 9 4) セキュリティ通報番号登録 1: 電話番号1 2: 電話番号2 3: 電話番号3	検知信号を受信したときの通報先電話番号を登録する。	①登録先を選択する ②通報先の電話番号を入力する ③ 決定 を押す
セキュリティ起動/解除 (2 9 5) セキュリティ起動/解除 0: セキュリティサービス解除 1: セキュリティサービス起動	セキュリティサービスを起動/解除する。	<解除する場合> ①「0: セキュリティサービス解除」を選択する ②セキュリティ暗証番号を入力する ③ 決定 を押す <起動する場合> ①「1: セキュリティサービス起動」を選択する
通話録音ガイダンス (2 9 6) 通話録音ガイダンス 0: 選択 1: 録音 2: 確認	通話録音ガイダンスを選択/録音/確認する。	<メッセージを選択する場合> ①「0: 選択」を選択する ②メッセージを選択する ① …出荷時設定 ① …録音ガイダンス <メッセージを録音する場合> ①「1: 録音」を選択する ②メッセージを録音する (P6-5) <現在のメッセージを確認する場合> ①「2: 確認」を選択する ②再生されるメッセージを確認する



▶ メッセージを録音するには? (P6-5)

パソコンを使って登録・設定するには (Web設定)

主装置にLAN接続したパソコンでWebブラウザを起動し、パソコンの画面を見ながらさまざまな項目を登録・設定する「Web設定」が行えます。

Web設定を行うパソコンは、次の条件を満たす必要があります。

条件を満たしていない場合には、正しく動作しないことがありますのでご注意ください。

項目	条件
OS	Windows® 11 / Windows® 10
CPU	OSの推奨スペック 1GHz以上推奨
表示	SVGA (800×600ドット) 以上
LAN	10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T対応のLANカード/ボード
ブラウザ	Chromium版Edge
RAM	128MB以上 (256MB以上推奨)
HDD	100MB以上の空き領域

お知らせ

- パソコンを主装置とLAN接続するには、接続工事が別途必要になります。
- お買い求め時の主装置のIPアドレス、サブネットマスクは、下記のように設定されています。
IPアドレス : 192.168.1.10
サブネットマスク : 255.255.255.0
「システム設定」によりお客様のネットワーク環境に合わせて変更することができます。
- ネットワークの状態などにより、ページの読み込みがうまくいかない場合があります。その場合は、もう一度同じ操作をするか、再度ログインし直して作業を続けてください。

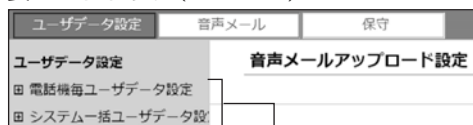
主装置と接続する

パソコンでブラウザを起動し、ユーザID（内線番号）と暗証番号を入力してログインします。「システム管理者」に設定されている内線電話機の内線番号と暗証番号を入力すると、システム全体についてのWeb設定が行えます。

- ① パソコンでChromium版 Edgeを起動する。
- ② [アドレス] ボックスに主装置のIPアドレスを入力し、[Enter] ボタンをクリックする。
お買い求め時は「192.168.1.10」です。
ログイン画面が表示されます。タイトルには、主装置のタイプによって「typeS」または「typeM」が表示されます。



- ③ ユーザID（内線番号）を入力する。
ユーザID（内線番号）を入力すると、個々の電話機についての設定項目のみが表示されます。システム管理者ID（「システム管理者」に設定されている内線電話機の内線番号）を入力すると、個々の電話機についての設定項目と、システム一括の設定項目が表示されます。
- ④ 暗証番号を入力する。
お買い求め時は「0000」です。
- ⑤ [ログイン] ボタンをクリックする。
画面の左側のエリアに、設定項目のメニューが表示されます。
初回ログイン時は、暗証番号を初期値から変更する必要があります。（P4-38）



ユーザIDでログインした場合は「電話機毎ユーザーデータ設定」のみ、システム管理者IDでログインした場合は、「電話機毎ユーザーデータ設定」と「システム一括ユーザーデータ設定」が表示される。

- ⑥ 設定項目の左側の「+」をクリックする。
「+」をクリックするとメニューツリーが展開し、設定区分の項目が表示されます。「-」をクリックすると元に戻ります。
- ⑦ 目的の設定メニューツリーを表示し、項目をクリックする。
クリックした項目の設定画面が表示されます。画面下には、設定項目の説明が表示されます。



- ⑧ 設定を行う。
設定操作については、各データ項目のページを参照してください。



お知らせ

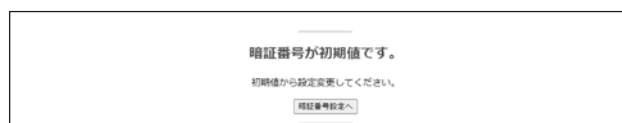
- IPアドレスは「システム設定」によって変更できます。変更した場合は、以下に記入してください。

IPアドレス

■ 初期パスワードを変更する

暗証番号を初期値でログインした場合は、必ず暗証番号の変更を行い、変更した暗証番号で再ログインして、Web設定を行ってください。

暗証番号を初期値でログインすると、以下の画面が表示されます。



①【暗証番号設定へ】ボタンをクリックする。



②新しい暗証番号（4桁以内の数字）を2回入力し、【設定】ボタンをクリックする。

以下の画面が表示されると、設定完了です。続けてWeb設定を行う場合は、再度ログインしてください。



ワンポイント

●データの編集が終了したら

【設定】ボタンをクリックします。この操作を行うことにより、設定内容が主装置に保存されます。この操作の前に次の操作を行った場合は、編集操作が反映されません。

- ・他のページへ移動
- ・[←] ボタンをクリック
- ・ブラウザを終了

●設定操作開始時の状態に戻すには

【元に戻す】ボタンをクリックします。この操作を行うと、編集前の設定状態に戻ります。

●Web設定を終了するには

ブラウザを終了します。

●「保守」の項目について

Web設定には「ユーザデータ設定」のほかに、機器接続確認（PING送信および主装置再起動）を行うための「保守」の操作があります。



お知らせ

- システム管理者の方は、主装置のIPアドレス/CallHist.html（初期値：192.168.1.10/CallHist.html）を入力してログインするとWeb通話履歴を表示できます。

電話機毎ユーザデータ設定項目一覧

電話機ごとの設定を行います。

ツリーメニュー		項目名	設定内容
設定区分	分類		
電話帳	個別電話帳編集	－ (P4-46)	内線電話機ごとに利用できる電話帳を登録します。
	電話帳設定	グループ鳴動設定	電話帳グループごとに着信音を設定することができます。
		グループ着信ランプ設定	電話帳グループごとに着信ランプの点滅色(8種類)を設定します。
外線発信		ワンタッチ／プリセクション選択	外線／内線ボタンを押すだけで回線を捕捉するワンタッチ捕捉、または外線／内線ボタンのあとオフックが必要なプリセクション捕捉のどちらにするかを設定します。
		優先捕捉回線キー設定	オフック外線発信設定を「可」に設定しているときに、ハンドセットを取り上げるか、スピーカボタンを押したときに最優先に自動捕捉する外線ボタンを設定することができます。
		自動捕捉回線キー設定	オフック外線発信設定を「可」に設定しているときに、ハンドセットを取り上げるか、スピーカボタンを押したときに自動捕捉する外線ボタンを設定します。
		オフック外線発信設定	ハンドセットを取り上げるか、スピーカボタンを押すだけで自動的に外線ボタンを捕捉できるように設定します。
外線着信	外線着信設定	着信音停止設定	電話がかかってきたときに、内線または外線の着信音を鳴らすか、鳴らさないかを設定します。
		自動捕捉回線キー設定	オフック外線応答設定を「可」に設定しているときに、ハンドセットを取り上げるか、スピーカボタンを押すだけで着信に応答できる外線ボタンを設定することができます。
		オフック外線応答設定	ハンドセットを取り上げるか、スピーカボタンを押すだけで着信に応答するかを設定します。
		履歴ランプ表示設定	かかってきた電話に出なかったときに、履歴ランプを点滅(周期的に2回点灯)させてお知らせするかどうかを設定します。
		着信履歴保存設定	内線／外線ごとに着信履歴を保存する／しないを設定します。
		外線毎着信拒否設定	ダイヤルイン番号が割り当てられている外線ボタンへの着信を着信拒否に設定することができます。
	鳴動設定	外線着信鳴動設定	システムモードが「昼」、「夜」、「休憩」、「休日」に設定されているときに鳴動させる外線ボタンを設定することができます。
		着信音色設定	外線／内線の着信音を設定します。
	曜日毎鳴動モード設定	曜日毎鳴動モード設定	曜日別に鳴動動作のタイムテーブル(最大8つ)を設定することができます。

パソコンを使って登録・設定するには (Web設定)

ツリーメニュー		項目名	設定内容
設定区分	分類		
留守／転送／音声メール	留守／転送／音声メール設定	転送先リスト登録	外出時や退社時など、電話機ごとにセットする電話機起動転送を利用したときの、転送先電話番号（最大3件）を登録することができます。
		留守番電話割込時録音保存設定	留守モニタ中に外線ボタンを押して相手の方とお話ししたとき、録音した内容を保存するか、消去するかを設定します。
		通話録音モード設定	通話内容を常に自動録音するか、手動で通話録音を開始するかを設定します。
		留守番電話応答動作／メッセージ設定	留守番電話で応答したときに、応答専用（録音不可）のメッセージを流すか、録音用（録音可）のメッセージを流すかを設定します。また、あらかじめ用意されているメッセージを使用するか（出荷時設定）、自分で作成したメッセージを使用するか（録音メッセージ）を選択できます。
		音声メール着信通知起動設定	留守番電話などにメッセージが録音されたときに、携帯電話などへ自動的に電話をかけてお知らせするかどうかを設定します。
		音声メール着信通知先設定	留守番電話などにメッセージが録音されたことをお知らせする場合、通知先の携帯電話などの電話番号を設定することができます。
		音声メール終話時保存設定	自動的に通話録音が始まり、保存操作を行わずに電話を切ってしまったときに、録音内容を保存するかどうかを設定します。
		音声メール登録通知音設定	メッセージが録音されたときに通知音を鳴らしてお知らせするかどうかを設定します。
		音声メールメッセージ再生順設定	メッセージの再生順序を「古い順に再生」、「新しい順に再生」のどちらにするか設定します。
		音声メール新規メッセージ優先設定	未再生のメッセージの再生を優先させるかどうかを設定します。
		圏外時サービス設定	内線電話機（シングルラインコードレス電話機やSIP端末）が圏外になったときの動作を設定します。
		音声メール再生時暗証番号入力設定	音声メール再生時の暗証番号を利用するかどうかを設定します。
		自動通話録音開始前ガイダンス送出設定	自動通話録音開始前に音声ガイダンスを送出するかどうかを設定します。
		ワンタッチ	ワンタッチダイヤル編集
個別留守転送対象回線設定			
ワンタッチ機能ボタン登録	サービスボタンに登録する機能を設定することができます。		

ツリーメニュー		項目名	設定内容	
設定区分	分類			
ドアホン／内線		内線ホットライン設定	ハンドセットを取りあげるだけで自動的に呼び出せる内線番号を設定することができます。	
		内線呼出音設定	信号音と音声のどちらで内線着信するかを設定します。	
		ドアホン鳴動設定	オプションのドアホンをご利用の場合に、ドアホンからチャイム音を鳴らすかどうかを設定します。	
		不在着信転送設定	不在着信のときに特定の内線電話機に転送する機能を設定／解除することができます。	
		内線グループ斉鳴動	システムモード「昼」、「夜」、「休憩」、「休日」別に、内線代表一斉呼出時の着信音を鳴らすかどうかを設定します。	
通話		受話音保持	通話中に調節したハンドセット受話音量またはスピーカ受話音量の設定を、通話終了後も保持するか、通話終了と同時に買い求め時の受話音量に戻すかを設定します。	
		受話増保持	ハンドセット通話中に行った明瞭切替による受話音量調整後の音量設定状態を、通話終了後も保持するか、通話終了と同時に買い求め時の受話音量に戻すかを設定します。	
		ヘッドセット設定	ハンドセットの代わりにヘッドセットを使用するかどうかを設定します。	
メンテナンス		暗証番号設定	Web設定、音声メール再生、自動応答サービスで使用する電話機ごとの暗証番号（4桁以内）を登録します。	
その他		時計アラーム	時計アラームを設定／解除することができます。	
		ダイヤル押下音設定	ダイヤルを押したときの「ピッ」という音を鳴らす／鳴らさないを設定します。	
		バックライト設定	電話機のバックライトの点灯／消灯を設定します。	
		サービスロック対象設定	サービスロックの対象となる機能を設定することができます。	
		システムモード別ECOモード設定	システムモード「昼」、「夜」、「休憩」、「休日」別に、ECOモードを自動起動するか解除するかを設定します。	
音声メール	ガイダンスアップロード	電話機毎録音ガイダンスアップロード	電話機毎ユーザーデータ設定で使用する録音メッセージ、または録音ガイダンスのアップロードを行います。	
		ガイダンス作成	－ (P3-36)	テキストから音声ガイダンスを作成します。
		録音メッセージダウンロード／録音メッセージ消去	－ (P4-47)	ボックスに録音されているメッセージをダウンロード、または消去します。

システム一括ユーザデータ設定項目一覧

システムで共通のデータを設定します。

ツリーメニュー		項目名	設定内容
設定区分	分類		
電話帳	共通電話帳編集	－ (P4-46)	すべての内線電話機で利用できる電話帳を登録します。
	電話帳グループ設定	グループ名称	電話帳グループごとにわかりやすいグループ名称を設定することができます。
		グループ着信先	電話帳グループによって着信先の内線電話を振り分けたり、着信／応答方法を変えることができます。
		コールバック設定	電話帳グループごとにコールバック着信時の動作を設定することができます。
	中継発信規制	中継発信の相手先として発信を許可するかどうかを、電話帳グループごとに設定します。	
電話帳設定	電話帳ガイド表示	内線電話機で電話帳を利用するときに、画面に操作ガイドを表示するかどうかを設定します。	
外線発信	発信可能ダイヤル設定	－	発信を許可する電話番号（最大10桁）を登録します。
	発信規制ダイヤル設定	－	発信を禁止する電話番号（最大10桁）を登録します。
	削除ダイヤル設定	－	発信規制のチェックを行うときに、チェック対象から除外する番号（最大6桁）を登録します。
	事業者識別番号付与設定	－	携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号の自動付与をするかどうかを設定します。
外線着信	自動応答サービス外線発信用暗証番号		自動応答サービスを利用するときの暗証番号（4桁以内）を登録します。
	着信未応答警報タイマ		外線着信に対して一定の時間内に応答しなかったときに、着信音が警報音に切り替わるまでの秒数を設定することができます。
	システム着信メロディ設定		着信音に使用したいメロディを内部音源（8種）から選択します。
	着信拒否ガイダンス送付設定		着信を拒否する相手に対して、音声ガイダンスを送出するかどうかを設定します。
	非通知着信拒否設定		電話番号が通知されない場合、公衆電話からかかってきた場合、番号通知ができないエリアからかかってきた場合に、着信を拒否するかどうかを設定します。
	サブアドレス設定		内線電話機ごとにサブアドレス（最大4桁）を設定することができます。
ユーザ着信メロディ	ユーザ着信メロディアップロード		ユーザ着信メロディのアップロードを行います。
保留	システム保留音設定		保留音（内部音源8種・外部音源2種）を切り替えることができます。
	保留警報音送付タイマ		一定時間がたっても保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの秒数を設定します。

ツリーメニュー		項目名	設定内容	
設定区分	分類			
留守／転送／音声メール	システム一括転送設定	転送先リスト登録	「電話帳グループ転送」や「システムモード転送」で使用する転送先リストを登録します。	
		電話機毎転送設定	外線転送方式設定	転送先リストの電話番号への発信を、同時／順次のどちらの方法で行うかを設定します。
			転送元呼出継続設定	転送元の電話機での呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定します。
			留守／転送開始タイマ	着信してから転送または留守番電話を開始するまでの秒数を設定します。
			外線転送先呼出タイマ	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定します。
	音声メール設定	話中／不応答時音声メール動作設定	通話中や不在時に内線呼び出しがあったときに流すメッセージを、応答専用（録音不可）のメッセージにするか、録音用（録音可）のメッセージにするかを設定します。	
		自動留守番電話モニタ設定	留守番電話で応答し、相手の声をモニタする際に自動的にスピーカで聞こえるようにするか、外線ボタンを押して聞こえるようにするかを設定します。	
		FAX/TEL切替メッセージ設定	ファクスと電話を切り替えるときに、あらかじめ用意されているメッセージを使用するか（出荷時設定）、自分で作成したメッセージを使用するか（録音メッセージ）を設定します。	
		お待たせメッセージ設定	お待たせメッセージにあらかじめ用意されているメッセージを使用するか（出荷時設定）、自分で作成したメッセージを使用するか（録音メッセージ）を設定します。	
		システムモード別留守番電話応答動作設定	システムモード「昼」、「夜」、「休憩」、「休日」別の留守番電話で応答したときに流す応答メッセージを、応答専用（録音不可）のメッセージにするか、録音用（録音可）のメッセージにするかを設定します。	
		システムモード別留守番電話メッセージ設定	システムモード「昼」、「夜」、「休憩」、「休日」別の留守番電話で応答したときに、あらかじめ用意されているメッセージを使用するか（出荷時設定）、自分で作成したメッセージを使用するか（録音メッセージ）を設定します。	
		自動通話録音ガイダンス設定	自動通話録音を開始するとき、あらかじめ用意されているメッセージを使用するか（出荷時設定）、自分で作成したメッセージを使用するか（録音ガイダンス）を設定します。	
		ステレオ音声ファイルダウンロード用アカウント設定	ステレオ音声ファイルのFTPダウンロードの際に使用する認証用アカウント（IDとパスワード）を設定します。	
		音声メールアップロード設定	アップロード有無（BOX91のみステレオボックス）	音声メールアップロード機能（FTP）または、オンラインストレージ連携機能において、ボックス毎に音声メールのアップロードを行うか、行わないかを設定します。
	テストアップロード		オンラインストレージ連携機能において、ボックス毎に設定が正しいかを確認するために、テストを行うことができます。	
ドアホン／内線	ドアホンチャイム音鳴動タイマ	ドアホンのチャイム音の鳴動時間を秒数で設定します。		
通話	ISDN料金表示設定	INSネット64で電話をかけたときの料金表示をするかどうかを設定します。		
	長時間通話警報タイマ	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの秒数を設定します。		

ツリーメニュー		項目名	設定内容
設定区分	分類		
時計・カレンダー	日付・時計設定	日付設定	年（西暦）および月日を設定します。
		時計設定	時刻を24時間制で設定します。
	NTP設定	NTPサーバ時計データ自動設定	NTPサーバによる時計自動設定を行うかどうかを設定します。
		NTPサーバ問合せ時刻設定	NTPサーバに問合せする時刻（24時間制）を設定します。
	NTPサーバURL設定	NTPサーバのURLを設定します。	
システムモード	システムモード設定	—	システムモードを「自動」、「昼」、「夜」、「休憩」、「休日」に切り替えることができます。
	システムモード切替時刻設定	— (P4-48)	システムモード切替時刻とモードをセットにした切替パターン（最大8つ）を設定することができます。
	曜日毎システムモードテーブル設定	—	使用する切替パターンを、曜日毎に設定することができます。
	特定日システムモードテーブル設定	— (P4-48)	「特定日」として通常の曜日と別の扱いにする月日を設定することができます。
名称登録	内線ネーム登録	—	着信履歴などに表示させる内線電話機ごとの名称を登録します。
	ドアホンネーム登録	—	ドアホン着信のときなどに表示させるドアホン名称を登録します。
	回線ネーム登録	—	回線の名称を登録します。
メンテナンス	メンテナンス設定	自IPアドレス設定	主装置のIPアドレスを手動で設定します。
		サブネットマスク設定	主装置のサブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイIPアドレス設定 (LAN)	ゲートウェイのIPアドレスを設定します。
		DNSサーバIPアドレス設定	DNSサーバのIPアドレスを設定します。
		Web設定用ポート番号設定	Webコンテンツを提供するhttpのポート番号（最大5桁）を設定します。
	ソフトウェア自動更新設定	主装置／端末（電話機）ソフトウェアの有無のチェックや主装置／端末（電話機）ソフトウェアのダウンロードを自動で行うかどうかを設定します。	
	暗証番号初期化	内線番号	暗証番号をお買い求め時の状態（0000）に戻します。
センサ起動履歴	センサ起動履歴	セキュリティサービスの動作状況（最大200件）を表示します。	

ツリーメニュー		項目名	設定内容
設定区分	分類		
その他		FAX/TEL 切替設定	ファクスが送られてきたときに、ファクスへの転送を自動的に 行う機能を設定することができます。
		FAX/TEL 呼出回数	ファクスが応答しなかった場合に、自動的に外線を切断するま での呼び出し回数を設定します。
		プリセット読出タイマ	プリセットダイヤルを入力してから、表示を自動的に消去する までの秒数を設定します。
		電話帳詳細読出タイマ	電話帳詳細画面を表示してから、自動的に消去するまでの秒数 を設定します。
		セキュリティモード設定	検知信号を受信したときに内線および外線に発信するか、内線 および外線両方に発信するかを選択します。
		センサ監視開始タイマ	セキュリティサービスの起動から監視を開始するまでの秒数を 設定します。
		セキュリティ通報開始タイ マ	検知信号受信から通報を開始するまでの秒数を設定します。
		自動威嚇音開始タイマ	検知信号受信から自動威嚇音の送出手を開始するまでの秒数を設 定します。
		セキュリティ暗証番号	セキュリティサービスを解除するときの暗証番号 (4桁以内) を設定します。
		セキュリティ通報番号登録	検知信号を受信したときの通報先電話番号 (最大3件) を登録 します。
		ECOモード自動起動タイマ 設定	ECOモード中、一時的にECOモードを解除した場合、再び ECOモードになるまでの秒数を設定します。
音声メー ル	ガイダンスアップ ロード	システム一括録音ガイダン スアップロード	システム一括ユーザデータ設定で使用する録音メッセージ、ま たは録音ガイダンスのアップロードを行います。
		電話機毎録音ガイダンス アップロード	電話機毎ユーザデータ設定で使用する録音メッセージ、または 録音ガイダンスのアップロードを行います。
	ガイダンス作成	- (P3-36)	テキストから音声ガイダンスを作成します。 ※本項目を表示するには、ライセンスが必要です。
	録音メッセージダ ウンロード/録音 メッセージ消去	- (P4-47)	ボックスに録音されているメッセージをダウンロード、または 消去します。
	メモリフォーマッ ト	-	音声メールの初期化を行います。
	オンライン ストレージ認証	- (P4-49)	コワークストレージまたは、おまかせクラウドストレージへ接 続します。

よく利用される機能の設定

■ 個別・共通電話帳編集

※ ここでは個別電話帳を例に記載します。

■ 設定メニューツリー

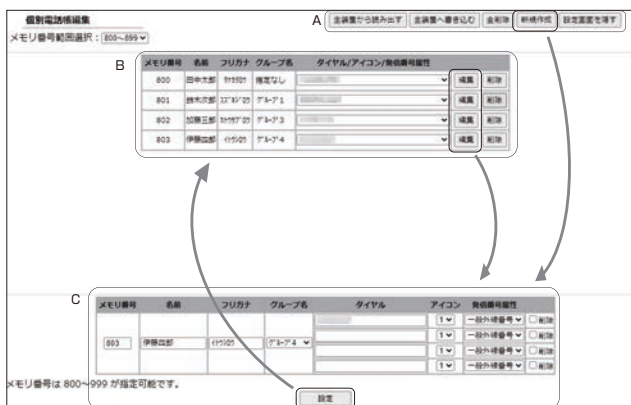


■ 画面説明

画面A：電話帳データを操作するボタン(5つ)を表示

画面B：すでに登録されている電話帳(最大100件)を表示

画面C：編集するための電話帳(1件)を表示



■ 個別電話帳に新規作成する場合

- ① 画面Aの【新規作成】ボタンをクリックする。
画面Cが表示されます。
- ② 画面Cで名前などを入力する。
画面Cで(メモリ番号・名前・フリガナ・グループ名・ダイヤル・アイコン・発信番号属性)を入力します。
※メモリ番号は使われていない(画面Bを下までスクロールして表示されない)番号を使用してください。
- ③ 画面Cの【設定】ボタンをクリックする。
新規作成した電話帳が設定され、画面Bに表示されます。

■ 個別電話帳を編集する場合

- ① 画面Bで編集する行の【編集】ボタンをクリックする。
画面Cが表示されます。
- ② 画面Cで名前などを編集する。
画面Cで(メモリ番号・名前・フリガナ・グループ名・ダイヤル・アイコン・発信番号属性)を編集します。
- ③ 画面Cの【設定】ボタンをクリックする。
編集した電話帳が更新され、画面Bに表示されます。



ワンポイント

● 個別電話帳のボタン操作は

画面	ボタン	操作内容
A	主装置から読み出す	主装置に保存されている電話帳データをテキスト(CSV)ファイルとしてパソコンに保存できる。読み出した電話帳データは、Excelで編集できる。(P6-24)
	主装置へ書き込む	電話帳データをパソコンから主装置にコピーする。
	全削除	クリックし、表示された画面で「削除実行」ボタンをクリックすると、登録されている個別電話帳がすべて削除される。
	新規作成	新たな電話帳の登録を開始する。
	設定画面を隠す	画面Cを非表示にする。
B	編集	すでに登録されている選択した電話帳を画面Cに表示する。
	削除	クリック後、表示された画面で「削除実行」ボタンをクリックすると、該当の電話帳(メモリ1件)が削除される。
C	削除(チェックボックス)	チェックをつけた行のダイヤル(電話番号)が削除される
	設定	電話帳の作成/編集が完了し、画面Bに内容が表示される。

● 個別・共通電話帳のメモリ番号は

電話帳(ログインID)	メモリ番号
個別電話帳 (ユーザID/ システム管理者ID)	2桁: 80 ~ 99
	3桁: 800 ~ 999
	4桁: 9800 ~ 9999
共通電話帳 (システム管理者ID)	2桁: 00 ~ 79
	3桁: 000 ~ 799
	4桁: 0000 ~ 9799



お知らせ

- 電話帳の新規作成時は、使用されていないメモリ番号を確認して入力してください。登録済みのメモリ番号を入力すると、上書きされます。

■ 録音メッセージダウンロード

<例>録音メッセージをダウンロードする場合

■ 設定メニューツリー



※ステレオファイル用ボックスは680となります。

■ 画面説明

画面A：検索する録音メッセージの条件を表示

画面B：検索結果を表示

録音メッセージダウンロード/録音メッセージ消去

A

<input checked="" type="checkbox"/> 録音日	2024年01月01日～2025年01月01日
<input type="checkbox"/> 録音時刻	00時00分～00時00分
<input type="checkbox"/> 発番号	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 電話帳名称	<input type="text"/>

B

すべて選択 選択を外す

No	録音日時	既/未再	発番号	電話帳名称	コメント	録音時間	保護
<input type="checkbox"/>	0001	2024/08/22 16:05	未		外線太郎	有	00:01:13

① 画面Aでダウンロードする録音メッセージの情報を入力し、チェックをつけて[検索] ボタンをクリックする。

<例>録音メッセージの情報入力
 録音日：2024年10月1日～2024年10月31日
 録音時間：12時00分～20時00分
 発番号：123456780
 電話帳名称：田中太郎
 ※入力した該当情報の「チェック」をつけます。
 画面Bが表示されます。

② 画面Bでダウンロードする録音メッセージにチェックをつける。
 [すべて選択] でチェックをつけることもできます。

③ 画面Bの [ダウンロード] ボタンをクリックする。
 選択した録音メッセージがダウンロードされます。



ワンポイント

●録音メッセージのボタン操作は

画面	ボタン	操作内容
A	検索	条件に合致した録音メッセージが、画面Bにリスト表示される。
B	すべて選択	画面Bのリストすべてにチェックをつける。
	選択を外す	画面Bのリストのチェックを外す。
	ダウンロード	チェックをつけた録音メッセージがダウンロードされる。
	消去	チェックをつけた録音メッセージが消去される。

■ システムモードを設定する

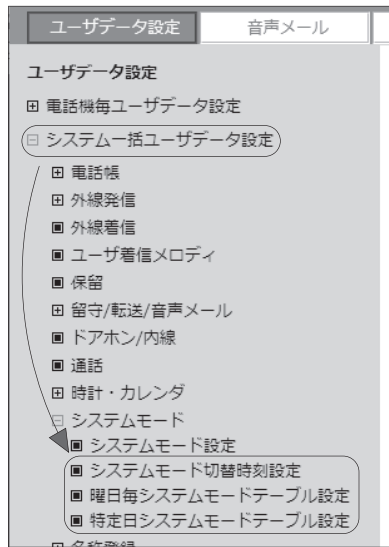
<例> 以下のようにシステムモードを利用する場合

平日（月～金）：昼モード（10:00～19:00）+夜モード（19:00～10:00）

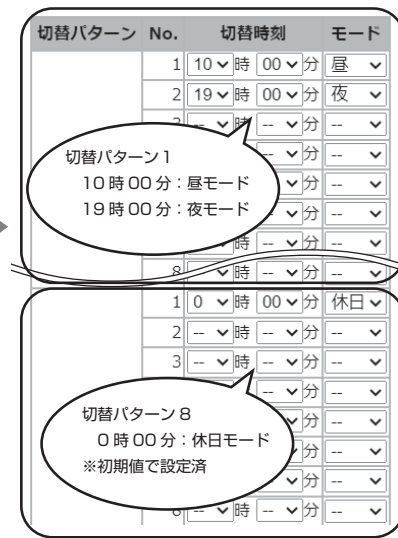
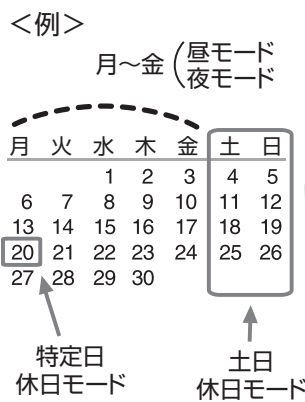
休日（土、日）：休日モード

祝日（特定日）：休日モード

■ 設定メニューツリー



■ システムモード切替時刻設定



■ 曜日毎システムモードテーブル設定

曜日	切替パターン
月	1
火	1
水	1
木	1
金	1
土	8
日	8

【システムモード切替時刻設定内容】

切替パターン	切替時刻	モード
1	10時00分	昼
	19時00分	夜
8	0時00分	休日

月～金：1
土、日：8

■ 特定日システムモードテーブル設定

No.	月/日	切替パターン
1	10月/20日	8
2	--月--日--	8
3	--月--日--	8
4	--月--日--	8
5	--月--日--	8

【システムモード切替時刻設定内容】

切替パターン	切替時刻	モード
1	10時00分	昼
	19時00分	夜
8	0時00分	休日

特定日
10月20日：8

① [システムモード切替時刻設定] で切替パターン（切替時刻・モード）を設定する。

<例> 切替パターン1：昼モード+夜モード

切替パターン8：休日モード（初期値で設定済）

② [曜日毎システムモードテーブル設定] または、[特定日システムモードテーブル設定] で曜日毎または、特定日毎に①の切替パターンを設定する。

<例> 月～金：切替パターン1

土・日：切替パターン8

特定日：切替パターン8



ワンポイント

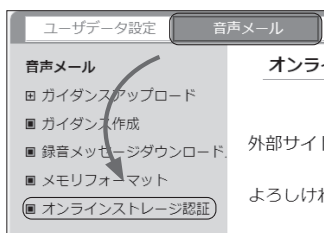
システムモードの名称を変更するには

「システム設定」により、システムモードの表示名を変更することができます。

■ オンラインストレージ認証

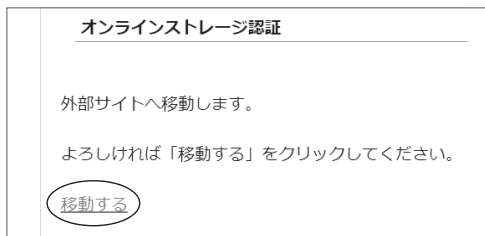
※ ここではワークストレージを例に記載します。

■ 設定メニューツリー



■ オンラインストレージ認証

① 以下の画面で **【移動する】** をクリックする。



② 以下の画面で **【確認】** ボタンをクリックする。



③ 以下の画面でメールアドレスとパスワードを入力し、**【ログイン】** ボタンをクリックする。



④ 以下の画面でオンラインストレージ認証は完了です。



※これで音声ファイルが自動でオンラインストレージにアップロードされます。



ワンポイント

● オンラインストレージ認証失敗表示について

「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機 (P4-51) で、右の画面が表示された場合は、再度オンラインストレージ認証の手順を行ってください。

11月14日(木) 午後 3:05
10
「ワークストレージ」認証失敗



お知らせ

● オンラインストレージを利用するには、インターネットの接続が必要です。

システム設定によりご利用になれる機能

SmartNetcommunity αZXII typeS/typeMの機能には、お客さまが登録・設定できる機能のほか、システムの設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておく機能が多数あります。「システム設定」すると、次の機能をご利用になることができます。「システム設定」を行いたいときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

発信

■ 外線への発信を規制する

内線電話機ごとに外線への発信を規制することができます。ただし、発信を規制する個々の電話番号の設定は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機であれば、メニュー操作でも行えます。

■ ダイレクトボタンで内線電話機を呼び出す（内線ダイレクトコール）

回線ボタンを「ダイレクトボタン」に設定することにより、特定の内線電話機をダイレクトボタン1つで呼び出すことができます。たとえば、外線通話中にダイレクトボタンを押すと、通話の保留と特定の内線電話機の呼び出しが一度に行えます。また、ダイレクトボタンのランプの点灯により、相手の内線電話機が使用中であることを確認できます。

お話し中	点灯
着信中	点灯
待機状態	消灯

■ 中継発信できる相手先を限定する

「システム設定」により、中継発信（☛P3-46）できる相手先を共通電話帳に登録されている電話番号のみに限定することができます。

さらにメニュー設定の中継発信規制設定（☛P4-20）を利用して、限定する相手先を電話帳グループごとに分けることができます。

■ 外線と内線電話機をグループ分けする

外線と内線電話機を組み合わせてグループに分け、グループに割り当てられた外線以外は使用できないように設定することができます。部門別に外線を割り当ててコスト管理をしたり、特定部門に電話を集中させたくないときなどに便利です。

外からかかってきた電話を他のグループに保留転送する機能も設定できます。グループ間の内線通話は可能です。

着信・応答

■ 電話がかかってきたとき、外線、内線のどちらを優先するか設定する（着信音優先順位）

複数の着信があったとき、外線、内線のどちらの着信を優先するかを設定できます。

■ PBX/CES着信、なりわけサービスに対し着信ランプ色を設定する

PBX/CES着信または、なりわけサービスの着信があったときの着信ランプの色を8色（緑・赤・黄・青・水色・紫・白・レインボー）から選べます。

ただし、保留警報については有効になりません。

保留・転送

■ グループ内のどの内線電話機でもパーク保留ボタンで保留応答できる（パーク保留）

あらかじめ複数の内線電話機に「パーク保留ボタン」を設定しておく、同じパーク保留グループのどの電話機でも、パーク保留ボタンを押して、保留中の内線／外線に再応答することができます。

■ 保留メロディを電話機のスピーカから鳴らす（保留音受話）

相手の方に流す保留メロディを、保留操作を行った電話機のスピーカからも流すことができます。電話機を特定して設定できます。

その他

■ 特定の内線電話機を「システム管理者」に設定する（システム管理者電話機設定）

システム管理メニューを操作できる内線電話機を設定します。

「システム管理者」に設定した内線電話機の内線番号を、右の表に記入してお使いください。

内線番号	
システム	

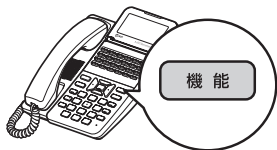
主装置／電話機ソフトウェアを 更新するには

SmartNetcommunity αZX II typeS/typeMのソフトウェア更新が必要かどうかをチェックし、必要な場合にはソフトウェアをダウンロードして更新する機能を利用できます。このサービスをご利用になるには、オプションとシステム設定が必要です。

最新ソフトウェアがあるかどうかを手動でチェックする

手動でチェックするには、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☎P4-51）で次のように操作します。

1 **機能** を押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10
機能

2 最新バージョン問合せの特番（☎ 100 []）を押す。

チェックが行われたあと、結果により「最新ソフトウェア有」が表示されます。



11月14日(木) 午後 3:05
10
機能



11月14日(木) 午後 3:05
10
最新ソフトウェア有

手動ダウンロードに設定されている場合は、必要に応じて「最新ソフトウェアを手動でダウンロードする」（☎P4-53）の操作を行ってください。



ワンポイント

●システム起動直後のバージョン問合せについて

主装置の電源を入れた直後に、最新バージョン問い合わせの特番を押しても表示が切り替わらないときは、5分程度待ってから操作を行ってください。

●自動ダウンロードするには

「システム設定」によって最新ソフトウェアを自動でダウンロードすることができます。また、ソフトウェアの更新を行うため、主装置を自動的に再起動させることができます。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

☒チェック結果を表示させるには

お買い求め時は、ソフトウェア更新のチェック結果が表示されません。ソフトウェア更新のチェック結果を表示するには、「システム設定」が必要です。

●チェック結果の表示をクリアするには

チェック結果の表示をクリアするには、**機能**+**クリア** を押します。ただし、「ソフトウェアダウンロード中」および「ソフトウェアダウンロード済」の表示を手動で消すことはできません。



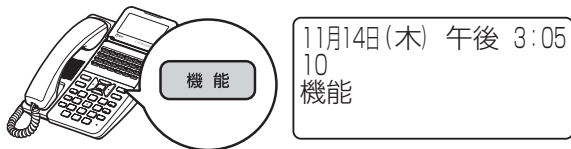
お知らせ

- 最新ソフトウェア有無のチェックやダウンロードを自動で行うかどうかの設定は、メニュー設定やWeb設定で行えます。（☎P4-34、P4-44）

最新ソフトウェアを手動でダウンロードする

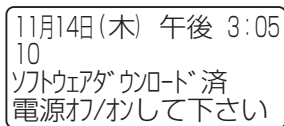
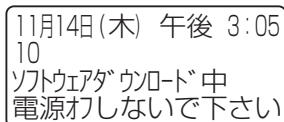
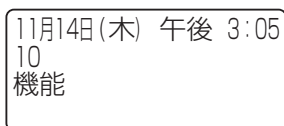
手動または自動でチェックを行った結果、ディスプレイに「最新ソフトウェア有」と表示されたときは、ソフトウェアのダウンロードおよび更新ができます。「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機(☞P4-51)で次のように操作します。

1 **機能** を押す。



2 ソフトウェアダウンロード実行の特番 (☞) (☞) (☞) [] を押す。

ダウンロードが実行されます。



3 主装置の電源を一度切ってから入れ直す。
ソフトウェアの更新が完了します。



ワンポイント

☞ ソフトウェアダウンロードを表示させるには

お買い求め時は、ソフトウェアダウンロード中であることが表示されません。ソフトウェアダウンロード中であることを表示させるには、「システム設定」が必要です。

● ソフトウェアについて

ソフトウェアには、次の2種類のソフトウェアがあります。

- ・主装置ソフトウェア : 主装置用の最新ソフトウェア
- ・端末ソフトウェア : 接続されている電話機用の最新ソフトウェア

対象の端末は、標準IP電話機/コールコードレスIP電話機になります。



お知らせ

- 最新ソフトウェア有無のチェックやダウンロードを自動で行うかどうかの設定は、メニュー設定やWeb設定で行えます。(☞P4-34、P4-44)
- ソフトウェアのダウンロード中は、主装置の電源を切らないでください。
- 最新ソフトウェアの更新を行わないと、本来の機能・性能を発揮できない場合があります。

4
いろいろな機能を
登録・設定する

主装置/電話機ソフトウェアを更新するには

MEMO

オプションを使う

5

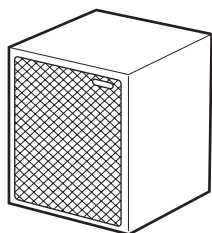
ご利用になれるオプション装置／ オプションユニット.....	5-2
ドアホンを利用するには	5-8
ドアの電気錠を操作するには (施錠コントロール).....	5-10
外部スピーカで一斉放送するには.....	5-11
拠点連携をご利用になるには.....	5-12

ご利用になれるオプション装置/ オプションユニット

SmartNetcommunity αZXⅡ typeS/typeMには、オプション装置/オプションユニットとして次のものが用意されています。ご利用になるときは、当社のサービス取扱所へご相談ください。

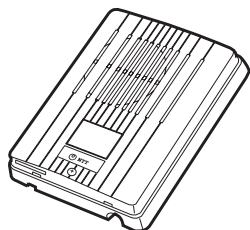
構内放送用設備

構内放送用設備を主装置に接続すると、「システム設定」した内線電話機から構内放送ができます。



ドアホン

ドアホンを主装置に接続すると、電話機でドアホンからの呼び出しに答えたり、ドアホンの周囲の音を聞くことができます。

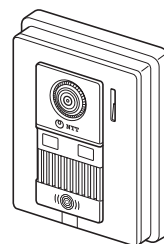


外部音源

外部の保留音源装置、トーキ装置、音源を接続できます。接続した音源は、「システム設定」により選択します。外部の保留音源を主装置に接続すると、お好みのメロディやアナウンスを保留音や着信音として使用することができます。

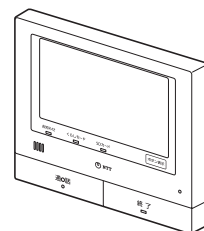
カラーカメラドアホン

設置したカラーカメラドアホンの周囲の映像をカラーカメラドアホン用モニタに映し出し、相手の方の顔を見ながらお話しすることができます。カラーカメラドアホンは4台まで接続できます。映像を映し出すにはカラーカメラドアホン用モニタが必要です。



カラーカメラドアホン用モニタ

カラーディスプレイに来客の方の映像を表示し、相手の方を見ながら内線電話機でお話しをすることができます。



電気錠

電気錠操作盤、電気錠とドアホンを接続すると、電気錠の施錠/解錠ができます。

録音ジャックユニット

内線電話機に録音ジャックユニットを接続し、その先にアンプ内蔵スピーカ、またはアンプとスピーカを接続することができます。これらを接続することで、外線・内線の着信音や音声呼び出しの声を外部スピーカで聞くことができます。電話機がある場所から離れることが多い場合や、周囲に騒音がある場合などに便利です。

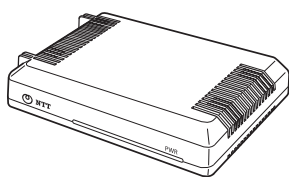
単体電話機

現在お使いの電話機を接続することができます。種類によっては接続できないものもありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。接続した単体電話機の機能・操作については、単体電話機の取扱説明書を参照してください。



単体電話機アダプタ

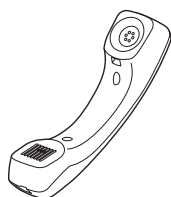
単体電話機アダプタを接続すると、現在お使いの単体電話機やファクスを内線電話機としてお使いいただけます。詳しくは単体電話機アダプタの取扱説明書を参照してください。



ヒアリングエイドハンドセット

内線電話機（※）のハンドセットをヒアリングエイドハンドセットにすると、補聴器をご利用される方の聞こえ方を向上することができます。

※：標準電話機・停電用電話機・標準IP電話機・停電用IP電話機



ヘッドセット

内線電話機にヘッドセットを接続すると、ハンドセットを取りあげなくてもお話しすることができます。

外部アンプスピーカ

アンプ内蔵スピーカ、または、アンプとスピーカを接続すると、外線の着信音を外部のスピーカで聞くことができます。電話機のある場所から離れることが多い場合、周囲に騒音がある場合などに便利です。また、録音ジャックユニットへ接続すると、外線・内線の着信音などを拡声することができます。外部アンプスピーカは2台まで接続できます。

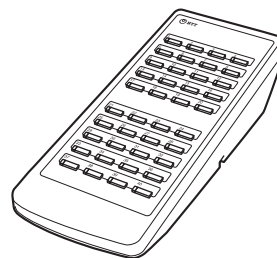
ファクス接続

本装置とビジー表示機能のあるファクスを共用されている場合は、ファクス使用中表示装置を接続すると、ファクス使用中は内線電話機の外線ランプが赤く点灯します。

ファクスを内線電話機として接続すると、ファクス受信を電話機のディスプレイに表示できます。

コンソール

内線電話機にコンソールを接続すると、コンソールのボタンを内線電話機のワンタッチボタンまたはサービスボタンとして使用することができます。（▶P5-6）



お知らせ

- オプション機器等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

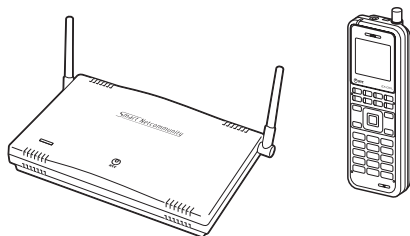
デジタルシステムコードレス 接続装置

デジタルシステムコードレス 電話機

デジタルシステムコードレス接続装置を収容することにより、デジタルシステムコードレス電話機を収容することができます。詳しくは各取扱説明書を参照してください。

シングルラインコードレス電話機

内線電話機として、シングルラインコードレス電話機を収容することができます。



防水電話機

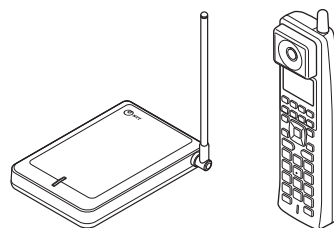
内線電話機として、防水電話機を増設することができます。防水電話機は、電気機械器具および配線材料の防水試験（JIS C 0920）の保護等級4（防まつ形）の規格に適合した電話機です。水の飛まつを受けてもご使用になれます。詳しくは防水電話機の取扱説明書を参照してください。



DECT方式コードレス接続装置

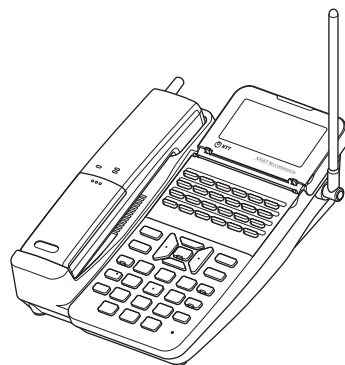
DECT方式コードレス電話機

DECT方式コードレス接続装置を収容することにより、DECT方式コードレス電話機を内線電話機として収容することができます。詳しくはDECT方式コードレス電話機の取扱説明書を参照してください。



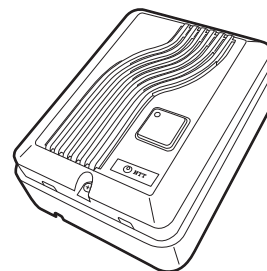
カールコードレス電話機

内線電話機として、カールコードレス電話機を増設することができます。ベースセットから半径約100 mの範囲で、ハンドセットを自由に持ち運びながらご利用になれます。詳しくはカールコードレス電話機の取扱説明書を参照してください。



スタードアホン

スター配線方式対応のドアホンです。主装置に接続すると、電話機でドアホンからの呼び出しに答えることができます。

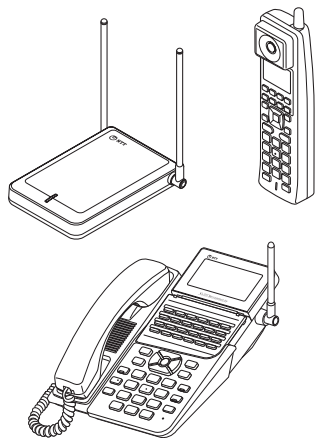


DECT-ダイバーシティ方式 コードレス接続装置

DECT-ダイバーシティ方式 コードレス電話機

DECT-ダイバーシティ方式KT形 コードレス電話機

DECT-ダイバーシティ方式コードレス接続装置を収容することにより、DECT-ダイバーシティ方式コードレス電話機を内線電話機として収容することができます。詳しくはDECT-ダイバーシティ方式コードレス電話機の取扱説明書を参照してください。



ワイヤレスアクセスポイント

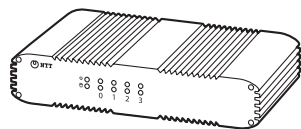
スマートフォンを内線電話機として収容するために、主装置へ接続するための無線アクセスポイントです。詳しくは、ワイヤレスアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

スマートフォンクライアント

スマートフォンをワイヤレスアクセスポイントを介して内線電話機として収容するためのスマートフォン用のアプリケーションです。詳しくは、スマートフォンクライアントの取扱説明書を参照してください。

モバイル内線アダプタ

スマートフォンを内線電話機として収容するために、主装置へ接続するためのアダプタです。詳しくは、モバイル内線アダプタの取扱説明書を参照してください。



CTIアプリケーションソフトウェア

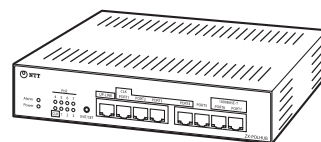
主装置に接続されたパソコンにインストールして、パソコンと電話機を一組にしたCTIサービスを可能とするアプリケーション用品です。

音声テキスト化アプリケーション

PC上で、留守番電話などの音声データをダウンロードすることができます。詳しくは音声テキスト化アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

給電HUB

HUBとしての機能に加え、電源供給するかどうかを使用するポートごとに制御することができます。詳しくは給電HUBの取扱説明書を参照してください。



示名条

内線電話機の回線ボタン部分にあるカードで、外線ボタンやワンタッチボタンなど、設定内容を記載しておくことができます。また、電話機LCDパネルと同様の6色展開しており、お好みの色に付け替えることができます。(P6-16)

電話機LCDパネル

内線電話機のディスプレイ部分にあるパネルです。示名条と同様の6色展開しており、お好みの色に付け替えることができます。(P6-17)
電話機LCDパネルの色イメージは、表紙を参照してください。



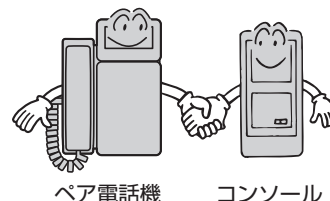
お知らせ

- オプション機器等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

コンソール

特 長

コンソールは、内線電話機とペアを組んで使用するオプションです。コンソールの40個のワンタッチボタンは、ペアを組んでいる内線電話機のワンタッチボタンまたはサービスボタンと同じ働き of ボタンとして使用することができます。



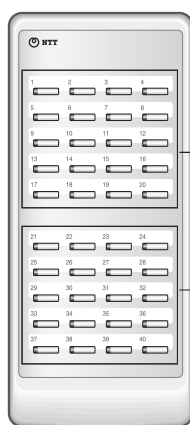
【前面】

ペア電話機

例：標準電話機（24回線ボタンタイプ）



コンソール

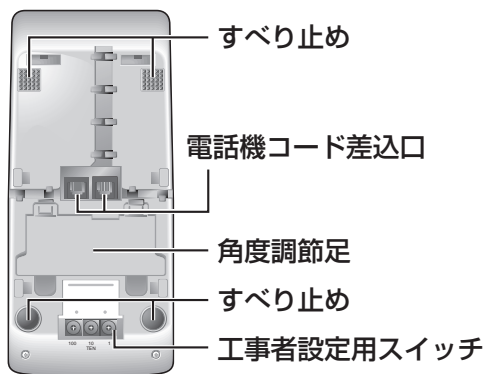


ワンタッチボタン

ペア電話機のワンタッチボタンと同様に、あらかじめ登録した操作がワンタッチで行えます。

【底面】

コンソール



STOP お願い

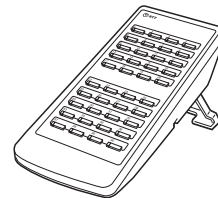
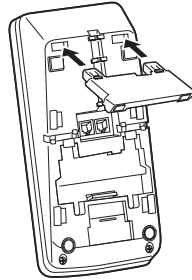
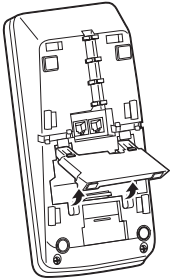
- 工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります。



ワンポイント

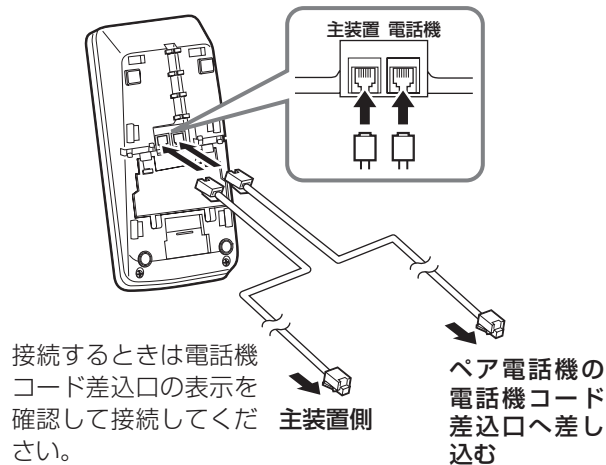
● コンソールの設置角度を調節するには

- ①底面から、角度調節足を外します。
- ②溝に角度調節足をはめこみます。



● コンソール（スター）を接続するには

電話機コードの接続先が主装置なのかペア電話機なのかを、下記の図を参考によく確認して間違えないように接続してください。

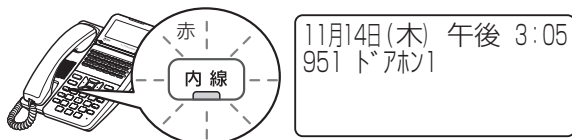


ドアホンを利用するには

ドアホンを接続しているときは、ドアホンからの呼び出しに応答したり、ドアホンの周囲の音を聞いたりすることができます。

ドアホンからの呼び出しに応答する

- 1** ドアホンからの呼び出しがあると、チャイム音が鳴り、内線ランプが点滅する。



- 2** ハンドセットを取り上げて、お話しする。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



- 3** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

- チャイム音が鳴る時間は「システム設定」することができます。
設定時間を過ぎると、チャイム音が鳴りやみ、内線ランプのみ点滅し続けます。ただし、単体電話機、デジタルシステムコードレス電話機では、設定時間を過ぎても鳴り続けます。
- 応答は、内線ランプが点滅している間に行ってください。この時間を超えると、ハンドセットを取りあげても応答できません。内線ランプが点滅している時間は「システム設定」することができます。
- 「システム設定」でチャイム音が鳴るように設定した電話機がお話し中のときは、「ブブブ」という確認音でドアホンからの呼び出しをお知らせすることができます。ただし、単体電話機では、「ブブブ」という確認音が鳴りません。
- チャイム音が鳴る電話機は「システム設定」で変更できます。
- ドアホンに応答したときの確認音の有無を「システム設定」することができます。
- 単体電話機が鳴動しているときは、ドアホンから呼び出されません。
- お客さまの構成によっては、ドアホンを2台同時に使用できません。
- スタードアホンは、ハンドセットを取りあげて、点滅している外線ボタンを押すと応答できます。

ドアホンの周囲の音を聞く (ドアホンを呼び出す)

- 1** 内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2** ドアホン番号 (☎ 5 1 ~ ☎ 5 4 []) を押す。

ドアホンの周囲の音が聞こえます。ドアホン側の方とお話することもできます。

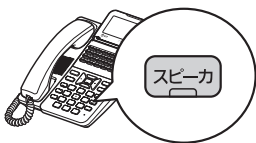


11月14日(木) 午後 3:05
951 ドアホン1

ドアホン1 : ☎ 5 1 ドアホン3 : ☎ 5 3

ドアホン2 : ☎ 5 2 ドアホン4 : ☎ 5 4

- 3** 聞き終わったら、スピーカボタンを押す。
スピーカランプ、内線ランプが消えます。



11月14日(木) 午後 3:05
10



ワンポイント

- チャイム音が鳴らない電話機で応答するには
ハンドセットを取りあげて、ドアホン応答1～4の特番 (☎ ☎ 5 1 ~ ☎ ☎ 5 4 []) を押すと応答できます。
- 他グループの電話機で応答するには (代理応答)
内線ボタン、代理応答 (統合) の特番 (☎ ☎ []) の順に押し、ハンドセットを取りあげて応答することができます。
- ドアホン/カメラドアホンを複数接続しているときは
1つのドアホンのチャイム音が有効な秒数を変更することができます。設定された秒数が経過しないと、2つ目のドアホンからの呼び出し音は鳴りません。
- ドアホンから呼び出されるときは
単体電話機には、内線着信音で知らされます。



お知らせ

- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- スタードアホンは、手順2でドアホンの内線番号を押してください。

ドアの電気錠を操作するには (施錠コントロール)

ドアの電気錠と連動させると、電話機からの操作で電気錠の解除や施錠が行えます。

通話中のドアホンの電気錠を 解除／施錠する

- 1 ドアホンとのお話し中に **決定** を押す。
電気錠が解除されます。



11月14日(木) 午後 3:05
951 ドアホン1

- 2 決定ボタンが点灯しているのを確認し、**決定** を押す。
電気錠が施錠されます。

11月14日(木) 午後 3:05
951 ドアホン1

- 3 ハンドセットを置く。



お知らせ |||

- スタードアホンでは、電気錠の操作をご利用になれません。

外部スピーカで一齐放送するには

「システム設定」した特定の内線電話機から、構内放送用スピーカで一齐放送ができます。内線の一齐呼び出しと同時に一齐放送することもできます。

外部スピーカで一齐放送する

- 1 内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2 一齐放送(スピーカ)の特番(9) (1) ~ (9) (3) [] を押す。



一齐放送
#91

スピーカ1 : (9) (1)
スピーカ2 : (9) (2)
スピーカ1、2 : (9) (3)

- 3 ハンドセットを取りあげて、お話しする。



- 4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

外部スピーカで一齐放送するには
ドアの電気錠を操作するには(施錠コントロール)



ワンポイント

- 電話機で応答するには
内線ボタン、外部スピーカ応答の特番 (9) (1) ~ (9) (3) [] の順に押し、ハンドセットを取りあげます。
- 他グループの電話機で応答するには (代理応答)
内線ボタン、代理応答(統合)の特番 (9) (9) [] の順に押し、ハンドセットを取りあげて応答することができます。
- ☒ 電話がかかってきたときは
「システム設定」により、収容している外線のうち、特定の外線にかかってきた着信音を構内放送用のスピーカから確認音として聞けるように設定できます。昼・休憩モード、夜・休日モードで別々に設定できます。



お知らせ

- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

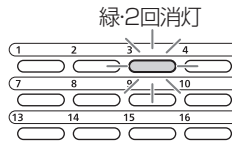
拠点連携をご利用になるには

複数拠点にある主装置をIPネットワークで接続すると、システム間の通信により、拠点番号と内線番号だけで別拠点にある電話機を直接呼び出すことができます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

別拠点に内線通話する

呼び出す方

- 1** 外線ランプが消えていることを確認し、拠点連携用の外線ボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
外線

- 2** ハンドセットを取りあげる。



11月14日(木) 午後 3:05
外線

- 3** 拠点番号を押す。



61

- 4** 呼び出された方が応答したら、お話しする。

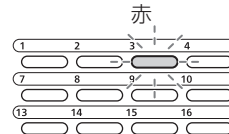


11月14日(木) 午後 3:05
0-05

呼び出される方

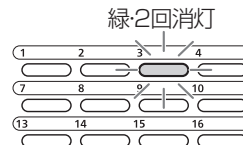


- 1** 呼び出されると、着信音が鳴り、外線ランプが点滅する。



11月14日(木) 午後 3:05

- 2** 外線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげてお話しする。

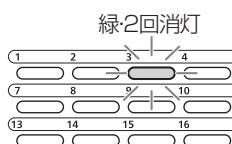


11月14日(木) 午後 3:05
0-05

別拠点の特定の方に内線通話する

呼び出す方

1 外線ランプが消えていることを確認し、拠点連携用の外線ボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
外線

2 ハンドセットを取り上げる。



11月14日(木) 午後 3:05
外線

3 拠点番号 (X) 内線番号を押す。



61*10

4 呼び出された方が応答したら、お話しする。

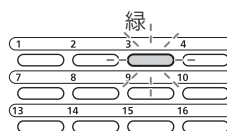


11月14日(木) 午後 3:05
0-05

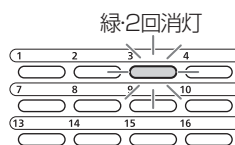
呼び出される方



1 呼び出されると、特定の電話機の着信音が鳴り、外線ランプが点滅する。



2 外線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげてお話しする。



11月14日(木) 午後 3:05
0-05

拠点連携をご利用には

5 オプションを使う



お知らせ

- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 拠点連携は、ZXシステム同士の拠点間のみで使用可能です。

MEMO

ご参考に

6

Q&A.....	6-2
特番を使って操作するには	6-8
付属品などをご利用になるには.....	6-16
主装置の電源を入れる／切るには.....	6-18
停電になったときは.....	6-19
SDカードのエラー／電池交換が 表示されたときは.....	6-20
こんな音がしたら.....	6-21
故障かな？と思ったら	6-22
パソコンを使って電話帳を編集するには	6-23
用語の説明	6-26
索引.....	6-29
仕様.....	6-35
保守サービスのご案内.....	6-36

「こんなことがしたい」などといった場合にお役にたつ便利な操作や、操作中の注意点などをテーマ別に質問形式でまとめています。

登録・設定

Q 登録・設定操作を中止するときは？

A 時計・カレンダー表示に戻るには、**クリア** を長く押しします。オフフックなどによっても操作が中止されます。登録・設定操作を中止するときは、**クリア** を長く押しと時計・カレンダー表示に戻れます（文字や数字の入力中を除く）。また、操作の途中でボタン操作を行わないまま約2分間経過すると、自動的に時計・カレンダー表示に戻ります。操作の途中でハンドセットを取りあげたり、回線ボタン、内線ボタン、スピーカボタンのいずれかを押しと、登録・設定が中止されます。（ワンタッチ登録中は、**クリア**、回線ボタン、内線ボタン、スピーカボタンを押しとボタンの登録になり、中止できません。）通話中にメニュー設定を行っていた場合は、操作の途中で通話を終了すると、登録・設定が中止されます。

Q 電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには？

A ポーズを入れたいところでフックボタンを押します。ワンタッチボタンや電話帳に登録する電話番号にポーズを入れたいときは、フックボタンを押します。フックボタンを1回押しごとに約3秒のポーズが入ります。ポーズも1桁と数えられ、ディスプレイには「-（ハイフン）」と表示されます。

電話帳

Q 電話帳を登録するには？

A 電話帳ボタンを使う方法以外にも、いろいろな登録方法があります。共通電話帳や個別電話帳を登録するには、次のような方法があります。

- 電話帳ボタンを長く押しして登録操作を開始する（☞P3-2）
- メニュー設定で登録する（☞P4-4、P4-19）
- Web設定で登録する（☞P4-46）
- 発信履歴や着信履歴を利用して登録する（☞P2-13）

※共通電話帳は「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でしか登録できません。また、Web設定で登録する場合は、ユーザIDとして「システム管理者」の内線番号と暗証番号を入力してログインする必要があります。

Q 電話帳を登録するときの必須項目は？

A 電話番号とメモリ番号です。電話帳には名称、フリガナ、電話番号（最大32桁）、グループ、アイコン、PBX情報の各項目とメモリ番号が登録できます。電話番号とメモリ番号を登録すれば、名称やグループなどは省略することもできます。

Q 共通電話帳を登録するには？

A 「システム管理者」に設定されている内線電話機で操作します。共通電話帳の登録は、「システム設定」によって「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☞P4-51）で行います。また、Web設定で登録する場合には、ユーザIDとして「システム管理者」の内線番号と暗証番号を入力してログインする必要があります。（☞P4-37）

Q 電話帳が登録できないときは？

A 共通電話帳の登録を行うには、「システム管理者」に設定されている必要があります。また、すでに登録がいっぱい有的时候には、不要な電話帳を削除してください。

- ディスプレイに「共通電話帳登録は 許可されていません」と表示されたとき
共通電話帳の登録は、「システム設定」によって「システム管理者」に設定されている内線電話機（P4-51）で行ってください。
- ディスプレイに「メモリがいっぱいです」と表示されたとき
すでに登録件数がいっぱいで、登録できません。不要な電話帳を削除してください。

- Web設定の項目に「共通電話帳編集」／「共通電話帳削除」が表示されないとき
ユーザIDとして「システム管理者」の内線番号と暗証番号を入力してログインしたとき以外、「共通電話帳編集」／「共通電話帳削除」は表示されません。
- Web設定の項目に「電話帳編集」／「電話帳削除」が表示されないとき
個々の電話機の個別電話帳を登録するには、ユーザIDとして目的の電話機の内線番号を入力し、電話機ごとの電話機暗証番号を入力してログインする必要があります。

回 線

Q INSネット64をご利用になるには？

A 発信時、着信時のディスプレイの表示や操作方法が、次のように異なります。

<電話をかけるとき>

- 外に電話をかけるときは、ディスプレイに「ISDN」と表示されます。
- ISDN料金表示設定（P4-27）が「設定する」のときには、通話終了後、ディスプレイに通話料金が表示されます。
- 外線ボタンを押して「ツー」という音を確認し、電話番号を押したあと、通常はダイヤルが開始されるまでに約6秒かかります。電話帳や着信履歴などを使って電話をかけるときも同様です。この場合、**#**を押すと、すぐにダイヤルが開始されます。

<電話がかかってきたとき>

- 電話番号の通知があるときは、ランプが点滅している外線ボタンを押したときに、相手の方の電話番号が表示されます。21桁以上のときは、**クリア**を押すと残りの桁が確認できます。
- 応答後、一定時間が経過すると、電話番号表示が通話時間表示に切り替わりますが、通話中（会議通話中を除く）にも **クリア**を押すことにより、表示の切替が行えます。
- 相手の方の電話番号が表示されずに、その理由を示す表示が表示される場合があります。（P3-64）

Q VoIP回線をご利用になるには？

A 発信時、着信時のディスプレイの表示や操作方法が、次のように異なります。

<電話をかけるとき>

- VoIP回線が割り当てられている外線ボタンを押して外に電話をかけるときは、ディスプレイに「VoIP」と表示されます。
- IP電話をご利用時、110番、118番、119番などに電話をかけるときは、自動的に一般加入電話回線に切り替えて発信されることがあります。また、このときには通常の通話料金が発生します。
- 外線ボタンを押して「ツー」という音を確認し、電話番号を押したあと、通常はダイヤルが開始されるまでに約6秒かかります。電話帳や着信履歴などを使って電話をかけるときも同様です。この場合、**#**を押すと、すぐにダイヤルが開始されます。
- VoIP回線をご利用できない電話番号に電話をかけると、「ブブッ、ブブッ…」という音が聞こえる場合があります。このときは他の外線でかけ直してください。

<電話がかかってきたとき>

- 通常どおりに電話を受けることができます。通話中はディスプレイに「VoIP」と表示されます。

保留／内線通話／保留転送

Q 保留／保留転送中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら？

A 保留状態が長時間続いていることをお知らせする警報音です。保留中の電話に出ると、警報音が止まります。
保留してから保留警報音を鳴らすまでの秒数や、保留警報音が鳴らないようにする設定は、メニュー設定やWeb設定、「システム設定」で変更できます。(P4-24、P4-42) また、保留警報音を一定時間鳴らしたあと、自動的に電話を切るように設定することもできます。

Q 内線呼び出しのときに、トーン（信号音）でなく、音声で呼ぶようにするには？

A 内線呼び出し中に **(0)** を押します。
(0) を押すごとに、呼び出し方法をトーン（信号音）から音声、または音声からトーン（信号音）に切り替えることができます。

通話

Q お話しをスピーカで聞くには？（スピーカ受話）

A ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押します。
ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いて電話は切れません。ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話しに戻ります。

Q 一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）

A サービスボタン（送話カット）を押します。
あらかじめサービスボタンに「送話カット」の機能を割り当てておきます。(P3-10) 通話中にこのボタンを押すと、サービスボタン（送話カット）のランプが赤く点灯し、一方的に相手の音声だけが聞こえる状態になります。お話しできる状態に戻すときは、もう一度このボタンを押します。
通話中だけでなく、待機中でも送話カットの設定／解除が行えます。また、送話カット状態で通話を終了した場合は、送話カットが設定されたままとなりますのでご注意ください。

Q 内線または外線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには？

A 内線または外線のお話しを終えてハンドセットを置き、もう一度ハンドセットを取りあげると応答できます。(スタードアホンでは、さらにランプが点滅している外線ボタンを押してください。)
お買い求め時には、通話中はドアホンの呼び出し音が聞こえないように設定されています。「システム設定」によって、通話中でもドアホンからの呼び出しを確認できるようにすることができます。通話中にハンドセットまたはスピーカから確認音が聞こえたら、内線または外線のお話しを終え、いったんハンドセットを置き（ハンズフリー通話のときはスピーカボタンを押す）、もう一度ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押す（スタードアホンでは、点滅している外線ボタンを押す）と、ドアホンに応答できます。

表示

Q 「夜間モード」／「休憩モード」／「休日モード」と表示されているときは？

A システムモードが夜／休憩／休日モードに切り替えられています。
システムモードが夜／休憩／休日モードに切り替わっているときには、それぞれのモードがディスプレイに表示されます。昼モードのときにはモードは表示されません。システムモードは、メニュー設定またはWeb設定により切り替えることができます。(P4-27、P4-44) また、時間帯によって自動的に切り替わるように設定することもできます。(P4-25、P4-44)

Q 「FAX受信しました」と表示されているときは？

A 内線に接続されているファクス端末でファクスを受信したことをお知らせしています。
機能、クリアの順に押すと、表示を消すことができます。

Q ディスプレイの表示やランプ表示が消えているときは？

A 省電力モードが設定されています。
「システム設定」によって省電力モードの起動が設定されていると、一定時間時計・カレンダー表示が続いたときに自動的に省電力モードに切り替わります。省電力モードに切り替わると、ディスプレイの時計・カレンダーなどの表示は消えます。また、他の内線電話機の使用状況を示す外線ランプや不在着信をお知らせする履歴ランプも消灯します。ディスプレイのバックライトを点灯させている場合には、バックライトも消灯します。
ハンドセットを取りあげたりボタン操作を行ったりすると、省電力モードは解除されます。また、着信があったときにも解除されます。

音声メール機能

Q メッセージを録音するには？

A 留守メッセージ、FAX/TEL切替メッセージ、システム留守メッセージ、お待たせメッセージ、通話録音ガイダンス、IVRガイダンスを自分の声でメッセージ録音することができます。(P3-37)

下記の画面が表示されたら、各メッセージを録音します。(P4-9、P4-29、P4-32、P4-33、P4-35、P4-23)

留守メッセージ録音
オフックしてダイヤル#で
録音を開始します

<留守メッセージ>

F/T切替メッセージ録音
オフックしてダイヤル#で
録音を開始します

<FAX/TEL切替メッセージ>

システム留守メッセージ録音
オフックしてダイヤル#で
録音を開始します

<システム留守メッセージ>

お待たせメッセージ録音
オフックしてダイヤル#で
録音を開始します

<お待たせメッセージ>

通話録音がイタソ録音
オフックしてダイヤル#で
録音を開始します

<通話録音ガイダンス>

IVRがイタソ録音
オフックしてダイヤル#で
録音を開始します

<IVRガイダンス>

Q 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？

A 留守番電話の応答メッセージの設定は、留守番電話またはシステム留守番電話の応答動作設定とメッセージ選択をすることにより有効となります。利用しているのが留守番電話かシステム留守番電話かをご確認のうえ、下記の設定を確認してください。

<留守番電話の場合>
「留守番電話応答動作」(P4-9)と、「留守番メッセージ設定」(P4-9)の使用するメッセージの選択が一致しているかを確認してください。

<システム留守番電話の場合>
「システム留守番電話応答動作」(P4-32)と、「システム留守番メッセージ設定」(P4-32)の使用するメッセージの選択が一致しているかを確認してください。

例) 留守番電話応答動作を「応答専用」として、自分で録音したメッセージが流れるようにします。

- ①留守番電話の応答動作を「応答専用」に設定する
「留守番電話応答動作」(P4-9)で「0: 応答専用」を選択します。
- ②応答専用のメッセージを自分で録音する
「留守番メッセージ設定」(P4-9)で「1: 録音」→「0: 応答専用」→メッセージを録音(P6-5)します。
- ③自分で録音した応答専用のメッセージを選択する
「留守番メッセージ設定」(P4-9)で「0: 選択」→「0: 応答専用」→「1: 録音メッセージ」を選択します。

その他

Q 長い電話番号をかけるときには？(追加ダイヤル)

A 追加ダイヤルでかけると便利です。
電話帳やワンタッチダイヤル、発信/着信履歴にダイヤルを追加して電話をかけることができます。

- 登録/記録されている内容のあとにダイヤルを追加するとき
登録/記録されている電話番号を使った発信操作に続けてダイヤルボタンを押します。電話帳を使うときは次のように操作します。
 - ①外線ボタンを押す
 - ②短縮ボタンを押す
 - ③メモリ番号をダイヤルボタンで押す
 - ④追加する番号をダイヤルボタンで押す
 - ワンタッチダイヤルを使うとき：手順②～③の代わりにワンタッチボタンを押す
 - 最後に電話をかけた相手の方に向け直すとき：手順②～③の代わりに発信履歴ボタンを押す
- 登録/記録されている内容の前にダイヤルを追加するとき
追加する番号をダイヤルボタンで押してから、登録/記録されている電話番号を使った発信操作を行います。電話帳を使うときは次のように操作します。
 - ①外線ボタンを押す
 - ②追加する番号をダイヤルボタンで押す
 - ③短縮ボタンを押す
 - ④メモリ番号をダイヤルボタンで押す
 - ワンタッチダイヤルを使うとき：手順③～④の代わりにワンタッチボタンを押す
ただし、手順③～④の代わりに発信/着信履歴を用いてダイヤルすることはできません。

- プリセットダイヤルで電話をかけるとき
目的の電話帳やワンタッチダイヤル、発信/着信履歴を表示させてからダイヤルボタンで番号を追加し、発信操作を行うことができます。電話帳を使うときは次のように操作します。

- ①目的の電話帳を検索する(一覧画面で目的の電話帳を選択、または詳細画面を表示)
- ②追加する番号をダイヤルボタンで押す
- ③外線ボタンを押す
 - 発信/着信履歴を使うとき：手順①の代わりに目的の発信/着信履歴を検索する
 - ワンタッチダイヤルを使うとき：手順①の代わりにワンタッチボタンを押す

Q 転送電話ができないときは？

A 登録や設定に間違いがないかを確認してください。

- 転送先リストに電話番号が登録されていますか？
転送電話をセットしても、転送先リストに正しく電話番号が登録されていないと転送できません。転送先リストを登録してください。(P3-18)
- 転送電話に必要な操作はすべて完了していますか？
転送電話に必要な登録やセット操作が正しく行われているかどうかを確認してください。(P3-18～P3-21)
- 転送先リストに登録した電話からかけていませんか？
転送先リストに登録した電話番号からの電話は、転送電話の対象になりません。

Q コールバックができないときは？**A**

次のことを確認してください。

- アナログ回線をご利用ではありませんか？
アナログ回線では、コールバックを利用できません。
- コールバックの対象としたい電話番号は、正しく登録されていますか？
コールバックの対象としたい電話番号は、あらかじめ共通電話帳に登録しておく必要があります。個別電話帳に登録しても無効となります。
また、同じ電話番号を共通電話帳に重複して登録しないようご注意ください。重複していると、コールバックが行われない場合があります。
- 外出先の方は、呼び出し音が聞こえたあとすぐに電話を切りましたか？
「コールバック着信」と判定されるのは、着信後すぐ（お買い求め時：6秒）に切れた着信のみです。この時間を経過してから電話を切った場合、コールバックは行われません。
- 社内の方は、設定されている時間内に応答しましたか？（システム内線着信の場合）
外出先の方が電話を切ったあと、社内の方が呼び出されている間（お買い求め時：30秒）に応答しなかったときや、社内に人がいなかったときは、システム内線着信のコールバックが行われません。
- 外出先の方は、事業所からかかってきた電話にすぐに応答しましたか？
事業所（システム設置所）からのコールバックが正しく行われても、設定されている時間内（お買い求め時：120秒）に外出先の方が圏外であったり、応答操作をしなかったときは、電話が切れます。

Q 高音質発信ができないときは？**A**

電話機を確認してください。

高音質電話に対応している電話機はIP電話機のみです。高音質発信しても、相手が高音質に対応していない場合は、通常音質の通話になります。
また、外線通話で高音質通話をするには、フレッツ 光ネクスト等のブロードバンド回線の利用契約が必要です。

Q 迷惑電話を着信拒否するには**A**

通話中にサービスボタン（着信拒否）を押します。

あらかじめサービスボタンに「着信拒否」の機能を割り当てておきます。（▶P3-10）

通話中にこのボタンを押すと、通話相手の方の電話番号を共通電話帳の着信拒否が設定されているグループに登録することができます。また、通話終了後でも着信履歴から着信拒否登録することができます。（▶P3-12）
着信拒否の登録を削除するには、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機で共通電話帳に登録された電話番号を削除します。（▶P3-13）

特番を使って操作するには

特番一覧

■ダイヤル中特番

特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合は[]に記入してください。

名 称	機 能	特 番	参照先
外線発信番号	空いている外線を選んで発信する	① []	■P2-14、 P3-46
パーク保留応答	パーク保留に応答する	⑤ ① []	—
パーク保留	通話をパーク保留する	⑤ ① []	—
TEN対応転送先リスト登録	電話機ごとの転送先リストを登録する	⑥ ⑦ ③ []	■P4-9
圏外時サービス設定	内線電話機が圏外になったときの動作を設定する	⑥ ⑦ ⑧ []	■P4-9
セキュリティサービス 起動／解除	セキュリティサービスを起動／解除する	⑥ ⑦ ⑨ []	■P4-35
サービスロック起動／解除	サービスロックを起動／解除する	⑥ ⑨ ① []	■P3-56
音声メールアクセス番号	ボックスに録音されたメッセージをボックス番号を指定して再生する	⑦ ① ① []	■P3-32
フッキング信号送出番号	フッキング信号を送出する（※単体電話機のみで有効）	⑧ ① []	—
外線グループ指定発信	外線グループ（1～8）の中から空き外線を選んで発信する	⑧ ① ～ ⑧ ⑧ []	■P2-14
一斉放送／呼出	スピーカ1、2と電話機を同時に呼び出す	⑨ ① []	—
一斉放送（スピーカ1）	スピーカ1で一斉放送する	⑨ ① []	■P5-11
一斉放送（スピーカ2）	スピーカ2で一斉放送する	⑨ ② []	■P5-11
一斉放送（スピーカ1、2）	スピーカ1、2で一斉放送する	⑨ ③ []	■P5-11
モード切替（自動）	システムモードを設定／解除する	⑨ ④ ① []	—
モード切替（昼）	システムモードを昼モードに設定する	⑨ ④ ① []	—
モード切替（夜）	システムモードを夜モードに設定する	⑨ ④ ② []	—
モード切替（休憩）	システムモードを休憩モードに設定する	⑨ ④ ③ []	—
モード切替（休日）	システムモードを休日モードに設定する	⑨ ④ ④ []	—
ドアホン／カメラドアホン	ドアホン／カメラドアホンを呼び出す	⑨ ⑤ ① ～ ⑨ ⑤ ④ []	■P5-9
電話帳発信	電話帳を使って電話をかける	⑨ ⑨ []	—

名 称	機 能	特 番	参照先
一斉・グループ呼出	グループの全電話機を一斉に呼び出す	(*) 00 ~ (*) 09 []	☞P2-18
コールバックシステム内線着信	コールバック中継発信時に内線着信させる	(*) # []	☞P3-46
代理応答	自グループの電話機への着信に代理応答する	# 00 00 []	☞P2-18、 P2-26
	指定した他グループの電話機への着信に代理応答する	# 00 01 ~ # 01 02 [] ※	☞P2-18、 P2-26
	全グループの電話機への着信に代理応答する	# # []	☞P2-18、 P2-26、 P5-9、 P5-11
一斉・グループ呼出応答	一斉・グループ呼び出しに応答する	# 80 ~ # 89 []	☞P2-18
一斉放送／呼出応答	スピーカ1、2と電話機の呼び出しに応答する	# 90 0 []	—
一斉放送応答(スピーカ1)	スピーカ1の一斉放送に応答する	# 90 1 []	☞P5-11
一斉放送応答(スピーカ2)	スピーカ2の一斉放送に応答する	# 90 2 []	
一斉放送応答(スピーカ1、2)	スピーカ1、2の一斉放送に応答する	# 90 3 []	
ドアホン応答	チャイム音の鳴らない電話機でドアホン1～4に応答する	# 95 01 ~ # 95 04 []	☞P5-9

※：typeSは # 00 01 ~ # 00 06

特番を使って操作するには



ワンポイント

外出先からリモコン操作を行うには

「システム設定」により自動応答サービスを設定している場合は、外出先から特番（PB信号）を使ってリモコン操作が行えます。

	操 作	使用する特番操作例
転送電話、留守番電話の操作	留守番電話のセット	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ① []
	転送電話のセット	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ② []
	転送電話、留守番電話の解除	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ③ []
	電話機起動転送先リストの登録	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ④ [] + ① ~ ③ # + 転送先電話番号 #
	電話機起動転送先リストの削除	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ⑤ [] + ① ~ ③ #
	留守番電話の応答メッセージの選択	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ⑥ [] + ① または ② #
	システム共通の転送先リストの登録	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ⑦ [] + ① ~ ③ # + 転送先電話番号 #
	システム共通の転送先リストの削除	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ⑧ [] + ① ~ ③ #
	圏外時外線転送、留守番電話のセット／解除	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ⑨ [] ① # (解除) + ② # (転送電話) ③ # (留守番電話)
システムモードの切り替え	システムモードの解除 (自動モードへの切り替え)	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ④ ① []
	昼モードへの切り替え	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ④ ② []
	夜モードへの切り替え	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ④ ③ []
	休憩モードへの切り替え	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ④ ④ []
	休日モードへの切り替え	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ④ ⑤ []
セキュリティサービスの操作	起動	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ⑨ [] + ① #
	解除	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑥ ⑦ ⑨ [] + ② # + セキュリティ暗証番号 + #

機能特番

[機能] を押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合には [] に記入してください。

名称	機能	特番	参照先
バックアップデータ復元	バックアップデータの復元を行う	①② []	☛P1-3
会議（内／外線ダイヤル招集）	通話中に他の内線／外線を呼び出して会議通話を行う	① []	☛P3-25
口頭招集会議	通話中に口頭で他の内線を呼び、会議通話を行う	② []	☛P3-24
外線転送割込み	外の方との通話を他の外線に転送したあとで、通話に割り込む	⑤② []	☛P2-27
主装置ソフトバージョン表示	主装置ソフトのタイプ（typeSはZX2S、typeMはZX2M）とバージョンを表示する	⑦① []	—
ブロードバンドルーターユニットIPアドレス表示	IPアドレスとサブネットマスクを表示する（※一部の電話機ではサブネットマスクが表示できません）	⑦① []	—
ブロードバンドルーターユニットランプ状態確認（1枚目）	主装置に実装されているユニットの各ランプ（POW、VOIP、PPPoE、CONFIG、LAN1、LAN2、LAN3、WAN）の状態を電話機のディスプレイに表示する	⑦②① []	☛P6-12
ブロードバンドルーターユニットランプ状態確認（2枚目）		⑦②② []	
秘話解除（通話モニタ）	通話中に、他の内線電話機に通話モニタを許可する	⑦⑦ []	—
暗証番号初期化	暗証番号をお買い求め時の状態（0000）に戻す	⑧① [] ※	—
ブロードバンドルーターユニットのパスワード初期化	ブロードバンドルーターユニットの設定アカウント、パスワード等を初期化する	⑧② [] ※	—
通信中転送機能	フレックスホンの通信中転送機能を利用する	⑨② []	—
三者通話機能（ミキシングモード）	フレックスホンの三者通話機能（ミキシングモード）を利用する	⑨③ []	—
音声メールコメント付加	通話録音の内容にコメントを付けて録音する	⑨④ []	—
着信転送機能起動／解除	フレックスホンの着信転送機能を利用するために、着信転送モードを設定／解除する	⑨⑤ []	—

※スピーカボタンを押したあと、[機能] を押し、特番を押して操作してください。

（次ページへつづく）

特番を使って操作するには

名 称	機 能	特 番	参照先
音声メール手動通話録音	外線または内線とお話し中に通話録音を開始する	☎ 7 []	—
通信中着信通知一時停止設定／解除	通信中着信通知の機能を一時的に停止／一時停止を解除する	☎ 8 []	—
発信専用制御設定／解除	発信専用制御を設定／解除する	☎ 9 []	—
最新バージョン問合せ	ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックする	* 1 0 []	▶P4-52
ソフトウェアダウンロード実行	最新のソフトウェアをダウンロードする	* 1 1 []	▶P4-53
通話中PB信号送出停止	外線通話中、一時的にダイヤル送出を停止する	* 9 []	—
キーパッドモード切替	キーパッドの送出モードを切り替える	* * []	—



ワンポイント

●ブロードバンドルーターユニットランプ状態の表示について

電話機のディスプレイに次のように表示されます。

```
VOIP :XXXXX CNF:XXXXX
LAN1 :XXXXX PPP:XXXXX
LAN2 :XXXXX POW:XXXXX
LAN3 :XXXXX WAN:XXXXX
```

XXXXX : 消灯、点灯、点滅、F点滅 (速い点滅)

■ 設定特番

内線ボタンを押して、**決定** を押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合には [] に記入してください。

名 称	機 能	特 番	参照先
日付設定	日付を設定する	①① []	➡P4-25
時刻設定	時刻を設定する	①② []	➡P4-25
システムモード時刻設定	システムモードを自動的に切り替える時刻を設定する	①③ []	➡P4-25
音声メール機能初期化	音声メール機能で使用する応答メッセージなどの設定をお買い求め時の状態に戻す	①④ []	—
セキュリティモード設定	セキュリティサービスの通報先を、内線、外線、またはその両方に設定する	①⑤ []	➡P4-34
セキュリティ関連 タイマ設定	セキュリティサービスの各種動作のタイミングを設定する	①⑥ []	➡P4-35
セキュリティ通報番号登録	セキュリティサービスの通報先電話番号を登録する	①⑦ []	➡P4-35
電話帳ガイド表示設定	電話帳画面のガイド表示を設定する	①⑩ []	➡P4-20
グループ着信ランプ設定	電話帳グループごとの着信ランプの点滅色を設定する	①⑪ []	➡P4-5
暗証番号設定	電話機ごとの暗証番号を登録する	①⑫ []	➡P4-16
着信音色設定	外線・内線の着信音を設定する	②① []	➡P4-7
非通知着信拒否設定	電話番号非通知の着信、公衆電話からの着信、表示圏外からの着信を拒否するかどうかを設定する	②② []	➡P3-14
サービスロック対象設定	サービスロックの対象を設定する	②③ []	➡P3-55
電話帳グループ毎鳴動設定	電話帳グループごとの着信音を設定する	②④ []	➡P4-5
システム着信メロディ設定	着信音に使用するメロディを選択する	②⑤ []	➡P4-22
ドアホン鳴動設定	ドアホンごとに呼び出し音を鳴らすかを設定する	②⑥ []	➡P4-13
ISDN料金表示設定	INSネット64で電話をかけたときの料金表示を行うかどうかを設定する	②⑦ []	➡P4-27
ダイヤル押下音設定	ダイヤルボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを設定する	②⑧ []	➡P4-17
事業者識別番号付与設定	携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号の自動付与をするかどうかを設定する	②⑨ []	➡P4-21
留守／転送開始タイマ設定	着信から転送、または留守番電話を開始するまでの秒数を設定する	③⑩ []	➡P4-31
外線転送先呼出タイマ設定	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定する	③⑪ []	➡P4-31

(次ページへつづく)

特番を使って操作するには

名 称	機 能	特 番	参照先
グループ毎コールバック設定	電話帳グループごとに、コールバック着信があったときの動作を設定する	③ ② []	☛P4-20
外線転送方式設定	転送先リストの電話番号への発信を、同時/順次のどちらの方法で行うかを設定する	③ ④ []	☛P4-31
転送元呼出継続設定	転送元の呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定する	③ ⑤ []	☛P4-32
FAX/TEL呼出回数設定	ファクスが応答しなかった場合に自動的に外線を切断するまでの呼び出し回数を設定する	③ ⑥ []	☛P4-29
FAX/TEL切替設定	ファクスが送られてきたときにファクスへの切り替えを行う機能を設定する	③ ⑦ []	☛P4-29
プリセット読出タイマ設定	プリセットダイヤルの表示を継続する秒数を設定する	④ ⑩ []	☛P4-28
保留警報音送出タイマ設定	保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する	④ ⑪ []	☛P4-24
長時間通話警報タイマ設定	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する	④ ⑫ []	☛P4-28
ドアホンチャイム音鳴動タイマ設定	ドアホンからの呼び出しに鳴動する時間を設定する	④ ⑬ []	☛P4-30
ワンタッチ/ プリセクション設定	発信時の動作をワンタッチ/プリセクションのどちらにするかを設定する	⑤ ⑩ []	☛P4-6
オフフック外線発信設定	オフフックにより、「システム設定」で設定された内線/外線を捕捉する機能を設定する	⑤ ⑪ []	☛P4-6
オフフック外線応答設定	外線ボタンを押さなくても、ハンドセットを取りあげるだけで着信に応答できる機能を設定する	⑤ ⑫ []	☛P4-7
着信音停止設定	着信音を鳴らさないようにする	⑤ ⑬ []	☛P4-8
内線呼出音設定	内線からの呼び出しをトーン（信号音）呼び出しとするか音声呼び出しとするかを設定する	⑤ ⑭ []	☛P4-13
内線ホットライン設定	ハンドセットを取りあげるだけで呼び出せる内線番号を登録する	⑤ ⑮ []	☛P4-13
保留音設定	保留メロディを設定する	⑤ ⑯ []	☛P4-24
不在着信転送設定	不在着信転送を設定/解除する	⑤ ⑰ []	☛P4-13
外線毎着信拒否設定	ダイヤルイングループボタン（NK/NKG）を、一時的に着信拒否する	⑤ ⑱ []	☛P4-7
履歴ランプ表示設定	かかってきた電話に出なかったときに、着信履歴ランプを点滅（周期的に2回点灯）表示させてお知らせするかどうかを設定する	⑤ ⑲ []	☛P4-17
時計アラーム設定（1回）	電話機のアラーム（1回のみ）を設定する	⑥ ⑩ []	☛P4-12

名 称	機 能	特 番	参照先
時計アラーム設定 (毎日)	電話機のアラーム (毎日同時刻に繰り返す) を設定する	⑥① []	▶P4-12
留守メッセージ設定	留守番電話で使用するメッセージを選択/録音/確認する	⑦① []	▶P4-9
システム留守メッセージ設定	システムモードにより留守番電話をするときに、システム留守メッセージを選択/録音/確認する	⑦① []	▶P4-32
通話録音ガイダンス設定	通話録音ガイダンスを選択/録音/確認する	⑦② []	▶P4-35
お待たせメッセージ設定	お待たせメッセージを選択/録音/確認する	⑦③ []	▶P4-33
FAX/TEL切替メッセージ設定	ファクスと電話を切り替えるときのメッセージを選択/録音/確認する	⑦④ []	▶P4-29
留守番電話応答動作設定	留守番電話の応答動作を応答専用にするか、録音専用にするかを設定する	⑦⑥ []	▶P4-9
話中/不応答時音声メール動作設定	通話中や不在時に内線呼び出しがあったときに流すメッセージを応答専用にするか、録音専用にするかを設定する	⑦⑦ []	-
システム留守応答動作設定	システムモードにより留守番電話をするときに、システム留守メッセージを応答専用にするか、録音専用にするかを設定する	⑦⑧ []	▶P4-32
通話録音内容保持設定	自動通話録音のときに、保存操作をしないで録音終了したメッセージを保存メッセージとして自ボックスへ保存する	⑧① []	-
ヘッドセット設定	ヘッドセットを使用するかどうかを設定する	⑧① []	▶P4-14
NTPサーバ時計データ自動設定	NTPサーバを使って、日付・時刻を自動的に設定するかどうかを設定する	⑧⑧ []	▶P4-25
NTPサーバ問合せ時刻設定	NTPサーバへの問合せ時刻を設定する	⑧⑨ []	▶P4-26
サブアドレス設定	内線電話機にサブアドレスを設定する	⑨① []	▶P4-22
通話録音モード設定	通話録音モードを手動録音または自動録音に設定する	⑨② []	▶P4-18
音声メール着信通知先設定	音声メールを着信したときの通知先を設定する	⑨③ []	-
音声メール着信通知起動設定	音声メールを着信したときに通知するかどうかを設定する	⑨④ []	-
自動通話録音ガイダンス設定	自動通話録音モード設定時に、通話先に通話を録音するメッセージを流す	⑨⑤ []	▶P4-18
着信転送設定 (転送先番号の登録)	フレックスホンの着信転送機能を利用するために、転送先電話番号を登録する	⑨⑥ []	-
システムモード別ECOモード設定	システムモード (昼/夜/休憩/休日) 別に、ecoモードを設定する	⑨⑦ []	▶P4-18
ECOモード自動起動タイマ設定	自動起動でecoモード起動中に手動でeco解除した場合、再度ecoモードを起動するまでの時間を設定する	⑨⑧ []	▶P4-28

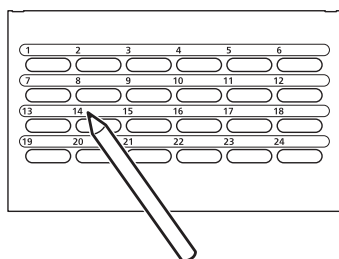
付属品などをご利用になるには

■ 示名条を使う

- 1 電話機パネルの右上のくぼみに指をかけ、上に引き上げる。



- 2 示名条を取り出し、ワンタッチボタンに登録した相手先を記入する。



- 3 示名条をセットして、電話機パネルの左側のツメを電話機に差し込む。

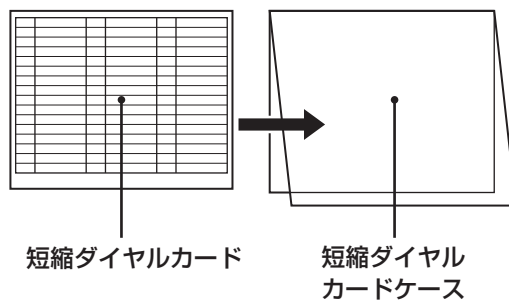


- 4 電話機パネルの右側のツメを電話機に差し込む。

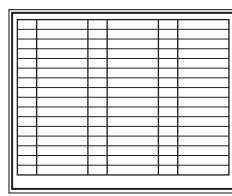


■ 短縮ダイヤルカード（オプション）を使う

- 1 短縮ダイヤルカードに登録した相手先を記入し、短縮ダイヤルカードケースに入れる。



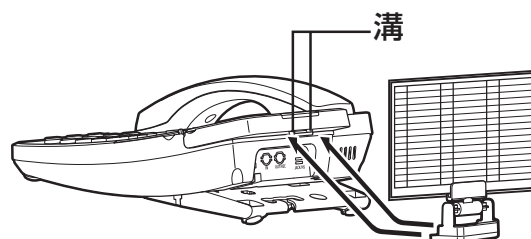
- 2 短縮ダイヤルカードケースを短縮ダイヤルカードケースホルダに入れる。



短縮ダイヤルカードケースホルダ

- 3 短縮ダイヤルカードケースホルダのツメを、電話機背面の溝に入れる。

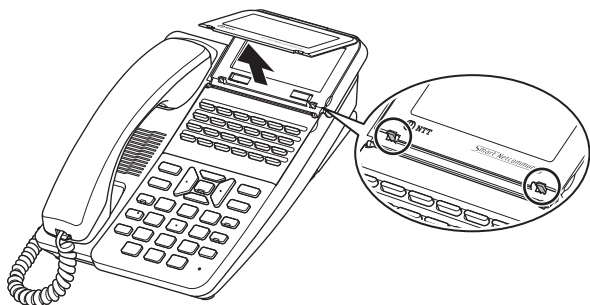
短縮ダイヤルカードケースホルダを取り外すときは、両側のツメを押さえながら、溝から引き抜きます。



溝

■ 電話機LCDパネルを外す

- 1 電話機LCDパネル下の2か所のツメをずらしながら、右のくぼみに指をかけ、下側から上に引き上げる。



■ 電話機LCDパネルをつける

- 1 電話機LCDパネルの上部分を着信ランプの溝に差し込む。



- 2 電話機LCDパネル下の2か所のツメを電話機に差し込む。



STOP お願い

- 交換時は、ディスプレイと電話機LCDパネルの間にごみやほこりなど、異物が入らないように注意してください。

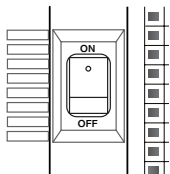
主装置の電源を入れる／切るには

消防点検等で電源の入／切が必要になったときは、下記のように行ってください。

■主装置の電源を入れる

1 主装置に接続されている電源プラグを電源コンセントにさす。

2 主装置（P1-8、P1-9）の左側にある電源スイッチをONにする。



3 電話機が起動するのを待つ。

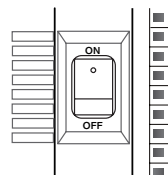


■主装置の電源を切る

1 電源を切る前に、必ず次のことを確認する。

- 他の方が電話機を使用していないか
- ファームウェアの更新中（P4-53）でないか
- バックアップ中でないか
- データの復元中（P1-3）でないか

2 主装置（P1-8、P1-9）の左側にある電源スイッチをOFFにする。



3 電源コンセントから主装置に接続されている電源プラグを抜く。



ワンポイント

バックアップ中の確認について

手動バックアップ中は、操作した内線電話機に「データバックアップ中」が表示されます。自動バックアップ中は表示されません。自動バックアップの時間など、詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

STOP お願い

- 電源を切る前には、必ず、次のことを確認してから行ってください。
 - 他の方が電話機を使用していないこと
 - ファームウェアの更新中でないこと
 - バックアップ中でないこと
 - データの復元中でないこと

停電になったときは

お話し中に停電になっても、そのままお話しを続けることができます。このサービスをご利用になるには、バックアップ電池（オプション）が必要です。できるだけ早くお話しを終わらせてください。

停電中に電話をかけたり、受けたりするときは、停電用電話機をお使いください。停電用電話機には、停電用シールが添付されています。

停電中に停電用電話機で電話をかけるときは、ダイヤルボタン以外のボタンを押しても利用することはできません。

●停電時には以下の点にご注意ください

バックアップ電池による動作中	すべての内線電話機	外の相手の方とお話し中	そのままお話しができます
		保留中	保留は継続されます 保留を解除すると、引き続きお話しができます
		スピーカ受話中	そのままお話しができます
		内線やドアホンとのお話し中	そのままお話しができます
バックアップ電池による動作が できなくなったとき※	停電用電話機	電話をかけるには	ハンドセットを取りあげて、ダイヤルボタンを押してかけてください
		電話がかかってきたときは	ハンドセットを取りあげてお話しください
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
	停電用電話機以外の内線電話機	電話をかけるには	電話はかけられません
		電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません

※：バックアップ電池がない場合も同じ動作となります。

お知らせ

- 停電時、バックアップ電池（オプション）による動作ができなくなったときは
 - ・ 時計・カレンダー表示は消えますが、設定内容はそのままです。
 - ・ 着信音は、通常時とは異なります。
 - ・ 停電用電話機がISDN電話機の場合は、プッシュホンサービスは利用できません（通話中PB送出手はできません）。
 - ・ ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用したすべての機能は利用できません。応答時に「ビュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は一度電話を切って、再度着信音が聞こえてから応答すると、相手の方とお話しができます。
- 停電が復旧すると自動的に通常の状態に戻ります。停電用電話機でお話し中の通話は切れてしまいます。いったん電話を切って、再度おかけ直してください。アナログ停電電話機でお話し中の通話は切れない場合があります。この場合、お話しを継続することができ、お話しが終わってから通常の状態に戻ります。
- 通常の状態でも停電用電話機によるお話し中のとき、停電になった場合は、お話し中の通話は切れてしまいます。
- 停電状態になった直後や停電が復旧した直後は、ISDN 停電電話機およびISDN 回線がすぐには使用できないことがあります。この場合はハンドセットを戻し、数分間お待ちください。



ワンポイント

- 標準電話機と停電用電話機の違い
停電時に外から電話がかかってきたことを知らせるブザーが付いています。
- ダイヤルインサービスをご利用のときは
停電時に外から電話がかかってきたとき、ダイヤルイン着信では正常に電話を受けることができません。
- 長時間の停電対策のために
バックアップ電源装置を主装置に接続すると、停電になったときでも長時間にわたりお話しすることができます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
- メモリ保持電池の交換について（P6-20）
- バックアップ電池（オプション）の交換について（P6-20）

主装置の電源を入れる／切るには

SDカードのエラー／電池交換が表示されたときは

SDカードのエラー表示、または、メモリ保持電池やバックアップ電池（オプション）の交換が必要になったときは、下記のようにお知らせします。すみやかに交換をご依頼ください。

SDカードのエラー表示について

<エラー表示の場合>

11月14日(木) 午後 3:05
SDカード 利用不可

主装置の電話帳や留守番電話の録音データなど、必要なデータを保持するために、SDカードが使用されています。

内線電話機のディスプレイに左のように表示された場合は、SDカードが正常に動作していません。そのままの状態で使用すると、電話帳の登録などいくつかの機能が使用できなくなります。SDカードの点検は、当社のサービス取扱所へご依頼ください。

メモリ保持電池の交換について

<電池交換が必要になった場合>

11月14日(木) 午後 3:05
リチウム電池無し

主装置の設定などのメモリを保持するために、リチウム電池が使用されています。

すべての内線電話機のディスプレイに左のように表示されたあとは、お早めに電池交換をお願いいたします。リチウム電池無しの状態で電源を切ると、メモリ内容が保持できずにお買い求め時の値に戻ります。

交換時期の目安は約5年です。電池の交換は、当社のサービス取扱所へご依頼ください。

バックアップ電池（オプション）の交換について

停電になったとき、お話しを続けたり、かかってきた電話に応答するためにシール鉛蓄電池が使用されています。正常にバックアップを行うためには、定期的なシール鉛蓄電池の交換が必要です。電池の交換時期の目安は、常温で使用した場合では約5年です。

約5年を目途に電池の交換をしてください。なお、ご利用状況によっては、5年以内にバックアップ電池（オプション）が動作しなくなる場合もあります。

電池の交換は、当社のサービス取扱所へご依頼ください。

■ 鉛蓄電池回収のお願い



この製品には密閉型蓄電池（小型シール鉛蓄電池）を使用しています。密閉型蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった密閉型蓄電池、および使用済み製品から取り外した密閉型蓄電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

●こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける／受ける	ツーツー… (内線発信音)	ハンドセットを取りあげたとき または内線ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せませ
	ツー (外線発信音)	外線ボタンを押したとき	電話をかけられます
	ブルルル… (呼出音)	外線または内線で相手の方を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています
	プープー… (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき または他の内線電話機が使用中のとき	お話し中です
	ピッピッ・ピッピッ… (通信中着信通知音)	INSネット64の通信中着信通知サービスをご利用時、外線でお話し中に、さらに別の相手の方からの電話がかかってきたとき	別の相手の方から電話がかかってきました
登録設定	ツツツ… (設定登録音)	決定 を押したとき	設定を開始します
	ピッピッ (登録確認音)	設定・登録の操作が終わったとき	正しく設定・登録されました
	ピーピー (登録確認音)		
	ピピピピピピ (登録拒否音)	無効な入力やボタン操作を行ったとき	正しく設定・登録できません
その他	ピピ・ピピ (アラーム音)	アラームの設定時刻になったとき	アラームの設定時刻になりました
	ピッ (キータッチトーン)	ボタンを押したとき	ボタンが押されました
	保留メロディ (保留音) ※	電話を保留したとき	電話が保留されています
	ピンポーン (チャイム音)	ドアホンから呼び出されたとき	ドアホンから呼び出されています
	プププ (確認音)	通話中にドアホンから呼び出されたとき	ドアホンから呼び出されています

※ 設定により保留メロディを切り替えることができます。(▶P4-24)

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
全部の内線電話機が使えない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	—
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	—
一部の内線電話機が使えない	内線電話機の電話機コードが抜けている	内線電話機の電話機コードを正しく接続してください	—
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかりと置き、しばらく待ってから電話をかけてください	—
着信音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	■P4-8
	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	■P1-15
	システムモードが夜／休憩／休日モードになっている	故障ではありません	■P4-27
「ツーン」という発信音が聞こえない	決定ランプが点滅している	しばらく待ってからかけ直してください	—
	ハンドセットのコードが抜けている	ハンドセットのコードを正しく接続してください	—
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかりと置き、しばらく待ってから電話をかけてください	—
こちらの声が相手に聞こえない	送話カットが設定されている	サービスボタン（送話カット）を押して赤いランプを消灯し、送話カットを解除してください	■P6-4
	スピーカ受話になっている	マイクボタンを押すか、ハンドセットを取りあげてお話しください	—
電話帳が登録できない	「システム管理者」に設定された電話機で登録していない	共通電話帳は、「システム管理者」に設定された電話機から登録してください	■P6-2
	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	■P3-2
ワンタッチボタンに登録できない	33個以上登録しようとしている	32個までで登録してください	■P3-8
内線で呼び出すと他の内線電話機の着信音が鳴る	電話機の位置を変えている	電話機を元の位置に戻してください	—
	内線番号が違う	内線番号を確認してかけ直してください	—
ドアホンからのチャイム音が鳴らない	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	■P1-15
	ドアホンのチャイム音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	■P4-13
ダイヤルが終わっても呼び出し音が聞こえるまで時間がかかる	相手の方がナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用の場合は、呼び出し音が聞こえるまでの時間が長くなることもある	故障ではありません	—
「ブツブツ」と小さな音がする	ナンバー・ディスプレイやお待たせメッセージをご利用時、着信音を鳴動しない設定にしている場合に「ブツブツ」と小さな音がすることがある	故障ではありませんが、気になる場合は音量を小さくするか、着信音が鳴るように設定してください	■P1-15、 P4-8
ディスプレイに「リチウム電池無し」と表示される	メモリ保持電池の交換が必要な時期が近づいた	リチウム電池を交換してください	■P6-20
通話開始時にプツなどの音が入る	IP電話機を使用した通話開始時にパケットロス等により、相手の方に一瞬プツなどの音が聞こえる場合がある	故障ではありません	■P2-2、 P2-15、 P2-17
ワンタッチボタン、電話帳が使用できない場合がある	Web設定等工事中には使用できない場合がある	故障ではありません、工事が終了してから使用してください	■P3-8、 P3-2

パソコンを使って電話帳を編集するには

主装置から読み出した電話帳データは、テキスト（CSV）ファイルとしてパソコンに保存されます。データの参照や追加、修正などは、Excelを使って行います。

※ここでは、Windows 11でOffice 2021を使って操作する場合について説明しています。その他のバージョンでは、画面表示や操作方法などが異なる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

■ 電話帳データをExcelに取り込む

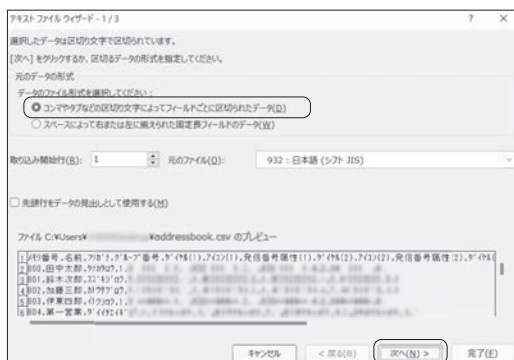
1 Excelを起動する。

2 [データ] タブ [データの取得] をクリックし、[従来のウィザード] の [テキストから (レガシ)] を選択する。

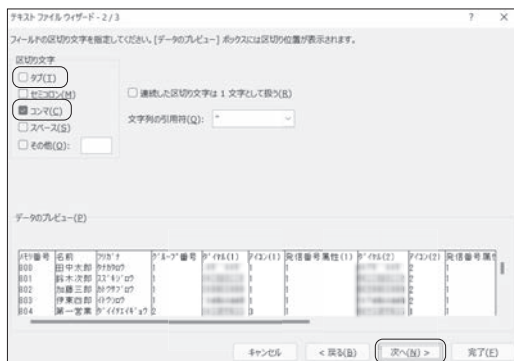
3 [テキストファイルのインポート] ダイアログボックスで、読み出した電話帳データを選択し、[インポート] ボタンをクリックする。

電話帳データは、「addressbook.csv」で保存されています。（お客様でファイル名の変更が可能です。）

4 [元のデータの形式] の [コンマやタブなどの区切り文字] によってフィールドごとに区切られたデータをクリックし、[次へ] ボタンをクリックする。



5 [区切り文字] の [タブ] のチェックを外し、[コンマ] のみにチェックをつけて [次へ] ボタンをクリックする。



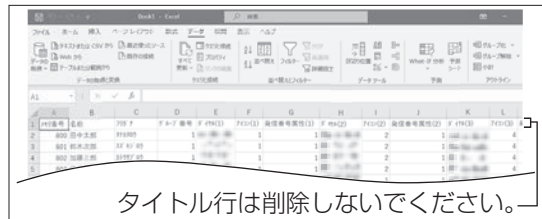
6 [データのプレビュー] で「ダイヤル (1)」が表示されている列をクリックし、[列のデータ形式] の [文字列] をクリックする。



7 「ダイヤル (2)」～「ダイヤル (4)」の列についても手順6と同様の操作をし、[完了] ボタンをクリックする。

8 [データの取り込み] ダイアログボックスで、[既存のワークシート] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする。

Excelのシートに、電話帳データが表示されます。

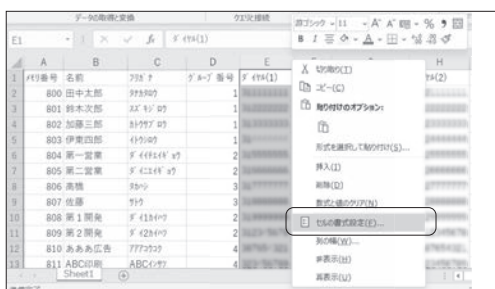


パソコンを使って電話帳を編集するには故障かな? と思ったら

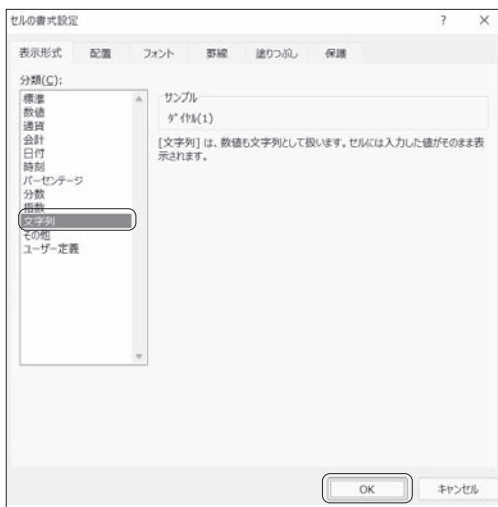
■ 電話帳データを編集するとき

Excelに取り込んだ電話帳データを編集する場合は、必ず最初に以下の操作を行ってください。この操作を行わないと、電話番号の最初の「0」がExcelで正しく認識されません。

- 1 「ダイヤル (1)」が入力されている列を選択し、マウスを右クリックし、ショートカットメニューの【セルの書式設定】をクリックする。



- 2 【表示形式】タブの【分類】で【文字列】をクリックし、【OK】ボタンをクリックする。



- 3 「ダイヤル (2)」～「ダイヤル (4)」の列についても手順1～2と同様の操作をする。

このあと、電話帳データの編集を行ってください。



ワンポイント

● 電話帳データを編集するときの注意点

「メモリ番号」、「名前」などのタイトル行は、削除しないでください。また、列を削除したり挿入したりしないでください。

● 電話帳データ編集上の規定

各項目に使用できる文字や文字数などは以下の通りです。

項目	規定
メモリ番号	桁数に合わせ 00 ～ 99、000 ～ 999、0000 ～ 9999 (半角) (☞P3-2)
名前	全角最大10文字。 漢字／ひらがな (全角)、カナ／英字／数字 (半角)
フリガナ	半角最大12文字。カナ／英字／数字 (半角)
グループ番号	0 ～ 9 (半角)
ダイヤル	電話帳1件につき「ダイヤル (1)」～「ダイヤル (4)」の4つ。 半角最大32桁。0 ～ 9、*、#、- (ポーズ)
アイコン	電話帳1件につき「アイコン (1)」～「アイコン (4)」の4つ。 1 ～ 8 (半角) のみ (☞P3-3)
発信番号属性	電話帳1件につき「発信番号属性 (1)」～「発信番号属性 (4)」の4つ。1 ～ 2 (半角) 1：一般外線番号 2：PBX内線番号

■ 電話帳データを保存する

Excelで編集したデータを、主装置から読み出したデータと同じ形式で保存します。

1 [ファイル] メニューをクリックし、[名前を付けて保存] を選択する。

2 保存先を指定する。
ファイル名を変更して保存する場合は、[ファイル名] に新しいファイル名を入力します。

3 [ファイルの種類] ドロップダウンリストから「CSV (カンマ区切り)」を選択する。

4 [保存] ボタンをクリックする。
すでに同じファイル名のファイルが保存されている場合は、既存のファイルを置き換えるかどうかのメッセージが表示されます。
上書きする場合は [はい] をクリックします。別のファイルとして保存する場合は [いいえ] をクリックしてファイル名を変更し、[保存] ボタンをクリックします。
「このブックをコンマ区切り (.csv) 形式で保存すると、一部の機能が失われる可能性があります。機能が失われないようにするには、Excelファイル形式で保存してください。」というメッセージが表示されますが、そのまま保存して問題ありません。

5 「選択したファイルの種類は複数のシートを含むブックをサポートしていません。」というメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックする。

指定した場所に電話帳データが保存されます。
保存したデータは、電話帳編集画面 (P4-46) の [主装置へ書き込む] ボタンを使って主装置にコピーすることができます。



ワンポイント

● 電話帳データをパソコンから主装置に書き込むと

メモリ番号が同じ電話帳データは、パソコンから書き込んだ電話帳データに書き換わります。パソコンから書き込んだ電話帳データに含まれないメモリ番号の電話帳が主装置にあった場合、その電話帳は削除されずに残ります。

● 主装置の電話帳データを削除するには

電話帳編集画面 (P4-46) を使うと、電話帳データを簡単に削除できます。1件単位で削除するときは、[削除] ボタンを使います。全件削除するときは [全削除] ボタンを使います。

アルファベット

- DP回線** …………… ダイアル回線（パルス回線）のことです。
- FAX/TEL切替** …………… 外線からの着信に主装置が応答し、FAX信号を検出すると自動的にファクスを呼び出すことができる機能のことです。
- FAX自動転送** …………… 電話機が外線着信に応答したとき、相手がファクスであった場合は自動的にファクスに転送する機能のことです。
- INSネット64** …………… INSネットサービスの中で、1回線で情報チャンネル（B）2本、信号チャンネル（D）1本を同時に利用できるサービスです。
- IVR機能** …………… かかってきた電話に自動応答し、あらかじめ録音した音声ガイダンスを流して、その後の操作を案内する機能のことです。
- PB回線** …………… プッシュ回線（トーン回線）のことです。
- VoIP** …………… IP網を利用して提供する音声電話サービスです。
- Web設定** …………… LANで主装置と接続したパソコンを使って、個々の電話機やシステムについての登録・設定を行うことです。

五十音

【ア行】

- 空き外線** …………… 使用していない外線で、発信・着信できる外線のことです。
- オフフック** …………… ハンドセットを取り上げることです。
- オンフック** …………… ハンドセットを置くことです。
- オンフックダイヤル** …… ハンドセットを置いたまま、スピーカボタンを押し、ダイヤルボタンを押すことです。

【カ行】

- 外線グループ** …………… 「システム設定」により、収容されている外線をいくつかのグループに分けたものです。
- 外線捕捉** …………… 「ツー」という外線発信音が聞こえる状態を外線捕捉の状態といいます。この状態のときに外へ電話をかけることができます。
- 簡易自動再発信** …………… 外線発信時に、相手の方がお話し中や応答しないときにセットすると、相手の方が応答するまで自動的に再ダイヤルする機能のことです。
- キーパッド** …………… INSネット64に送出するデータのことで。

【サ行】

- システム管理者** …………… 「システム設定」によって、システムに関する一部の設定を行う資格を与えられている内線電話機のことです。メニュー操作による「システム一括設定」が行えます。（☞P4-51）
- システム設定** …………… SmartNetcommunity αZXⅡ typeS/typeMの設置時にあらかじめ登録・設定しておくもので、システムの基本的な機能・動作を決めるものです。設置以後の設定内容の変更については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。（☞P4-50）
- システムモード** …………… SmartNetcommunity αZXⅡ typeS/typeMを、時間帯に応じて動作させるための動作形態区分です。昼、夜、休憩、休日の4つに区分できます。
- 主装置ソフトウェア** …… SmartNetcommunity αZXⅡ typeS/typeMを動作させるプログラムのこと。ソフトウェアを最新のものに更新することにより、快適に動作させることができます。

- ステップコール** …… 内線個別呼び出しをしたとき、相手がお話し中などの場合、代わりに自グループ内の他の電話機を呼び出すことです。
- スピーカ受話** …… スピーカで相手の声を聞くことです。

【タ行】

ダイヤルイングループ

ボタン (NK/NKG) …… ダイヤルイン番号または、i・ナンバーを割り当てて、当該ボタンのあるすべての電話機に発着信させるためのボタンです。複数の電話機で、発着信グループなどを運用する場合に利用します。

ダイヤルインサービス …… 外線から直接内線電話機を呼び出すサービスです。

代理応答 …… 他の端末への着信に応答できる機能のことです。

着信音 …… 電話がかかってきたときに鳴る呼び出し音のことです。

着信音識別 …… 「システム設定」することで、着信種別ごとに異なる着信音が鳴るように設定する機能です。

中継発信 …… 外出先から主装置を経由して他の相手へ発信することです。SmartNetcommunity αZX II typeS/typeMでは、コールバック（中継発信、自動応答サービス）、リモコン操作（自動応答サービスを利用した外線への転送）など、いろいろな中継発信が行えます。

追加ダイヤル …… 再ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳などにおいて、ダイヤルをさらに追加して発信する機能のことです。

転送電話 …… かかってきた電話を、あらかじめ登録されている電話番号に転送させる機能です。外出するときなどに手でセットする転送電話（「電話機起動転送」）のほか、常時セットしておく「電話帳グループ転送」「システムモード転送」があります。

電話機グループ …… 電話機（端末など）から構成されるグループのことです。

【ナ行】

内線代表呼出 …… 内線番号の代わりに「システム設定」した代表番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機を1台呼び出す機能です。

内線ダイレクトコール …… 電話機の回線ボタンに内線番号を設定し、回線ボタンを押すことによりワンタッチで内線電話機を呼び出すことです。

内線ホットライン …… 電話機ごとに呼び出し先の内線番号を設定し、ハンドセットを取りあげるだけで内線を呼び出すことです。

【ハ行】

パーク保留 …… 通話中にパーク保留ボタンを押すことにより、通話相手を保留し、同じパーク保留グループとして設定した電話機のみから保留解除できるようにする機能です。

ハンズフリー …… ハンドセットを使わないで、内蔵マイクによりお話しができる状態のことです。ハンズフリー応答、ハンズフリー通話などがあります。

不在着信転送 …… かかってきた電話を他の内線電話機に自動的に転送させる機能です。席を離れるときなどに便利です。

プリセットダイヤル …… オンフック状態でダイヤルしたあとに、外線捕捉または内線捕捉をして発信する機能のことです。

プリセクション …… ハンドセットを置いたまま、外線ボタンまたは内線ボタンを押して、ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すと、回線が捕捉できる機能です。

【マ行】

メニュー設定 …………… 電話機のディスプレイを見ながらメニュー操作を行うことにより、各種の登録・設定を行うことです。メニューは内線電話機ごとに設定する「電話機毎設定」と、システム全体に関する「システム一括設定」に分かれています。

【ラ行】

リモコン操作 …………… 外出先からの操作で電話機ごとの設定やシステム全体の設定を行うことです。

【ワ行】**ワンタッチオンフック**

サービス …………… 空いている外線ボタンまたは内線ボタンを押すだけで、スピーカボタンを押さなくてもオンフックダイヤルの操作ができる機能です。

アルファベット

CTIアプリケーションソフトウェア	5-5
DECT-ダイバーシティ方式KT形 コードレス電話機	5-5
DECT-ダイバーシティ方式 コードレス接続装置	5-5
DECT-ダイバーシティ方式 コードレス電話機	5-5
DECT方式コードレス接続装置	5-4
DECT方式コードレス電話機	5-4
DP→PB切替	3-65
DP回線	1-14, 6-26
ecoモード	3-53, 3-54
ECOモード自動起動タイマ	4-28
FAX/TEL切替	6-26
FAX/TEL切替設定	4-29
FAX/TEL呼出回数	4-29
FAX自動転送	6-26
F/T切替対象外番号	4-29
F/T切替メッセージ設定	4-29
INSネット64	3-58, 6-3, 6-26
ISDN回線	1-14
ISDN料金表示設定	4-27
IVRガイダンス設定	4-23
IVR機能	6-26
IVRシナリオ設定	4-23
i・ナンバーサービス	3-66
NTPサーバ問合せ時刻	4-26
NTPサーバ時計設定	4-25
PB回線	1-14, 6-26
POWERランプ	1-8, 1-9
SDカードエラー表示	6-20
VoIP	6-26
VoIP回線	1-14, 6-3
Web設定	4-36, 6-26
システム一括ユーザデータ設定	4-42
電話機毎ユーザデータ設定	4-39

五十音

【ア行】

空き外線	6-26
空き外線自動発信	2-14
暗証番号設定	4-16, 4-27
一斉・グループ呼出	2-18
一斉放送	5-11
居留守応答	3-34
音	
こんな音がしたら	6-21
オプション装置／オプションユニット	5-2
オフフック	6-26
オフフック外線応答設定	4-7
オフフック外線発信設定	4-6
お待たせメッセージ	3-44
お待たせメッセージ設定	4-33
音声ガイダンス	3-36
音声を録音	3-37
テキスト入力	3-36
音声メール	3-43
音声メールアップロード設定	4-43
オンフック	6-26
オンフックダイヤル	2-4, 6-26
オンラインストレージ認証	4-45, 4-49
音量調節ボタン	1-10
音量の調節	
スピーカ音量	1-15
着信音量	1-15
ハンドセット受話音量	1-16

【カ行】

コールコードレス電話機	5-4
外線グループ	6-26
外線群指定発信	2-14
外線毎着信拒否設定	4-7
外線着信	2-15, 2-16
外線着信鳴動設定	4-7
外線通話	1-14
外線転送先呼出タイマ	3-20, 4-31

- 外線転送方式設定 3-20, 4-31
 - 外線発信 1-14, 2-2
 - 外線捕捉 6-26
 - 回線ボタン 1-10, 1-13
 - 外線ランプ 1-13
 - ガイダンスアップロード 4-45
 - ガイダンス作成 4-45
 - 外部アンプスピーカ 5-3
 - 外部アンプ接続用コード通し口 1-11
 - 外部音源 5-2
 - 外部スピーカ 5-11
 - 角度調節足 1-11, 1-12
 - 角度調節足 (コンソール) 5-6
 - カラーカメラドアホン 5-2
 - カラーカメラドアホン用モニタ 5-2
 - 簡易自動再発信 2-13, 6-26
 - キーパッド 6-26
 - キーパッド送出 1-14
 - 機能特番 6-11
 - 機能ボタン 1-10
 - キャッチホンサービス 3-65
 - 休憩モード 4-27, 6-5
 - 休日モード 4-27, 6-5
 - 給電HUB 5-5
 - 行検索 2-10
 - 共通電話帳 4-46
 - 共通電話帳全削除 4-20
 - 共通電話帳登録 4-19
 - 共通保留 2-23
 - 拠点連携 5-12
 - 国番号 3-17
 - クリアボタン 1-10
 - グループ検索 2-10
 - グループ毎コールバック 4-20
 - グループ毎鳴動設定 4-5
 - グループ着信先設定 3-62, 4-19
 - グループ着信ランプ設定 3-62, 4-5
 - グループ名称設定 4-19
 - 決定ボタン 1-10
 - 決定ランプ 1-13
 - 圏外時サービス設定 4-9
 - 高音質通話 3-68
 - 工事者設定用スイッチ 1-11
 - 工事者設定用スイッチ (コンソール) 5-6
 - 構成図 1-6
 - 口頭招集 3-24
 - 口頭転送 2-26
 - 構内放送用設備 5-2
 - コールバック 3-45
 - できないとき 6-7
 - 個別電話帳 4-46
 - 個別電話帳全削除 4-4
 - 個別電話帳登録 4-4
 - 個別保留 2-23
 - コンソール 5-3, 5-6
- 【サ行】**
- サービス番号 3-47
 - サービスボタン 3-10
 - お待たせ 3-44
 - サービスロック 3-56
 - システムモード切替 3-48
 - 受話音量増大 1-16
 - 送話カット 6-4
 - 転送電話 3-18, 3-19
 - 留守 3-28
 - 録音 3-41
 - サービスロック 3-55
 - サービスロック対象設定 4-16
 - 遡り通話録音 3-40
 - 削除ダイヤル設定 4-21
 - サブアドレス設定 4-22
 - 三者会議通話 2-27
 - 三者通話機能 3-59
 - 事業者識別番号付与 4-21
 - 時刻設定 4-25
 - システム一括設定 4-3, 4-19
 - システム一括ユーザデータ設定 4-42
 - システム管理者 6-26
 - システム管理者電話機設定 4-51
 - システム設定 4-50, 6-26
 - システム着信メロディ設定 4-22
 - システム内線着信 3-45

システム保留音設定	4-24
システムモード	3-35, 3-48, 4-48, 6-26
システムモード時刻設定	3-52, 4-25
システムモード設定	3-48, 4-27
システムモード転送	3-21
システムモード別ECOモード設定	4-18
システム留守応答動作	4-32
システム留守メッセージ設定	4-32
自動応答サービス	3-46
自動通話録音	3-40
自動通話録音ガイダンス	4-18
示名条	1-10, 5-5, 6-16
主装置IPアドレス表示	4-15
主装置 (typeM)	1-9
主装置 (typeS)	1-8
主装置キャビネット	1-8, 1-9
主装置ソフトウェア	
手動でダウンロードする	4-53
手動でチェックする	4-52
出力端子差込口	1-11
手動通話録音	3-41
受話音保持	4-14
受話口	1-10
受話増保持	4-14
順次転送	3-20
上下左右ボタン	1-10
省電力モード	6-5
新規メッセージ優先設定	4-10
シングルラインコードレス電話機	5-4
ステップコール	2-18, 2-26
ステレオ音声ファイルダウンロード用	
アカウント設定	4-43
スピーカ	1-10
スピーカ音量	1-15
スピーカ受話	2-3
スピーカボタン	1-10
スピーカランプ	1-13
セキュリティ関連タイマ設定	4-35
セキュリティ起動／解除	4-35
セキュリティ通報番号登録	4-35
セキュリティモード設定	4-34
設定特番	6-13

送話カット	6-4
送話口	1-10
ソフトウェア自動更新設定	4-34

【夕行】

待機中画面	1-14
ダイヤリングサービス	3-47
ダイヤルインサービス	3-66, 6-27
ダイヤル押下音設定	4-17
ダイヤル中特番	6-8
ダイヤルボタン	1-10
代理応答	2-18, 2-26, 5-9, 6-27
短縮ダイヤルカード	6-16
短縮ボタン	1-10
単体電話機	5-3
単体電話機アダプタ	5-3
着信音	6-27
着信音識別	6-27
着信音色設定	4-7
着信音停止設定	4-8
着信音優先順位	4-50
着信音量	1-15
着信拒否	3-12
着信拒否ガイダンス	4-22
着信拒否設定	4-23
着信未応答警報タイマ	4-22
着信ランプ	1-13
着信履歴	2-12, 3-62
一覧画面	2-12
詳細画面	2-13
着信履歴発信	3-62
着信履歴保存設定	4-18
着信履歴ボタン	1-10
着信履歴ランプ	1-13
注意シール	1-8, 1-9
中継発信	3-46, 6-27
中継発信規制設定	4-20
長時間通話警報タイマ	4-28
追加ダイヤル	6-27
通信中転送機能	3-59
通風孔	1-8, 1-9

- 通話時間 1-14
- 通話時間表示 1-14
- 通話モニタ 2-16
- 通話録音 3-41
- 通話録音ガイダンス設定 4-35
- 通話録音モード設定 4-18
- デジタルシステムコードレス接続装置 5-4
- デジタルシステムコードレス電話機 5-4
- ディスプレイ 1-10
 - ディスプレイの見かた 1-14
 - バックライトを点灯させる 1-14
- 停電 6-19
- 電気錠 5-2, 5-10
- 電源コード 1-8, 1-9
- 電源スイッチ 1-8, 1-9
- 電源プラグ 1-8, 1-9
- 転送 3-18
 - システムモードに応じた転送を行う 3-21
 - 順次転送と同時転送の違い 3-20
 - 転送電話ができないとき 6-6
 - 転送電話の設定を変更する 3-20
 - 転送電話の対象とする回線を設定する 3-19
 - 転送電話の転送先リストを登録する 3-18
 - 転送電話をセットする 3-19
 - 特定の相手先からの電話を転送する 3-21
 - 不在のときの電話を転送する 3-22
- 転送先リスト登録 3-18, 4-9, 4-31
- 転送電話 6-27
- 転送元呼出継続設定 3-20, 4-32
- 電池交換 6-20
- 電話機LCDパネル 1-10, 5-5
 - 電話機LCDパネルをつける 6-17
 - 電話機LCDパネルを外す 6-17
- 電話機グループ 6-27
- 電話機コード差込口 1-11
- 電話機コード差込口 (コンソール) 5-6
- 電話機毎設定 4-2, 4-4
- 電話機毎ユーザデータ設定 4-39
- 電話機毎録音ガイダンス
 - アップロード 4-41, 4-45
- 電話帳 2-6
 - 行で検索する 2-10
 - グループで検索する 2-10
 - 検索画面を表示する 2-6
 - 削除する 3-5
 - 電話をかける 2-6
 - 登録する 3-2
 - 登録できないとき 6-3
 - 登録できる内容 3-2
 - 登録方法 6-2
 - パソコンで編集する 6-23
 - フリガナで検索する 2-7
 - 編集する 3-5
 - メモリ番号で検索する 2-8
- 電話帳ガイド表示 4-20
- 電話帳グループ転送 3-21
- 電話帳検索 4-4
- 電話帳詳細読出タイマ 4-28
- 電話帳ダイヤル 2-6
- 電話帳鳴り分け 3-62
- 電話帳ボタン 1-10
- 電話を受ける 2-15
 - ハンズフリーで受ける 2-20
 - ハンドセットを置いたまま応答する 2-21
- 電話をかける
 - 電話帳ダイヤルでかける 2-6
 - 電話番号を確認してからかける 2-5
 - 内線番号で呼び出す 2-17
 - ハンズフリーでかける 2-19
 - ハンズフリーで内線通話をする 2-20
 - ハンドセットを置いたままかける 2-4
 - ハンドセットを取りあげてかける 2-2
 - ワンタッチボタンで電話をかける 2-11
- ドアホン 5-2, 5-8
 - 通話中にドアホンからの
呼び出しに応答する 6-4
- ドアホンチャイム音鳴動タイマ 4-30
- ドアホンネーム登録 4-30
- ドアホン鳴動設定 4-13
- 同時転送 3-20
- 特定の国 3-17
- 特定日システムモード設定 4-26
- 特定日設定 4-26
- 特番 6-8

時計アラーム (1回)	4-12
時計アラーム (毎日)	4-12
時計・カレンダー表示	1-14

【ナ行】

内線グループ斉鳴動	4-13
内線代表呼出	2-18, 6-27
内線ダイレクトコール	4-50, 6-27
内線通話	2-17
ハンドセットを置いたまま	
内線でお話する	2-21
内線ネーム登録	4-30
内線番号	1-14
内線ハンズフリー応答	2-21
内線ボタン	1-10
内線ホットライン	6-27
内線ホットライン設定	4-13
内線呼出音設定	4-13
内線ランプ	1-13
ナンバー・ディスプレイ	3-62
入力切替スイッチ	1-11
入力端子差込口	1-11
入力モード	3-6
ネットワークサービス	3-57

【ハ行】

パーク保留	2-24, 4-51, 6-27
バックアップ電池	6-20
バックライト	1-14
バックライト設定	4-17
発信可能ダイヤル設定	4-21
発信規制ダイヤル設定	4-21
発信者番号表示	3-62
発信／着信履歴発信	2-12
発信履歴	2-12
一覧画面	2-12
詳細画面	2-13
発信履歴ボタン	1-10
発番号ダイヤルイン	3-62

ハンズフリー	6-27
電話をかける	2-19
ハンドセット	1-10
ハンドセットコード	1-10
ハンドセットコード差込口	1-11
ハンドセット受話音量	1-16
非通知着信	3-14
非通知着信拒否	3-62, 4-22
日付設定	4-25
標準電話機	1-10
昼モード	4-27
ファクス接続	5-3
不在着信転送設定	4-13
不在着信転送	3-22, 6-27
付属品	6-16
フッキングパルス	2-26
フックスイッチ	1-10
フックボタン	1-10, 3-65
プッシュホンサービス	3-65
フリガナ検索	2-7
プリセットダイヤル	2-5, 6-27
プリセット読出タイマ	4-28
プリセクション	6-27
フレックスホンサービス	3-59
ペア電話機	5-6
ヘッドセット	4-14, 5-3
ボイスワープ	3-67
防水電話機	5-4
ポーズ (待ち時間)	6-2
保留	2-23
保留音受話	4-51
保留警報音	6-4
保留警報音送出タイマ	4-24
保留転送	
他の外線に転送する	2-27
他の内線電話機に転送する	2-25
保留ボタン	1-10

【マ行】

マイク	1-10
マイクボタン	1-10

マイクランプ	1-13	ワンタッチボタン	
明瞭モード	1-16	電話をかける	2-11
迷惑電話	3-15	登録する	3-8
メッセージ再生	3-30, 3-32	登録できるボタン操作	3-9
メッセージ再生順設定	4-10	内線番号を登録する	3-9
メニュー設定	4-2, 6-28	ワンタッチボタンが	
メニューボタン	1-10	割り当てられているボタン	3-9
メモリ番号	2-9	ワンタッチボタン (コンソール)	5-6
メモリ番号検索	2-8	ワンタッチメモリ全削除	4-11
メモリフォーマット	4-45		
メモリ保持電池	6-20		
文字入力	3-6		

【ヤ行】

夜間モード	6-5
用語の説明	6-26
曜日毎鳴動モード設定	3-49, 4-8
呼出状態転送	2-26
夜モード	4-27

【ラ行】

ランプ表示	1-13
リモコン操作	6-10, 6-28
履歴メニュー	2-13
履歴ランプ表示設定	4-17
留守／転送開始タイマ	3-20, 3-29, 4-31
留守番電話	3-28
留守番電話応答動作	3-29, 4-9
留守メッセージ設定	3-29, 4-9
録音ジャックユニット	5-3
録音メッセージダウンロード／	
録音メッセージ消去	4-45
録音メッセージダウンロード	4-47

【ワ行】

ワンタッチオンフックサービス	6-28
ワンタッチ機能ボタン登録	4-11
ワンタッチダイヤル登録	4-11
ワンタッチ／プリセクション	4-6

■仕 様

		α ZXII typeS	α ZXII typeM
使用回線		電話回線、CES回線、PBXの内線、専用線、INSネット64、VoIP回線	
選択信号種別		PB回線またはDP回線（10 PPS、20 PPS）	
外線容量		最大8ch	最大12ch
最大内線端末数		10台	40台
配線方式		スター配線・LAN配線	
呼出方式		トーンリングおよびランプ	
内線線路長		スター配線：最大800 m	
寸法・質量	主装置	幅約388 mm×奥行き約307 mm×高さ約140 mm・約3.2 kg	幅約444 mm×奥行き約307 mm×高さ約140 mm・約3.4 kg
	標準電話機	スター：幅約180 mm×奥行き約269 mm×高さ約91 mm・約950 g	
使用電源		商用電源AC100±10 V、50/60 Hz	
消費電力		最大時約190 VA	最大時約300 VA
電磁波妨害		VCCI基準クラスAに適合	
バックアップ電池（オプション）		12 V 0.7 AHシール鉛蓄電池×4個	
使用環境		温度：5℃～35℃ 湿度：45%～85%（結露のないこと）	
時間精度		平均月差±30秒以内	

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障に関するお問い合わせ

局番無しの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話からは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。

受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

●各種取扱説明書のダウンロードについて

この商品に関連する取扱説明書のダウンロードについては以下になります。

■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

SmartNetcommunity αZXII typeS/typeM :

<https://business.ntt-east.co.jp/support/zx2sm/>

■ NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

SmartNetcommunity αZXII typeS/typeM :

https://www.ntt-west.co.jp/smb/kiki_info/manual/

MEMO



当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<https://business.ntt-east.co.jp/support/product.html>
<https://www.ntt-west.co.jp/smb/support/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9：00～17：00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2024 NTTEAST・NTTWEST



本 3565-1(2024.10)
ZX2SM-ME トリセツ - <1>